

平成26年度 市民意識調査

市民主体のまちづくりについて

平成26年11月

北九州市

は　じ　め　に

北九州市では、市民の意見を今後の市政運営に役立てるため、毎年「市政評価と市政要望」及び「特定テーマ」についての市民意識調査を実施しています。

「特定テーマ」調査では市政の重要事項を取り上げており、本年度は、「市民主体のまちづくりについて」というテーマで調査を行い報告書にまとめました。

市では「市民主体のまちづくり」を進めていくための基本ルールとなる「北九州市自治基本条例」を定め、平成22年10月1日に施行しました。

条例では「市民主体のまちづくり」を実現するため、「情報共有」「市民参画」「コミュニティの活動」等を積極的に推進することとしています。

今回の調査で寄せられた市民の皆さまからのご意見は、市民主体のまちづくりの推進に向けた課題を把握し、今後の施策検討に役立てていきたいと思っております。

アンケート調査にご協力くださいました皆さま方に、厚くお礼申し上げます。

平成26年 11月

北九州市長　　北　橋　健　治

目 次

| | |
|-------------------------------|-----|
| I 調査の概要 | 1 |
| 1 調査の目的 | 1 |
| 2 調査の設計 | 1 |
| 3 調査の実施 | 3 |
| 4 回収結果 | 3 |
| II 調査結果 | 4 |
| 1 回答者の構成 | 4 |
| 2 調査の結果 | 6 |
| (1) 北九州市自治基本条例の認知度 | 6 |
| (2) 自治のあり方（市民と行政の役割分担） | 10 |
| (3) 自治を進めるために必要なこと | 14 |
| (4) 市が発信する情報の入手先 | 19 |
| (5) 市が発信する情報のうち、興味のあるもの | 24 |
| (6) 市が発信する情報の分かりやすさ | 29 |
| (7) 市が発信する情報の量 | 33 |
| (8) 市の情報発信の方法について、改善が必要なもの | 37 |
| (9) 市政への関心の度合い | 41 |
| (10) 市民参画の機会 | 45 |
| (11) 市民参画の経験の有無 | 49 |
| (12) 市民の意見等が市政に反映されていることへの満足感 | 52 |
| (12) -1 反映されていないと感じる理由 | 56 |
| (13) 市政に意見等を提出したいと考えるか | 60 |
| (13) -1 どういった方法で市政に意見等を提出したいか | 64 |
| (13) -2 市政に意見等を提出しようと思わない理由 | 68 |
| (14) 市民参画を進めるために必要なこと | 72 |
| (15) 地域活動への参加経験の有無 | 77 |
| (15) -1 どういった地域活動に参加したことがあるか | 81 |
| (15) -2 地域活動に参加している理由 | 86 |
| (15) -3 地域活動に参加したきっかけ | 90 |
| (15) -4 地域活動に参加しない理由 | 94 |
| (16) 地域活動を支える大切な団体は何か | 99 |
| (17) 自治会・町内会の活動内容の認知度 | 103 |
| (17) -1 知っている自治会・町内会の活動 | 107 |
| (18) 自治会・町内会への加入状況 | 111 |

| | |
|-------------------------------------|------------|
| (18) -1 加入していない理由 | 115 |
| (19) 住民主体のまちづくりの必要性..... | 120 |
| (19) -1 住民主体のまちづくりは必要ないと考える理由 | 124 |
| (20) 住民主体のまちづくりを進めるために行政がやること..... | 127 |
| 3 まとめ | 132 |

資 料 編

| | |
|----------------|-----|
| 1 クロス集計表 | 137 |
| 2 調査票 | 181 |

市民主体のまちづくりについて

I 調査の概要

1 調査の目的

北九州市では、毎年度、特定テーマについて市民意識調査を実施している。平成 26 年度は「市民主体のまちづくりについて」というテーマで実施した。

本市では、「市民主体のまちづくり」を進めていくための基本ルールとなる「北九州市自治基本条例」を定め、平成 22 年 10 月に施行した。同条例において、市は、「市民主体のまちづくり」を実現するため、「情報共有」「市民参画」「コミュニティの活動」等を積極的に推進することとしている。

そこで今年度は「市民主体のまちづくりについて」をテーマとし、市民が市政やまちづくりに関心を持つために必要な情報発信の方法や内容（情報共有）、市政に対する市民の意見や提案を市政に反映させる仕組み（市民参画）、また、市民が地域のまちづくりに参加しやすくなる環境等について、市民の意見を把握し、今後の施策検討の資料とするために本調査を実施したものである。

2 調査の設計

(1) 調査票

この調査は、郵送調査で実施するため設問をできるだけ整理し、以下 4 分野 30 項目の設問で構成した。

なお、問 1 については、例年実施している「市政評価と市政要望」の設問であり、別途報告書作成を行っている。（調査票：巻末参照）

今年度調査項目

| 「北九州市自治基本条例」と「自治」について | |
|-----------------------|--------------------------|
| 問 2 | 北九州市自治基本条例の認知度 |
| 問 3 | 自治のあり方（市民と行政の役割分担） |
| 問 4 | 自治を進めるために必要なこと |
| 「情報共有」について | |
| 問 5 | 市が発信する情報の入手先 |
| 問 6 | 市が発信する情報のうち、興味のあるもの |
| 問 7 | 市が発信する情報の分かりやすさ |
| 問 8 | 市が発信する情報の量 |
| 問 9 | 市の情報発信の方法について、改善が必要なもの |
| 「市民参画」について | |
| 問 10 | 市政への関心の度合い |
| 問 11 | 市民参画の機会 |
| 問 12 | 市民参画の経験の有無 |
| 問 13 | 市民の意見等が市政に反映されていることへの満足感 |

| | |
|-------------------------|--------------------------|
| 副問 1 | 反映されていないと感じる理由 |
| 問 14 | 市政に意見等を提出したいと考えるか |
| 副問 1 | どういった方法で市政に意見等を提出したいか |
| 副問 2 | 市政に意見等を提出しようと思わない理由 |
| 問 15 | 市民参画を進めるために必要なこと |
| 「住民主体のまちづくり」について | |
| 問 16 | 地域活動への参加経験の有無 |
| 副問 1 | どういった地域活動に参加したことがあるか |
| 副問 2 | 地域活動に参加している理由 |
| 副問 3 | 地域活動に参加したきっかけ |
| 副問 4 | 地域活動に参加しない理由 |
| 問 17 | 地域活動を支える大切な団体は何か |
| 問 18 | 自治会・町内会の活動内容の認知度 |
| 副問 1 | 知っている自治会・町内会の活動 |
| 問 19 | 自治会・町内会への加入状況 |
| 副問 1 | 加入していない理由 |
| 問 20 | 住民主体のまちづくりの必要性 |
| 副問 1 | 住民主体のまちづくりは必要ないと考える理由 |
| 問 21 | 住民主体のまちづくりを進めるために行政がやること |
| フェイスシート | 性別・年齢・居住歴・職業・居住区 |

(2) 標本設計

[調査対象者]

市内に居住する 20 歳以上の男女 3,000 人

[標本抽出]

平成 26 年 6 月 2 日現在の住民基本台帳（20 歳以上 806,707 人）をもとに 3,000 人を等間隔抽出

行政区別の設定標本数

| 区 分 | 居 住 人 口 | 抽 出 標 本 数 | 構 成 比 |
|------|----------|-----------|--------|
| | | | |
| 門司区 | 87,975 人 | 344 人 | 11.5 % |
| 小倉北区 | 153,048 | 566 | 18.9 |
| 小倉南区 | 173,765 | 624 | 20.8 |
| 若松区 | 70,463 | 244 | 8.1 |
| 八幡東区 | 60,195 | 236 | 7.9 |
| 八幡西区 | 211,652 | 795 | 26.5 |
| 戸畑区 | 49,609 | 191 | 6.4 |
| 計 | 806,707 | 3,000 | 100.0 |

(注1) 居住人口は20歳以上人口で抽出リード件数である。

(注2) 構成比の単位未満は四捨五入で表示したため、計と各区の合計は必ずしも一致しない場合がある。

(3) 調査方法

郵送調査法

3 調査の実施

この調査は、北九州市市民文化スポーツ局市民部広聴課と総務企画局総務部総務課が主体となり実施したものである。

(1) 実査

調査開始 平成26年6月23日

督促状発送 平成26年7月7日

回答期限 平成26年7月18日

(2) 集計・分析

集計、分析・コメントは株式会社東京商工リサーチが実施した。

※数値の単位未満は四捨五入を原則としたので、総数と内容の合計は必ずしも一致しない場合がある。

※サンプル数が少ない属性（10人未満）の回答については、コメントでは触れないこととする。

4 回収結果

発送標本数3,000票のうち、回収標本総数は1,276票であった。このうち有効回収数は、1,275票で、有効回収率は42.5%であった。（昨年度は有効回収数1,395票、有効回収率は46.5%）

なお、行政区別の回収状況は、下表のとおりである。

行政区別回収状況

| 区分 | 設定標本数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|------|-------|-------|--------|
| 門司区 | 344 人 | 148 人 | 43.0 % |
| 小倉北区 | 566 | 215 | 38.0 |
| 小倉南区 | 624 | 251 | 40.2 |
| 若松区 | 244 | 93 | 38.1 |
| 八幡東区 | 236 | 112 | 47.5 |
| 八幡西区 | 795 | 373 | 46.9 |
| 戸畑区 | 191 | 83 | 43.5 |
| 計 | 3,000 | 1,275 | 42.5 |

II 調査結果

1 回答者の構成

有効回収数 1,275 票の標本は下表のとおりである。

回答者の構成

N : 1,275 人

| | | | | | | | |
|-----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------|---------------|
| 性別 | 男性 | 女性 | 無回答 | | | | |
| | 41.0% 523人 | 58.5% 746人 | 0.5% 6人 | | | | |
| 年齢 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳以上 | 無回答 |
| | 7.4% 94人 | 11.0% 140人 | 13.9% 177人 | 17.0% 217人 | 23.4% 298人 | 27.1% 345人 | 0.3% 4人 |
| 居住歴 | 1年未満 | 2年未満 | 3年未満 | 5年未満 | 10年未満 | 20年未満 | 30年未満 |
| | 1.2% 15人 | 0.9% 12人 | 1.4% 18人 | 2.3% 29人 | 4.2% 54人 | 9.2% 117人 | 14.5% 185人 |
| | 30年以上 | 無回答 | | | | | |
| | 65.7% 838人 | 0.5% 7人 | | | | | |
| 居住区 | 門司区 | 小倉北区 | 小倉南区 | 若松区 | 八幡東区 | 八幡西区 | 戸畑区 |
| | 11.6% 148人 | 16.9% 215人 | 19.7% 251人 | 7.3% 93人 | 8.8% 112人 | 29.3% 373人 | 6.5% 83人 |
| 職業 | 自営業 | 自由業 | 会社員 | 公務員・教員 | 農・林・漁業 | 主婦・主夫 (パートなど) | 主婦・主夫 (専業) |
| | 8.1% 103人 | 0.9% 11人 | 26.5% 338人 | 3.2% 41人 | 0.3% 4人 | 13.0% 166人 | 18.3% 233人 |
| | 学生 | 無職 | その他 | 無回答 | | | |
| | 1.6% 21人 | 23.4% 298人 | 4.2% 53人 | 0.5% 7人 | | | |

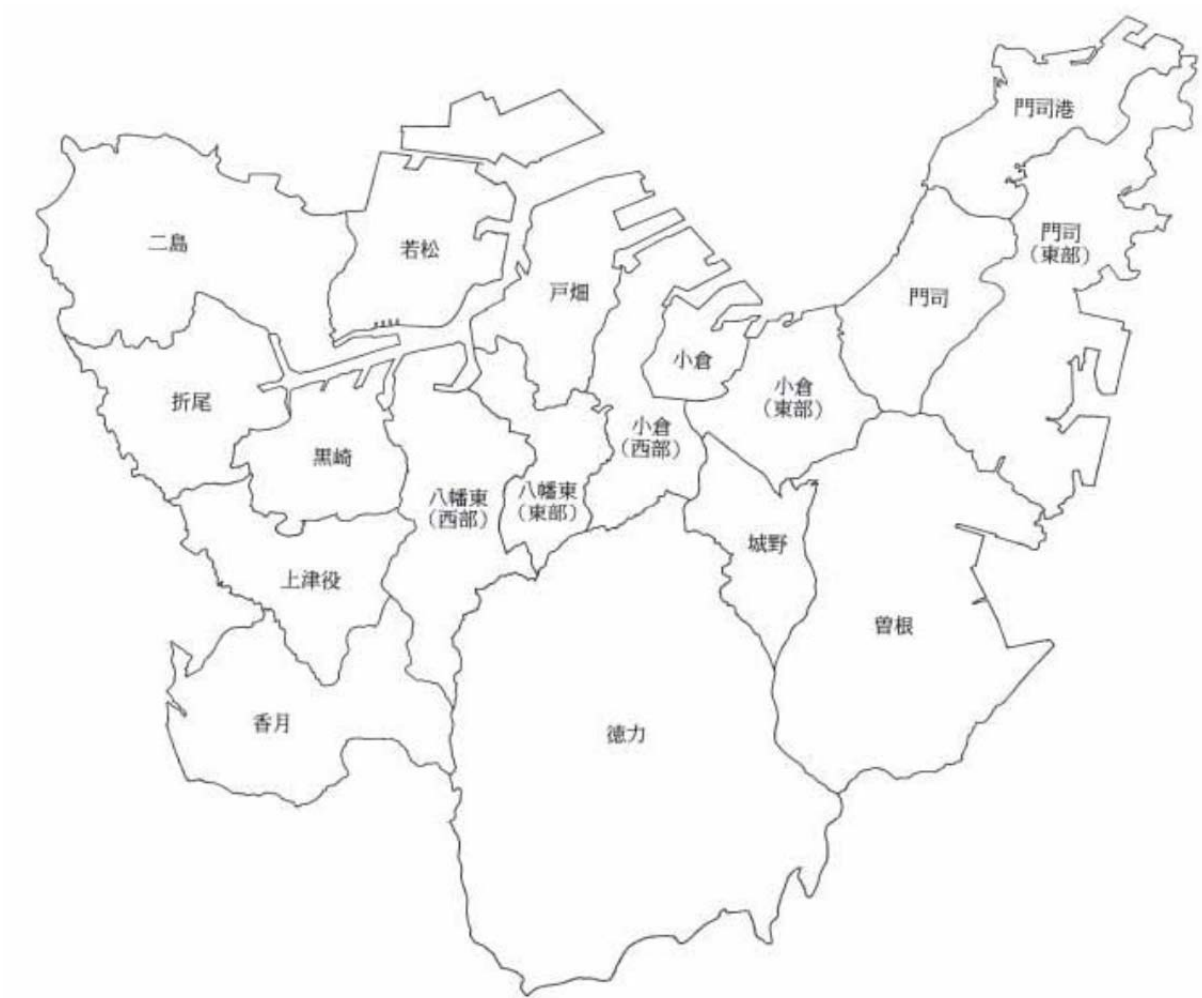
なお、調査実施時期間近である平成 26 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳による 20 歳以上の北九州市民の性別、年齢、住居区の属性別構成は下表に示すとおりである。

これを、今年度調査の有効回収の標本構成と比較すると、性別では調査サンプルの男性が実態より 5.5 ポイント低い結果となっている。年齢別では、例年の傾向であるが、有効回答率の低さを反映してか 20 歳代で調査サンプルが住民基本台帳の実態ベースより 4.9 ポイント低く、逆に 60 歳代では調査サンプルのウエイトが 5.2 ポイント高いのが目立っている。なお、行政区別では概ね両者間に大きな差はみられない。調査結果の解釈にあたっては、主にこの 3 点に関するウエイトの構成差異に留意されたい。

平成 26 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳による人口構成 (20 歳以上)

| | | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 性別 | 男 | 女 | | | | | |
| | 46.5% | 53.5% | | | | | |
| 年齢 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | |
| | 12.3% | 14.9% | 16.0% | 14.4% | 18.2% | 24.2% | |
| 居住区 | 門司区 | 小倉北区 | 小倉南区 | 若松区 | 八幡東区 | 八幡西区 | 戸畑区 |
| | 10.9% | 18.9% | 21.5% | 8.7% | 7.5% | 26.2% | 6.2% |

また、調査結果をより細かく把握するため、行政区による居住区を以下に示す 18 地区に分割した集計も行っている。



2 調査の結果

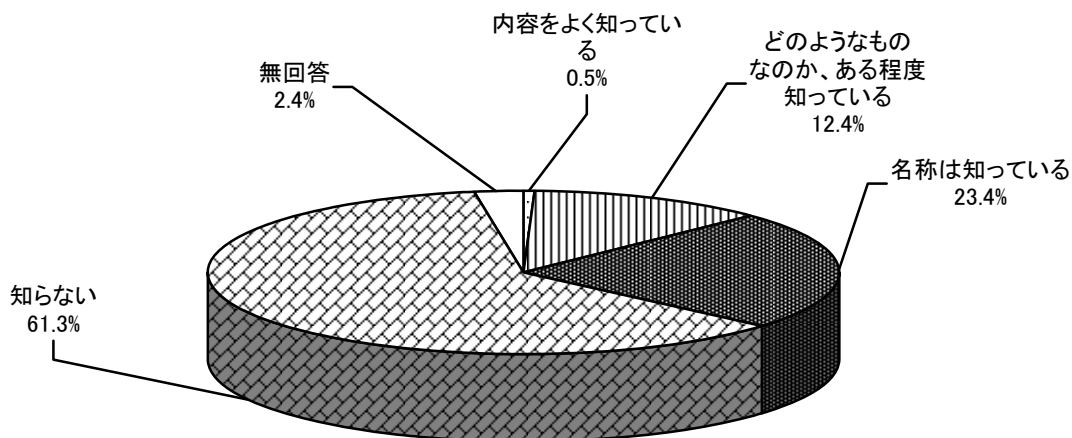
(1) 北九州市自治基本条例の認知度

問2 あなたは、平成22年10月1日に施行された北九州市自治基本条例について知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275人

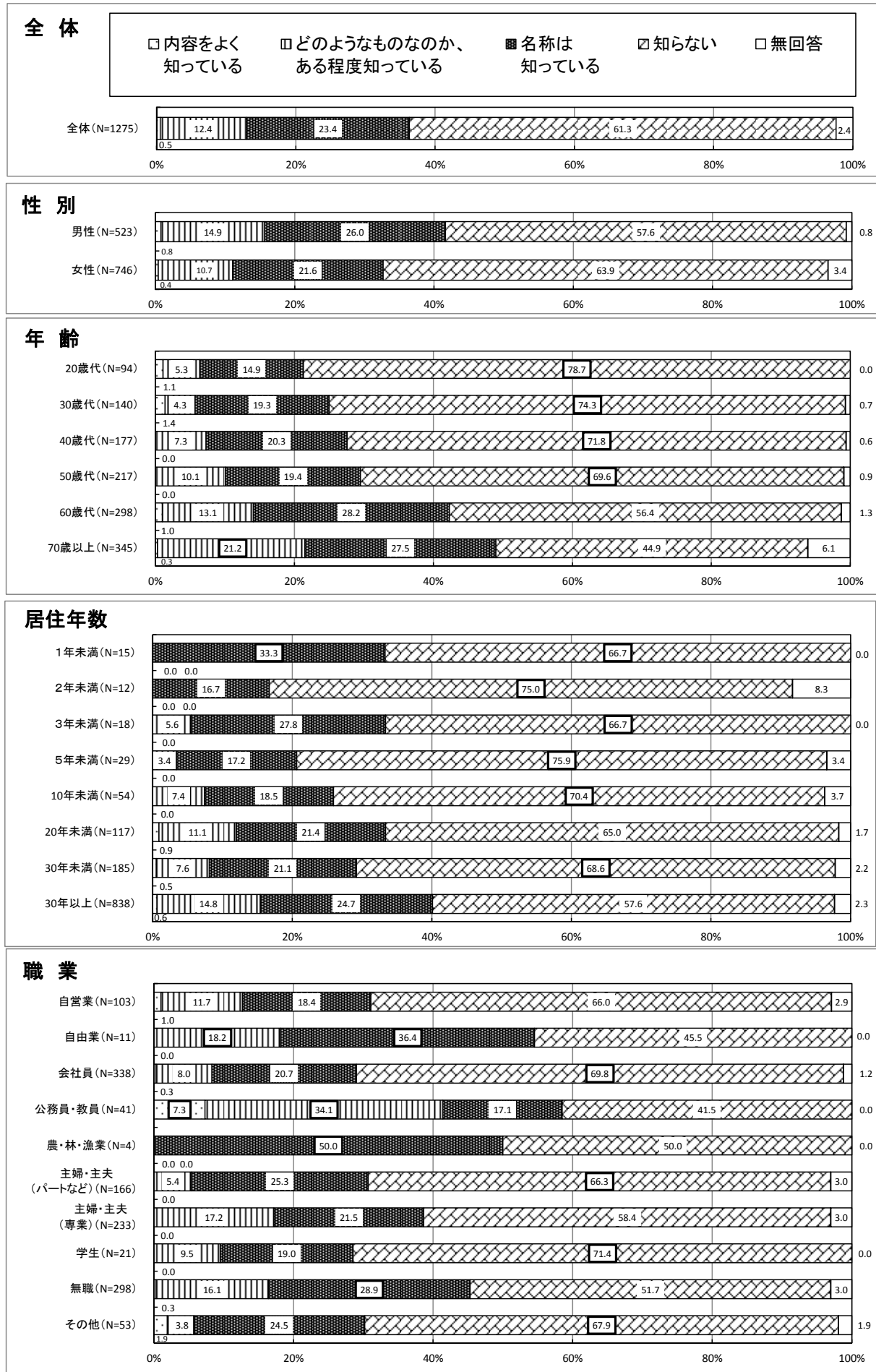
| 項目 | 回答数(人) | 割合(%) |
|------------------------|--------|-------|
| 1 内容をよく知っている | 7 | 0.5 |
| 2 どのようなものなのか、ある程度知っている | 158 | 12.4 |
| 3 名称は知っている | 298 | 23.4 |
| 4 知らない | 782 | 61.3 |
| 無回答 | 30 | 2.4 |

- ◇ 「北九州市自治基本条例」について、
- 1位 「知らない」(61.3%)
 - 2位 「名称は知っている」(23.4%)
 - 3位 「どのようなものなのか、ある程度知っている」(12.4%)



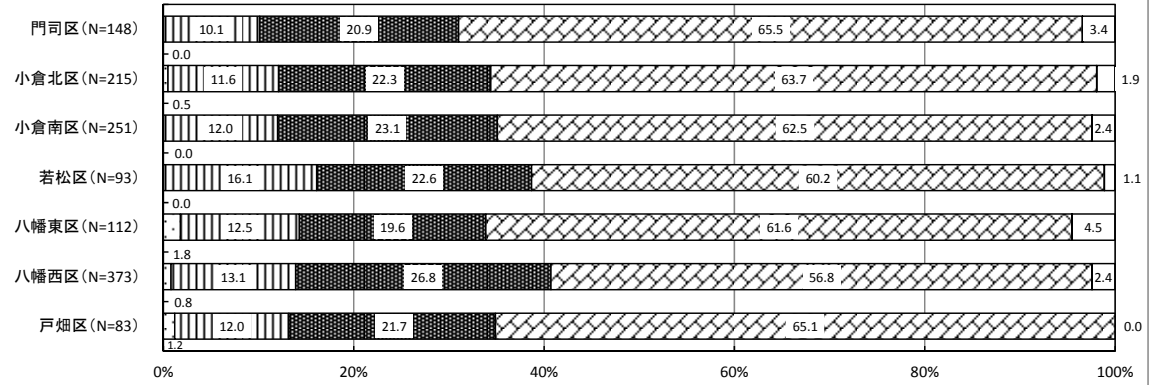
| | |
|--------------|------------------------|
| □ 内容をよく知っている | □ どのようなものなのか、ある程度知っている |
| ■ 名称は知っている | □ 知らない |
| □ 無回答 | |

問2 北九州市自治基本条例の認知度

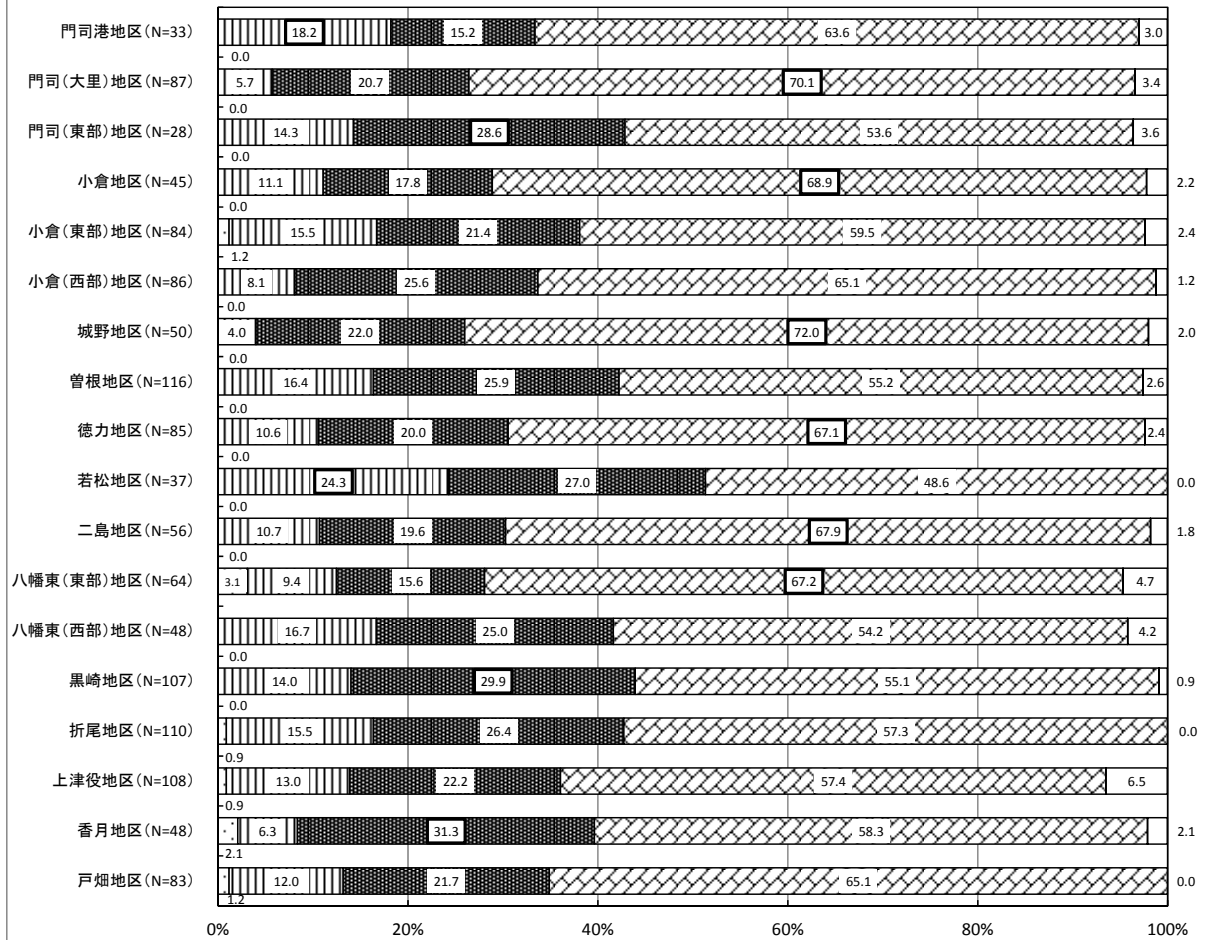


居住区

内容をよく知っている
 どのようなものなのか、ある程度知っている
 名称は知っている
 知らない
 無回答



居住区(18地区)



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

北九州市自治基本条例の認知度

【全体的傾向】

北九州市自治基本条例を知っているかについて尋ねた。

その結果、「知らない」(61.3%)が最も多く、次いで「名称は知っている」(23.4%)、「どのようなものなのか、ある程度知っている」(12.4%)と続いた。「内容をよく知っている」(0.5%)、「どのようなものなのか、ある程度知っている」(12.4%)、「名称は知っている」(23.4%)を合わせた『知っている』は36.3%で4割弱となった。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、北九州市自治基本条例について「知らない」は女性(63.9%)が男性(57.6%)を上回った。『知っている』は男性(41.7%)が女性(32.7%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、「知らない」は20歳代(78.7%)で最も多く、次いで30歳代(74.3%)、40歳代(71.8%)、50歳代(69.6%)と続き、年齢層が低いほど、認知度が低い結果となった。一方、『知っている』は70歳以上(49.0%)で最も多く、次いで60歳代(42.3%)と続き、高年齢層で4割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、「知らない」は5年未満(75.9%)で最も多く、次いで2年未満(75.0%)、10年未満(70.4%)と続き、これらの居住年数層で7割を上回った。最も少ないのは30年以上(57.6%)で、唯一6割を下回った。
- ◇ 職業別では、「知らない」は学生(71.4%)で最も多く、唯一7割を上回った。次いで会社員(69.8%)、その他(67.9%)、主婦・主夫(パートなど)(66.3%)、自営業(66.0%)と続き、これらの職業層で6割を上回った。一方、『知っている』は公務員・教員(58.5%)で最も多く、次いで自由業(54.6%)と続き、これらの職業層で5割を上回った。

(注) サンプル数が10人未満であった農・林・漁業(4)については、コメントでは触れないこととする(以下、全設問同様)。

- ◇ 居住区を行政区別に見ると、「知らない」は門司区(65.5%)で最も多く、最も少ない八幡西区(56.8%)との差は8.7ポイントと、区による大きな差は見られなかった。同様に『知っている』も最も多い八幡西区(40.7%)と、最も少ない門司区(31.0%)との差は9.7ポイントと、区による大きな差は見られなかった。

行政区を18地区に細分化して見ると、「知らない」が最も多かったのは、城野地区(72.0%)で、次いで門司(大里)地区(70.1%)と続き、これらの地区で7割を上回った。一方、『知っている』は若松地区(51.3%)で最も多く、唯一5割を上回った。次いで黒崎地区(43.9%)、門司(東部)地区(42.9%)、折尾地区(42.8%)、曾根地区(42.3%)、八幡東(西部)地区(41.7%)と続き、これらの地区で4割を上回った。最も少ないのは城野地区(26.0%)であった。

(2) 自治のあり方（市民と行政の役割分担）

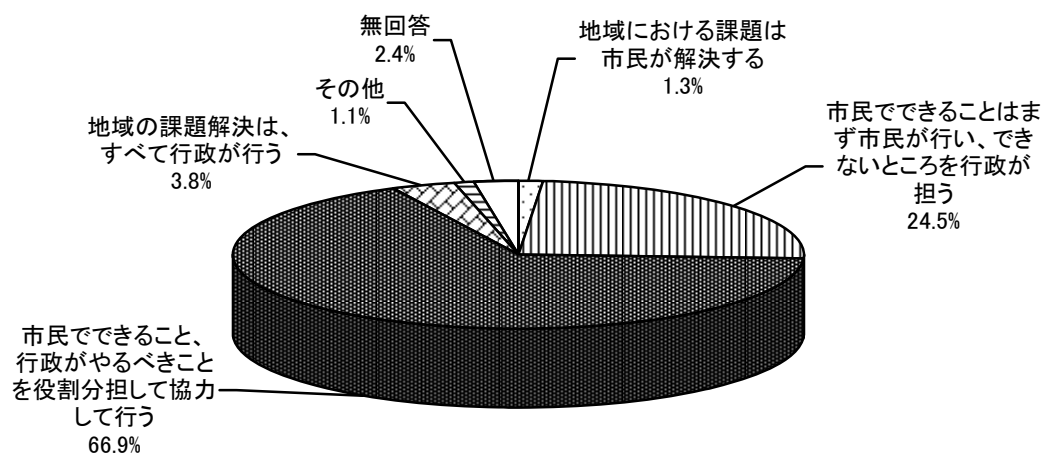
問3 あなたは、「自治」のあり方をどう考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

| 項目 | 回答数（人） | 割合（%） |
|-----------------------------------|--------|-------|
| 1 地域における課題は市民が解決する | 17 | 1.3 |
| 2 市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う | 312 | 24.5 |
| 3 市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う | 853 | 66.9 |
| 4 地域の課題解決は、すべて行政が行う | 49 | 3.8 |
| 5 その他 | 14 | 1.1 |
| 無回答 | 30 | 2.4 |

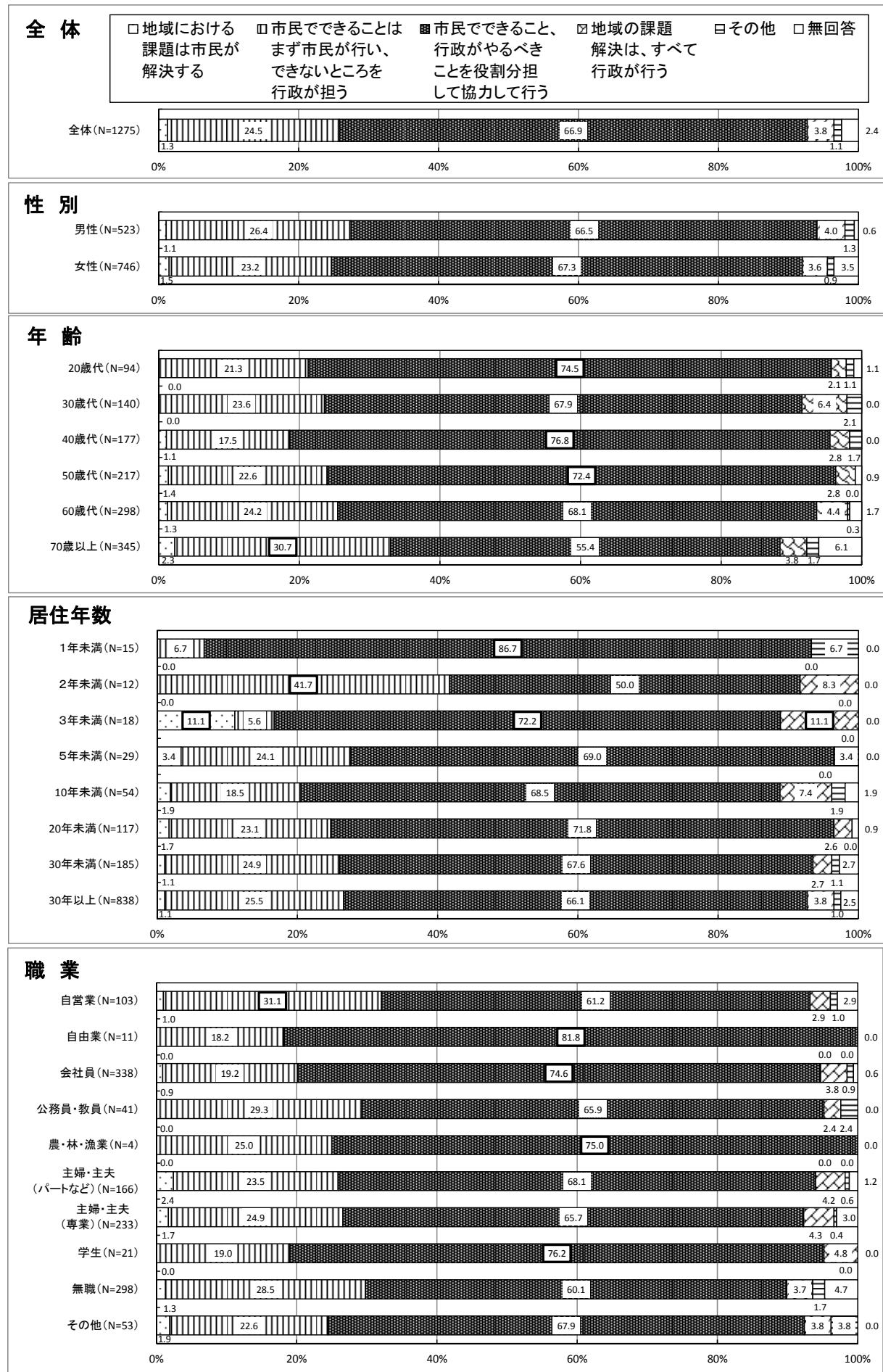
◇ 「自治」のあり方は、

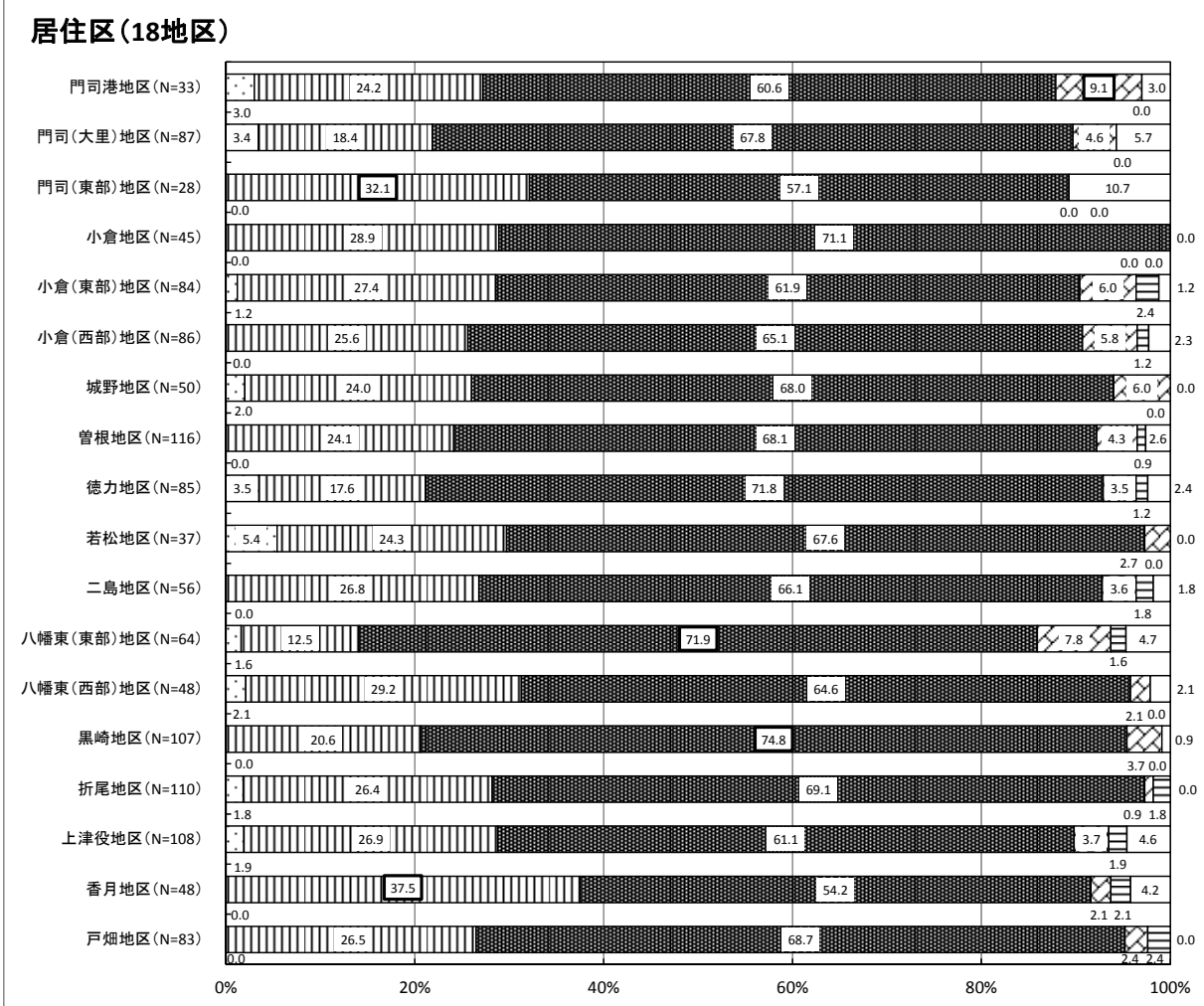
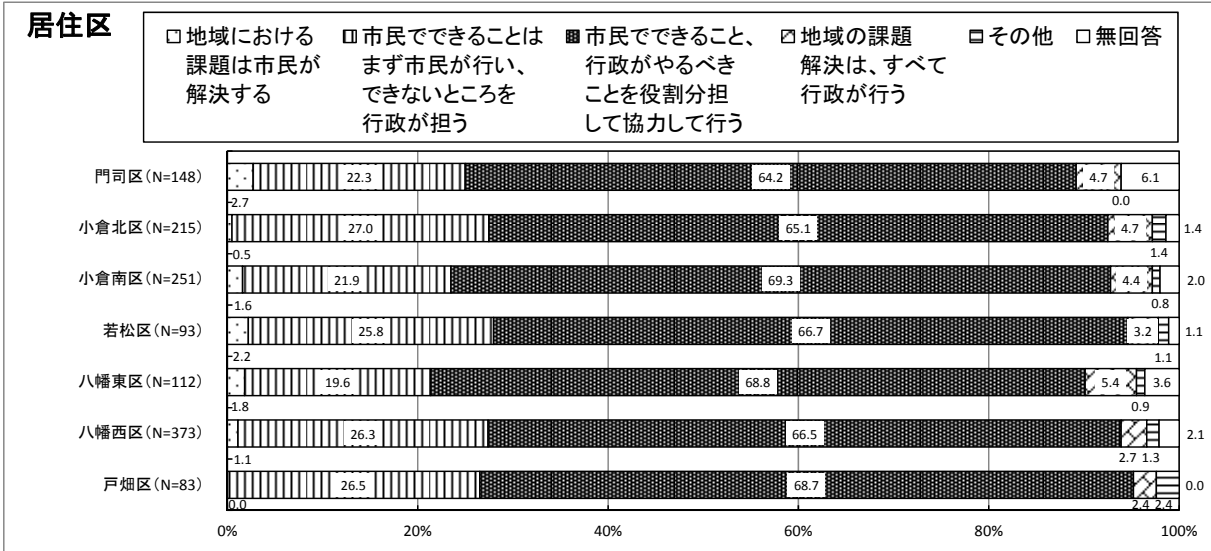
- 1位 「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」(66.9%)
- 2位 「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」(24.5%)
- 3位 「地域の課題解決は、すべて行政が行う」(3.8%)



- 地域における課題は市民が解決する
- ▣ 市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う
- 市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う
- ▤ 地域の課題解決は、すべて行政が行う
- その他
- 無回答

問3 自治のあり方（市民と行政の役割分担）





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

自治のあり方（市民と行政の役割分担）

【全体的傾向】

「自治」のあり方をどう考えているかについて尋ねた。

その結果、「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」（66.9%）が最も多く、7割弱を占めた。次いで「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」（24.5%）、「地域の課題解決は、すべて行政が行う」（3.8%）と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多かった。男性（66.5%）と女性（67.3%）で差は見られなかった。総合2位の「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」は男性（26.4%）が女性（23.2%）を上回った。
- ◇ 年齢別でも、全ての年齢層で総合1位の「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多かった。中でも40歳代（76.8%）で最も多く、20歳代（74.5%）、50歳代（72.4%）と続き、これらの年齢層で7割を上回った。総合2位の「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」は70歳以上（30.7%）で最も多く、唯一3割を上回った。
- ◇ 居住年数別でも、全ての居住年数層で総合1位の「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多かった。中でも1年未満（86.7%）で最も多く、唯一8割を上回った。総合2位の「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」は2年未満（41.7%）で最も多く、唯一4割を上回った。
- ◇ 職業別でも、全ての職業層で総合1位の「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多く、6割を上回った。中でも自由業（81.8%）で最も多く、唯一8割を上回った。総合2位の「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」は自営業（31.1%）で多く、唯一3割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で総合1位の「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多かった。小倉南区（69.3%）で最も多く、最も少ない門司区（64.2%）との差は5.1ポイントと、区による大きな差は見られなかった。総合2位の「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」は小倉北区（27.0%）で最も多く、最も少なかった八幡東区（19.6%）との差は7.4ポイントと、区による大きな差は見られなかった。

行政区を18地区に細分化して見ると、全ての地区で総合1位の「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多かった。最も多かったのは黒崎地区（74.8%）で、最も少なかったのは香月地区（54.2%）と、八幡西区の中で傾向に違いが見られた。総合2位の「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」は香月地区（37.5%）で最も多く、次いで門司（東部）地区（32.1%）と続き、これらの地区で3割を上回った。総合3位の「地域の課題解決は、すべて行政が行う」は門司港地区（9.1%）で最も多かった。

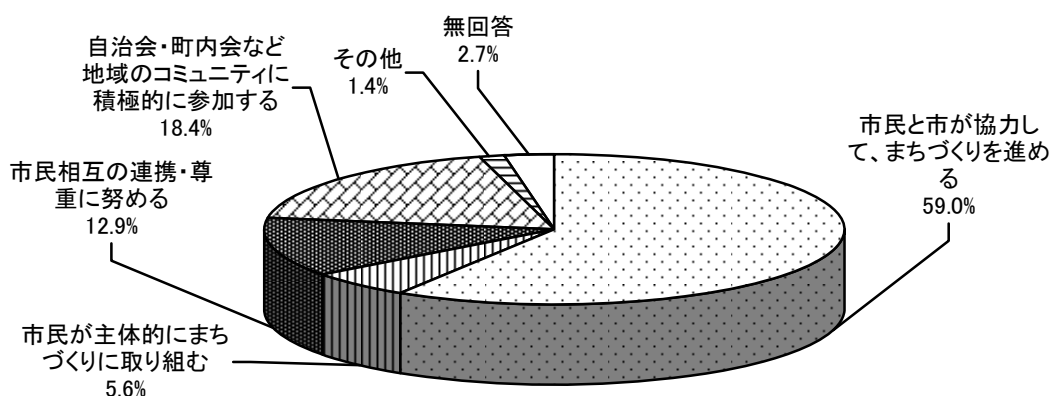
(3) 自治を進めるために必要なこと

問4 あなたは、「自治」を進めるためには、どのようなことが大切だと考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275人

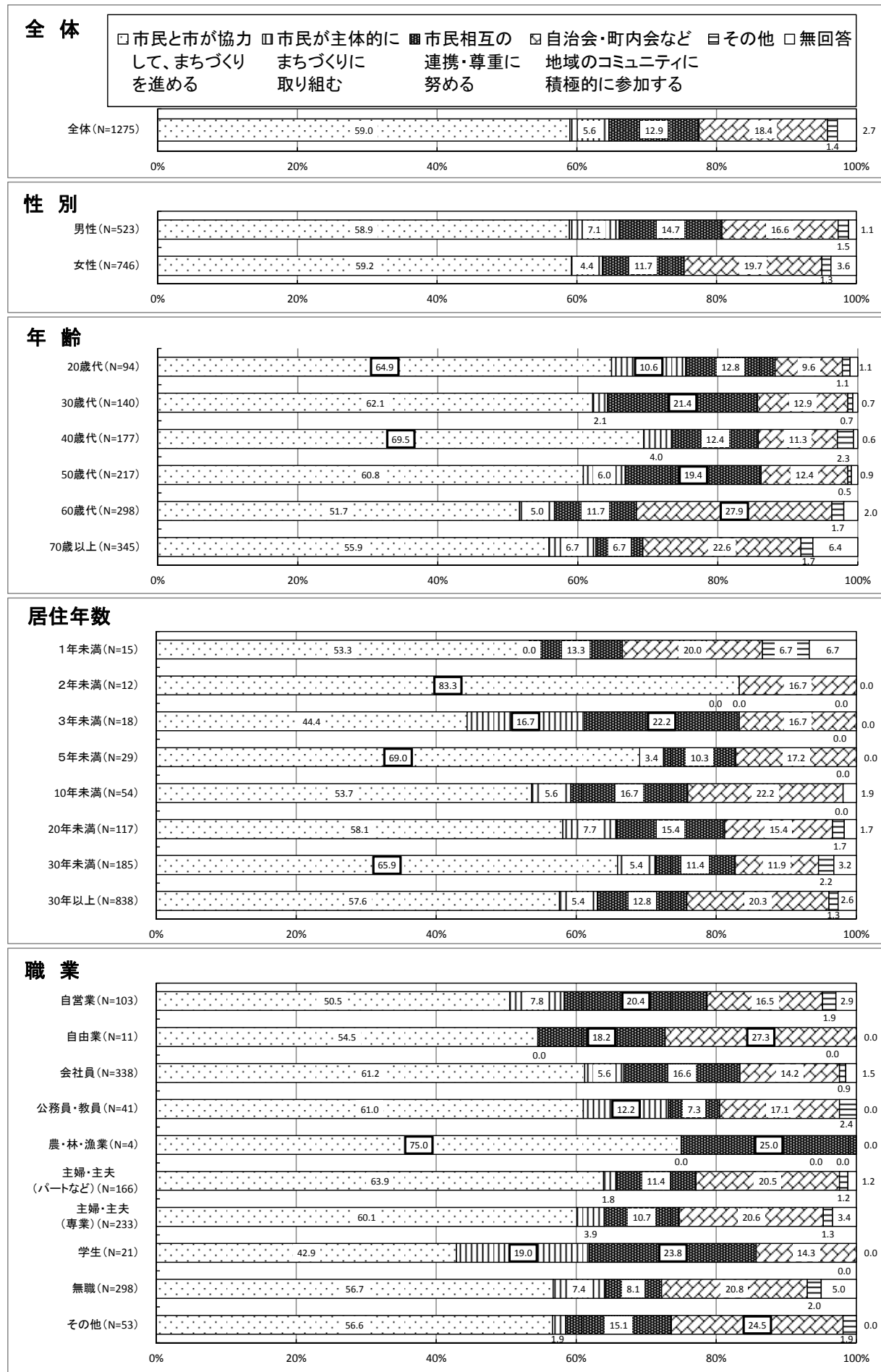
| 項目 | 回答数(人) | 割合(%) |
|-------------------------------|--------|-------|
| 1 市民と市が協力して、まちづくりを進める | 752 | 59.0 |
| 2 市民が主体的にまちづくりに取り組む | 71 | 5.6 |
| 3 市民相互の連携・尊重に努める | 165 | 12.9 |
| 4 自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する | 235 | 18.4 |
| 5 その他 | 18 | 1.4 |
| 無回答 | 34 | 2.7 |

- ◇ 「自治」を進めるために大切なことは、
- 1位 「市民と市が協力して、まちづくりを進める」(59.0%)
 - 2位 「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」(18.4%)
 - 3位 「市民相互の連携・尊重に努める」(12.9%)



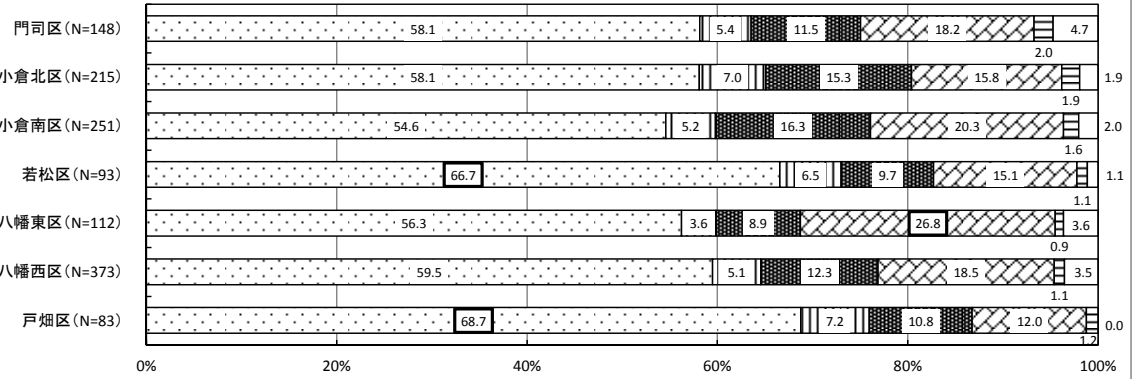
- 市民と市が協力して、まちづくりを進める
- ▣ 市民が主体的にまちづくりに取り組む
- 市民相互の連携・尊重に努める
- ▤ 自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する
- ▥ その他
- 無回答

問4 自治を進めるために必要なこと

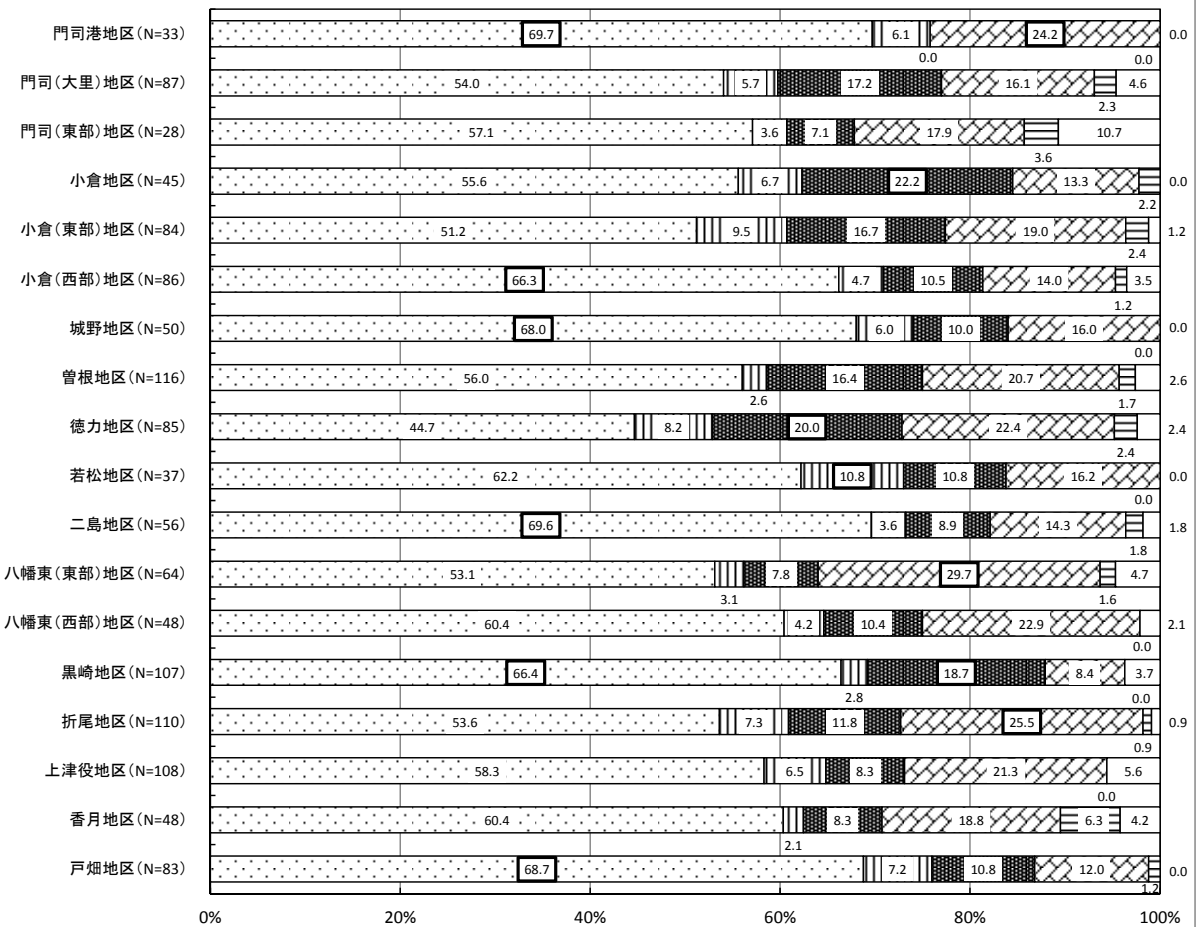


居住区

□ 市民と市が協力して、まちづくりを進める
 ▨ 市民が主体的にまちづくりに取り組む
 ▩ 市民相互の連携・尊重に努める
 ▧ 自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する
 □ その他
 □ 無回答



居住区(18地区)



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

自治を進めるために必要なこと

【全体的傾向】

「自治」を進めるためには、どのようなことが大切だと考えているかについて尋ねた。

その結果、「市民と市が協力して、まちづくりを進める」(59.0%)が最も多く、約6割を占めた。次いで「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」(18.4%)、「市民相互の連携・尊重に努める」(12.9%)と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「市民と市が協力して、まちづくりを進める」が最も多く、男性(58.9%)と女性(59.2%)で差は見られなかった。総合2位の「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」は女性(19.7%)が男性(16.6%)を上回った。
- ◇ 年齢別でも、全ての年齢層で総合1位の「市民と市が協力して、まちづくりを進める」が最も多かった。中でも40歳代(69.5%)で最も多く、次いで20歳代(64.9%)、30歳代(62.1%)、50歳代(60.8%)と続き、若年層と中年層で6割を上回った。総合2位の「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」は60歳代(27.9%)で最も多く、次いで70歳以上(22.6%)と続き、高年層で2割を上回った。総合3位の「市民相互の連携・尊重に努める」は30歳代(21.4%)で最も多く、「市民が主体的にまちづくりに取り組む」は20歳代(10.6%)で最も多かった。
- ◇ 居住年数別でも、全ての居住年数層で総合1位の「市民と市が協力して、まちづくりを進める」が最も多かった。中でも2年未満(83.3%)で最も多く、次いで5年未満(69.0%)、30年未満(65.9%)と続き、これらの居住年数層で6割を上回った。総合2位の「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」は10年未満(22.2%)で最も多く、次いで30年以上(20.3%)、1年未満(20.0%)と続き、これらの居住年数層で2割以上を占めた。総合3位の「市民相互の連携・尊重に努める」は3年未満(22.2%)で最も多く、「市民が主体的にまちづくりに取り組む」も3年未満(16.7%)で最も多かった。
- ◇ 職業別でも、全ての職業層で総合1位の「市民と市が協力して、まちづくりを進める」が最も多かった。中でも主婦・主夫(パートなど)(63.9%)で最も多く、最も少ない学生(42.9%)以外の全ての職業層で5割を上回った。総合2位の「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」は自由業(27.3%)で最も多く、次いでその他(24.5%)、無職(20.8%)、主婦・主夫(専業)(20.6%)、主婦・主夫(パートなど)(20.5%)と続き、これらの職業層で2割を上回った。「市民が主体的にまちづくりに取り組む」は学生(19.0%)で最も多く、次いで公務員・教員(12.2%)と続き、これらの職業層で1割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で総合1位の「市民と市が協力して、まちづくりを進める」が最も多かった。中でも戸畑区(68.7%)で最も多く、次いで若松区(66.7%)と続き、これらの区で6割を上回った。総合2位の「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」は八幡東区(26.8%)で最も多く、次いで小倉南区(20.3%)と続き、これらの区で2割を上回った。
行政区を18地区に細分化して見ると、全ての地区で総合1位の「市民と市が協力して、まちづくりを進める」が最も多かった。中でも門司港地区(69.7%)で最も多く、最も少ない徳力地区(44.7%)以外の全ての地区で5割を上回った。総合2位の「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」は八幡東(東部)地区(29.7%)で最も多く、最も少ない

黒崎地区（8.4%）以外の全ての地区で1割を上回った。総合3位の「市民相互の連携・尊重に努める」は小倉地区（22.2%）で最も多く、次いで徳力地区（20.0%）と続き、これらの地区で2割を上回った。「市民が主体的にまちづくりに取り組む」は若松地区（10.8%）で最も多く、唯一1割を上回った。

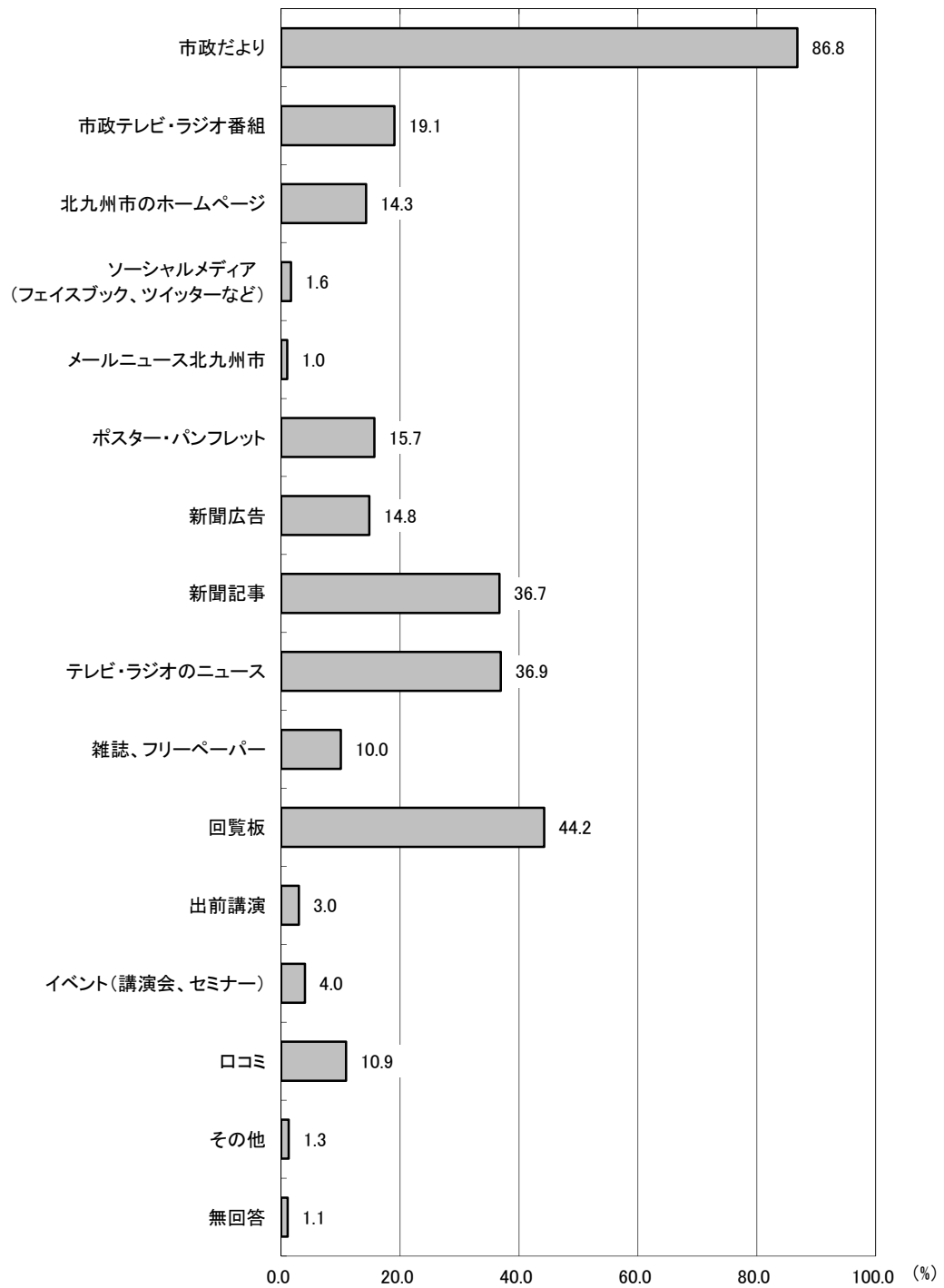
(4) 市が発信する情報の入手先

問5 あなたは、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報を普段どこから入手していますか。よく見て（聞いて）いるものを次の中からいくつでも選んでください。

N : 1,275 人

| 項目 | 回答数（人） | 割合（％） |
|------------------------------|--------|-------|
| 1 市政だより | 1,107 | 86.8 |
| 2 市政テレビ・ラジオ番組 | 243 | 19.1 |
| 3 北九州市のホームページ | 182 | 14.3 |
| 4 ソーシャルメディア（フェイスブック、ツイッターなど） | 21 | 1.6 |
| 5 メールニュース北九州市 | 13 | 1.0 |
| 6 ポスター・パンフレット | 200 | 15.7 |
| 7 新聞広告 | 189 | 14.8 |
| 8 新聞記事 | 468 | 36.7 |
| 9 テレビ・ラジオのニュース | 471 | 36.9 |
| 10 雑誌、フリーペーパー | 128 | 10.0 |
| 11 回覧板 | 564 | 44.2 |
| 12 出前講演 | 38 | 3.0 |
| 13 イベント（講演会、セミナー） | 51 | 4.0 |
| 14 口コミ | 139 | 10.9 |
| 15 その他 | 16 | 1.3 |
| 無回答 | 14 | 1.1 |

◇ よく見て（聞いて）いる、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報は、
 1位 「市政だより」（86.8%）
 2位 「回覧板」（44.2%）
 3位 「テレビ・ラジオのニュース」（36.9%）



問5 市が発信する情報の入手先

| | | サンプル数 | 市政だより | 市政テレビ・ラジオ番組 | 北九州市のホームページ | ソーシャルメディア（フェイスブック、ツイッターなど） | メールニュース北九州市 | ポスター・パンフレット | 新聞広告 | 新聞記事 | テレビ・ラジオのニュース | 雑誌、フリーペーパー | 回覧板 | 出前講演 | イベント（講演会、セミナー） | ロコミ | その他 | 無回答 | |
|----------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|----------------|-------------|------|-----|-----|
| 全体 | | 1,275 | 86.8 | 19.1 | 14.3 | 1.6 | 1.0 | 15.7 | 14.8 | 36.7 | 36.9 | 10.0 | 44.2 | 3.0 | 4.0 | 10.9 | 1.3 | 1.1 | |
| 性別 | 男性 | 523 | 84.9 | 20.1 | 18.5 | 2.1 | 1.5 | 15.1 | 12.8 | 38.0 | 37.5 | 7.6 | 40.3 | 3.1 | 3.3 | 8.2 | 1.5 | 0.8 | |
| | 女性 | 746 | 88.3 | 18.4 | 11.3 | 1.3 | 0.7 | 16.1 | 16.1 | 35.7 | 36.9 | 11.7 | 47.2 | 2.9 | 4.4 | 12.7 | 1.1 | 1.2 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 94 | 56.4 | 8.5 | 11.7 | 12.8 | 3.2 | 11.7 | 12.8 | 19.1 | 39.4 | 23.4 | 14.9 | 0.0 | 1.1 | 16.0 | 4.3 | 1.1 | |
| | 30歳代 | 140 | 80.7 | 9.3 | 26.4 | 3.6 | 0.7 | 15.0 | 7.9 | 21.4 | 33.6 | 19.3 | 25.0 | 0.7 | 1.4 | 4.3 | 0.7 | 0.0 | |
| | 40歳代 | 177 | 87.0 | 5.1 | 23.7 | 1.1 | 0.0 | 15.3 | 7.3 | 27.1 | 29.9 | 14.7 | 32.8 | 0.0 | 2.3 | 11.3 | 1.1 | 0.0 | |
| | 50歳代 | 217 | 88.5 | 18.0 | 18.0 | 0.9 | 1.8 | 17.1 | 14.3 | 32.3 | 30.9 | 13.8 | 41.0 | 0.9 | 2.3 | 11.5 | 0.9 | 0.5 | |
| | 60歳代 | 298 | 93.0 | 23.2 | 10.1 | 0.0 | 0.7 | 20.1 | 14.4 | 46.3 | 40.6 | 5.4 | 57.7 | 3.7 | 8.1 | 10.4 | 1.0 | 0.7 | |
| | 70歳以上 | 345 | 91.3 | 30.4 | 6.7 | 0.0 | 0.9 | 12.8 | 22.6 | 47.2 | 42.3 | 2.0 | 56.8 | 7.0 | 4.3 | 12.2 | 1.2 | 2.6 | |
| 居住年数別 | 1年未満 | 15 | 73.3 | 20.0 | 26.7 | 13.3 | 0.0 | 0.0 | 6.7 | 20.0 | 33.3 | 20.0 | 26.7 | 0.0 | 0.0 | 13.3 | 6.7 | 0.0 | |
| | 2年未満 | 12 | 58.3 | 8.3 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 8.3 | 8.3 | 8.3 | 33.3 | 8.3 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 8.3 | 0.0 | 8.3 | |
| | 3年未満 | 18 | 66.7 | 11.1 | 38.9 | 5.6 | 0.0 | 11.1 | 5.6 | 27.8 | 55.6 | 27.8 | 22.2 | 0.0 | 5.6 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | |
| | 5年未満 | 29 | 82.8 | 3.4 | 13.8 | 0.0 | 0.0 | 17.2 | 0.0 | 20.7 | 34.5 | 20.7 | 24.1 | 0.0 | 3.4 | 17.2 | 0.0 | 0.0 | |
| | 10年未満 | 54 | 75.9 | 13.0 | 22.2 | 1.9 | 1.9 | 18.5 | 22.2 | 33.3 | 24.1 | 25.9 | 31.5 | 0.0 | 1.9 | 9.3 | 0.0 | 1.9 | |
| | 20年未満 | 117 | 82.9 | 12.0 | 27.4 | 3.4 | 0.9 | 14.5 | 11.1 | 32.5 | 35.9 | 9.4 | 30.8 | 0.9 | 5.1 | 7.7 | 1.7 | 0.0 | |
| | 30年未満 | 185 | 78.9 | 13.0 | 9.7 | 3.8 | 2.2 | 13.5 | 13.0 | 27.6 | 36.8 | 11.9 | 35.1 | 1.6 | 2.7 | 8.1 | 2.7 | 0.5 | |
| | 30年以上 | 838 | 91.1 | 22.8 | 12.2 | 0.7 | 0.8 | 16.7 | 16.2 | 41.2 | 37.8 | 7.9 | 51.3 | 4.1 | 4.4 | 11.8 | 1.0 | 1.2 | |
| 職業別 | 自営業 | 103 | 91.3 | 12.6 | 10.7 | 0.0 | 1.0 | 13.6 | 10.7 | 35.9 | 28.2 | 12.6 | 40.8 | 2.9 | 4.9 | 7.8 | 1.9 | 1.0 | |
| | 自由業 | 11 | 81.8 | 9.1 | 54.5 | 0.0 | 0.0 | 18.2 | 9.1 | 45.5 | 27.3 | 9.1 | 9.1 | 0.0 | 9.1 | 18.2 | 0.0 | 0.0 | |
| | 会社員 | 338 | 81.4 | 10.9 | 19.8 | 2.7 | 1.8 | 13.3 | 11.5 | 27.8 | 32.0 | 15.1 | 32.2 | 0.3 | 0.9 | 8.6 | 1.2 | 0.6 | |
| | 公務員・教員 | 41 | 95.1 | 24.4 | 39.0 | 4.9 | 0.0 | 17.1 | 9.8 | 56.1 | 29.3 | 4.9 | 34.1 | 2.4 | 4.9 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | |
| | 農・林・漁業 | 4 | 75.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 0.0 | 75.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 主婦・主夫（パートなど） | 166 | 91.0 | 19.9 | 12.0 | 0.6 | 0.6 | 22.3 | 10.2 | 27.1 | 33.7 | 12.0 | 47.0 | 2.4 | 2.4 | 10.8 | 1.8 | 0.6 | |
| | 主婦・主夫（専業） | 233 | 88.4 | 24.0 | 10.7 | 0.4 | 0.0 | 16.7 | 20.2 | 42.5 | 41.6 | 9.0 | 54.9 | 4.3 | 8.6 | 14.6 | 0.9 | 1.3 | |
| | 学生 | 21 | 47.6 | 4.8 | 14.3 | 28.6 | 0.0 | 4.8 | 0.0 | 14.3 | 42.9 | 19.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 23.8 | 4.8 | 0.0 | |
| | 無職 | 298 | 89.6 | 26.5 | 8.7 | 0.3 | 1.3 | 15.4 | 21.5 | 48.7 | 45.6 | 3.7 | 55.0 | 5.7 | 4.4 | 9.7 | 1.0 | 2.0 | |
| | その他 | 53 | 88.7 | 22.6 | 15.1 | 1.9 | 1.9 | 15.1 | 9.4 | 24.5 | 34.0 | 9.4 | 37.7 | 3.8 | 5.7 | 22.6 | 1.9 | 0.0 | |
| 居住区別 | 行政区分 | 門司区 | 148 | 91.2 | 16.9 | 11.5 | 0.7 | 0.7 | 17.6 | 16.9 | 41.2 | 42.6 | 8.8 | 51.4 | 4.1 | 4.1 | 10.8 | 1.4 | 1.4 |
| | | 小倉北区 | 215 | 85.1 | 20.0 | 18.6 | 1.4 | 1.4 | 11.6 | 14.0 | 35.8 | 37.2 | 11.6 | 32.6 | 1.9 | 1.4 | 8.8 | 2.3 | 0.5 |
| | | 小倉南区 | 251 | 84.9 | 24.3 | 12.0 | 2.4 | 1.2 | 20.7 | 17.1 | 39.0 | 39.0 | 14.3 | 45.4 | 3.2 | 6.0 | 12.7 | 1.6 | 2.0 |
| | | 若松区 | 93 | 94.6 | 17.2 | 9.7 | 0.0 | 2.2 | 15.1 | 11.8 | 34.4 | 30.1 | 5.4 | 54.8 | 5.4 | 6.5 | 14.0 | 0.0 | 0.0 |
| | | 八幡東区 | 112 | 88.4 | 18.8 | 16.1 | 2.7 | 1.8 | 15.2 | 18.8 | 40.2 | 40.2 | 11.6 | 42.9 | 1.8 | 4.5 | 14.3 | 2.7 | 0.9 |
| | | 八幡西区 | 373 | 85.3 | 16.4 | 14.2 | 1.9 | 0.5 | 14.7 | 12.6 | 34.0 | 34.0 | 7.0 | 48.3 | 2.1 | 3.2 | 8.8 | 0.5 | 1.3 |
| | | 戸畑区 | 83 | 85.5 | 19.3 | 18.1 | 1.2 | 0.0 | 13.3 | 14.5 | 33.7 | 36.1 | 12.0 | 30.1 | 6.0 | 4.8 | 12.0 | 0.0 | 0.0 |
| | | 門司区 | 門司港地区 | 33 | 90.9 | 12.1 | 6.1 | 0.0 | 0.0 | 18.2 | 9.1 | 42.4 | 45.5 | 3.0 | 63.6 | 3.0 | 3.0 | 6.1 | 3.0 |
| 門司(大里)地区 | 87 | 89.7 | 17.2 | 13.8 | 1.1 | 0.0 | 17.2 | 18.4 | 37.9 | 39.1 | 11.5 | 42.5 | 2.3 | 5.7 | 11.5 | 1.1 | 2.3 | | |
| 門司(東部)地区 | 28 | 96.4 | 21.4 | 10.7 | 0.0 | 3.6 | 17.9 | 21.4 | 50.0 | 50.0 | 7.1 | 64.3 | 10.7 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | | |
| 小倉北区 | 小倉地区 | 45 | 86.7 | 8.9 | 24.4 | 2.2 | 0.0 | 17.8 | 11.1 | 24.4 | 33.3 | 20.0 | 24.4 | 2.2 | 2.2 | 8.9 | 2.2 | 0.0 | |
| | 小倉(東部)地区 | 84 | 83.3 | 22.6 | 17.9 | 0.0 | 2.4 | 6.0 | 13.1 | 39.3 | 42.9 | 6.0 | 34.5 | 1.2 | 2.4 | 10.7 | 2.4 | 1.2 | |
| | 小倉(西部)地区 | 86 | 86.0 | 23.3 | 16.3 | 2.3 | 1.2 | 14.0 | 16.3 | 38.4 | 33.7 | 12.8 | 34.9 | 2.3 | 0.0 | 7.0 | 2.3 | 0.0 | |
| 小倉南区 | 城野地区 | 50 | 86.0 | 18.0 | 10.0 | 6.0 | 0.0 | 28.0 | 24.0 | 48.0 | 40.0 | 24.0 | 42.0 | 2.0 | 2.0 | 20.0 | 2.0 | 0.0 | |
| | 曾根地区 | 116 | 85.3 | 26.7 | 12.1 | 0.9 | 0.9 | 22.4 | 17.2 | 34.5 | 43.1 | 11.2 | 53.4 | 3.4 | 6.0 | 15.5 | 2.6 | 3.4 | |
| | 徳力地区 | 85 | 83.5 | 24.7 | 12.9 | 2.4 | 2.4 | 14.1 | 12.9 | 40.0 | 32.9 | 12.9 | 36.5 | 3.5 | 8.2 | 4.7 | 0.0 | 1.2 | |
| 若松区 | 若松地区 | 37 | 94.6 | 18.9 | 8.1 | 0.0 | 0.0 | 13.5 | 16.2 | 40.5 | 37.8 | 5.4 | 56.8 | 2.7 | 8.1 | 18.9 | 0.0 | 0.0 | |
| | 二島地区 | 56 | 94.6 | 16.1 | 10.7 | 0.0 | 3.6 | 16.1 | 8.9 | 30.4 | 25.0 | 5.4 | 53.6 | 7.1 | 5.4 | 10.7 | 0.0 | 0.0 | |
| 八幡東区 | 八幡東(東部)地区 | 64 | 92.2 | 26.6 | 18.8 | 4.7 | 1.6 | 12.5 | 18.8 | 43.8 | 37.5 | 10.9 | 51.6 | 3.1 | 1.6 | 10.9 | 4.7 | 0.0 | |
| | 八幡東(西部)地区 | 48 | 83.3 | 8.3 | 12.5 | 0.0 | 2.1 | 18.8 | 18.8 | 35.4 | 43.8 | 12.5 | 31.3 | 0.0 | 8.3 | 18.8 | 0.0 | 2.1 | |
| 八幡西区 | 黒崎地区 | 107 | 82.2 | 15.9 | 17.8 | 3.7 | 1.9 | 15.9 | 15.9 | 41.1 | 38.3 | 8.4 | 37.4 | 3.7 | 4.7 | 9.3 | 0.0 | 0.9 | |
| | 折尾地区 | 110 | 88.2 | 12.7 | 16.4 | 2.7 | 0.0 | 14.5 | 10.9 | 30.9 | 32.7 | 4.5 | 53.6 | 2.7 | 2.7 | 9.1 | 0.0 | 0.0 | |
| | 上津役地区 | 108 | 83.3 | 17.6 | 12.0 | 0.0 | 0.0 | 14.8 | 13.0 | 34.3 | 33.3 | 11.1 | 47.2 | 0.9 | 0.9 | 8.3 | 1.9 | 3.7 | |
| 戸畑区 | 香月地区 | 48 | 89.6 | 22.9 | 6.3 | 0.0 | 0.0 | 12.5 | 8.3 | 25.0 | 29.2 | 0.0 | 62.5 | 0.0 | 6.3 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | |
| | 戸畑地区 | 83 | 85.5 | 19.3 | 18.1 | 1.2 | 0.0 | 13.3 | 14.5 | 33.7 | 36.1 | 12.0 | 30.1 | 6.0 | 4.8 | 12.0 | 0.0 | 0.0 | |

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

市が発信する情報の入手先

【全体的傾向】

北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報を、普段どこから入手しているかについて尋ねた。

その結果、「市政だより」(86.8%)が最も多く、次の「回覧板」(44.2%)との差は42.6ポイントと突出していた。以降、「テレビ・ラジオのニュース」(36.9%)、「新聞記事」(36.7%)と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「市政だより」が最も多く、女性(88.3%)が男性(84.9%)を上回った。総合2位の「回覧板」も女性(47.2%)が男性(40.3%)を上回った。総合3位の「テレビ・ラジオのニュース」は男性(37.5%)と女性(36.9%)の差が見られなかった。一方、「北九州市のホームページ」は男性(18.5%)が女性(11.3%)を上回った。
- ◇ 年齢別でも、全ての年齢層で総合1位の「市政だより」が最も多かった。20歳代(56.4%)で最も少なく、30歳代(80.7%)、40歳代(87.0%)、50歳代(88.5%)、60歳代(93.0%)と年齢層が高くなるにつれ増加したが、70歳以上(91.3%)では60歳代に比べ逆に減少した。総合2位の「回覧板」も20歳代(14.9%)で最も少なく、30歳代(25.0%)、40歳代(32.8%)、50歳代(41.0%)、60歳代(57.7%)と年齢層が高くなるにつれ増加したが、70歳以上(56.8%)では60歳代に比べ逆に減少した。総合3位の「テレビ・ラジオのニュース」は70歳以上(42.3%)で最も多く、次いで60歳代(40.6%)と続き、高年齢層で4割を上回った。「市政テレビ・ラジオ番組」も70歳以上(30.4%)で最も多く、次いで60歳代(23.2%)と続き、高年齢層で2割を上回った。「北九州市のホームページ」は30歳代(26.4%)で最も多く、次いで40歳代(23.7%)と続き、これらの年齢層で2割を上回った。一方、20歳代で最も多いのは、「雑誌、フリーペーパー」(23.4%)、「口コミ」(16.0%)、「ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッターなど)」(12.8%)となっており、年齢層で傾向が分かれた。
- ◇ 居住年数別でも、全ての居住年数層で総合1位の「市政だより」が最も多かった。中でも30年以上(91.1%)で最も多く、唯一9割を上回った。総合2位の「回覧板」も30年以上(51.3%)で最も多く、唯一5割を上回った。総合3位の「テレビ・ラジオのニュース」は3年未満(55.6%)で最も多く、唯一5割を上回った。「北九州市のホームページ」は3年未満(38.9%)で最も多く、唯一3割を上回った。「ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッターなど)」は1年未満(13.3%)で最も多く、唯一1割を上回った。
- ◇ 職業別でも、全ての職業層で総合1位の「市政だより」が最も多かった。中でも公務員・教員(95.1%)で最も多く、最も少ない学生(47.6%)以外の全ての職業層で8割を上回った。総合2位の「回覧板」は無職(55.0%)で最も多く、次いで主婦・主夫(専業)(54.9%)と続き、これらの職業層で5割を上回った。総合3位の「テレビ・ラジオのニュース」は無職(45.6%)で最も多く、次いで学生(42.9%)、主婦・主夫(専業)(41.6%)と続き、これらの職業層で4割を上回った。「北九州市のホームページ」は自由業(54.5%)で最も多く、唯一5割を上回り、次いで公務員・教員(39.0%)と続いた。「ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッターなど)」は学生(28.6%)以外の職業層では5%を下回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で総合1位の「市政だより」が最も多かった。中でも若松区(94.6%)で最も多く、次いで門司区(91.2%)と続き、これらの区で9割を上回った。

最も少ないのは小倉南区（84.9%）で、最も多い若松区との差は9.7ポイントと、区による大きな差は見られなかった。総合2位の「回覧版」は若松区（54.8%）で最も多く、次いで門司区（51.4%）と続き、これらの区で5割を上回った。総合3位の「テレビ・ラジオのニュース」は門司区（42.6%）で最も多く、次いで八幡東区（40.2%）と続き、これらの区で4割を上回った。「北九州市のホームページ」は小倉北区（18.6%）で最も多く、最も少ない若松区（9.7%）以外の全ての区で1割を上回った。「ポスター・パンフレット」は小倉南区（20.7%）で最も多く、唯一2割を上回った。

行政区を18地区に細分化して見ると、全ての地区で総合1位の「市政だより」が最も多かった。中でも門司（東部）地区（96.4%）で最も多く、次いで若松地区及び二島地区（各94.6%）、八幡東（東部）地区（92.2%）と続き、若松区は区内全体で割合が多い傾向が見られた。最も少ない黒崎地区（82.2%）を含む全ての地区で8割を上回った。総合2位の「回覧板」も門司（東部）地区（64.3%）で最も多く、次いで門司港地区（63.6%）、香月地区（62.5%）と続き、これらの地区で6割を上回った。総合3位の「テレビ・ラジオのニュース」も門司（東部）地区（50.0%）で最も多く、唯一5割を占めた。「北九州市のホームページ」は小倉地区（24.4%）で最も多く、唯一2割を上回った。「ポスター・パンフレット」は城野地区（28.0%）で最も多く、次いで曾根地区（22.4%）と続き、これらの地区で2割を上回った。「出前講演」は門司（東部）地区（10.7%）で最も多く、唯一1割を上回った。

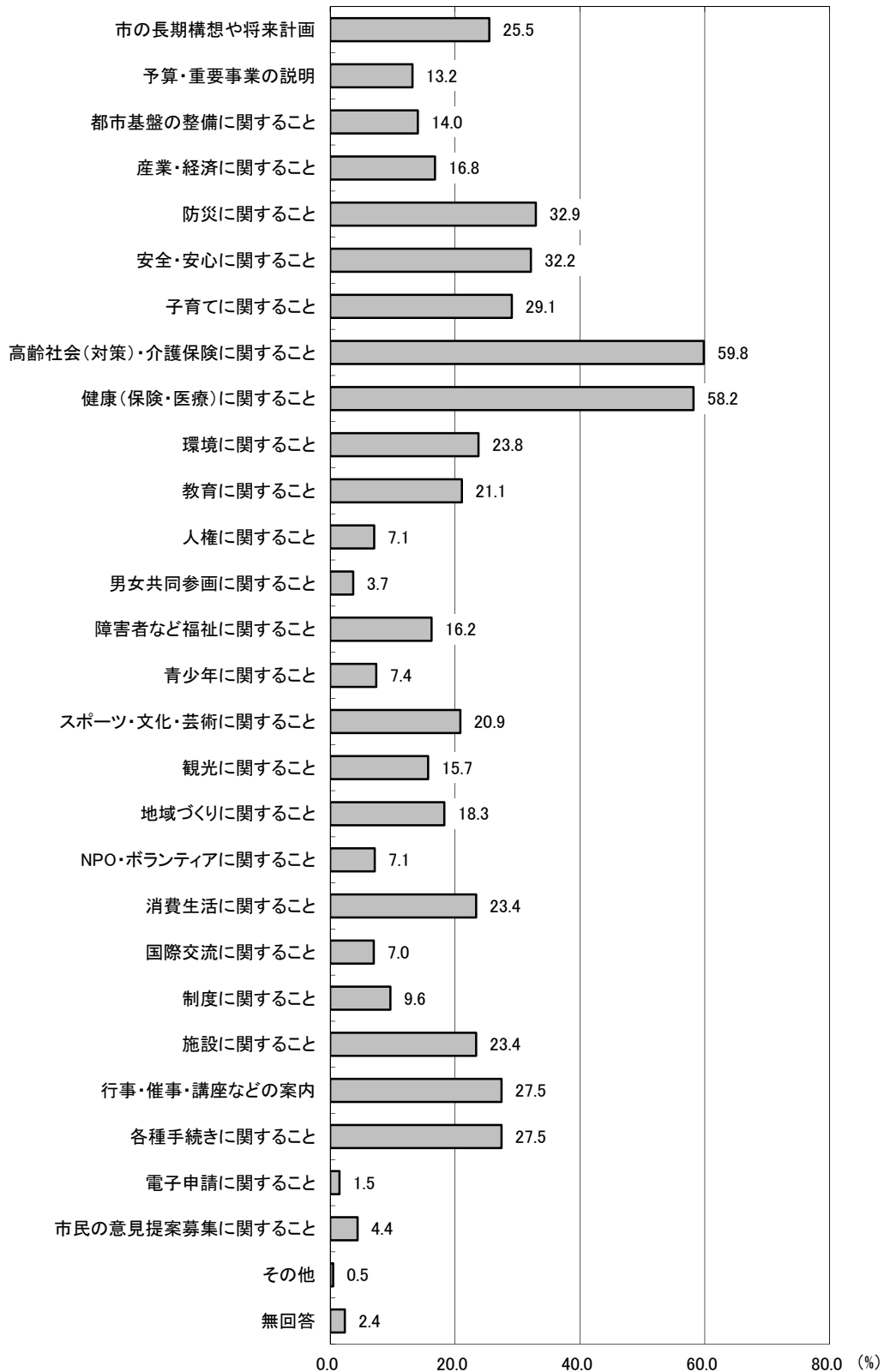
(5) 市が発信する情報のうち、興味のあるもの

問6 北九州市が発信する情報の中で、あなたにとって興味のある事項は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

N : 1,275 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|------------------------|---------|--------|
| 1 市の長期構想や将来計画 | 325 | 25.5 |
| 2 予算・重要事業の説明 | 168 | 13.2 |
| 3 都市基盤の整備に関すること | 179 | 14.0 |
| 4 産業・経済に関すること | 214 | 16.8 |
| 5 防災に関すること | 420 | 32.9 |
| 6 安全・安心に関すること | 410 | 32.2 |
| 7 子育てに関すること | 371 | 29.1 |
| 8 高齢社会 (対策)・介護保険に関すること | 763 | 59.8 |
| 9 健康 (保険・医療) に関すること | 742 | 58.2 |
| 10 環境に関すること | 303 | 23.8 |
| 11 教育に関すること | 269 | 21.1 |
| 12 人権に関すること | 90 | 7.1 |
| 13 男女共同参画に関すること | 47 | 3.7 |
| 14 障害者など福祉に関すること | 207 | 16.2 |
| 15 青少年に関すること | 94 | 7.4 |
| 16 スポーツ・文化・芸術に関すること | 266 | 20.9 |
| 17 観光に関すること | 200 | 15.7 |
| 18 地域づくりに関すること | 233 | 18.3 |
| 19 NPO・ボランティアに関すること | 91 | 7.1 |
| 20 消費生活に関すること | 298 | 23.4 |
| 21 国際交流に関すること | 89 | 7.0 |
| 22 制度に関すること | 123 | 9.6 |
| 23 施設に関すること | 298 | 23.4 |
| 24 行事・催事・講座などの案内 | 350 | 27.5 |
| 25 各種手続きに関すること | 350 | 27.5 |
| 26 電子申請に関すること | 19 | 1.5 |
| 27 市民の意見提案募集に関すること | 56 | 4.4 |
| 28 その他 | 6 | 0.5 |
| 無回答 | 30 | 2.4 |

- ◇ 北九州市が発信する情報の中で、興味のある事項は、
- 1位 「高齢社会（対策）・介護保険に関すること」（59.8%）
 - 2位 「健康（保険・医療）に関すること」（58.2%）
 - 3位 「防災に関すること」（32.9%）



市が発信する情報のうち、興味のあるもの

【全体的傾向】

北九州市が発信する情報の中で、興味のある事項について尋ねた。

その結果、「高齢社会（対策）・介護保険に関すること」（59.8%）が最も多く、次いで「健康（保険・医療）に関すること」（58.2%）と続き、これらは5割を上回った。以降、「防災に関すること」（32.9%）、「安全・安心に関すること」（32.2%）、「子育てに関すること」（29.1%）と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、総合1位の「高齢社会（対策）・介護保険に関すること」は女性（63.1%）が男性（55.3%）を上回った。総合2位の「健康（保険・医療）に関すること」は女性（63.3%）が男性（51.2%）を大きく上回った。総合3位の「防災に関すること」は男性（34.0%）が女性（32.3%）をわずかに上回った。「市の長期構想や将来計画」は男性（31.7%）が女性（20.9%）を大きく上回り、同様に「産業・経済に関すること」も男性（24.3%）が女性（11.7%）を大きく上回った。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「高齢社会（対策）・介護保険に関すること」は70歳以上（78.0%）で最も多く、次いで60歳代（72.1%）と続き、高年齢層で7割を上回った。最も少ないのは30歳代（26.4%）だった。同様に総合2位の「健康（保険・医療）に関すること」も70歳代（66.1%）で最も多く、次いで60歳代（63.8%）と続き、高年齢層で6割を上回った。最も少ない20歳代（43.6%）を含む全ての年齢層で唯一4割を上回った事項であり、年齢層を問わず興味があることが分かった。総合3位の「防災に関すること」は70歳以上（36.5%）で最も多く、20歳代（21.3%）で最も少なかった。総合4位の「安全・安心に関すること」は40歳代（36.2%）で最も多く、最も少ない30歳代（28.6%）との差は7.6ポイントと、年齢層による大きな差は見られなかった。一方、総合5位の「子育てに関すること」は30歳代（67.9%）で最も多く、次いで40歳代（49.7%）、20歳代（39.4%）と続き、若年層を中心に多かった。「教育に関すること」は40歳代（42.4%）で最も多く、唯一4割を上回った。「各種手続きに関すること」は50歳代（35.5%）で最も多く、次いで40歳代（35.0%）と続き、中年層で3割を上回った。また、30歳代では「スポーツ・文化・芸術に関すること」（30.0%）や「行事・催事・講座などの案内」（32.9%）が多かった。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「高齢社会（対策）・介護保険に関すること」は30年以上（65.3%）で最も多く、唯一6割を上回った。同様に総合2位の「健康（保険・医療）に関すること」も30年以上（62.2%）で最も多く、唯一6割を上回った。総合3位の「防災に関すること」は30年以上（35.7%）で最も多く、5年未満（24.1%）で最も少なかった。総合4位の「安全・安心に関すること」は1年未満（40.0%）で最も多く、唯一4割を占めた。総合5位の「子育てに関すること」は5年未満（62.1%）で最も多く、次いで2年未満（58.3%）、10年未満（57.4%）と続き、これらの居住年数層で5割を上回った。「行事・催事・講座などの案内」は2年未満（41.7%）で最も多く、次いで1年未満（40.0%）と続いた。
- ◇ 職業別では、総合1位の「高齢社会（対策）・介護保険に関すること」は無職（75.2%）で最も多く、次いで主婦・主夫（専業）（69.1%）、主婦・主夫（パート）（62.0%）、その他（60.4%）と続き、これらの職業層で6割を上回った。総合2位の「健康（保険・医療）に関すること」は主婦・主夫（専業）（69.1%）で最も多く、次いで主婦・主夫（パート）（65.1%）、無職（64.8%）と続き、これらの職業層で6割を上回った。総合3位の「防災に関すること」は無職（38.6%）

で最も多く、自由業（18.2%）で最も少なかった。総合4位の「安全・安心に関すること」は学生（42.9%）で最も多く、唯一4割を上回った。総合5位の「子育てに関すること」は公務員・教員（46.3%）で最も多く、唯一4割を上回った。

- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「高齢社会（対策）・介護保険に関すること」は若松区（67.7%）で最も多く、次いで門司区（64.9%）、小倉北区（63.3%）と続き、これらの区で6割を上回った。最も少ない戸畑区（53.0%）を含む全ての区で5割を上回った。総合2位の「健康（保険・医療）に関すること」は若松区（67.7%）で最も多く、次いで小倉南区（62.5%）と続き、これらの区で6割を上回った。最も少ない門司区（55.4%）を含む全ての区で5割を上回った。総合3位の「防災に関すること」は戸畑区（38.6%）で最も多く、最も少ない八幡東区（26.8%）以外の全ての区で3割を上回った。総合4位の「安全・安心に関すること」は小倉北区（38.6%）で最も多く、総合5位の「子育てに関すること」も小倉北区（34.9%）で最も多かった。

行政区を18地区に細分化して見ると、総合1位の「高齢社会（対策）・介護保険に関すること」は若松地区（73.0%）で最も多く、次いで門司（東部）地区（71.4%）と続き、これらの地区で7割を上回った。最も少ない黒崎地区（51.4%）を含む全ての地区で5割を上回った。総合2位の「健康（保険・医療）に関すること」も若松地区（78.4%）で最も多く、最も少ない小倉地区（42.2%）と、続く黒崎地区（46.7%）以外の全ての地区で5割を上回った。総合3位の「防災に関すること」は門司港地区（48.5%）で最も多く、次いで門司（東部）地区（42.9%）、小倉地区（40.0%）と続き、これらの地区で4割以上を占めた。総合4位の「安全・安心に関すること」は小倉地区（42.2%）で最も多く、総合5位の「子育てに関すること」も小倉地区（42.2%）で最も多かった。

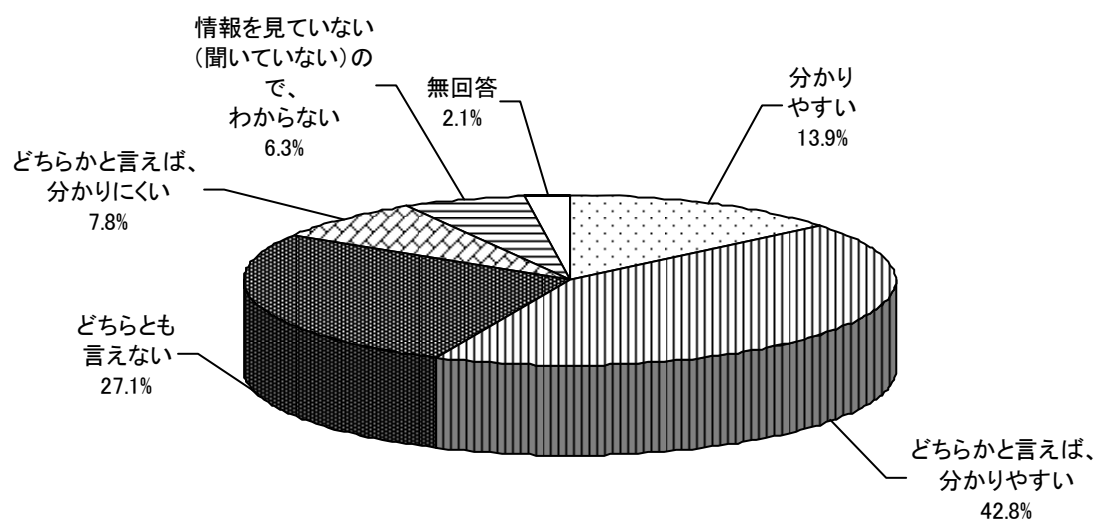
(6) 市が発信する情報の分かりやすさ

問7 あなたは、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報（市政だよりやパンフレット、インターネット、広報番組など）について分かりやすいと思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

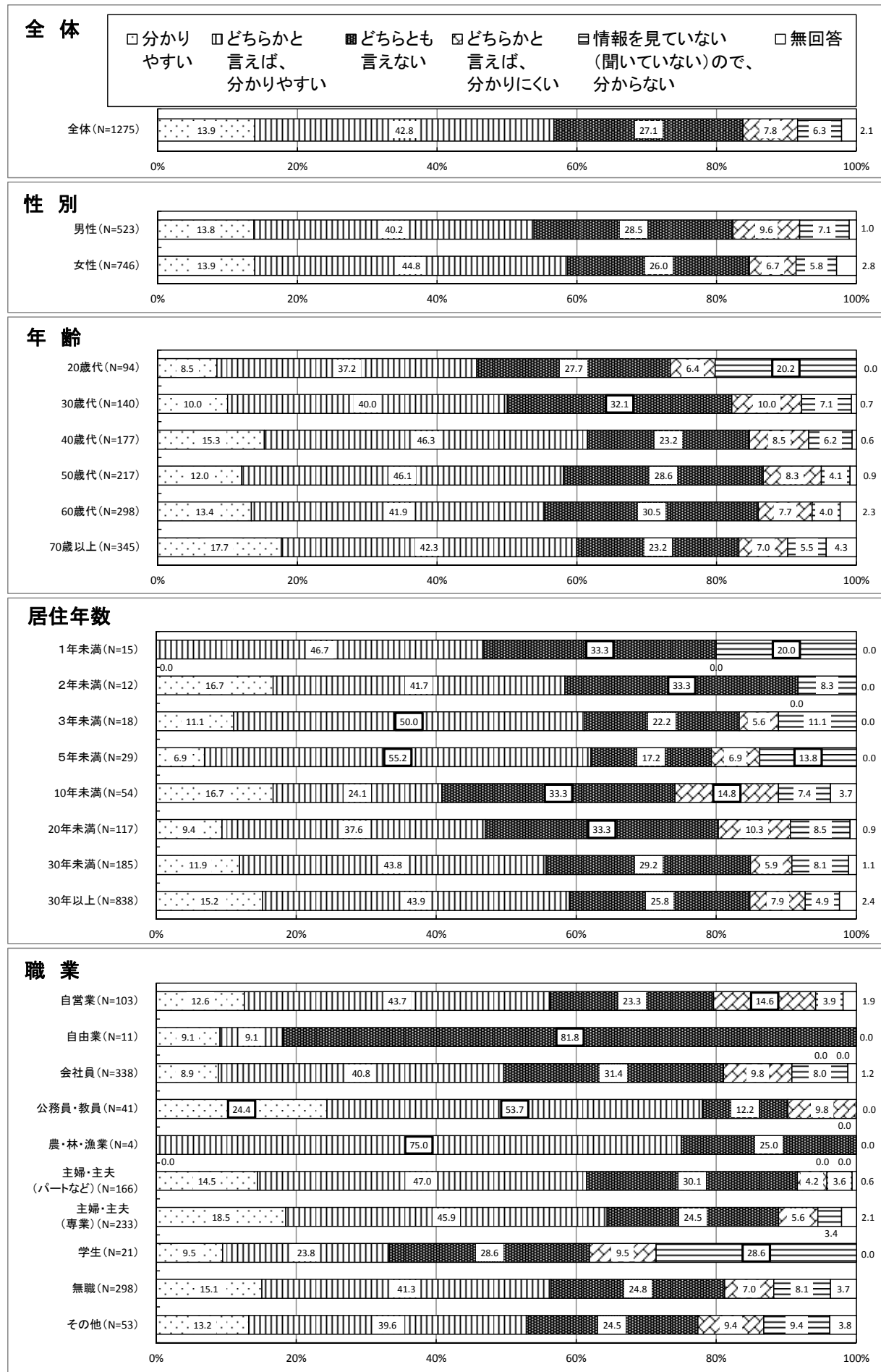
| 項目 | 回答数（人） | 割合（%） |
|----------------------------|--------|-------|
| 1 分かりやすい | 177 | 13.9 |
| 2 どちらかと言えば、分かりやすい | 546 | 42.8 |
| 3 どちらとも言えない | 345 | 27.1 |
| 4 どちらかと言えば、分かりにくい | 100 | 7.8 |
| 5 情報を見ていない（聞いていない）ので、分からない | 80 | 6.3 |
| 無回答 | 27 | 2.1 |

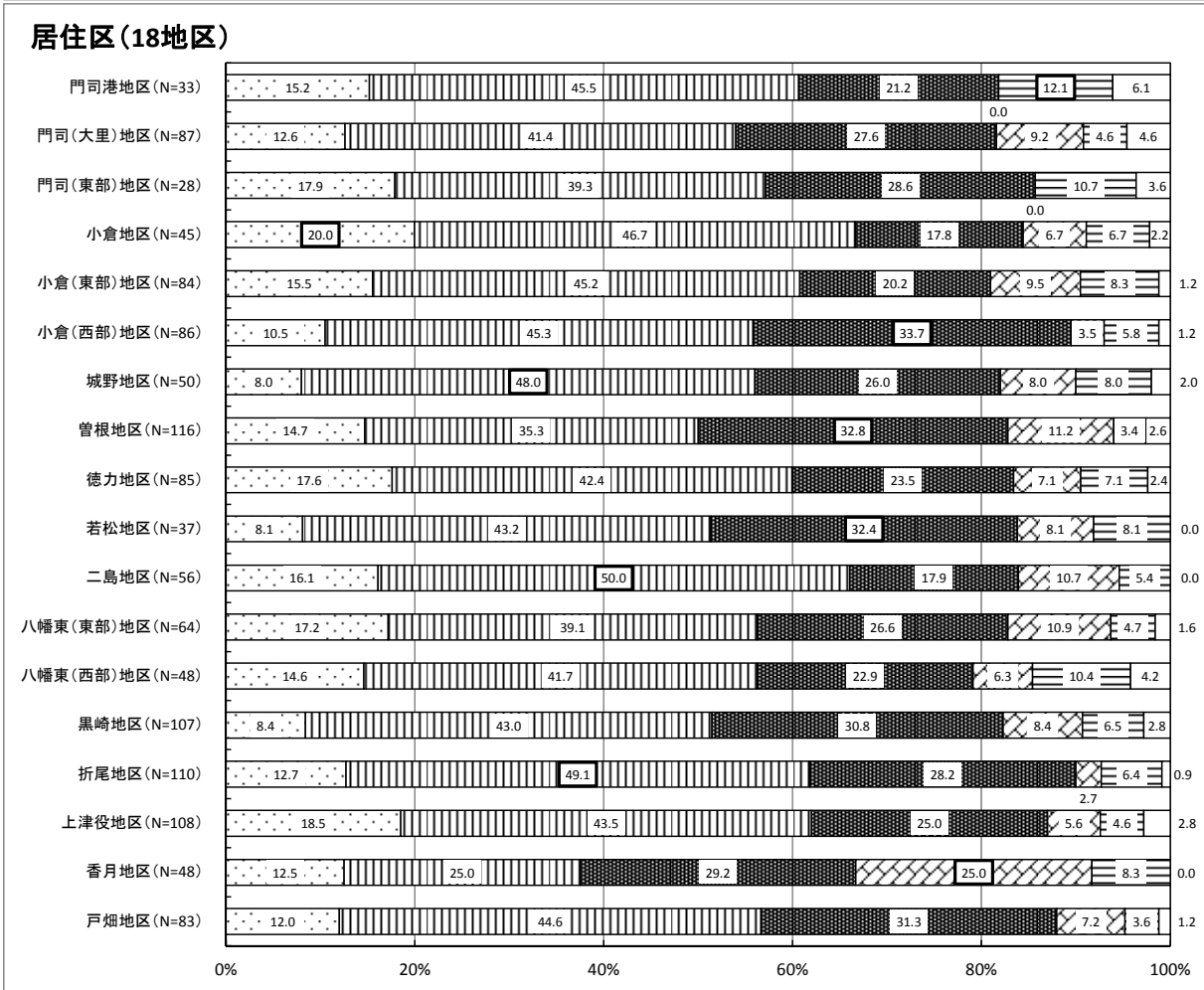
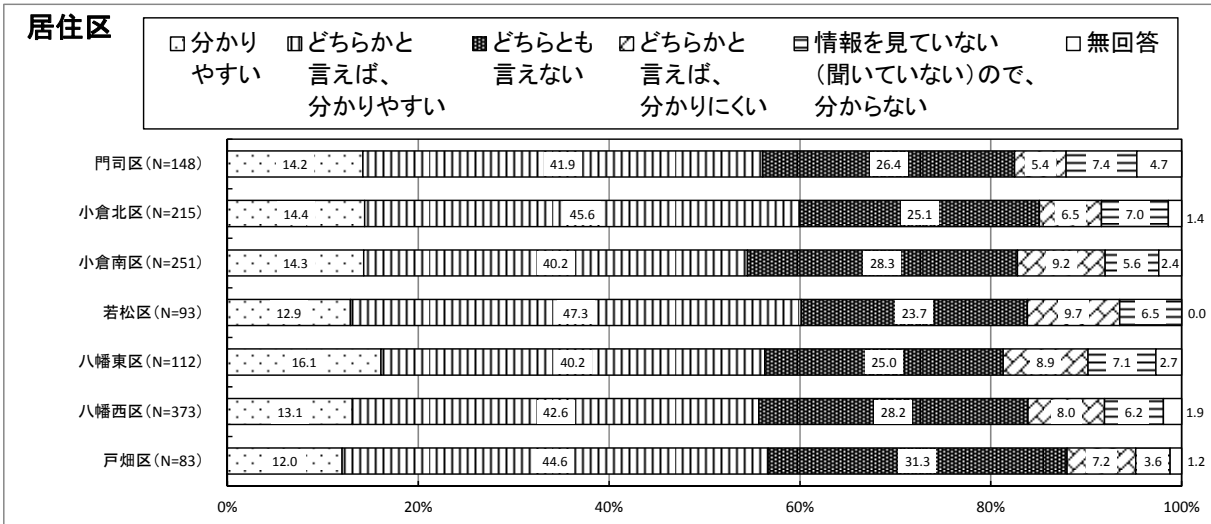
- ◇ 北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報は、
- 1位 「どちらかと言えば、分かりやすい」（42.8%）
 - 2位 「どちらとも言えない」（27.1%）
 - 3位 「分かりやすい」（13.9%）



分かりやすい
 どちらかと言えば、分かりやすい
 どちらとも言えない
 どちらかと言えば、分かりにくい
 情報を見ていない（聞いていない）ので、分からない
 無回答

問7 市が発信する情報の分かりやすさ





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

市が発信する情報の分かりやすさ

【全体的傾向】

北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報が分かりやすいと思うかについて尋ねた。

その結果、「どちらかと言えば、分かりやすい」(42.8%)が最も多く、次いで「どちらとも言

えない」(27.1%)、「分かりやすい」(13.9%)と続いた。「分かりやすい」(13.9%)と「どちらかと言えば、分かりやすい」(42.8%)を合わせた『分かりやすい』は56.7%で6割弱であった。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「どちらかと言えば、分かりやすい」が最も多く、女性(44.8%)が男性(40.2%)を上回った。同様に『分かりやすい』は女性(58.7%)が男性(54.0%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、全ての年齢層で「どちらかと言えば、分かりやすい」が最も多かった。最も多いのは40歳代(46.3%)で、最も低い20歳代(37.2%)との差は9.1ポイントと、年齢層による大きな差は見られなかった。『分かりやすい』は40歳代(61.6%)で最も多く、次いで70歳以上(60.0%)、50歳代(58.1%)、60歳代(55.3%)と続いた。一方、最も少ないのは20歳代(45.7%)で、次いで30歳代(50.0%)と続き、若年層で5割以下であった。なお、「情報を見ていない(聞いていない)ので、分からない」は20歳代(20.2%)で最も多く、唯一2割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、10年未満は「どちらとも言えない」が33.3%で最も多く、それ以外の全ての居住年数層は「どちらかと言えば、分かりやすい」が最も多かった。『分かりやすい』は5年未満(62.1%)で最も多く、次いで3年未満(61.1%)、30年以上(59.1%)、2年未満(58.4%)と続いた。一方、最も少ないのは10年未満(40.8%)で、次いで1年未満(46.7%)、20年未満(47.0%)と続き、これらの居住年数層は5割を下回った。なお、「情報を見ていない(聞いていない)ので、分からない」は1年未満(20.0%)で最も多く、次いで5年未満(13.8%)と続き、これらの居住年数層で1割を上回った。
- ◇ 職業別では、「どちらかと言えば、分かりやすい」が自由業(9.1%)及び学生(23.8%)以外の全ての職業層で最も多かった。中でも公務員・教員(53.7%)で最も多く、唯一5割を上回った。「どちらとも言えない」は自由業(81.8%)で最も多く、次の会社員(31.4%)との差は50.4ポイントと突出していた。『分かりやすい』は公務員・教員(78.1%)で最も多く、唯一7割を上回った。次いで主婦・主夫(専業)(64.4%)、主婦・主夫(パートなど)(61.5%)と続き、これらの職業層で6割を上回った。一方、最も少ないのは自由業(18.2%)で、次いで学生(33.3%)、会社員(49.7%)と続いた。なお、「情報を見ていない(聞いていない)ので、分からない」は学生(28.6%)で最も多く、唯一2割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で「どちらかと言えば、分かりやすい」が最も多かった。最も多い小倉北区(45.6%)と最も少ない小倉南区及び八幡東区(各40.2%)との差は5.4ポイントと、区による大きな差は見られなかった。『分かりやすい』は若松区(60.2%)で最も多く、最も少ない小倉南区(54.5%)との差は5.7ポイントと、区による大きな差は見られなかった。

行政区を18地区に細分化して見ると、香月地区では「どちらとも言えない」が29.2%で最も多く、これ以外の全ての地区では「どちらかと言えば、分かりやすい」が最も多かった。『分かりやすい』は小倉地区(66.7%)で最も多く、次いで二島地区(66.1%)、上津役地区(62.0%)、折尾地区(61.8%)、小倉(東部)地区及び門司港地区(各60.7%)と続き、これらの地区で6割を上回った。一方、最も少ないのは香月地区(37.5%)で、唯一4割を下回った。なお、「情報を見ていない(聞いていない)ので、分からない」は門司港地区(12.1%)で最も多く、唯一1割を上回った。

(7) 市が発信する情報の量

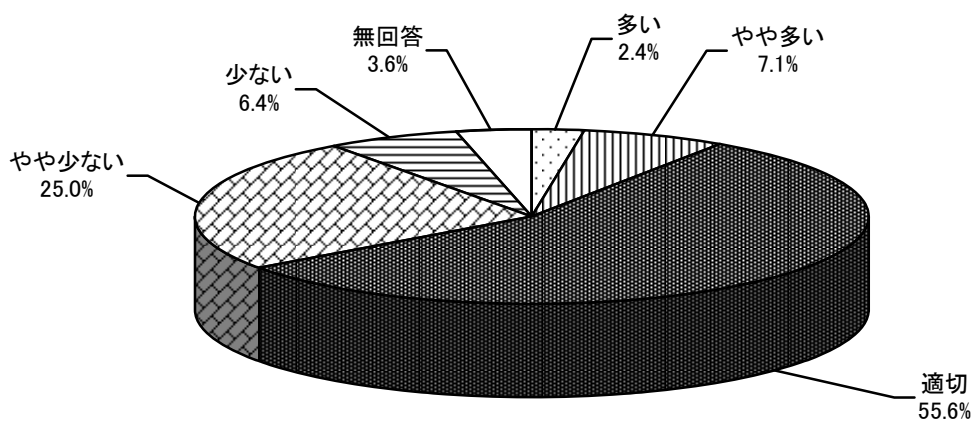
問8 あなたは、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報の量についてどのよう
にお考えですか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|---------|---------|--------|
| 1 多い | 30 | 2.4 |
| 2 やや多い | 90 | 7.1 |
| 3 適切 | 709 | 55.6 |
| 4 やや少ない | 319 | 25.0 |
| 5 少ない | 81 | 6.4 |
| 無回答 | 46 | 3.6 |

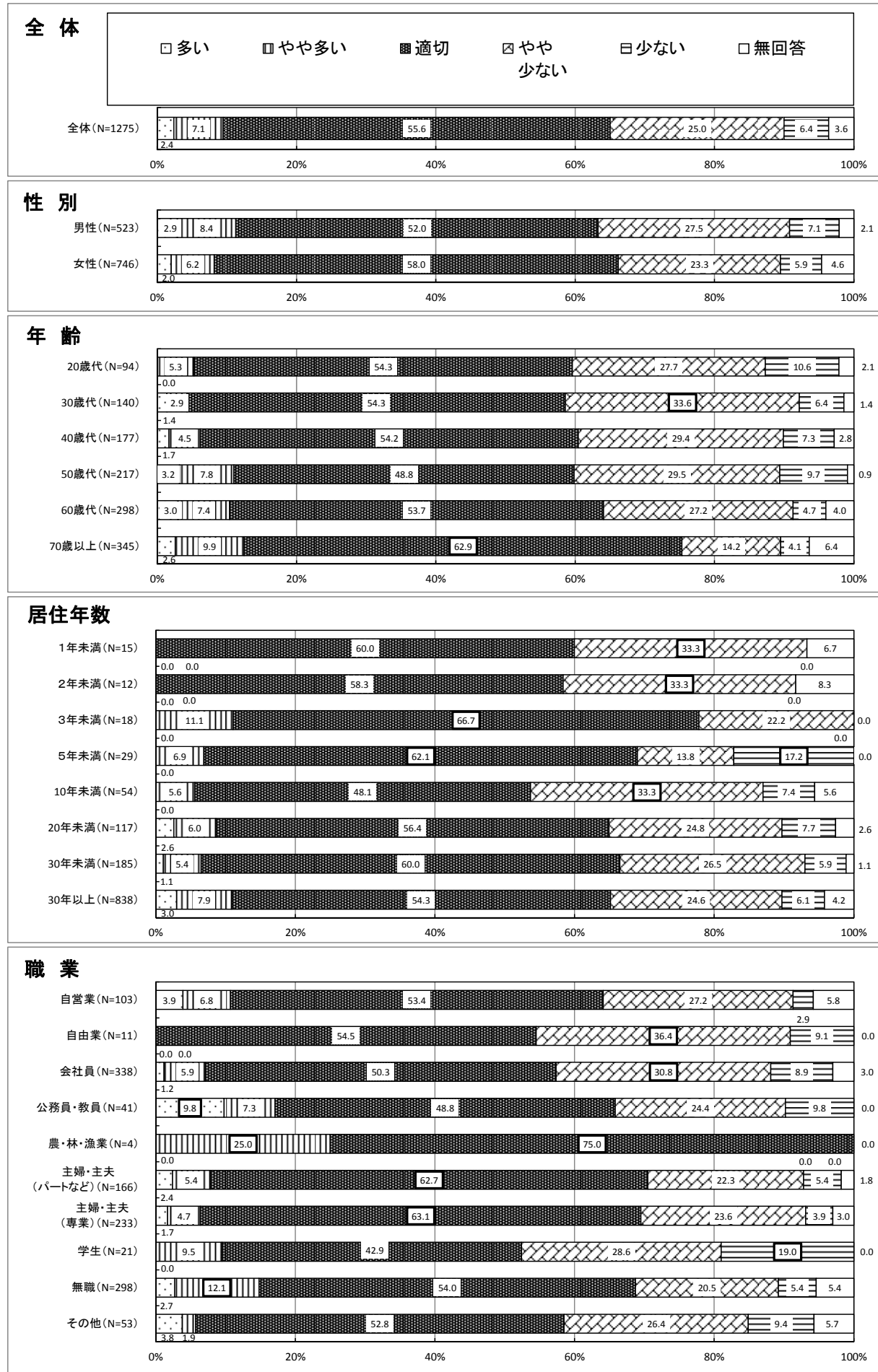
◇ 北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報の量は、

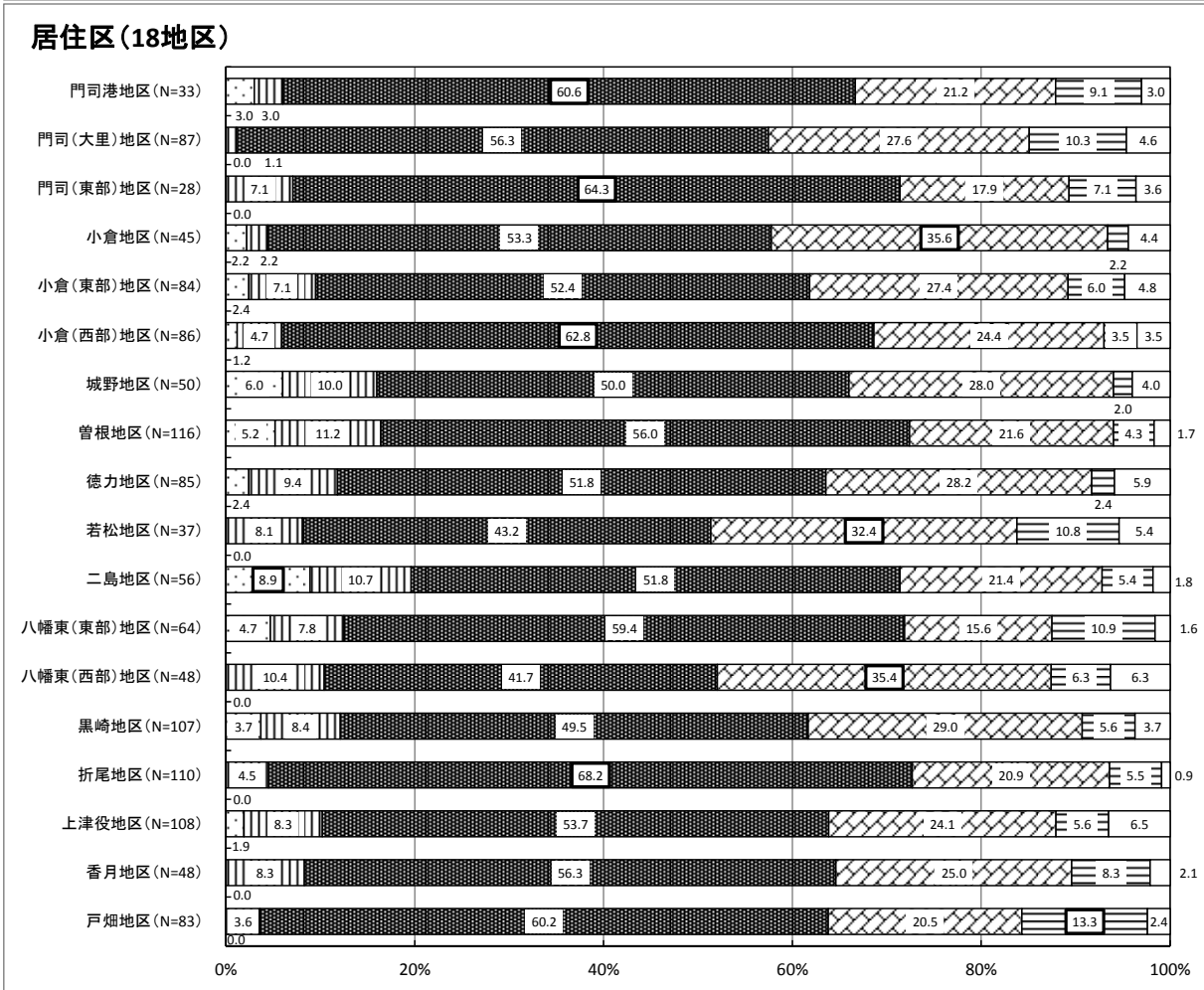
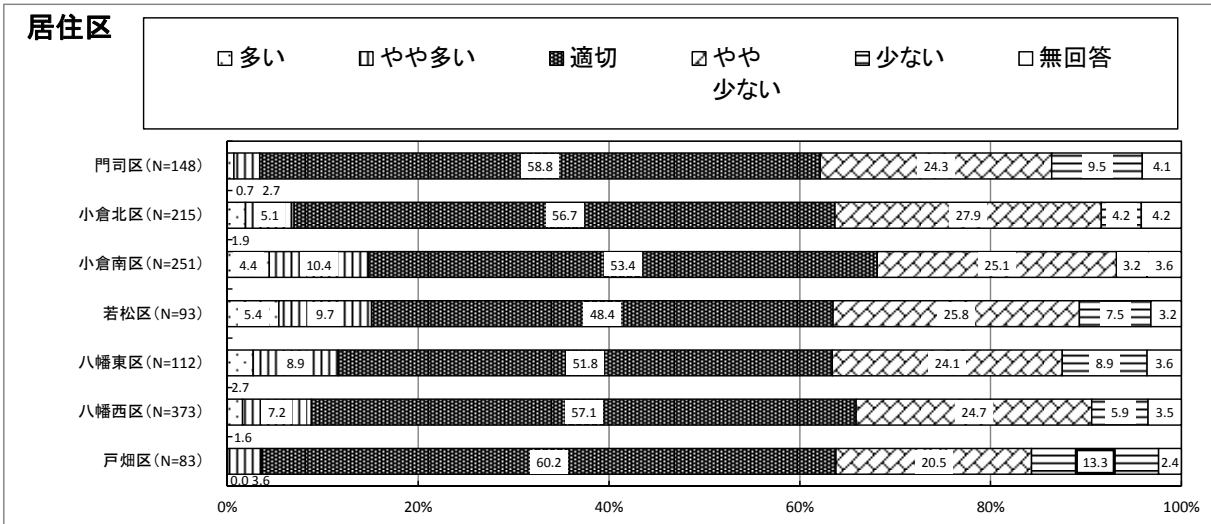
- 1位 「適切」(55.6%)
- 2位 「やや少ない」(25.0%)
- 3位 「やや多い」(7.1%)



多い
 やや多い
 適切
 やや少ない
 少ない
 無回答

問8 市が発信する情報の量





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

市が発信する情報の量

【全体的傾向】

市政やまちづくりに関する情報の量について尋ねた。

その結果、「適切」(55.6%)が最も多く、次いで「やや少ない」(25.0%)、「やや多い」(7.1%)と続いた。「多い」(2.4%)と「やや多い」(7.1%)を合わせた『多い』は9.5%で、「やや少ない」(25.0%)と「少ない」(6.4%)を合わせた『少ない』は31.4%であった。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「適切」が最も多く、女性(58.0%)が男性(52.0%)を上回った。『多い』は男性(11.3%)が女性(8.2%)を上回り、『少ない』も男性(34.6%)が女性(29.2%)を上回った。
- ◇ 年齢別でも、全ての年齢層で「適切」が最も多く、70歳以上(62.9%)で唯一6割を上回った。『多い』は70歳以上(12.5%)で最も多く、次いで50歳代(11.0%)、60歳代(10.4%)と続き、高年齢層を中心に1割を上回った。『少ない』は30歳代(40.0%)で最も多く、次いで50歳代(39.2%)、20歳代(38.3%)、40歳代(36.7%)、60歳代(31.9%)と続き、70歳以上(18.3%)以外の全ての年齢層で3割を上回った。
- ◇ 居住年数別でも、全ての居住年数層で「適切」が最も多かった。中でも3年未満(66.7%)で最も多く、次いで5年未満(62.1%)と続き、これらの居住年数層で6割を上回った。『多い』は3年未満(11.1%)で最も多く、次いで30年以上(10.9%)と続き、1年未満及び2年未満(各0.0%)の居住年数の短い層では回答した人がいなかった。『少ない』は10年未満(40.7%)で最も多く、唯一4割を上回った。一方、3年未満(22.2%)で最も少なく、唯一3割を下回った。
- ◇ 職業別でも、全ての職業で「適切」が最も多かった。中でも主婦・主夫(専業)(63.1%)で最も多く、次いで主婦・主夫(パートなど)(62.7%)と続き、これらの職業層で6割を上回った。一方、学生(42.9%)で最も少なく、次いで公務員・教員(48.8%)と続き、これらの職業層で5割を下回った。『多い』は公務員・教員(17.1%)で最も多く、次いで無職(14.8%)、自営業(10.7%)と続き、自由業(0.0%)では回答した人がいなかった。『少ない』は学生(47.6%)で最も多く、次いで自由業(45.5%)と続き、これらの職業層で4割を上回った。一方、無職(25.9%)で最も少なかった。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で「適切」が最も多かった。中でも戸畑区(60.2%)で最も多く、唯一6割を上回った。『多い』は若松区(15.1%)で最も多く、次いで小倉南区(14.8%)、八幡東区(11.6%)と続き、これらの区で1割を上回った。一方、『少ない』は門司区及び戸畑区(各33.8%)で最も多く、最も少ない小倉南区(28.3%)との差は5.5ポイントと、区による大きな差は見られなかった。

行政区を18地区に細分化して見ると、全ての地区で総合1位の「適切」が最も多かった。中でも折尾地区(68.2%)で最も多く、次いで、門司(東部)地区(64.3%)、小倉(西部)地区(62.8%)、門司港地区(60.6%)、戸畑地区(60.2%)と続き、これらの地区で6割を上回った。『多い』は最も多い二島地区(19.6%)を含む全ての地区で2割を下回った。『少ない』は若松地区(43.2%)で最も多く、次いで八幡東(西部)地区(41.7%)と続き、これらの地区で4割を上回った。

(8) 市の情報発信の方法について、改善が必要なもの

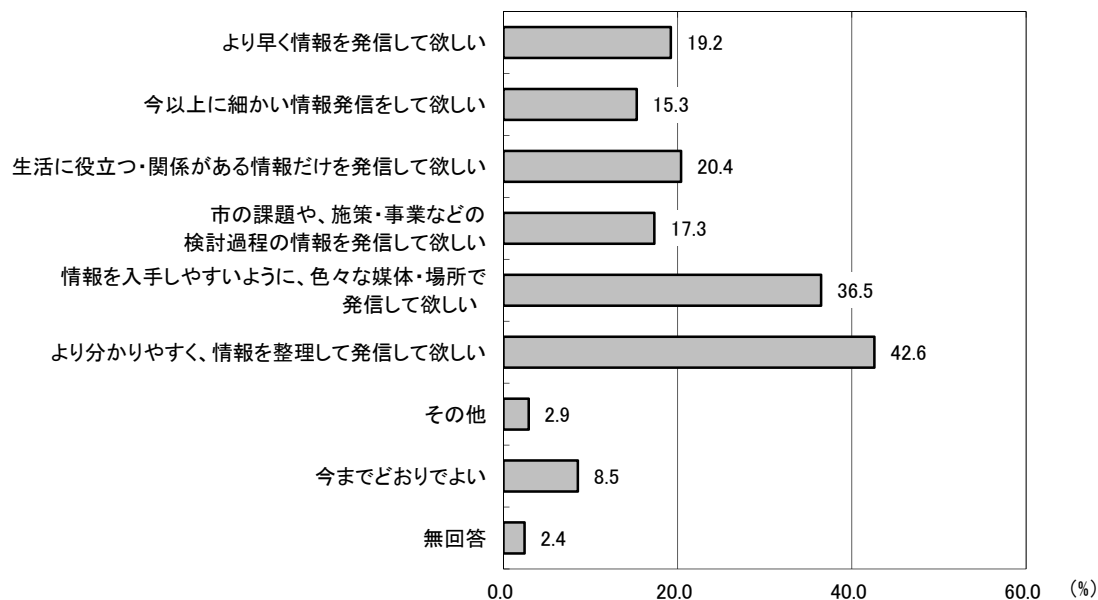
問9 あなたは、北九州市からの情報発信の方法について、どのような改善が必要だと思いますか。改善が必要と思われるものを次の中から2つまで選んでください。

N : 1,275 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|---------------------------------|---------|--------|
| 1 より早く情報を発信して欲しい | 245 | 19.2 |
| 2 今以上に細かい情報発信をして欲しい | 195 | 15.3 |
| 3 生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい | 260 | 20.4 |
| 4 市の課題や、施策・事業などの検討過程の情報を発信して欲しい | 221 | 17.3 |
| 5 情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい | 465 | 36.5 |
| 6 より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい | 543 | 42.6 |
| 7 その他 | 37 | 2.9 |
| 8 今までどおりでよい | 109 | 8.5 |
| 無回答 | 31 | 2.4 |

◇ 北九州市からの情報発信の方法について改善が必要と思うことは、

- 1位 「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」(42.6%)
- 2位 「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」(36.5%)
- 3位 「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」(20.4%)



問9 市の情報発信の方法について、改善が必要なもの

| | | サンプル数 | より早く情報を発信して欲しい | 今以上に細かい情報発信をして欲しい | て欲しい | 生活を役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい | 市の課題や、施策・事業などの検討過程の情報発信して欲しい | 情報を入力しやすいように、色々な媒体・場 | 所 | 欲しい | より分かりやすく、情報を整理して発信して | その他 | 今までもおりでよい | 無回答 |
|-------|--------------|-------|----------------|-------------------|-------------|--------------------------|------------------------------|----------------------|-------------|-------------|----------------------|-----|-----------|-----|
| 全体 | | 1,275 | 19.2 | 15.3 | 20.4 | 17.3 | 36.5 | 42.6 | 2.9 | 8.5 | 2.4 | | | |
| 性別 | 男性 | 523 | 19.7 | 18.5 | 20.7 | 21.2 | 36.1 | 42.6 | 3.4 | 5.7 | 1.7 | | | |
| | 女性 | 746 | 18.9 | 13.1 | 20.0 | 14.7 | 36.6 | 42.5 | 2.5 | 10.6 | 2.8 | | | |
| 年齢別 | 20歳代 | 94 | 19.1 | 10.6 | 20.2 | 13.8 | 43.6 | 40.4 | 6.4 | 8.5 | 0.0 | | | |
| | 30歳代 | 140 | 20.0 | 17.1 | 13.6 | 13.6 | 42.1 | 46.4 | 0.7 | 6.4 | 1.4 | | | |
| | 40歳代 | 177 | 19.8 | 18.6 | 18.6 | 13.0 | 39.5 | 40.7 | 2.3 | 8.5 | 0.6 | | | |
| | 50歳代 | 217 | 20.7 | 17.1 | 14.7 | 19.8 | 46.1 | 41.5 | 2.8 | 6.0 | 1.8 | | | |
| | 60歳代 | 298 | 19.1 | 14.8 | 21.5 | 20.8 | 38.9 | 37.9 | 3.7 | 10.1 | 2.0 | | | |
| | 70歳以上 | 345 | 17.7 | 13.6 | 26.4 | 17.7 | 22.6 | 47.2 | 2.6 | 9.9 | 4.9 | | | |
| | 居住年数別 | 1年未満 | 15 | 26.7 | 13.3 | 13.3 | 0.0 | 13.3 | 33.3 | 6.7 | 26.7 | 6.7 | | |
| 2年未満 | | 12 | 16.7 | 0.0 | 16.7 | 8.3 | 33.3 | 50.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | | | |
| 3年未満 | | 18 | 27.8 | 22.2 | 27.8 | 5.6 | 27.8 | 33.3 | 0.0 | 16.7 | 0.0 | | | |
| 5年未満 | | 29 | 17.2 | 13.8 | 27.6 | 10.3 | 48.3 | 34.5 | 0.0 | 6.9 | 0.0 | | | |
| 10年未満 | | 54 | 14.8 | 22.2 | 20.4 | 14.8 | 35.2 | 38.9 | 0.0 | 5.6 | 5.6 | | | |
| 20年未満 | | 117 | 20.5 | 12.8 | 17.1 | 16.2 | 44.4 | 43.6 | 3.4 | 6.8 | 1.7 | | | |
| 30年未満 | | 185 | 20.0 | 15.1 | 19.5 | 18.9 | 36.8 | 43.2 | 5.9 | 5.4 | 1.1 | | | |
| 30年以上 | | 838 | 19.0 | 15.5 | 20.4 | 18.4 | 35.8 | 43.1 | 2.4 | 9.1 | 2.6 | | | |
| 職業別 | 自営業 | 103 | 13.6 | 12.6 | 19.4 | 17.5 | 46.6 | 39.8 | 2.9 | 9.7 | 2.9 | | | |
| | 自由業 | 11 | 27.3 | 9.1 | 9.1 | 36.4 | 54.5 | 54.5 | 9.1 | 0.0 | 0.0 | | | |
| | 会社員 | 338 | 19.8 | 17.5 | 16.3 | 16.3 | 40.8 | 43.8 | 3.6 | 5.9 | 2.1 | | | |
| | 公務員・教員 | 41 | 17.1 | 19.5 | 17.1 | 29.3 | 31.7 | 34.1 | 7.3 | 12.2 | 0.0 | | | |
| | 農・林・漁業 | 4 | 25.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | | | |
| | 主婦・主夫(パートなど) | 166 | 18.7 | 16.9 | 20.5 | 18.1 | 39.2 | 39.8 | 0.0 | 7.8 | 1.2 | | | |
| | 主婦・主夫(専業) | 233 | 21.5 | 12.9 | 20.6 | 13.3 | 34.8 | 41.2 | 3.4 | 12.4 | 1.7 | | | |
| | 学生 | 21 | 28.6 | 9.5 | 19.0 | 14.3 | 52.4 | 38.1 | 0.0 | 9.5 | 0.0 | | | |
| | 無職 | 298 | 18.1 | 15.4 | 24.8 | 20.5 | 26.8 | 46.6 | 2.7 | 7.0 | 4.4 | | | |
| | その他 | 53 | 20.8 | 15.1 | 20.8 | 13.2 | 37.7 | 39.6 | 3.8 | 13.2 | 1.9 | | | |
| 居住区別 | 行政区分 | 門司区 | 148 | 21.6 | 18.2 | 18.2 | 14.9 | 33.1 | 41.9 | 1.4 | 9.5 | 4.7 | | |
| | | 小倉北区 | 215 | 15.8 | 16.3 | 19.1 | 17.7 | 41.9 | 35.3 | 3.3 | 11.2 | 1.4 | | |
| | | 小倉南区 | 251 | 16.7 | 12.4 | 23.9 | 15.9 | 36.3 | 42.6 | 2.0 | 8.4 | 2.8 | | |
| | | 若松区 | 93 | 21.5 | 17.2 | 21.5 | 17.2 | 43.0 | 33.3 | 4.3 | 10.8 | 1.1 | | |
| | | 八幡東区 | 112 | 15.2 | 14.3 | 20.5 | 17.9 | 38.4 | 44.6 | 3.6 | 7.1 | 2.7 | | |
| | | 八幡西区 | 373 | 21.4 | 15.5 | 20.9 | 17.2 | 33.0 | 49.6 | 3.8 | 6.2 | 2.4 | | |
| | | 戸畑区 | 83 | 24.1 | 14.5 | 13.3 | 25.3 | 34.9 | 38.6 | 1.2 | 10.8 | 1.2 | | |
| | | 門司港地区 | 33 | 18.2 | 21.2 | 24.2 | 15.2 | 33.3 | 45.5 | 0.0 | 12.1 | 0.0 | | |
| 門司区 | 門司(大里)地区 | 87 | 21.8 | 18.4 | 13.8 | 19.5 | 35.6 | 41.4 | 1.1 | 8.0 | 5.7 | | | |
| | 門司(東部)地区 | 28 | 25.0 | 14.3 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 39.3 | 3.6 | 10.7 | 7.1 | | | |
| | 小倉北区 | 小倉地区 | 45 | 13.3 | 15.6 | 13.3 | 22.2 | 51.1 | 31.1 | 2.2 | 11.1 | 2.2 | | |
| 小倉南区 | 小倉(東部)地区 | 84 | 21.4 | 15.5 | 19.0 | 17.9 | 41.7 | 38.1 | 4.8 | 9.5 | 2.4 | | | |
| | 小倉(西部)地区 | 86 | 11.6 | 17.4 | 22.1 | 15.1 | 37.2 | 34.9 | 2.3 | 12.8 | 0.0 | | | |
| | 城野地区 | 50 | 18.0 | 14.0 | 28.0 | 10.0 | 24.0 | 44.0 | 4.0 | 18.0 | 0.0 | | | |
| 若松区 | 曾根地区 | 116 | 18.1 | 8.6 | 25.9 | 19.0 | 36.2 | 44.8 | 2.6 | 6.0 | 1.7 | | | |
| | 徳力地区 | 85 | 14.1 | 16.5 | 18.8 | 15.3 | 43.5 | 38.8 | 0.0 | 5.9 | 5.9 | | | |
| | 若松地区 | 37 | 24.3 | 27.0 | 24.3 | 8.1 | 43.2 | 35.1 | 0.0 | 13.5 | 2.7 | | | |
| 八幡東区 | 二島地区 | 56 | 19.6 | 10.7 | 19.6 | 23.2 | 42.9 | 32.1 | 7.1 | 8.9 | 0.0 | | | |
| | 八幡東(東部)地区 | 64 | 10.9 | 15.6 | 18.8 | 15.6 | 39.1 | 45.3 | 6.3 | 9.4 | 1.6 | | | |
| | 八幡東(西部)地区 | 48 | 20.8 | 12.5 | 22.9 | 20.8 | 37.5 | 43.8 | 0.0 | 4.2 | 4.2 | | | |
| 八幡西区 | 黒崎地区 | 107 | 20.6 | 10.3 | 20.6 | 18.7 | 42.1 | 52.3 | 1.9 | 3.7 | 3.7 | | | |
| | 折尾地区 | 110 | 24.5 | 13.6 | 22.7 | 17.3 | 27.3 | 49.1 | 4.5 | 9.1 | 0.0 | | | |
| | 上津役地区 | 108 | 19.4 | 17.6 | 20.4 | 18.5 | 32.4 | 43.5 | 4.6 | 6.5 | 3.7 | | | |
| | 香月地区 | 48 | 20.8 | 27.1 | 18.8 | 10.4 | 27.1 | 58.3 | 4.2 | 4.2 | 2.1 | | | |
| 戸畑区 | 戸畑地区 | 83 | 24.1 | 14.5 | 13.3 | 25.3 | 34.9 | 38.6 | 1.2 | 10.8 | 1.2 | | | |

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

市の情報発信の方法について、改善が必要なもの

【全体的傾向】

北九州市からの情報発信の方法にどのような改善が必要だと思ふかについて尋ねた。

その結果、「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」(42.6%)が最も多く、次いで「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」(36.5%)、「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」(20.4%)、「より早く情報を発信して欲しい」(19.2%)と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」が最も多く、男性(42.6%)と女性(42.5%)で差は見られなかった。同様に総合2位の「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」も男性(36.1%)と女性(36.6%)で差は見られず、総合3位の「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」も男性(20.7%)と女性(20.0%)で差は見られなかった。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」は70歳以上(47.2%)で最も多く、最も少ない60歳代(37.9%)以外の全ての年齢層で4割を上回った。総合2位の「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」は50歳代(46.1%)で最も多く、次いで20歳代(43.6%)、30歳代(42.1%)と続いた。総合3位の「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」は70歳以上(26.4%)で最も多く、30歳代(13.6%)で最も少なかった。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」は2年未満(50.0%)で最も多く、唯一5割を占めた。総合2位の「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」は5年未満(48.3%)で最も多く、次いで20年未満(44.4%)と続き、これらの居住年数層で4割を上回った。総合3位の「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」は3年未満(27.8%)で最も多く、次いで5年未満(27.6%)と続いた。なお、「今までどおりでよい」は1年未満(26.7%)で最も多く、次いで2年未満(25.0%)、3年未満(16.7%)と続き、これら以外の各居住年数層では1割を下回った。
- ◇ 職業別では、総合1位の「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」は自由業(54.5%)で最も多く、唯一5割を上回った。総合2位の「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」は自由業(54.5%)で最も多く、次いで学生(52.4%)と続き、これらの職業層で5割を上回った。総合3位の「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」は無職(24.8%)で最も多く、自由業(9.1%)で最も少なかった。なお、「より早く情報を発信して欲しい」は学生(28.6%)で最も多く、次いで自由業(27.3%)、主婦・主夫(専業)(21.5%)と続き、これらの職業層で2割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」は八幡西区(49.6%)で最も多く、次いで八幡東区(44.6%)、小倉南区(42.6%)、門司区(41.9%)と続き、これらの区で4割を上回った。総合2位の「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」は若松区(43.0%)で最も多く、次いで小倉北区(41.9%)と続き、これらの区で4割を上回った。総合3位の「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」は小倉南区(23.9%)で最も多く、次いで若松区(21.5%)、八幡西区(20.9%)、八幡東区(20.5%)と続き、これらの区で2割を上回った。

行政区を18地区に細分化して見ると、総合1位の「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」は香月地区（58.3%）で最も多く、次いで黒崎地区（52.3%）と続き、これらの地区で5割を上回った。総合2位の「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」は小倉地区（51.1%）で最も多く、次いで徳力地区（43.5%）、若松地区（43.2%）、二島地区（42.9%）、黒崎地区（42.1%）、小倉（東部）地区（41.7%）と続き、これらの地区で4割を上回った。総合3位の「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」は城野地区（28.0%）で最も多く、次いで曾根地区（25.9%）と続いた。

(9) 市政への関心の度合い

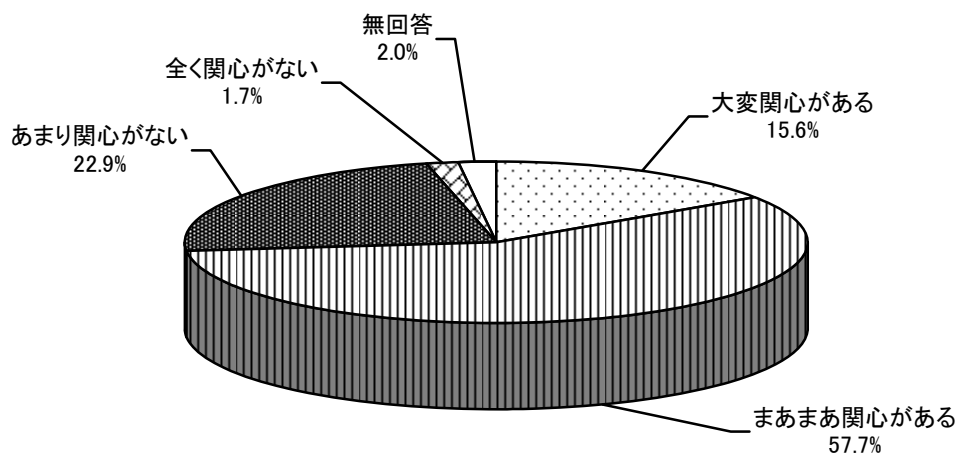
問10 あなたは、北九州市の市政に関心がありますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|-------------|---------|--------|
| 1 大変関心がある | 199 | 15.6 |
| 2 まあまあ関心がある | 736 | 57.7 |
| 3 あまり関心がない | 292 | 22.9 |
| 4 全く関心がない | 22 | 1.7 |
| 無回答 | 26 | 2.0 |

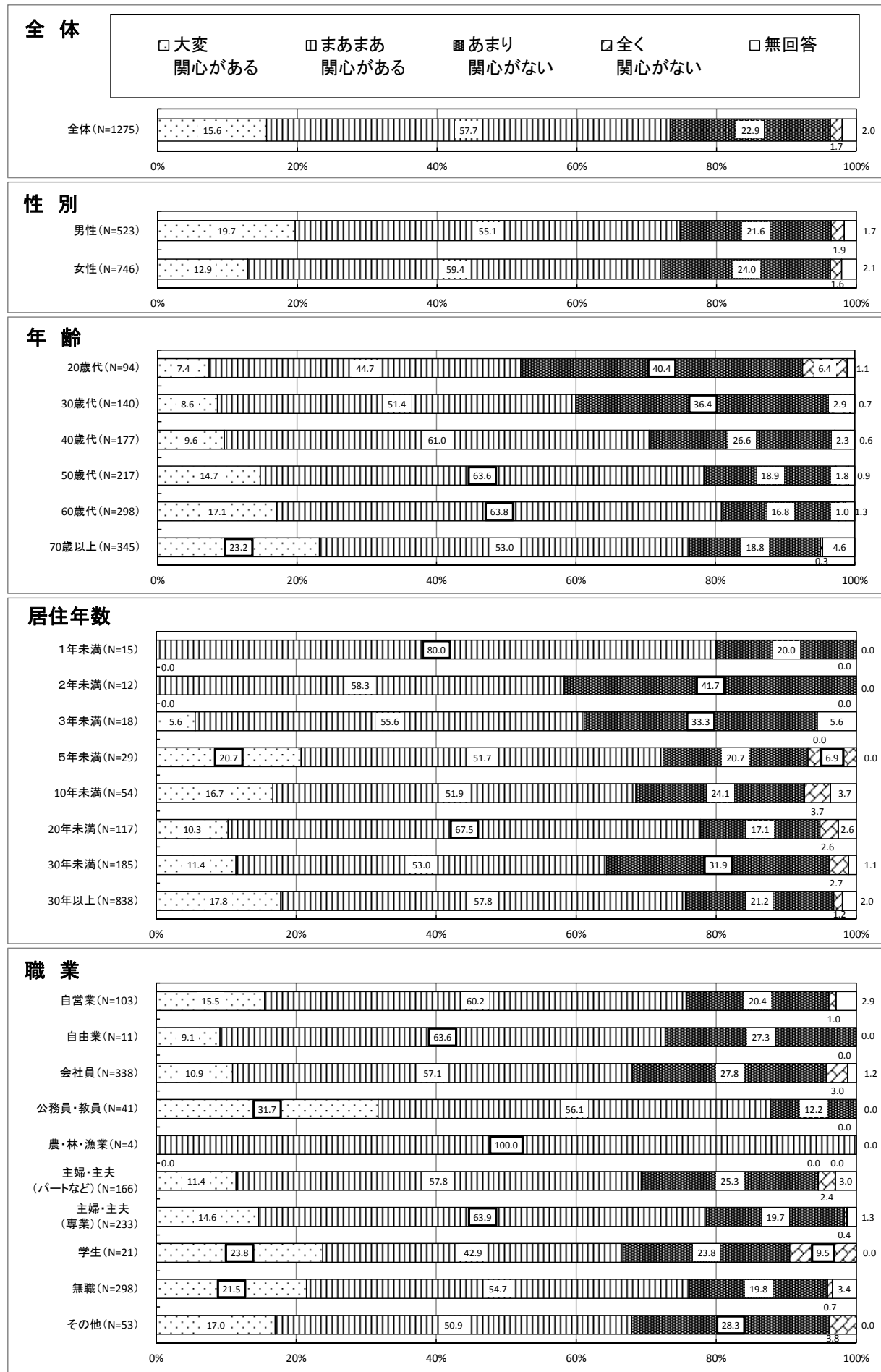
◇ 市政への関心は、

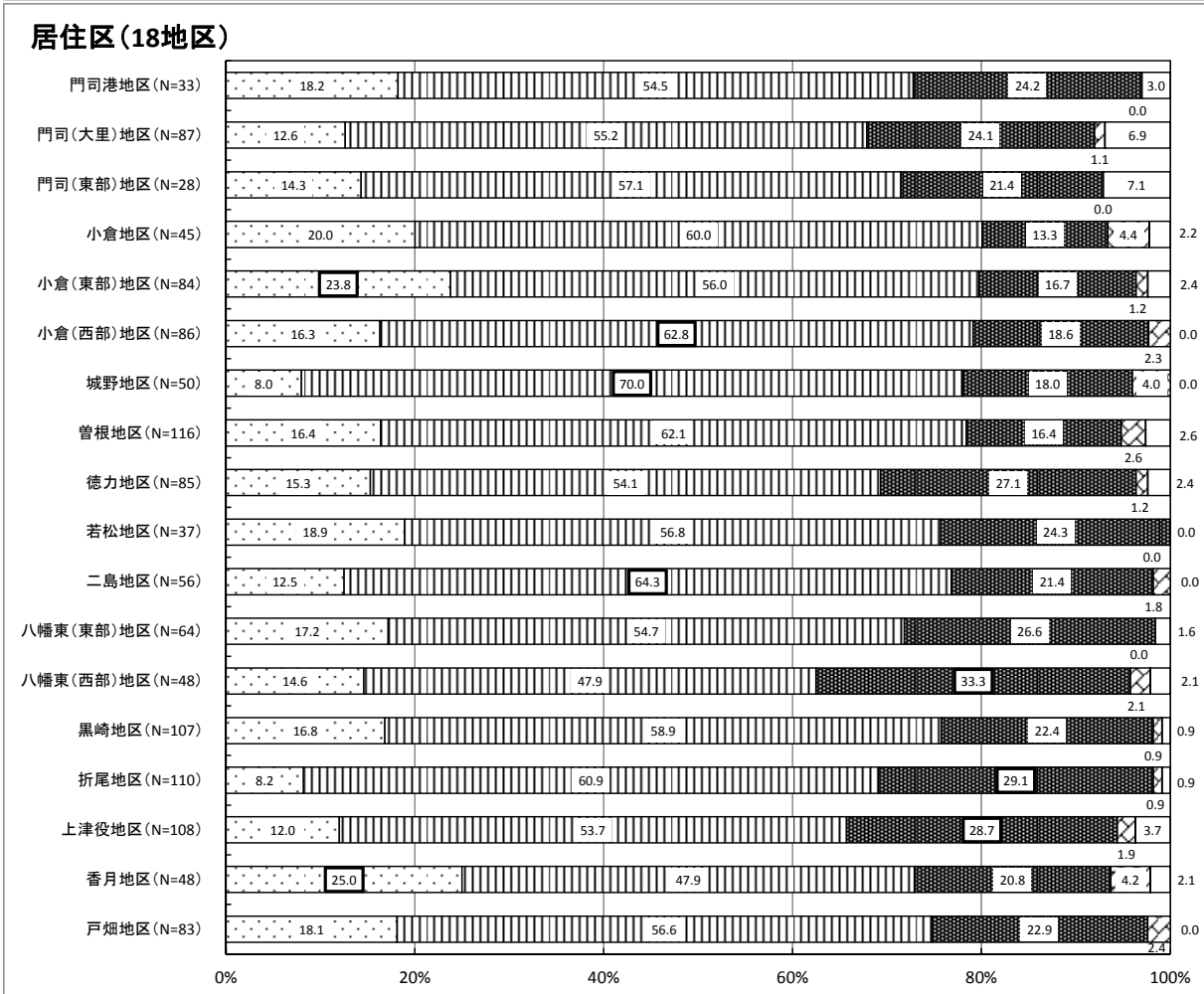
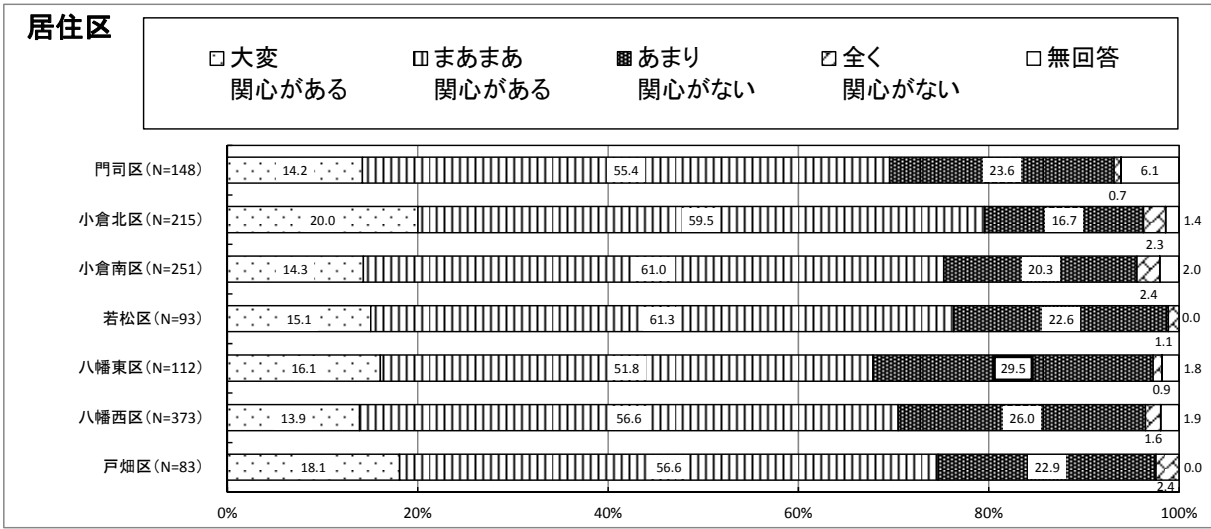
- 1位 「まあまあ関心がある」(57.7%)
- 2位 「あまり関心がない」(22.9%)
- 3位 「大変関心がある」(15.6%)



大変関心がある
 まあまあ関心がある
 あまり関心がない
 全く関心がない
 無回答

問 10 市政への関心の度合い





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

市政への関心の度合い

【全体的傾向】

北九州市の市政に関心があるかについて尋ねた。

その結果、「まあまあ関心がある」(57.7%)が最も多く、次いで「あまり関心がない」(22.9%)、「大変関心がある」(15.6%)と続いた。「大変関心がある」(15.6%)と「まあまあ関心がある」(57.7%)を合わせた『関心がある』は73.3%で、「あまり関心がない」(22.9%)と「全く関心がない」(1.7%)を合わせた『関心がない』は24.6%であった。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「まあまあ関心がある」が最も多く、女性(59.4%)が男性(55.1%)を上回った。『関心がある』は男性(74.8%)が女性(72.3%)をわずかに上回った。『関心がない』は女性(25.6%)が男性(23.5%)をわずかに上回った。
- ◇ 年齢別でも、全ての年齢層で「まあまあ関心がある」が最も多かった。20歳代(44.7%)で最も少なく、30歳代(51.4%)、40歳代(61.0%)、50歳代(63.6%)、60歳代(63.8%)と年齢層が高くなるにつれ増加したが、70歳以上(53.0%)では60歳代に比べ逆に減少した。同様に『関心がある』は20歳代(52.1%)で最も少なく、60歳代(80.9%)までは年齢層が高くなるにつれ増加し、全ての年齢層で5割を上回った。『関心がない』は20歳代(46.8%)で最も多く、唯一4割を上回った。
- ◇ 居住年数別でも、全ての居住年数層で「まあまあ関心がある」が最も多かった。中でも1年未満(80.0%)で最も多く、唯一8割を占めた。同様に『関心がある』も1年未満(80.0%)で最も多く、唯一8割を占めた。
- ◇ 職業別でも、全ての職業層で「まあまあ関心がある」が最も多かった。中でも「主婦・主夫(専業)」(63.9%)で最も多く、次いで自由業(63.6%)、自営業(60.2%)と続き、これらの職業層で6割を上回った。また、「大変関心がある」は公務員・教員(31.7%)で最も多く、「学生」(23.8%)、無職(21.5%)と続き、これらの職業層で2割を上回った。『関心がある』は公務員・教員(87.8%)で最も多く、最も少ない学生(66.7%)を含む全ての職業層で6割を上回った。『関心がない』は学生(33.3%)で最も多く、次いでその他(32.1%)、会社員(30.8%)と続き、これらの職業層で3割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で「まあまあ関心がある」が最も多かった。中でも若松区(61.3%)で最も多く、次いで小倉南区(61.0%)と続き、これらの区で6割を上回った。ただ、最も少ない八幡東区(51.8%)と最も多い若松区との差は9.5ポイントと、区による大きな差は見られなかった。「大変関心がある」は小倉北区(20.0%)で最も多く、唯一2割を占めた。『関心がある』は小倉北区(79.5%)で最も多く、最も低い八幡東区(67.9%)と、続く門司区(69.6%)以外の全ての区で7割を上回った。『関心がない』は八幡東区(30.4%)で最も多く、唯一3割を上回った。

行政区を18地区に細分化して見ると、全ての地区で「まあまあ関心がある」が最も多かった。中でも城野地区(70.0%)で最も多く、唯一7割を占めた。最も低い八幡東(西部)地区及び香月地区(各47.9%)以外の地区は5割を上回った。『関心がある』は小倉地区(80.0%)で最も多く、最も少ない八幡東(西部)地区(62.5%)を含む全ての地区で6割を上回った。

(10) 市民参画の機会

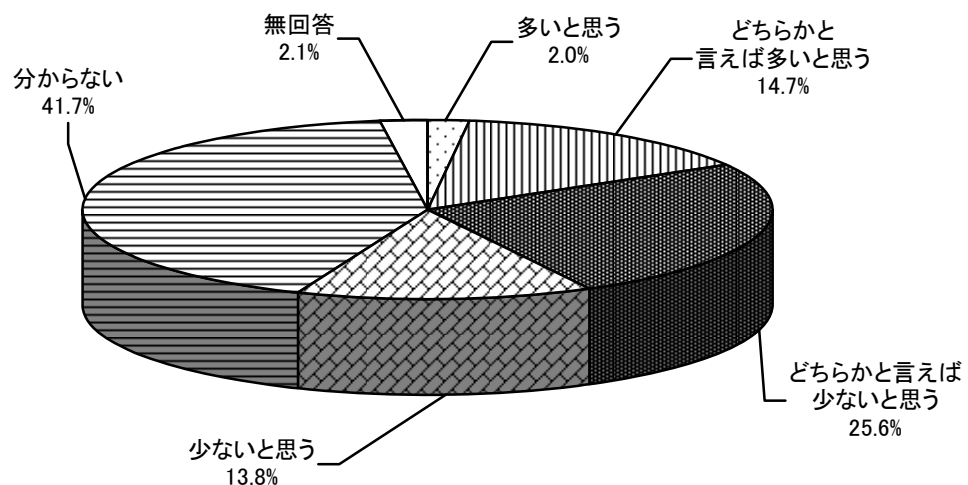
問 11 北九州市は市政に対して意見や提案をする（市民参画）の機会が多いと思いますか。
あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

| 項目 | 回答数（人） | 割合（％） |
|------------------|--------|-------|
| 1 多いと思う | 25 | 2.0 |
| 2 どちらかと言えば多いと思う | 188 | 14.7 |
| 3 どちらかと言えば少ないと思う | 327 | 25.6 |
| 4 少ないと思う | 176 | 13.8 |
| 5 分からない | 532 | 41.7 |
| 無回答 | 27 | 2.1 |

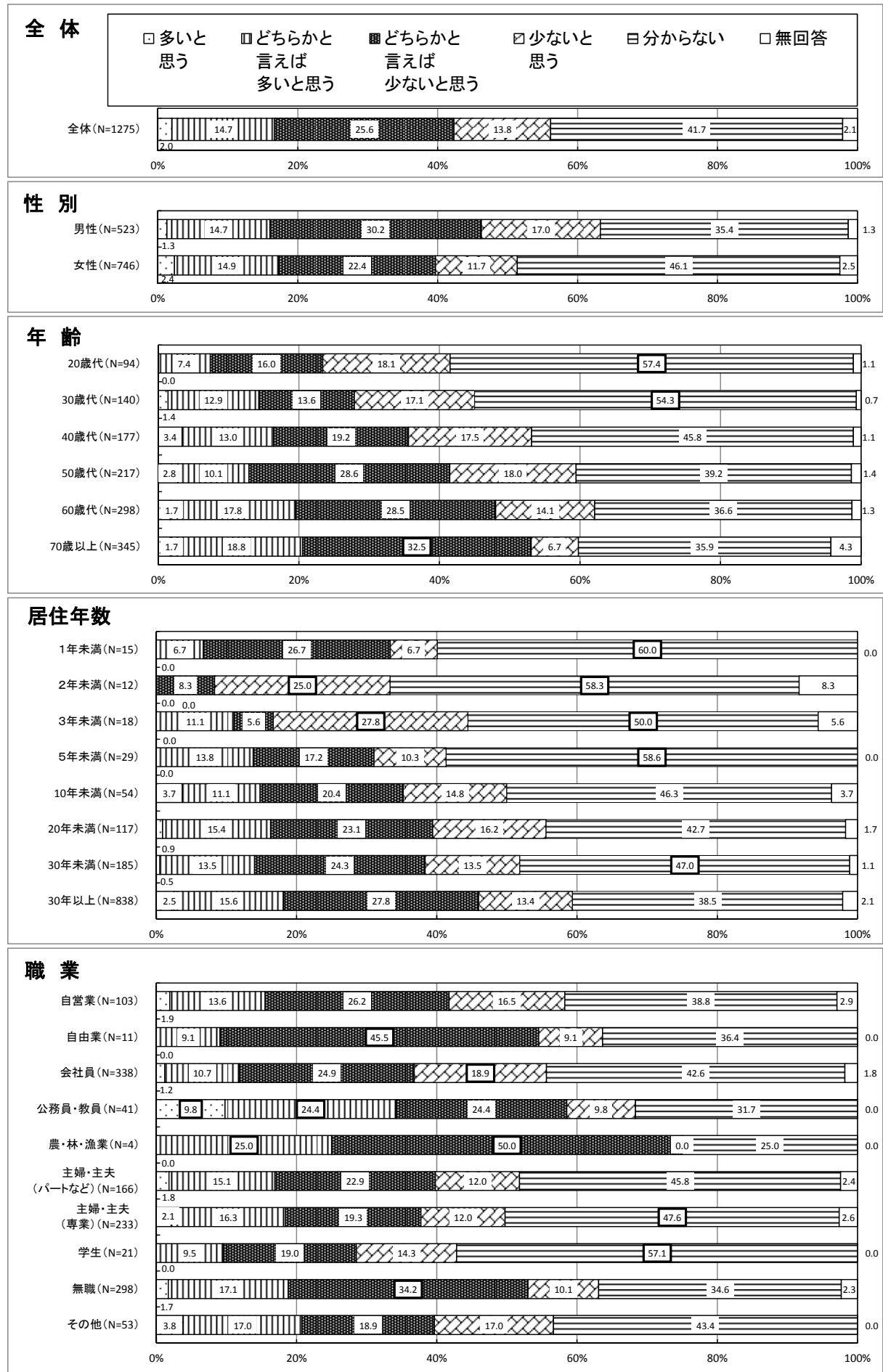
◇ 市政に対して意見や提案をする（市民参画）の機会が多いと思うかは、

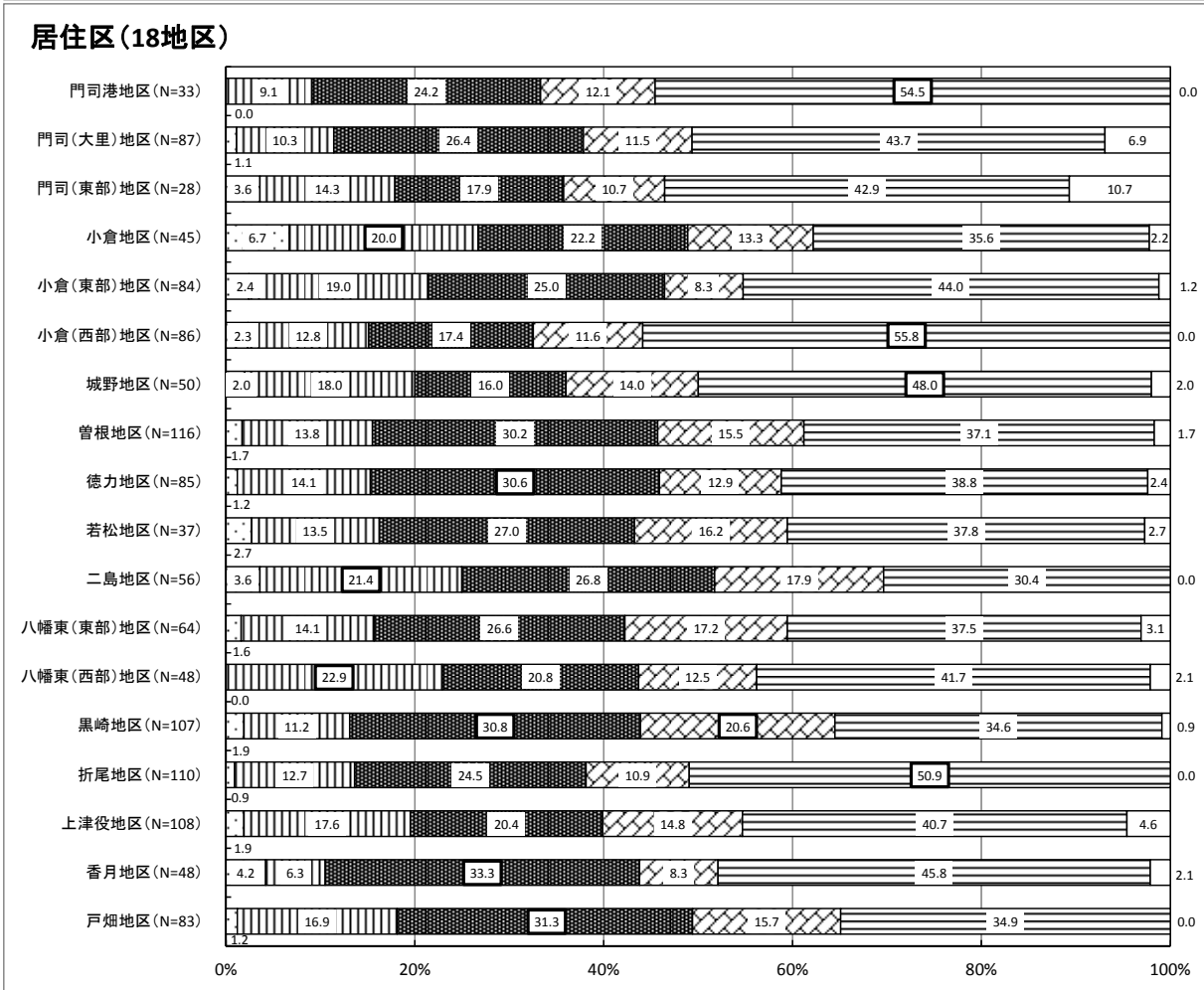
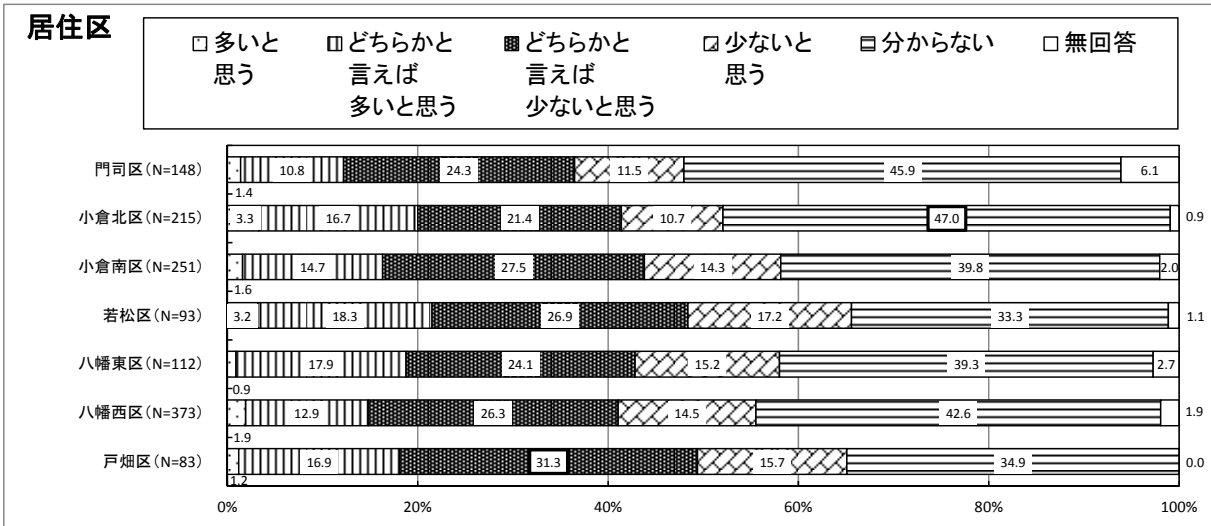
- 1位 「分からない」(41.7%)
- 2位 「どちらかと言えば少ないと思う」(25.6%)
- 3位 「どちらかと言えば多いと思う」(14.7%)



| | | | | | |
|---------|------------------------|-------------------------|----------|---------|-------|
| □ 多いと思う | ▣ どちらか 言えば 多いと思う | ■ どちらか 言えば 少ないと思う | □ 少ないと思う | ▤ 分からない | □ 無回答 |
|---------|------------------------|-------------------------|----------|---------|-------|

問 11 市民参画の機会





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

市民参画の機会

【全体的傾向】

北九州市は市民参画の機会が多いと思うかについて尋ねた。

その結果、「分からない」(41.7%)が最も多く、次いで「どちらかと言えば少ないと思う」(25.6%)、「どちらかと言えば多いと思う」(14.7%)と続いた。「多いと思う」(2.0%)と「どちらかと言えば多いと思う」(14.7%)を合わせた『多いと思う』は16.7%で、「どちらかと言えば少ないと思う」(25.6%)と「少ないと思う」(13.8%)を合わせた『少ないと思う』は39.4%であった。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「分からない」が最も多く、女性(46.1%)が男性(35.4%)を大きく上回った。『多いと思う』は女性(17.3%)が男性(16.0%)をわずかに上回り、『少ないと思う』は男性(47.2%)が女性(34.1%)を大きく上回った。
- ◇ 年齢別でも、全ての年齢層で「分からない」が最も多かった。中でも20歳代(57.4%)で最も多く、70歳以上(35.9%)で最も少なくなり、年齢層が高くなるにつれ、おおむね減少する傾向が見られた。『多いと思う』は20歳代(7.4%)で最も少なく、70歳以上(20.5%)で最も多くなり、年齢層が高くなるにつれ、おおむね増加する傾向が見られた。『少ないと思う』は50歳代(46.6%)で最も多く、次いで60歳代(42.6%)と続き、これらの年齢層で4割を上回った。
- ◇ 居住年数別でも、全ての居住年齢層で「分からない」が最も多かった。中でも1年未満(60.0%)で最も多く、次いで5年未満(58.6%)、2年未満(58.3%)、3年未満(50.0%)と続き、居住年数が比較的短い層で5割以上を占めた。『多いと思う』は30年以上(18.1%)で最も多かった。『少ないと思う』は30年以上(41.2%)で最も多く、最も少ない5年未満(27.5%)以外の全ての居住年数層で3割を上回った。
- ◇ 職業別では、自由業では「どちらかといえば少ないと思う」が45.5%で最も多く、これ以外の全ての職業層では「分からない」が最も多かった。中でも学生(57.1%)で最も多く、唯一5割を上回った。『多いと思う』は公務員・教員(34.2%)で最も多く、唯一3割を上回った。『少ないと思う』は自由業(54.6%)で最も多く、唯一5割を上回った。最も少ない主婦・主夫(専業)(31.3%)を含む全ての職業層で3割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で「分からない」が最も多かった。中でも小倉北区(47.0%)で最も多く、次いで門司区(45.9%)、八幡西区(42.6%)と続き、これらの区で4割を上回った。『多いと思う』は若松区(21.5%)で最も多く、最も少ない門司区(12.2%)との差は9.3ポイントと、区による大きな差は見られなかった。『少ないと思う』は戸畑区(47.0%)で最も多かった。

行政区を18地区に細分化して見ると、全ての地区で「分からない」が最も多かった。中でも小倉(西部)地区(55.8%)で最も多く、次いで門司港地区(54.5%)、折尾地区(50.9%)と続き、これらの地区で5割を上回った。『多いと思う』は小倉地区(26.7%)で最も多く、最も少ない門司港地区(9.1%)以外の全ての地区で1割を上回った。『少ないと思う』は黒崎地区(51.4%)で最も多く、唯一5割を上回った。

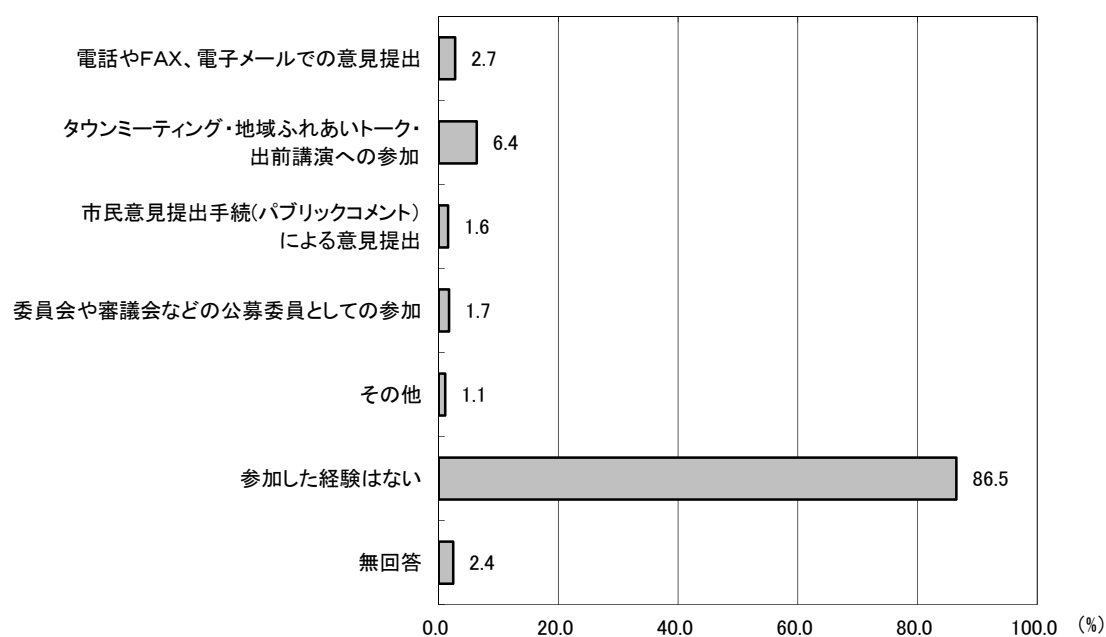
(11) 市民参画の経験の有無

問12 あなたは、これまでに市政に対して意見や提案をした経験がありますか。経験がある方は、1から5の中で、参加したことがあるものを全て選んでください。参加した経験がない方は、6を選んでください。

N : 1,275人

| 項目 | 回答数(人) | 割合(%) |
|--------------------------------|--------|-------|
| 1 電話やFAX、電子メールでの意見提出 | 35 | 2.7 |
| 2 タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加 | 81 | 6.4 |
| 3 市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出 | 20 | 1.6 |
| 4 委員会や審議会などの公募委員としての参加 | 22 | 1.7 |
| 5 その他 | 14 | 1.1 |
| 6 参加した経験はない | 1,103 | 86.5 |
| 無回答 | 31 | 2.4 |

- ◇ これまでに市政に対して意見や提案をした経験は、
- 1位 「参加した経験はない」(86.5%)
 - 2位 「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」(6.4%)
 - 3位 「電話やFAX、電子メールでの意見提出」(2.7%)



問 12 市民参画の経験の有無

| | | サンプル数 | 電話やFAX、電子メールでの意見提出 | 出前講演への参加 | タウンミーティング・地域ふれあいトーク・（パブリックコメント）による意見提出 | 市民意見提出手続 （パブリックコメント）による意見提出 | 委員会や審議会などの公募委員としての参加 | その他 | 参加した経験はない | 無回答 |
|----------|--------------|-------------|--------------------|-------------|--|--------------------------------|----------------------|--------------|-------------|-----|
| 全体 | | 1,275 | 2.7 | 6.4 | 1.6 | 1.7 | 1.1 | 86.5 | 2.4 | |
| 性別 | 男性 | 523 | 2.5 | 6.5 | 1.5 | 1.9 | 1.5 | 87.0 | 1.5 | |
| | 女性 | 746 | 2.9 | 6.2 | 1.6 | 1.6 | 0.8 | 86.3 | 2.9 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 94 | 6.4 | 3.2 | 3.2 | 1.1 | 0.0 | 90.4 | 1.1 | |
| | 30歳代 | 140 | 5.0 | 2.9 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 91.4 | 0.7 | |
| | 40歳代 | 177 | 3.4 | 4.5 | 1.7 | 0.6 | 1.7 | 90.4 | 0.0 | |
| | 50歳代 | 217 | 1.4 | 6.0 | 1.8 | 2.3 | 0.0 | 90.3 | 0.9 | |
| | 60歳代 | 298 | 2.3 | 7.7 | 1.3 | 1.3 | 1.0 | 85.9 | 1.3 | |
| | 70歳以上 | 345 | 1.7 | 8.4 | 1.4 | 2.9 | 2.0 | 80.0 | 6.4 | |
| 居住年数別 | 1年未満 | 15 | 0.0 | 0.0 | 6.7 | 0.0 | 0.0 | 93.3 | 0.0 | |
| | 2年未満 | 12 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 91.7 | 8.3 | |
| | 3年未満 | 18 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 94.4 | 5.6 | |
| | 5年未満 | 29 | 3.4 | 10.3 | 3.4 | 0.0 | 0.0 | 89.7 | 0.0 | |
| | 10年未満 | 54 | 7.4 | 1.9 | 0.0 | 1.9 | 0.0 | 88.9 | 3.7 | |
| | 20年未満 | 117 | 3.4 | 6.0 | 4.3 | 0.0 | 2.6 | 83.8 | 1.7 | |
| | 30年未満 | 185 | 3.2 | 4.9 | 1.1 | 1.1 | 0.5 | 89.7 | 2.2 | |
| | 30年以上 | 838 | 2.4 | 7.0 | 1.3 | 2.3 | 1.1 | 85.9 | 2.4 | |
| 職業別 | 自営業 | 103 | 3.9 | 6.8 | 0.0 | 3.9 | 1.0 | 83.5 | 3.9 | |
| | 自由業 | 11 | 0.0 | 18.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 81.8 | 0.0 | |
| | 会社員 | 338 | 2.4 | 3.8 | 1.5 | 1.2 | 0.3 | 92.6 | 0.6 | |
| | 公務員・教員 | 41 | 0.0 | 2.4 | 2.4 | 2.4 | 2.4 | 92.7 | 0.0 | |
| | 農・林・漁業 | 4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | |
| | 主婦・主夫（パートなど） | 166 | 3.6 | 7.2 | 2.4 | 1.8 | 0.0 | 86.7 | 1.8 | |
| | 主婦・主夫（専業） | 233 | 2.1 | 8.6 | 0.4 | 1.3 | 2.1 | 83.3 | 3.4 | |
| | 学生 | 21 | 14.3 | 4.8 | 4.8 | 0.0 | 0.0 | 85.7 | 0.0 | |
| | 無職 | 298 | 2.7 | 7.0 | 1.7 | 1.7 | 1.3 | 83.2 | 4.0 | |
| その他 | 53 | 1.9 | 5.7 | 5.7 | 3.8 | 3.8 | 83.0 | 1.9 | | |
| 居住区別 | 行政区分 | 門司区 | 148 | 2.0 | 3.4 | 1.4 | 2.0 | 0.7 | 88.5 | 5.4 |
| | | 小倉北区 | 215 | 1.9 | 5.6 | 2.3 | 1.4 | 0.9 | 87.0 | 3.3 |
| | | 小倉南区 | 251 | 2.4 | 8.0 | 1.6 | 1.2 | 1.2 | 84.9 | 2.8 |
| | | 若松区 | 93 | 1.1 | 4.3 | 2.2 | 3.2 | 1.1 | 89.2 | 1.1 |
| | | 八幡東区 | 112 | 2.7 | 5.4 | 1.8 | 2.7 | 2.7 | 87.5 | 1.8 |
| | | 八幡西区 | 373 | 3.5 | 7.2 | 1.3 | 1.3 | 1.1 | 86.1 | 1.6 |
| | | 戸畑区 | 83 | 6.0 | 8.4 | 0.0 | 2.4 | 0.0 | 84.3 | 0.0 |
| | | 居住区別（18地区別） | 門司区 | 門司港地区 | 33 | 0.0 | 3.0 | 3.0 | 0.0 | 3.0 |
| 門司（大里）地区 | 87 | | | 2.3 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 0.0 | 90.8 | 6.9 |
| 門司（東部）地区 | 28 | | | 3.6 | 14.3 | 3.6 | 7.1 | 0.0 | 78.6 | 3.6 |
| 小倉北区 | 小倉地区 | | 45 | 0.0 | 6.7 | 2.2 | 0.0 | 0.0 | 88.9 | 2.2 |
| | 小倉（東部）地区 | | 84 | 4.8 | 7.1 | 3.6 | 1.2 | 1.2 | 83.3 | 3.6 |
| | 小倉（西部）地区 | | 86 | 0.0 | 3.5 | 1.2 | 2.3 | 1.2 | 89.5 | 3.5 |
| 小倉南区 | 城野地区 | | 50 | 4.0 | 2.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 92.0 | 2.0 |
| | 曾根地区 | | 116 | 2.6 | 11.2 | 1.7 | 1.7 | 0.9 | 82.8 | 2.6 |
| 若松区 | 徳力地区 | | 85 | 1.2 | 7.1 | 1.2 | 1.2 | 2.4 | 83.5 | 3.5 |
| | 若松地区 | | 37 | 0.0 | 8.1 | 2.7 | 8.1 | 0.0 | 86.5 | 0.0 |
| 八幡東区 | 二島地区 | | 56 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 0.0 | 1.8 | 91.1 | 1.8 |
| | 八幡東（東部）地区 | | 64 | 4.7 | 4.7 | 1.6 | 4.7 | 0.0 | 85.9 | 3.1 |
| 八幡西区 | 八幡東（西部）地区 | | 48 | 0.0 | 6.3 | 2.1 | 0.0 | 6.3 | 89.6 | 0.0 |
| | 黒崎地区 | | 107 | 4.7 | 8.4 | 2.8 | 1.9 | 0.9 | 83.2 | 1.9 |
| | 折尾地区 | | 110 | 2.7 | 8.2 | 0.9 | 0.9 | 0.0 | 89.1 | 0.0 |
| | 上津役地区 | | 108 | 3.7 | 5.6 | 0.9 | 0.9 | 1.9 | 85.2 | 2.8 |
| 戸畑区 | 香月地区 | | 48 | 2.1 | 6.3 | 0.0 | 2.1 | 2.1 | 87.5 | 2.1 |
| | 戸畑地区 | | 83 | 6.0 | 8.4 | 0.0 | 2.4 | 0.0 | 84.3 | 0.0 |

（注）**太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの（「その他」、「無回答」は除く）

市民参画の経験の有無

【全体的傾向】

これまでに市政に対して意見や提案をした経験があるかを尋ね、参加経験がある人に、その参加方法について尋ねた。

その結果、「参加した経験はない」(86.5%)が9割弱を占めた。一方、「参加した経験はない」と「無回答」(2.4%)以外の『参加した経験がある』は11.1%で、その参加方法は、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」(6.4%)が最も多く、次いで「電話やFAX、電子メールでの意見提出」(2.7%)、「委員会や審議会などの公募委員としての参加」(1.7%)と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、「参加した経験はない」は男性(87.0%)と女性(86.3%)で差は見られなかった。参加方法について、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は男性(6.5%)と女性(6.2%)で差は見られなかった。
- ◇ 年齢別では、「参加した経験はない」は30歳代(91.4%)で最も多く、70歳以上(80.0%)で最も少なかった。『参加した経験がある』は70歳以上(13.6%)で最も多く、次いで60歳代(12.8%)と続き、これらの年齢層で1割を上回った。参加方法について、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は70歳以上(8.4%)で最も多かった。「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は20歳代(6.4%)で最も多く、次いで30歳代(5.0%)と続き、若年層では「電話やFAX、電子メールでの意見提出」による参加経験が最も多かった。
- ◇ 居住年数別では、「参加した経験はない」は3年未満(94.4%)で最も多く、20年未満(83.8%)で最も少なかった。『参加経験がある』は20年未満(14.5%)で最も多く、次いで30年以上(11.7%)、5年未満(10.3%)と続いた。参加方法について、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は5年未満(10.3%)で唯一1割を上回った。
- ◇ 職業別では、「参加した経験はない」は公務員・教員(92.7%)で最も多く、次いで会社員(92.6%)と続き、これらの職業層は9割を上回った。参加方法について、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は自由業(18.2%)で唯一1割を上回り、「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は学生(14.3%)で唯一1割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、「参加した経験はない」は若松区(89.2%)で最も多く、最も少ない戸畑区(84.3%)との差は4.9ポイントと、区による大きな差は見られなかった。参加方法について、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は戸畑区(8.4%)で最も多く、同様に「電話やFAX、電子メールでの意見提出」も戸畑区(6.0%)で最も多かった。
行政区を18地区に細分化して見ると、「参加した経験はない」は城野地区(92.0%)で最も多かった。最も少ないのは門司(東部)地区(78.6%)で、唯一8割を下回った。参加方法について、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は門司(東部)地区(14.3%)で最も多く、次いで曾根地区(11.2%)と続き、これらの地区で1割を上回った。「委員会や審議会などの公募委員としての参加」は若松地区(8.1%)で最も多く、次いで門司(東部)地区(7.1%)と続き、これらの地区で5%を上回った。

(12) 市民の意見等が市政に反映されていることへの満足感

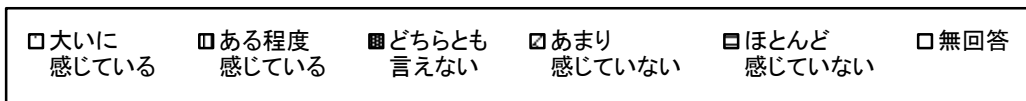
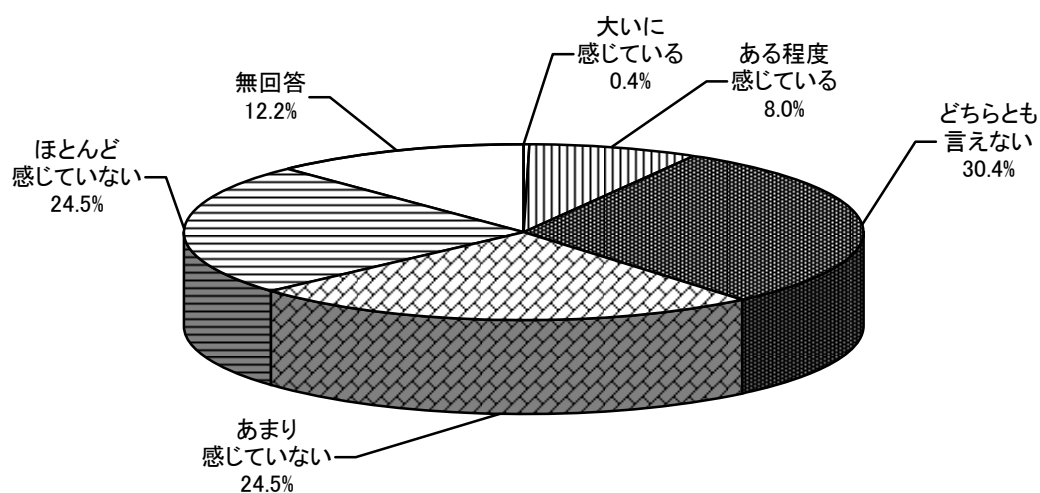
問13 あなたは、あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると感じますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

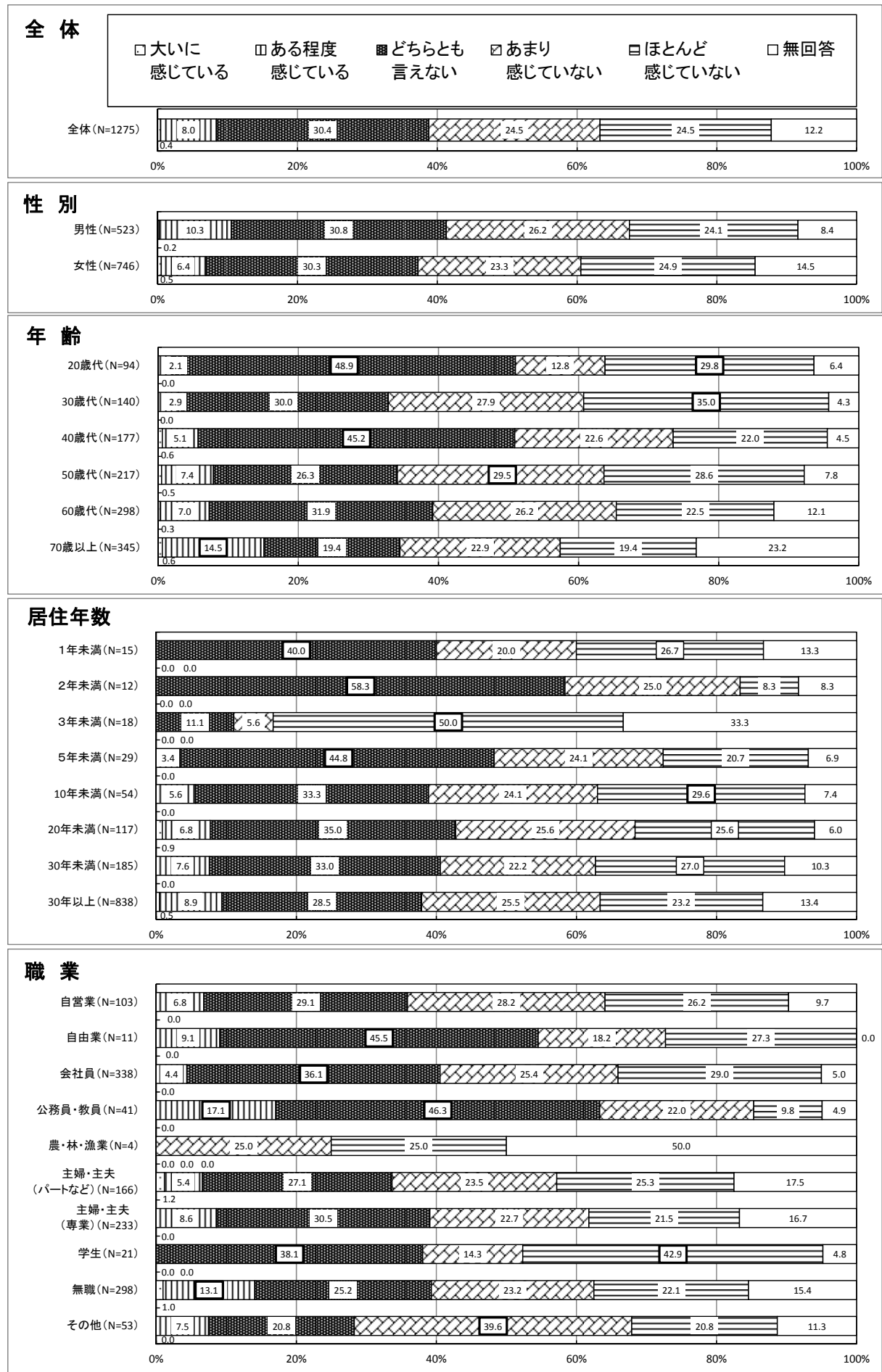
| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|--------------|---------|--------|
| 1 大いに感じている | 5 | 0.4 |
| 2 ある程度感じている | 102 | 8.0 |
| 3 どちらとも言えない | 388 | 30.4 |
| 4 あまり感じていない | 312 | 24.5 |
| 5 ほとんど感じていない | 313 | 24.5 |
| 無回答 | 155 | 12.2 |

◇ あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると感じるかは、

- 1位 「どちらとも言えない」(30.4%)
- 2位 「あまり感じていない」(24.5%・同率)
「ほとんど感じていない」(24.5%・同率)

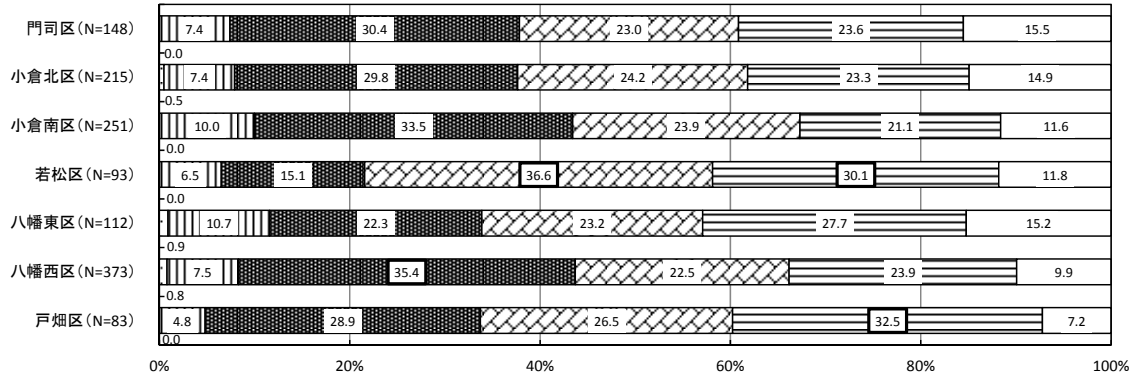


問 13 市民の意見等が市政に反映されていることへの満足感

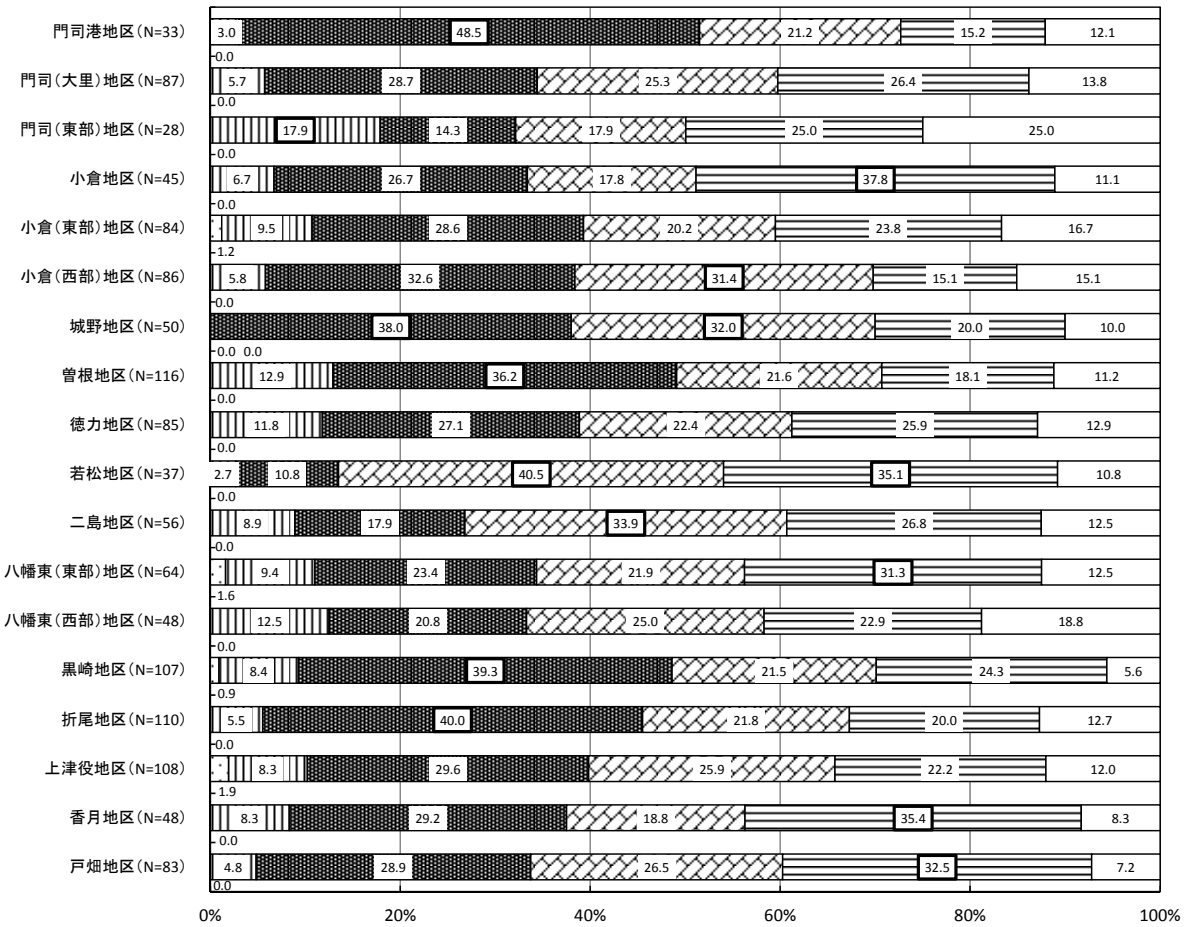


居住区

大いに
 感じている
 ある程度
 感じている
 どちらとも
 言えない
 あまり
 感じていない
 ほとんど
 感じていない
 無回答



居住区(18地区)



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

市民の意見等が市政に反映されていることへの満足感

【全体的傾向】

声が市に届き、きちんと対応されていると感じているかについて尋ねた。

その結果、「どちらとも言えない」(30.4%)が最も多く、次いで「あまり感じていない」及び「ほとんど感じていない」(各24.5%)と続いた。「大いに感じている」(0.4%)と「ある程度感じている」(8.0%)を合わせた『感じている』は8.4%で1割弱となり、「あまり感じていない」と「ほとんど感じていない」(各24.5%)を合わせた『感じていない』が49.0%で5割弱となった。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「どちらとも言えない」が最も多く、男性(30.8%)と女性(30.3%)で差は見られなかった。『感じている』は男性(10.5%)が女性(6.9%)を上回り、同様に『感じていない』も男性(50.3%)が女性(48.2%)をわずかに上回った。
- ◇ 年齢別では、「どちらとも言えない」は20歳代(48.9%)で最も多く、次いで40歳代(45.2%)と続き、これらの年齢層で4割を上回った。「ほとんど感じていない」は30歳代(35.0%)で最も多く、次いで20歳代(29.8%)と続いた。一方、「ある程度感じている」は70歳以上(14.5%)で最も多く、唯一1割を上回った。同様に『感じている』も70歳以上(15.1%)で最も多く、唯一1割を上回った。『感じていない』は30歳代(62.9%)で最も多く、最も少ない70歳以上(42.3%)を含む全ての年齢層で4割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、3年未満で「ほとんど感じていない」が50.0%で最も多く、これ以外の全ての居住年数層で「どちらとも言えない」が最も多かった。『感じている』は30年以上(9.4%)で最も多く、1年未満、2年未満及び3年未満(各0.0%)の居住年数が短い層では回答した人がいなかった。『感じていない』は3年未満(55.6%)で最も多く、最も少ない2年未満(33.3%)以外の全ての居住年数層で4割を上回った。
- ◇ 職業別では、学生では「ほとんど感じていない」が42.9%で最も多く、その他では「あまり感じていない」が39.6%で最も多かった。これら以外の全ての職業層では「どちらとも言えない」が最も多かった。『感じている』は公務員・教員(17.1%)で最も多く、次いで無職(14.1%)と続き、これらの職業層で1割を上回った。『感じていない』はその他(60.4%)で最も多く、次いで学生(57.2%)、自営業及び会社員(各54.4%)と続き、これらの職業層で5割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、若松区では「あまり感じていない」が36.6%で最も多く、八幡東区では「ほとんど感じていない」が27.7%で最も多く、戸畑区では「ほとんど感じていない」が32.5%で最も多かった。これら以外の区では「どちらとも言えない」が最も多かった。『感じている』は八幡東区(11.6%)で最も多く、次いで小倉南区(10.0%)と続き、これらの区は1割を上回った。『感じていない』は若松区(66.7%)で最も多く、最も少ない小倉南区(45.0%)を含む全ての区で4割を上回った。

行政区を18地区に細分化して見ると、『感じている』は門司(東部)地区(17.9%)で最も多く、次いで曾根地区(12.9%)、八幡東(西部)地区(12.5%)と続いた。一方、城野地区(0.0%)では回答した人がいなかった。『感じていない』は若松地区(75.6%)で最も多く、次いで二島地区(60.7%)と続き、若松区全体で多い傾向が見られた。最も少ない門司港地区(36.4%)と、続く曾根地区(39.7%)以外の全ての地区で4割を上回った。

(12) -1 反映されていないと感じる理由

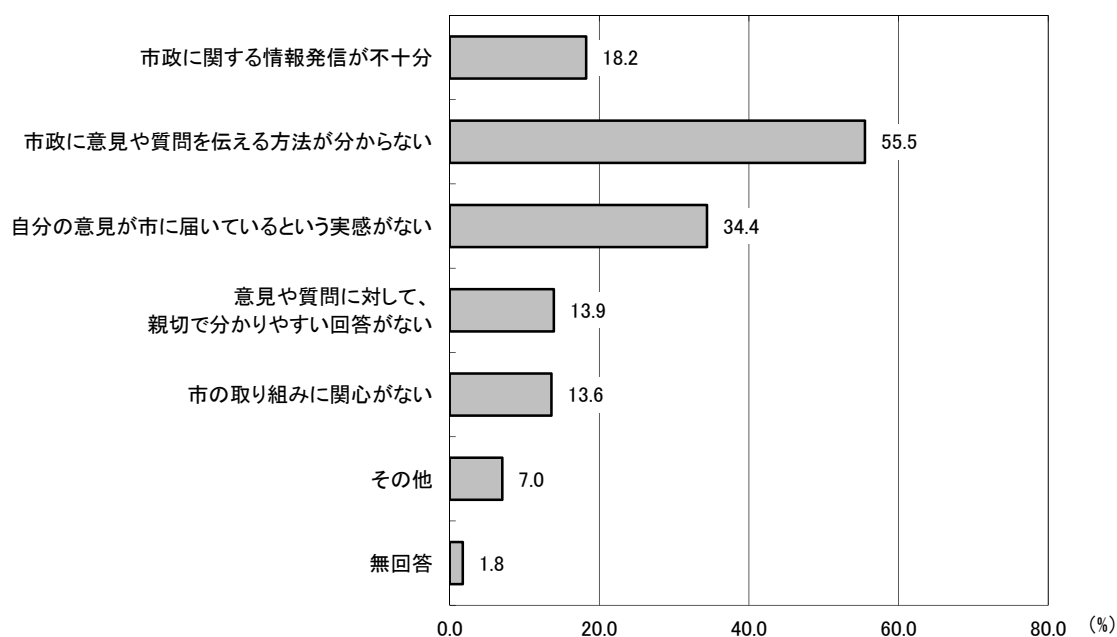
副問 13-1 問 13 で 4 もしくは 5 を選んだ理由について、次の中から 2 つまで選んでください。

N : 625 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|----------------------------|---------|--------|
| 1 市政に関する情報発信が不十分 | 114 | 18.2 |
| 2 市政に意見や質問を伝える方法が分からない | 347 | 55.5 |
| 3 自分の意見が市に届いているという実感がない | 215 | 34.4 |
| 4 意見や質問に対して、親切で分かりやすい回答がない | 87 | 13.9 |
| 5 市の取り組みに関心がない | 85 | 13.6 |
| 6 その他 | 44 | 7.0 |
| 無回答 | 11 | 1.8 |

◇ あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると「あまり感じていない」「ほとんど感じていない」と思う理由は、

- 1 位 「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」(55.5%)
- 2 位 「自分の意見が市に届いているという実感がない」(34.4%)
- 3 位 「市政に関する情報発信が不十分」(18.2%)



副問 13-1 反映されていないと感じる理由

| | | サンプル数 | 市政に関する情報発信が不十分 | 市政に意見や質問を伝える方法が分からない | 自分の意見が市に届いているという実感が無い | 意見や質問に対して、親切で分かりやすい回答がない | 市の取り組みに関心がない | その他 | 無回答 | |
|-------|--------------|-------|----------------|----------------------|-----------------------|--------------------------|--------------|-------------|-------------|-----|
| 全体 | | 625 | 18.2 | 55.5 | 34.4 | 13.9 | 13.6 | 7.0 | 1.8 | |
| 性別 | 男性 | 263 | 22.8 | 54.8 | 35.4 | 16.0 | 12.2 | 5.3 | 1.1 | |
| | 女性 | 360 | 15.0 | 56.1 | 33.9 | 12.5 | 14.4 | 8.1 | 2.2 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 40 | 27.5 | 47.5 | 37.5 | 10.0 | 20.0 | 7.5 | 5.0 | |
| | 30歳代 | 88 | 14.8 | 55.7 | 42.0 | 15.9 | 17.0 | 8.0 | 0.0 | |
| | 40歳代 | 79 | 11.4 | 54.4 | 35.4 | 8.9 | 13.9 | 10.1 | 2.5 | |
| | 50歳代 | 126 | 19.8 | 54.8 | 36.5 | 11.9 | 9.5 | 6.3 | 2.4 | |
| | 60歳代 | 145 | 15.9 | 59.3 | 35.2 | 14.5 | 11.7 | 4.1 | 0.0 | |
| | 70歳以上 | 146 | 22.6 | 55.5 | 26.0 | 17.8 | 14.4 | 8.2 | 2.7 | |
| 居住年数別 | 1年未満 | 7 | 14.3 | 57.1 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | |
| | 2年未満 | 4 | 0.0 | 75.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | |
| | 3年未満 | 10 | 10.0 | 60.0 | 50.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | |
| | 5年未満 | 13 | 15.4 | 30.8 | 38.5 | 23.1 | 15.4 | 7.7 | 0.0 | |
| | 10年未満 | 29 | 13.8 | 37.9 | 44.8 | 10.3 | 17.2 | 17.2 | 0.0 | |
| | 20年未満 | 60 | 18.3 | 53.3 | 40.0 | 11.7 | 18.3 | 5.0 | 1.7 | |
| | 30年未満 | 91 | 19.8 | 52.7 | 30.8 | 12.1 | 16.5 | 5.5 | 3.3 | |
| | 30年以上 | 408 | 18.9 | 58.3 | 33.3 | 15.0 | 12.5 | 6.6 | 1.0 | |
| 職業別 | 自営業 | 56 | 21.4 | 48.2 | 33.9 | 14.3 | 14.3 | 8.9 | 0.0 | |
| | 自由業 | 5 | 20.0 | 60.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 40.0 | 0.0 | |
| | 会社員 | 184 | 18.5 | 54.9 | 35.9 | 13.0 | 14.1 | 5.4 | 2.7 | |
| | 公務員・教員 | 13 | 7.7 | 61.5 | 69.2 | 7.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 農・林・漁業 | 2 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 主婦・主夫(パートなど) | 81 | 12.3 | 64.2 | 37.0 | 9.9 | 18.5 | 7.4 | 0.0 | |
| | 主婦・主夫(専業) | 103 | 14.6 | 59.2 | 31.1 | 15.5 | 10.7 | 5.8 | 2.9 | |
| | 学生 | 12 | 16.7 | 41.7 | 33.3 | 8.3 | 8.3 | 16.7 | 8.3 | |
| | 無職 | 135 | 24.4 | 53.3 | 30.4 | 17.0 | 12.6 | 6.7 | 0.7 | |
| その他 | 32 | 18.8 | 50.0 | 43.8 | 18.8 | 15.6 | 12.5 | 0.0 | | |
| 居住区別 | 行政区分 | 門司区 | 69 | 13.0 | 58.0 | 47.8 | 10.1 | 14.5 | 4.3 | 0.0 |
| | | 小倉北区 | 102 | 13.7 | 56.9 | 35.3 | 14.7 | 13.7 | 6.9 | 1.0 |
| | | 小倉南区 | 113 | 22.1 | 52.2 | 27.4 | 20.4 | 13.3 | 4.4 | 2.7 |
| | | 若松区 | 62 | 17.7 | 58.1 | 27.4 | 4.8 | 12.9 | 6.5 | 4.8 |
| | | 八幡東区 | 57 | 19.3 | 50.9 | 40.4 | 17.5 | 14.0 | 5.3 | 3.5 |
| | | 八幡西区 | 173 | 20.8 | 59.0 | 33.5 | 11.6 | 13.9 | 9.2 | 0.6 |
| | | 戸畑区 | 49 | 16.3 | 46.9 | 34.7 | 18.4 | 12.2 | 12.2 | 2.0 |
| | | 門司港地区 | 12 | 16.7 | 66.7 | 41.7 | 8.3 | 8.3 | 8.3 | 0.0 |
| 門司区 | 門司(大里)地区 | 45 | 13.3 | 55.6 | 46.7 | 11.1 | 17.8 | 4.4 | 0.0 | |
| | 門司(東部)地区 | 12 | 8.3 | 58.3 | 58.3 | 8.3 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | |
| | 小倉地区 | 25 | 4.0 | 56.0 | 40.0 | 4.0 | 20.0 | 4.0 | 4.0 | |
| 小倉北区 | 小倉(東部)地区 | 37 | 16.2 | 64.9 | 24.3 | 21.6 | 8.1 | 5.4 | 0.0 | |
| | 小倉(西部)地区 | 40 | 17.5 | 50.0 | 42.5 | 15.0 | 15.0 | 10.0 | 0.0 | |
| | 城野地区 | 26 | 15.4 | 34.6 | 15.4 | 26.9 | 23.1 | 7.7 | 7.7 | |
| 小倉南区 | 曾根地区 | 46 | 23.9 | 56.5 | 30.4 | 17.4 | 8.7 | 6.5 | 0.0 | |
| | 徳力地区 | 41 | 24.4 | 58.5 | 31.7 | 19.5 | 12.2 | 0.0 | 2.4 | |
| | 若松地区 | 28 | 14.3 | 53.6 | 35.7 | 10.7 | 17.9 | 3.6 | 3.6 | |
| 若松区 | 二島地区 | 34 | 20.6 | 61.8 | 20.6 | 0.0 | 8.8 | 8.8 | 5.9 | |
| | 八幡東区 | 34 | 14.7 | 44.1 | 41.2 | 20.6 | 17.6 | 5.9 | 2.9 | |
| 八幡東区 | 八幡東(西部)地区 | 23 | 26.1 | 60.9 | 39.1 | 13.0 | 8.7 | 4.3 | 4.3 | |
| | 黒崎地区 | 49 | 22.4 | 63.3 | 36.7 | 12.2 | 12.2 | 8.2 | 0.0 | |
| 八幡西区 | 折尾地区 | 46 | 15.2 | 58.7 | 26.1 | 6.5 | 17.4 | 8.7 | 2.2 | |
| | 上津役地区 | 52 | 26.9 | 61.5 | 26.9 | 11.5 | 9.6 | 11.5 | 0.0 | |
| | 香月地区 | 26 | 15.4 | 46.2 | 53.8 | 19.2 | 19.2 | 7.7 | 0.0 | |
| 戸畑区 | 戸畑地区 | 49 | 16.3 | 46.9 | 34.7 | 18.4 | 12.2 | 12.2 | 2.0 | |

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

反映されていないと感じる理由

【全体的傾向】

声が市に届き、きちんと対応されていると、「あまり感じていない」「ほとんど感じていない」と思う理由について尋ねた。

その結果、「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」(55.5%)が最も多く、次いで「自分の意見が市に届いているという実感が無い」(34.4%)、「市政に関する情報発信が不十分」(18.2%)と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」が最も多く、女性(56.1%)が男性(54.8%)をわずかに上回った。総合2位の「自分の意見が市に届いているという実感が無い」は男性(35.4%)が女性(33.9%)をわずかに上回った。総合3位の「市政に関する情報発信が不十分」は男性(22.8%)が女性(15.0%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」は60歳代(59.3%)で最も多く、最も少ない20歳代(47.5%)以外の全ての年齢層で5割を上回った。総合2位の「自分の意見が市に届いているという実感が無い」は30歳代(42.0%)で最も多く、唯一4割を上回った。総合3位の「市政に関する情報発信が不十分」は20歳代(27.5%)で最も多く、次いで70歳以上(22.6%)と続き、これらの年齢層で2割を上回った。なお、「市の取り組みに関心がない」は20歳代(20.0%)で最も多く、唯一2割を占めた。
- ◇ 居住年数別では、サンプル数が10人未満であった1年未満(7)、2年未満(4)については、コメントでは触れないこととする。総合1位の「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」は3年未満(60.0%)で最も多く、唯一6割を占めた。総合2位の「自分の意見が市に届いているという実感が無い」は3年未満(50.0%)で最も多く、次いで10年未満(44.8%)、20年未満(40.0%)と続いた。総合3位の「市政に関する情報発信が不十分」は30年未満(19.8%)で最も多く、最も少ない3年未満(10.0%)を含む全ての年齢層で1割以上を占めた。「意見や質問に対して、親切で分かりやすい回答がない」は5年未満(23.1%)で最も多く、次いで3年未満(20.0%)と続き、居住年数の比較的短い層で多い傾向が見られた。
- ◇ 職業別では、サンプル数が10人未満であった自由業(5)については、コメントでは触れないこととする。総合1位の「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」は主婦・主夫(パートなど)(64.2%)で最も多く、次いで公務員・教員(61.5%)と続き、これらの職業層で6割を上回った。総合2位の「自分の意見が市に届いているという実感が無い」は公務員・教員(69.2%)で最も多く、総合3位の「市政に関する情報発信が不十分」は無職(24.4%)で最も多かった。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」は八幡西区(59.0%)で最も多く、最も少ない戸畑区(46.9%)以外の全ての区で5割を上回った。総合2位「自分の意見が市に届いているという実感が無い」は門司区(47.8%)で最も多く、次いで八幡東区(40.4%)と続き、これらの区で4割を上回った。「意見や質問に対して、親切で分かりやすい回答がない」は小倉南区(20.4%)で最も多く、唯一2割を上回った。
行政区を18地区に細分化して見ると、総合1位の「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」は門司港地区(66.7%)で最も多く、次いで小倉(東部)地区(64.9%)、黒崎地区(63.3%)、二島地区(61.8%)、上津役地区(61.5%)、八幡東(西部)地区(60.9%)と続き、これらの

地区で6割を上回った。総合2位の「自分の意見が市に届いているという実感がない」は門司（東部）地区（58.3%）で最も多く、次いで香月地区（53.8%）、門司（大里）地区（46.7%）、小倉（西部）地区（42.5%）、門司港地区（41.7%）、八幡東（東部）地区（41.2%）、小倉地区（40.0%）と続き、これらの地区で4割以上を占め、門司区は全体的に多い傾向が見られた。総合3位の「市政に関する情報発信が不十分」は上津役地区（26.9%）で最も多く、次いで八幡東（西部）地区（26.1%）、徳力地区（24.4%）、曾根地区（23.9%）、黒崎地区（22.4%）、二島地区（20.6%）と続き、これらの地区で2割を上回った。

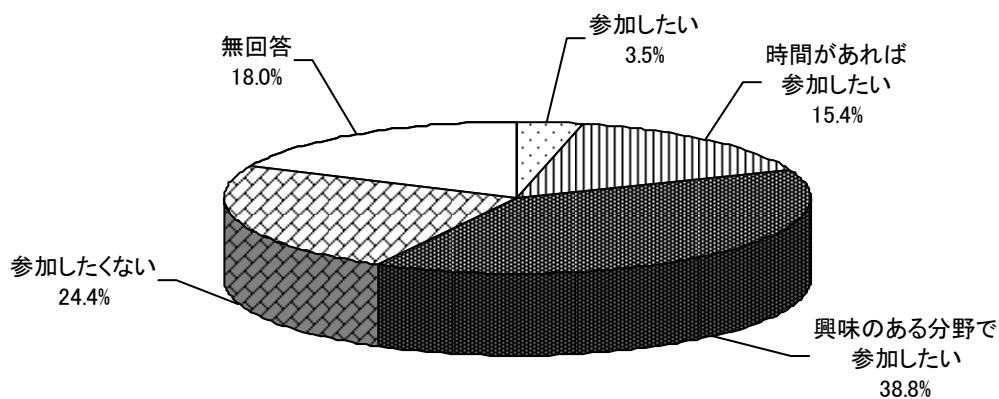
(13) 市政に意見等を提出したいと考えるか

問 14 あなたは、今後（または今後も）市政に対して意見や提案をしたい（市民参画）と思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

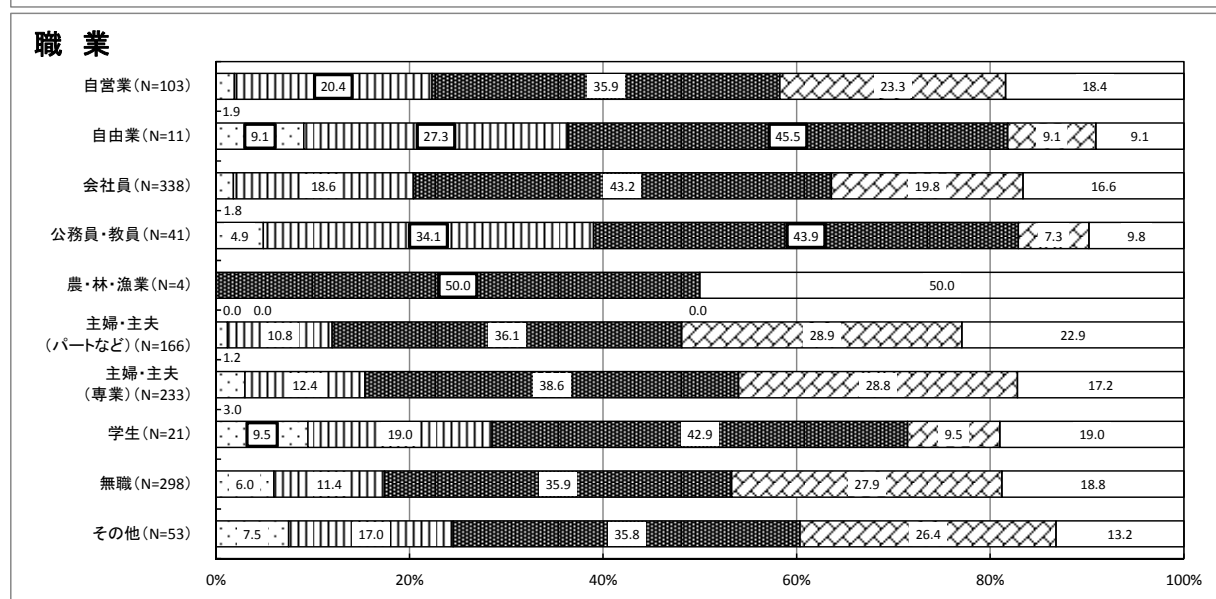
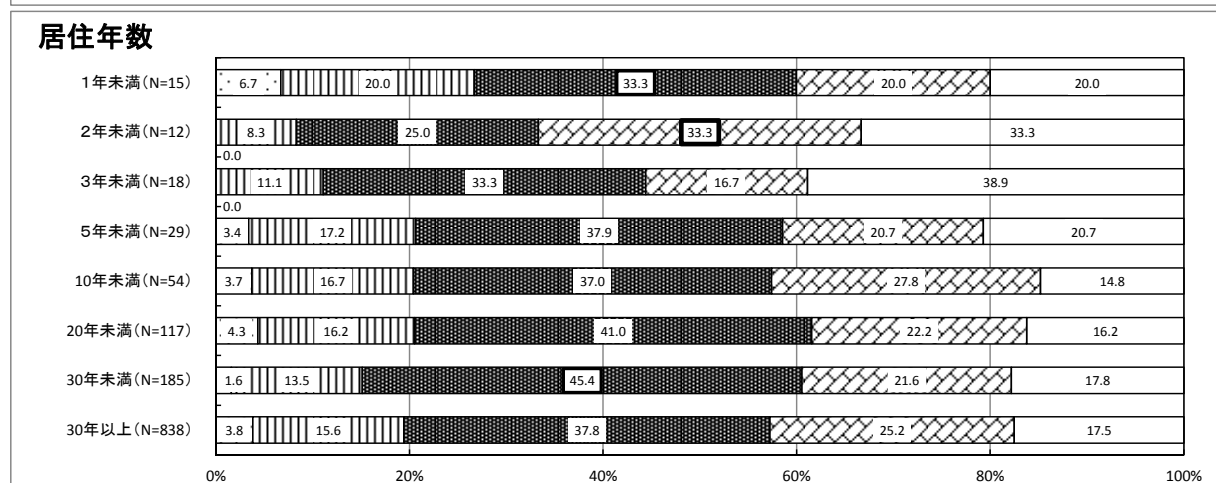
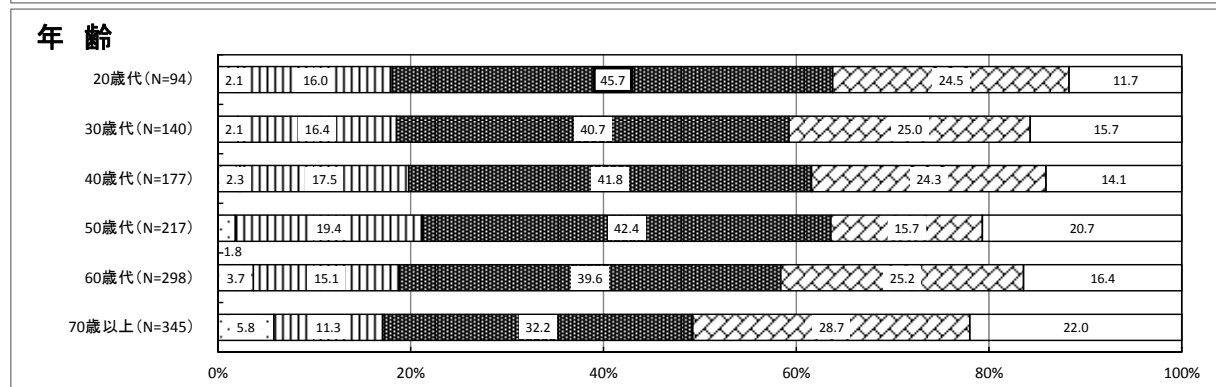
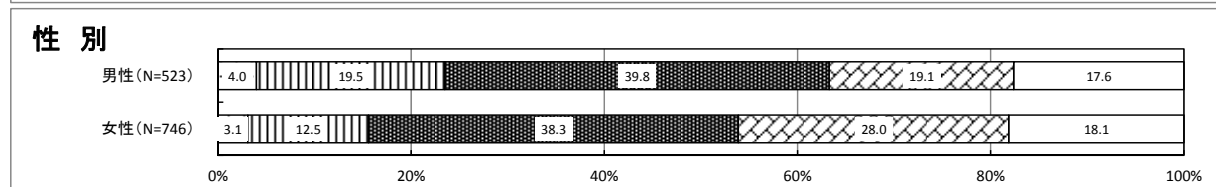
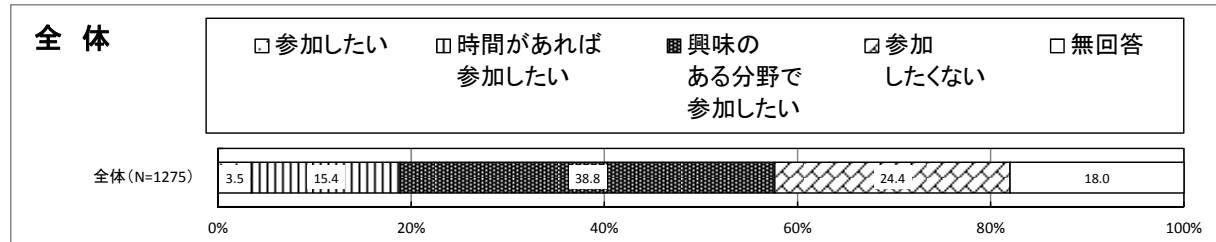
| 項目 | 回答数（人） | 割合（％） |
|-----------------|--------|-------|
| 1 参加したい | 44 | 3.5 |
| 2 時間があれば参加したい | 196 | 15.4 |
| 3 興味のある分野で参加したい | 495 | 38.8 |
| 4 参加したくない | 311 | 24.4 |
| 無回答 | 229 | 18.0 |

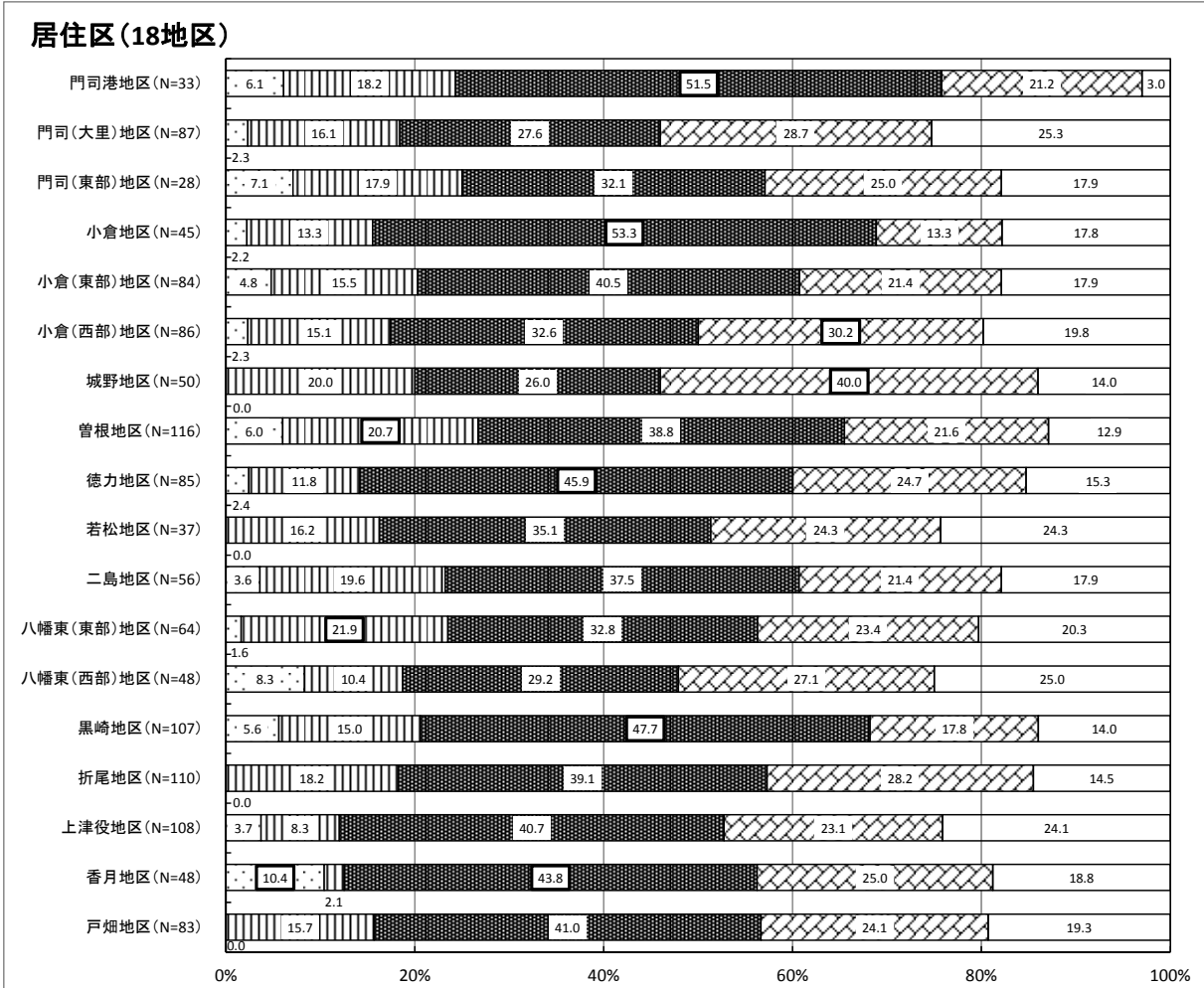
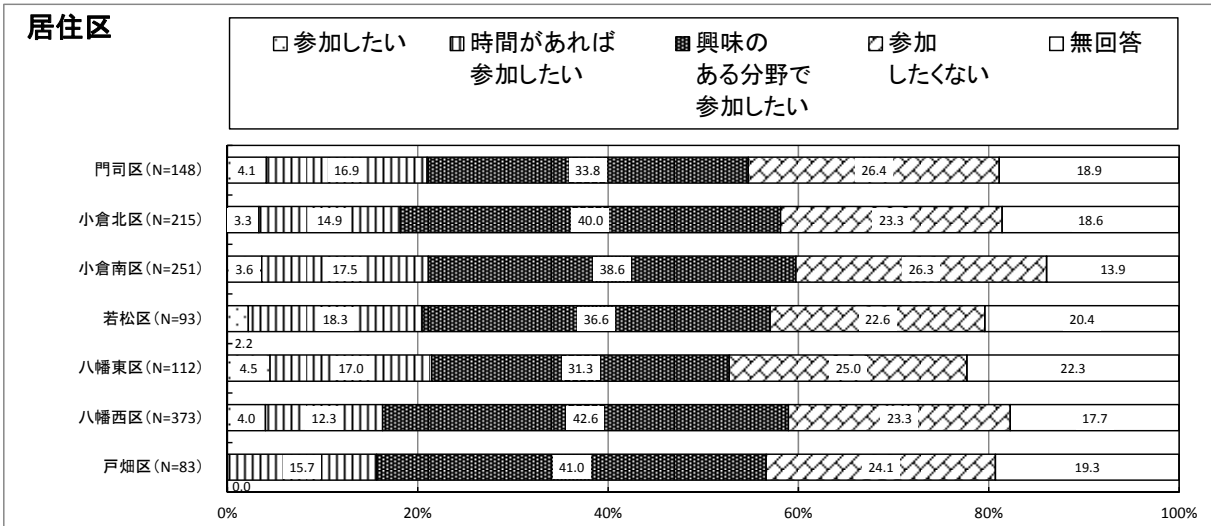
- ◇ 今後（または今後も）市政に対して意見や提案をしたい（市民参画）と思うかは、
- 1位 「興味のある分野で参加したい」（38.8%）
 - 2位 「参加したくない」（24.4%）
 - 3位 「時間があれば参加したい」（15.4%）



□ 参加したい □ 時間があれば参加したい ■ 興味のある分野で参加したい ▣ 参加したくない □ 無回答

問 14 市政に意見等を提出したいと考えるか





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

市政に意見等を提出したいと考えるか

【全体的傾向】

今後(または今後も)市政に対して意見や提案をしたいと思うかについて尋ねた。

その結果、「興味のある分野で参加したい」(38.8%)が最も多く、次いで「参加したくない」(24.4%)、「時間があれば参加したい」(15.4%)と続いた。「参加したい」(3.5%)と「時間が

あれば参加したい」(15.4%)、「興味のある分野で参加したい」(38.8%)を合わせた『参加したい』は57.7%で、「参加したくない」(24.4%)を33.3ポイント上回った。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、総合1位の「興味のある分野で参加したい」は男性(39.8%)が女性(38.3%)をわずかに上回った。総合3位の「時間があれば参加したい」も男性(19.5%)が女性(12.5%)を上回った。『参加したい』も男性(63.3%)が女性(53.9%)を上回り、総合2位の「参加したくない」は女性(28.0%)が男性(19.1%)を上回った。男性が女性より市民参画の意向が強い傾向が見られた。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「興味のある分野で参加したい」は20歳代(45.7%)で最も多く、次いで50歳代(42.4%)、40歳代(41.8%)、30歳代(40.7%)と続き、若年層と中年層で4割を上回った。総合3位の「時間があれば参加したい」は50歳代(19.4%)で最も多かった。『参加したい』は20歳代(63.8%)で最も多く、次いで50歳代(63.6%)、40歳代(61.6%)、30歳代(59.2%)、60歳代(58.4%)と続き、70歳以上(49.3%)以外の全ての年齢層で5割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「興味のある分野で参加したい」は30年未満(45.4%)で最も多く、最も少ない2年未満(25.0%)以外の全ての居住年数層で3割を上回った。『参加したい』は20年未満(61.5%)で最も多く、次いで30年未満(60.5%)、1年未満(60.0%)と続き、これらの居住年数層で6割以上を占めた。
- ◇ 職業別では、総合1位の「興味のある分野で参加したい」は自由業(45.5%)で最も多く、次いで公務員・教員(43.9%)、会社員(43.2%)、学生(42.9%)と続き、最も少ないその他(35.8%)を含む全ての職業層で3割を上回った。総合3位の「時間があれば参加したい」は公務員・教員(34.1%)で最も多く、次いで自由業(27.3%)、自営業(20.4%)と続き、これらの職業層で2割を上回った。積極的意向である「参加したい」は学生(9.5%)で最も多く、次いで自由業(9.1%)と続いた。『参加したい』は公務員・教員(82.9%)で最も多く、次いで自由業(81.9%)と続き、これらの職業層で8割を上回った。最も少ないのは主婦・主夫(パートなど)(48.1%)で、唯一5割を下回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「興味のある分野で参加したい」は八幡西区(42.6%)で最も多く、次いで戸畑区(41.0%)と続き、最も少ない八幡東区(31.3%)を含む全ての区で3割を上回った。総合3位の「時間があれば参加したい」は若松区(18.3%)で最も多く、最も少ない八幡西区(12.3%)との差は6.0ポイントと、区による大きな差は見られなかった。『参加したい』は小倉南区(59.7%)で最も多く、最も少ない八幡東区(52.8%)との差は6.9ポイントと、区による大きな差は見られなかった。

行政区を18地区に細分化して見ると、総合1位の「興味のある分野で参加したい」は小倉地区(53.3%)で最も多く、次いで門司港地区(51.5%)と続き、これらの地区で5割を上回った。総合3位の「時間があれば参加したい」は八幡東(東部)地区(21.9%)で最も多く、次いで曾根地区(20.7%)、城野地区(20.0%)と続き、これらの地区で2割以上を占めた。『参加したい』は門司港地区(75.8%)で最も多く、次いで小倉地区(68.8%)、黒崎地区(68.3%)、曾根地区(65.5%)と続いた。最も少ない門司(大里)及び城野地区(各46.0%)と、続く八幡東(西部)地区(47.9%)以外の全ての地区で5割を上回った。

(13) -1 どのような方法で市政に意見等を提出したいか

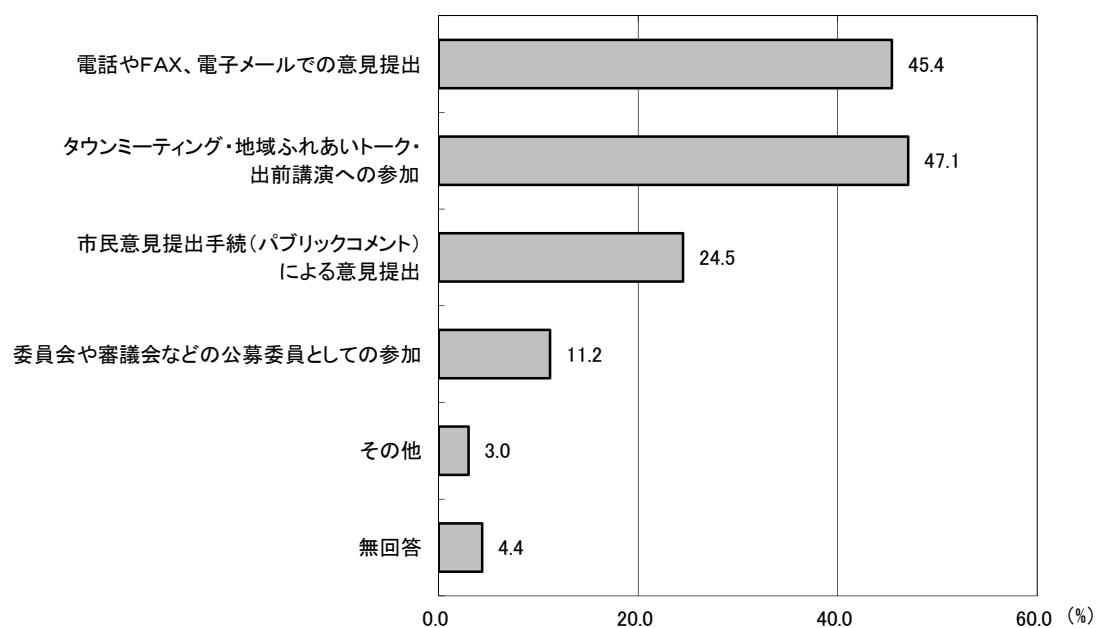
副問 14-1 問 14 で 1、2、3 を選んだ方におたずねします。あなたが参加するとすれば、どのような方法で参加したいですか。参加したいと思うものを2つまで選んでください。

N : 735 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|--------------------------------|---------|--------|
| 1 電話やFAX、電子メールでの意見提出 | 334 | 45.4 |
| 2 タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加 | 346 | 47.1 |
| 3 市民意見提出手続 (パブリックコメント) による意見提出 | 180 | 24.5 |
| 4 委員会や審議会などの公募委員としての参加 | 82 | 11.2 |
| 5 その他 | 22 | 3.0 |
| 無回答 | 32 | 4.4 |

◇ 市政に対して意見や提案をしたい (市民参画) と思う方法は、

- 1位 「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」 (47.1%)
- 2位 「電話やFAX、電子メールでの意見提出」 (45.4%)
- 3位 「市民意見提出手続 (パブリックコメント) による意見提出」 (24.5%)



副問 14-1 どういった方法で市政に意見等を提出したいか

| | | サンプル数 | 電話やFAX、電子メールでの意見提出 | タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加 | 市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出 | 委員会や審議会などの公募委員としての参加 | その他 | 無回答 | |
|----------|--------------|-------|--------------------|------------------------------|----------------------------|----------------------|-------------|------|-----|
| 全体 | | 735 | 45.4 | 47.1 | 24.5 | 11.2 | 3.0 | 4.4 | |
| 性別 | 男性 | 331 | 45.3 | 44.1 | 27.8 | 15.1 | 2.1 | 2.1 | |
| | 女性 | 402 | 45.5 | 49.5 | 21.6 | 8.0 | 3.7 | 6.2 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 60 | 51.7 | 40.0 | 21.7 | 3.3 | 5.0 | 1.7 | |
| | 30歳代 | 83 | 56.6 | 39.8 | 24.1 | 9.6 | 3.6 | 2.4 | |
| | 40歳代 | 109 | 55.0 | 44.0 | 27.5 | 8.3 | 1.8 | 0.9 | |
| | 50歳代 | 138 | 52.9 | 44.2 | 19.6 | 15.2 | 2.9 | 2.2 | |
| | 60歳代 | 174 | 38.5 | 55.7 | 24.7 | 13.8 | 1.7 | 2.9 | |
| | 70歳以上 | 170 | 32.9 | 48.2 | 27.6 | 10.6 | 4.1 | 11.8 | |
| 居住年数別 | 1年未満 | 9 | 55.6 | 33.3 | 22.2 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | |
| | 2年未満 | 4 | 50.0 | 50.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | |
| | 3年未満 | 8 | 62.5 | 50.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 12.5 | |
| | 5年未満 | 17 | 58.8 | 52.9 | 11.8 | 11.8 | 0.0 | 0.0 | |
| | 10年未満 | 31 | 67.7 | 32.3 | 19.4 | 6.5 | 0.0 | 3.2 | |
| | 20年未満 | 72 | 44.4 | 41.7 | 27.8 | 11.1 | 4.2 | 0.0 | |
| | 30年未満 | 112 | 51.8 | 47.3 | 18.8 | 8.0 | 4.5 | 3.6 | |
| | 30年以上 | 480 | 41.9 | 48.8 | 26.3 | 12.5 | 2.7 | 5.2 | |
| 職業別 | 自営業 | 60 | 55.0 | 33.3 | 18.3 | 11.7 | 1.7 | 1.7 | |
| | 自由業 | 9 | 66.7 | 33.3 | 44.4 | 11.1 | 11.1 | 0.0 | |
| | 会社員 | 215 | 48.4 | 44.2 | 25.6 | 12.1 | 2.3 | 0.5 | |
| | 公務員・教員 | 34 | 47.1 | 41.2 | 26.5 | 17.6 | 2.9 | 0.0 | |
| | 農・林・漁業 | 2 | 100.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 主婦・主夫(パートなど) | 80 | 43.8 | 62.5 | 18.8 | 11.3 | 1.3 | 1.3 | |
| | 主婦・主夫(専業) | 126 | 45.2 | 54.0 | 25.4 | 5.6 | 4.0 | 5.6 | |
| | 学生 | 15 | 46.7 | 33.3 | 13.3 | 13.3 | 6.7 | 6.7 | |
| | 無職 | 159 | 37.1 | 45.9 | 27.7 | 13.2 | 3.8 | 10.7 | |
| その他 | 32 | 46.9 | 50.0 | 18.8 | 9.4 | 3.1 | 9.4 | | |
| 居住区別 | 行政区分 | 門司区 | 81 | 40.7 | 46.9 | 28.4 | 9.9 | 3.7 | 6.2 |
| | | 小倉北区 | 125 | 48.0 | 40.8 | 25.6 | 12.0 | 0.8 | 4.8 |
| | | 小倉南区 | 150 | 43.3 | 50.7 | 20.7 | 8.7 | 6.0 | 3.3 |
| | | 若松区 | 53 | 45.3 | 50.9 | 17.0 | 13.2 | 0.0 | 7.5 |
| | | 八幡東区 | 59 | 45.8 | 52.5 | 27.1 | 10.2 | 0.0 | 0.0 |
| | | 八幡西区 | 220 | 46.4 | 47.3 | 25.5 | 10.9 | 3.6 | 5.0 |
| | | 戸畑区 | 47 | 48.9 | 40.4 | 27.7 | 19.1 | 2.1 | 2.1 |
| | | 門司区 | 門司港地区 | 25 | 44.0 | 40.0 | 32.0 | 12.0 | 4.0 |
| 門司(大里)地区 | 40 | 40.0 | 47.5 | 27.5 | 7.5 | 2.5 | 10.0 | | |
| 門司(東部)地区 | 16 | 37.5 | 56.3 | 25.0 | 12.5 | 6.3 | 0.0 | | |
| 小倉北区 | 小倉地区 | 31 | 48.4 | 58.1 | 19.4 | 3.2 | 0.0 | 0.0 | |
| | 小倉(東部)地区 | 51 | 49.0 | 29.4 | 33.3 | 11.8 | 2.0 | 7.8 | |
| | 小倉(西部)地区 | 43 | 46.5 | 41.9 | 20.9 | 18.6 | 0.0 | 4.7 | |
| 小倉南区 | 城野地区 | 23 | 47.8 | 34.8 | 21.7 | 13.0 | 0.0 | 8.7 | |
| | 曾根地区 | 76 | 44.7 | 52.6 | 26.3 | 7.9 | 5.3 | 2.6 | |
| 徳力地区 | 51 | 39.2 | 54.9 | 11.8 | 7.8 | 9.8 | 2.0 | | |
| 若松区 | 若松地区 | 19 | 31.6 | 68.4 | 26.3 | 21.1 | 0.0 | 5.3 | |
| | 二島地区 | 34 | 52.9 | 41.2 | 11.8 | 8.8 | 0.0 | 8.8 | |
| 八幡東区 | 八幡東(東部)地区 | 36 | 38.9 | 52.8 | 27.8 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | |
| | 八幡東(西部)地区 | 23 | 56.5 | 52.2 | 26.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 八幡西区 | 黒崎地区 | 73 | 49.3 | 37.0 | 23.3 | 13.7 | 5.5 | 5.5 | |
| | 折尾地区 | 63 | 49.2 | 47.6 | 25.4 | 6.3 | 1.6 | 3.2 | |
| | 上津役地区 | 57 | 40.4 | 50.9 | 31.6 | 8.8 | 5.3 | 7.0 | |
| | 香月地区 | 27 | 44.4 | 66.7 | 18.5 | 18.5 | 0.0 | 3.7 | |
| 戸畑区 | 戸畑地区 | 47 | 48.9 | 40.4 | 27.7 | 19.1 | 2.1 | 2.1 | |

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

どういった方法で市政に意見等を提出したいか

【全体的傾向】

市政に対する意見や提案について、今後（または今後も）、「参加したい」「時間があれば参加したい」「興味のある分野で参加したい」と回答した人に、どのような方法で参加したいと思うかを尋ねた。

その結果、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」（47.1%）が最も多く、僅差で「電話やFAX、電子メールでの意見提出」（45.4%）と続いた。以降、「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」（24.5%）、「委員会や審議会などの公募委員としての参加」（11.2%）の順となった。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、総合1位の「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は女性（49.5%）が男性（44.1%）を上回った。総合2位の「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は男性（45.3%）と女性（45.5%）で差は見られなかった。総合3位の「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」は男性（27.8%）が女性（21.6%）を上回った。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は60歳代（55.7%）で最も多く、次いで70歳以上（48.2%）と続き、高年層で多い傾向が見られた。総合2位の「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は30歳代（56.6%）で最も多く、次いで40歳代（55.0%）、50歳代（52.9%）、20歳代（51.7%）と続き、若年層と中年層で5割を上回った。総合3位の「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」は70歳以上（27.6%）で最も多く、最も少ない50歳代（19.6%）以外の全ての年齢層で2割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、サンプル数が10人未満であった1年未満（9）、2年未満（4）、3年未満（8）については、コメントでは触れないこととする。総合1位の「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は5年未満（52.9%）で最も多く、唯一5割を上回った。総合2位の「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は10年未満（67.7%）で最も多く、次いで5年未満（58.8%）、30年未満（51.8%）と続き、これらの居住年数層で5割を上回った。総合3位の「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」は20年未満（27.8%）で最も多く、次いで30年以上（26.3%）と続き、これらの居住年数層で2割を上回った。
- ◇ 職業別では、サンプル数が10人未満であった自由業（9）については、コメントでは触れないこととする。総合1位の「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は主婦・主夫（パートなど）（62.5%）で最も多く、次いで主婦・主夫（専業）（54.0%）と続き、これらの職業層で5割を上回った。総合2位の「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は自営業（55.0%）で最も多く、唯一5割を上回った。総合3位の「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」は無職（27.7%）で最も多く、次いで公務員・教員（26.5%）、会社員（25.6%）、主婦・主夫（専業）（25.4%）と続き、これらの職業層で2割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は八幡東区（52.5%）で最も多く、次いで若松区（50.9%）、小倉南区（50.7%）と続き、これらの地区で5割を上回った。総合2位の「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は戸畑区（48.9%）で最も多く、最も少ない門司区（40.7%）との差は8.2ポイントと、

区よる大きな差は見られなかった。総合3位の「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」は門司区（28.4%）で最も多く、最も少ない若松区（17.0%）以外の全ての区で2割を上回った。

行政区を18地区に細分化して見ると、総合1位の「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は若松地区（68.4%）で最も多く、次いで香月地区（66.7%）と続き、これらの地区で6割を上回った。総合2位の「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は八幡東（西部）地区（56.5%）で最も多く、次いで二島地区（52.9%）と続き、これらの地区で5割を上回った。総合3位の「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」は小倉（東部）地区（33.3%）で最も多く、次いで門司港地区（32.0%）、上津役地区（31.6%）と続き、これらの地区で3割を上回った。

(13) -2 市政に意見等を提出しようと思わない理由

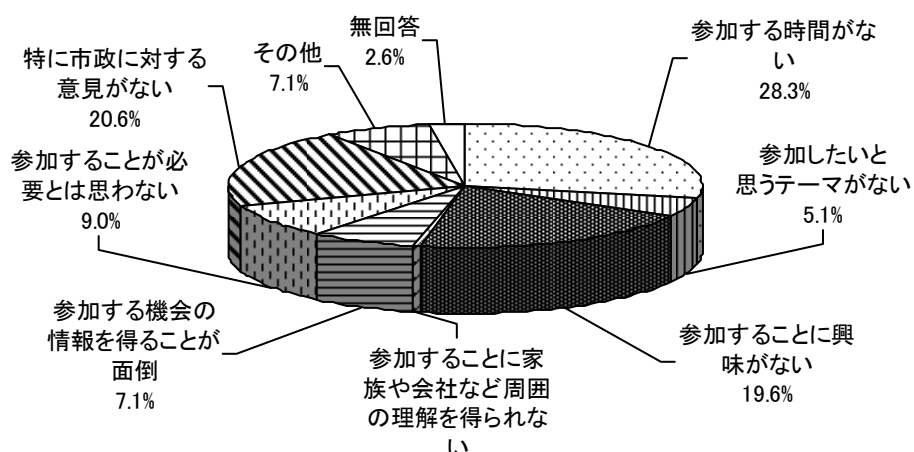
副問 14-2 問 14 で 4 を選んだ方におたずねします。4 を選んだ理由について、あなたのお考えに近いものを次の中から 1 つだけ選んでください。

N : 311 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|-----------------------------|---------|--------|
| 1 参加する時間がない | 88 | 28.3 |
| 2 参加したいと思うテーマがない | 16 | 5.1 |
| 3 参加することに興味がない | 61 | 19.6 |
| 4 参加することに家族や会社など周囲に理解を得られない | 2 | 0.6 |
| 5 参加する機会の情報を得ることが面倒 | 22 | 7.1 |
| 6 参加することが必要とは思わない | 28 | 9.0 |
| 7 特に市政に対する意見がない | 64 | 20.6 |
| 8 その他 | 22 | 7.1 |
| 無回答 | 8 | 2.6 |

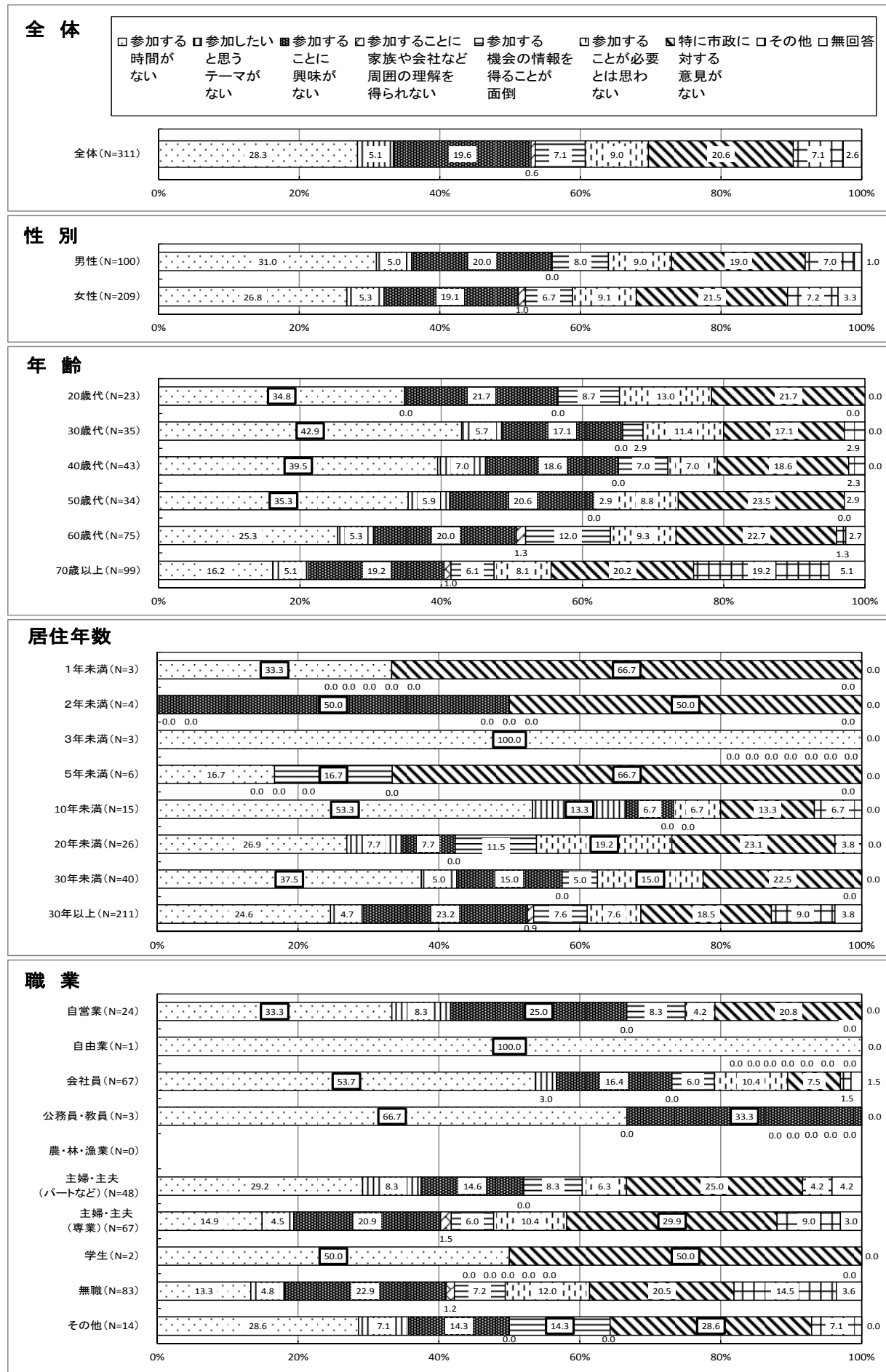
◇ 今後（または今後も）市政に対して意見や提案をする（市民参画）ことに、「参加したくない」と思う理由は、

- 1 位 「参加する時間がない」 (28.3%)
- 2 位 「特に市政に対する意見がない」 (20.6%)
- 3 位 「参加することに興味がない」 (19.6%)



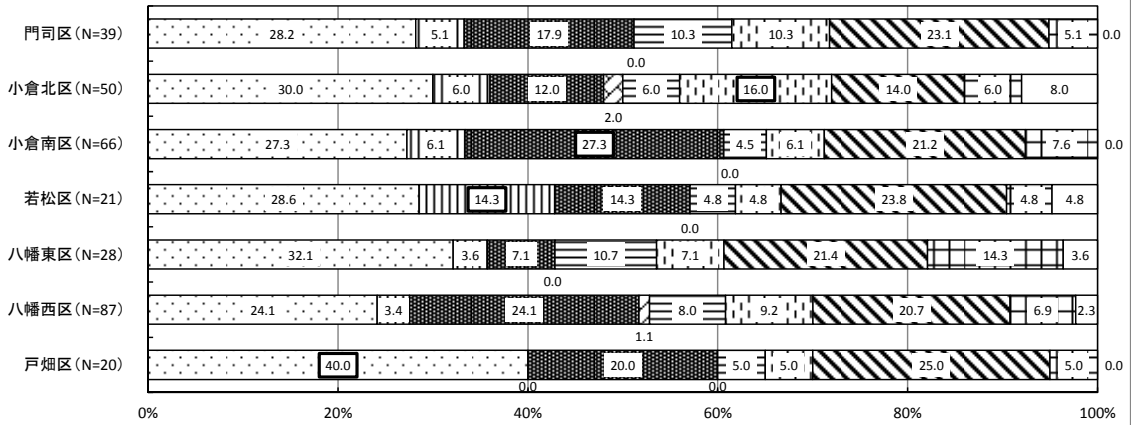
- 参加する時間がない
- 参加したいと思うテーマがない
- 参加することに興味がない
- 参加することに家族や会社など周囲の理解を得られない
- 参加する機会の情報を得ることが面倒
- 参加することが必要とは思わない
- 特に市政に対する意見がない
- その他
- 無回答

副問 14-2 市政に意見等を提出しようと思わない理由

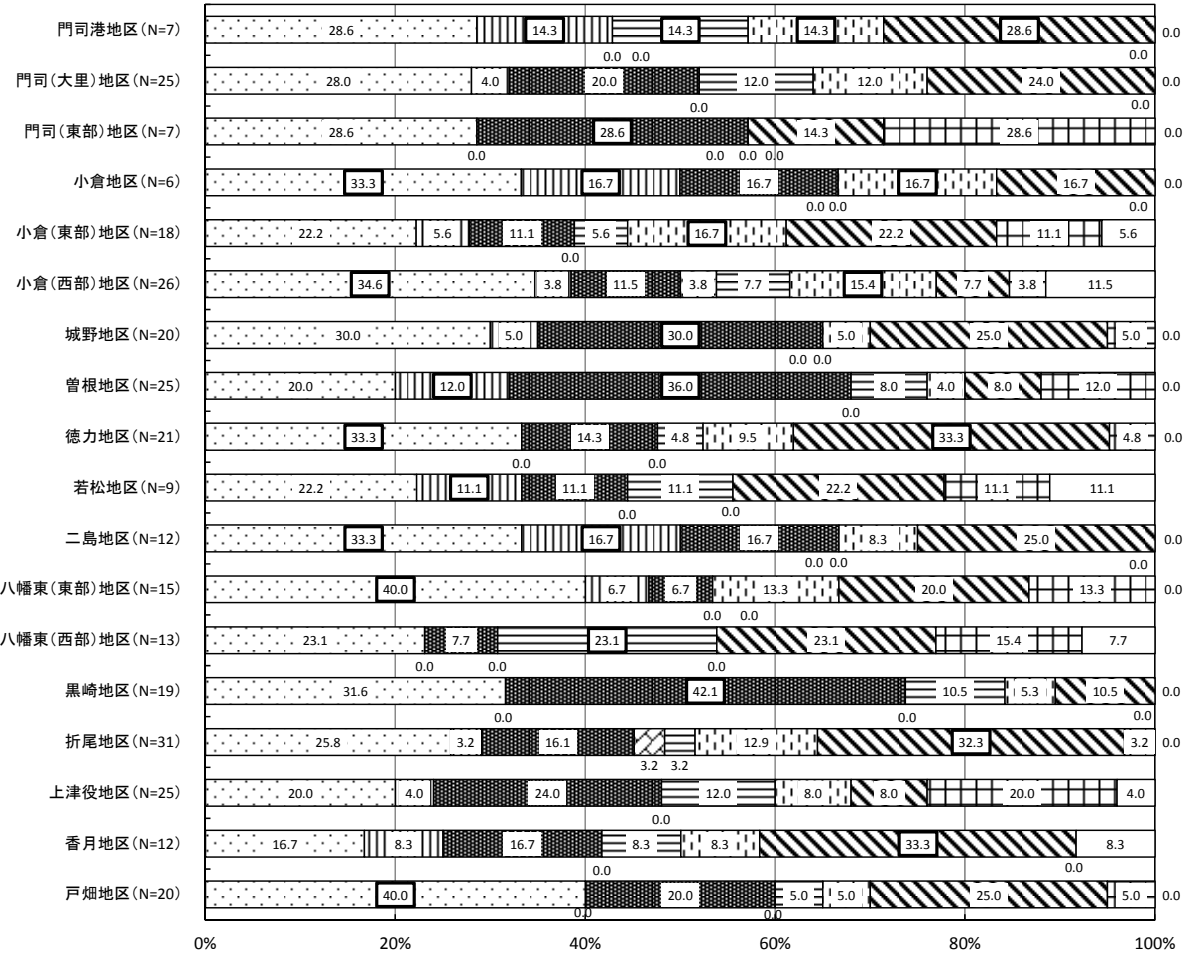


居住区

参加する時間が
ない
 参加したい
と思う
テーマが
ない
 参加する
ことに
興味が
ない
 参加することに
家族や会社など
周囲の理解を
得られない
 参加する
機会の情報を
得ることが
面倒
 参加する
ことが必要
とは思わ
ない
 特に市政に
対する
意見が
ない
 その他
 無回答



居住区 (18地区)



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

市政に意見等を提出しようと思わない理由

【全体的傾向】

市政に対する意見や提案について、今後（または今後も）、「参加したくない」と回答した人に、その理由を尋ねた。

その結果、「参加する時間がない」（28.3%）が最も多く、次いで「特に市政に対する意見がない」（20.6%）、「参加することに興味がない」（19.6%）と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「参加する時間がない」が最も多く、男性（31.0%）が女性（26.8%）を上回った。次に多かったのは、男性は総合3位の「参加することに興味がない」（20.0%）で、女性は総合2位の「特に市政に対する意見がない」（21.5%）であった。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「参加する時間がない」は30歳代（42.9%）で最も多く、次いで40歳代（39.5%）、50歳代（35.3%）、20歳代（34.8%）と続き、若年層と中年層で3割を上回った。総合2位の「特に市政に対する意見がない」は50歳代（23.5%）で最も多く、最も少ない30歳代（17.1%）との差は6.4ポイントと、年齢層による大きな差は見られなかった。同様に総合3位の「参加することに興味がない」は20歳代（21.7%）で最も多く、最も少ない30歳代（17.1%）との差は4.6ポイントと、年齢層による大きな差は見られなかった。
- ◇ 居住年数別では、サンプル数が10人未満であった1年未満（3）、2年未満（4）、3年未満（3）、5年未満（6）については、コメントでは触れないこととする。総合1位の「参加する時間がない」は10年未満（53.3%）で最も多く、唯一5割を上回った。総合2位の「特に市政に対する意見がない」は20年未満（23.1%）で最も多く、次いで30年未満（22.5%）と続き、これらの居住年齢層で2割を上回った。総合3位の「参加することに興味がない」は10年未満（6.7%）で最も少なく、30年以上（23.2%）で最も多くなっており、居住年数の長い層ほど増加した。
- ◇ 職業別では、サンプル数が10人未満であった自由業（1）、公務員・教員（3）、学生（2）については、コメントでは触れないこととする。総合1位の「参加する時間がない」は会社員（53.7%）で最も多く、次の自営業（33.3%）との差は20.4ポイントと突出して多かった。総合2位の「特に市政に対する意見がない」は主婦・主夫（専業）（29.9%）で最も多く、最も少ない会社員（7.5%）以外の全ての職業層で2割を上回った。「参加することに興味がない」は自営業（25.0%）で最も多く、次いで無職（22.9%）、主婦・主夫（専業）（20.9%）と続き、これらの職業層で2割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「参加する時間がない」は戸畑区（40.0%）で最も多く、唯一4割を上回った。総合2位の「特に市政に対する意見がない」は戸畑区（25.0%）で最も多く、最も少ない小倉北区（14.0%）以外の全ての区で2割を上回った。総合3位の「参加することに興味がない」は小倉南区（27.3%）で最も多く、最も少ない八幡東区（7.1%）で唯一1割を下回った。

行政区を18地区に細分化して見ると（サンプル数が10人未満であった門司港地区（7）、門司（東部）地区（7）、小倉地区（6）、若松地区（9）については、コメントでは触れないこととする。）、総合1位の「参加する時間がない」は八幡東（東部）地区及び戸畑地区（各40.0%）で最も多く、これらの地区で4割を占めた。総合3位の「参加することに興味がない」は黒崎地区（42.1%）で最も多く、唯一4割を上回った。

(14) 市民参画を進めるために必要なこと

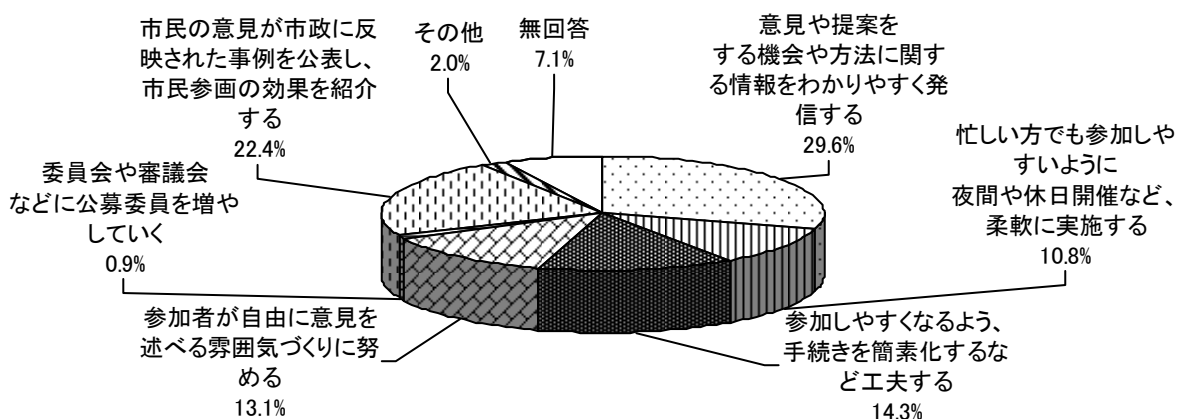
問 15 北九州市において、市政への市民参画を進めるためには、何が重要だと思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|-------------------------------------|---------|--------|
| 1 意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する | 377 | 29.6 |
| 2 忙しい方でも参加しやすいように夜間や休日開催など、柔軟に実施する | 138 | 10.8 |
| 3 参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する | 182 | 14.3 |
| 4 参加者が自由に意見を述べる雰囲気づくりに努める | 167 | 13.1 |
| 5 委員会や審議会などに公募委員を増やしていく | 11 | 0.9 |
| 6 市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する | 285 | 22.4 |
| 7 その他 | 25 | 2.0 |
| 無回答 | 90 | 7.1 |

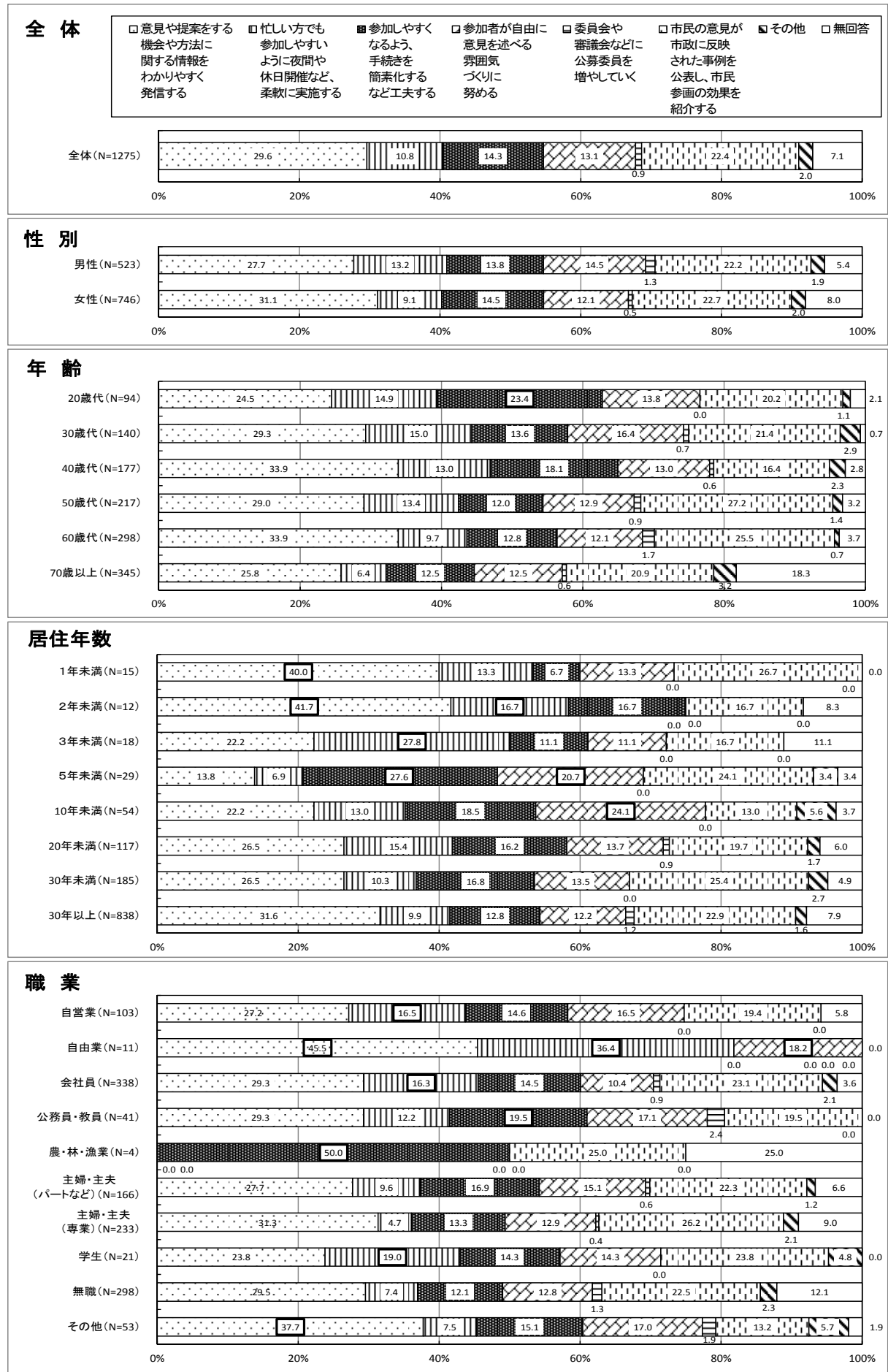
◇ 市政への市民参画を進めるために必要だと思うことは、

- 1位 「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」 (29.6%)
- 2位 「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」 (22.4%)
- 3位 「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」 (14.3%)



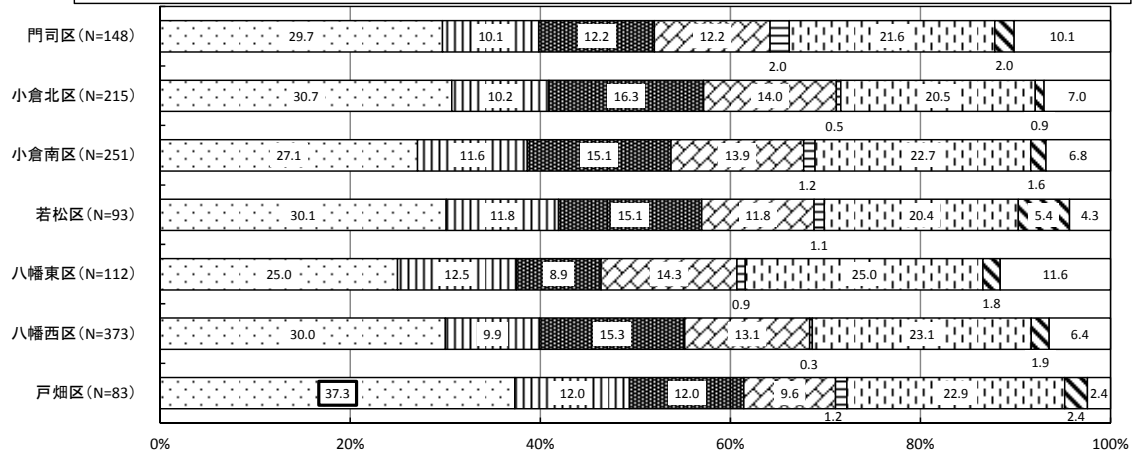
- 意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する
- 忙しい方でも参加しやすいように夜間や休日開催など、柔軟に実施する
- 参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する
- 参加者が自由に意見を述べる雰囲気づくりに努める
- 委員会や審議会などに公募委員を増やしていく
- 市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する
- その他
- 無回答

問 15 市民参画を進めるために必要なこと

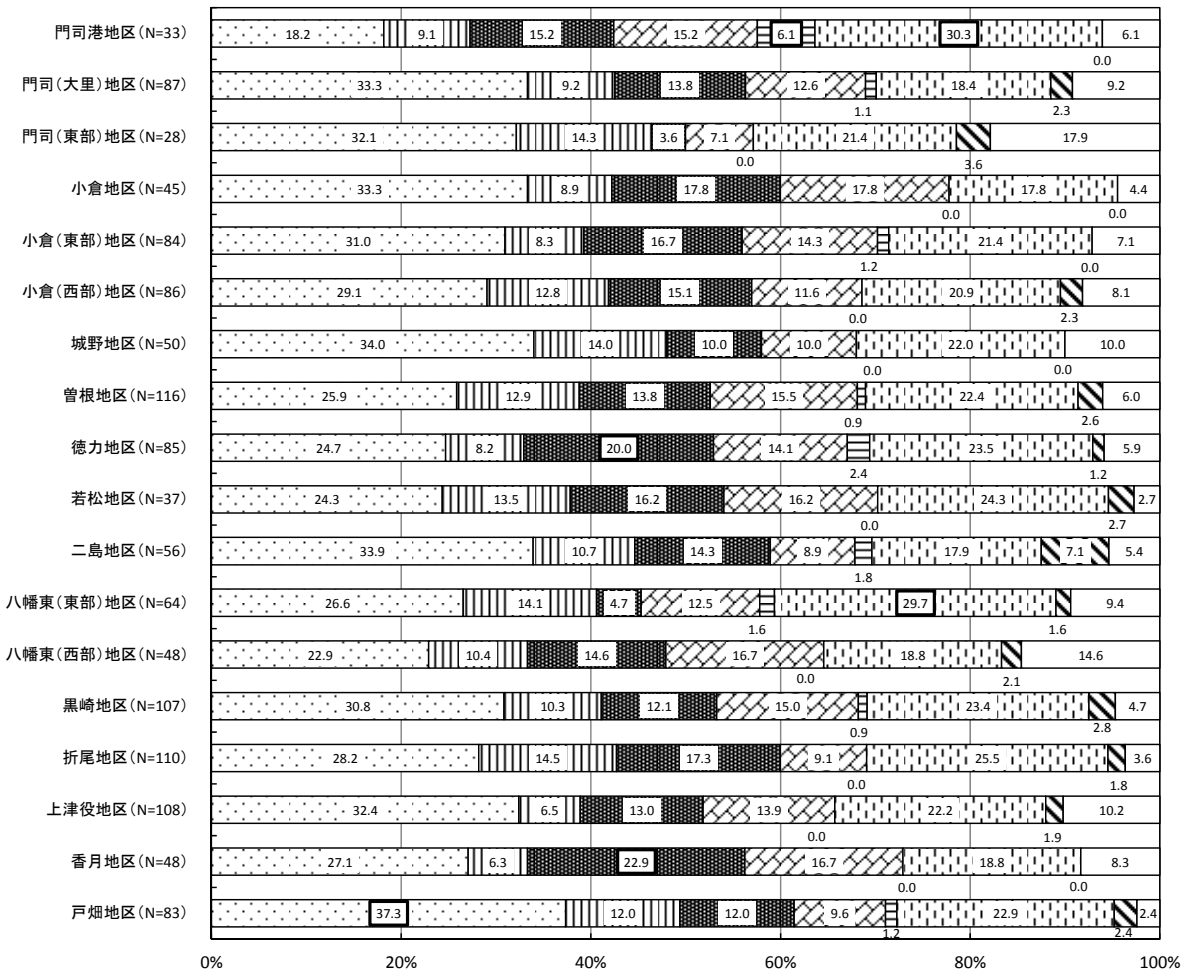


居住区

- 意見や提案をする機会や方法に
わかりやすく
発信する
- 忙しい方でも
参加しやすい
ように夜間や
休日開催など、
柔軟に実施する
- 参加しやすく
なるよう、
手続きを
簡素化する
など工夫する
- 参加者が自由に
意見を述べる
雰囲気
づくりに
努める
- 委員会や
審議会などに
公募委員を
増やしていく
- 市民の意見が
市政に反映
された事例を
公表し、市民
参画の効果を
紹介する
- その他
- 無回答



居住区(18地区)



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

市民参画を進めるために必要なこと

【全体的傾向】

市政への市民参画を進めるためには、何が必要だと思ふかについて尋ねた。

その結果、「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」(29.6%)が最も多く、次いで「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」(22.4%)、「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」(14.3%)と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」が最も多く、女性(31.1%)が男性(27.7%)を上回った。総合2位の「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」は男性(22.2%)と女性(22.7%)で差は見られなかった。同様に総合3位の「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」も男性(13.8%)と女性(14.5%)で差は見られなかった。
- ◇ 年齢別では、全ての年齢層で総合1位の「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」が最も多かった。中でも40歳代及び60歳代(各33.9%)で最も多く、最も少ない20歳代(24.5%)の差は9.4ポイントと、年齢層による大きな差は見られなかった。総合2位の「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」は50歳代(27.2%)で最も多く、最も少ない40歳代(16.4%)以外の全ての年齢層で2割を上回った。総合3位の「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」は20歳代(23.4%)で最も多く、唯一2割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」は2年未満(41.7%)で最も多く、次いで1年未満(40.0%)と続き、これらの居住年数層で4割以上を占めた。総合2位の「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」は1年未満(26.7%)で最も多かった。総合3位の「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」は5年未満(27.6%)で最も多く、唯一2割を上回った。
- ◇ 職業別では、総合1位の「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」は自由業(45.5%)で最も多く、唯一4割を上回った。総合2位の「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」は主婦・主夫(専業)(26.2%)で最も多かった。一方、自由業(0.0%)では回答した人がおらず、職業で違いが見られた。総合3位の「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」は公務員・教員(19.5%)で最も多かった。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」は戸畑区(37.3%)で最も多く、次いで小倉北区(30.7%)、若松区(30.1%)、八幡西区(30.0%)と続き、これらの区で3割以上を占めた。総合2位の「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」は八幡東区(25.0%)で最も多く、最も少ない若松区(20.4%)との差は4.6ポイントと、区による大きな差は見られなかった。総合3位の「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」は小倉北区(16.3%)で最も多く、最も少ない八幡東区(8.9%)との差は7.4ポイントと、区による大きな差は見られなかった。

行政区を18地区に細分化して見ると、総合1位の「意見や提案をする機会や方法に関する情

報をわかりやすく発信する」は戸畑地区(37.3%)で最も多く、最も少ない門司港地区(18.2%)以外の全ての地区で2割を上回った。総合2位の「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」は門司港地区(30.3%)で最も多く、唯一3割を上回った。総合3位の「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」は香月地区(22.9%)で最も多く、次いで徳力地区(20.0%)と続き、これらの地区で2割以上を占めた。

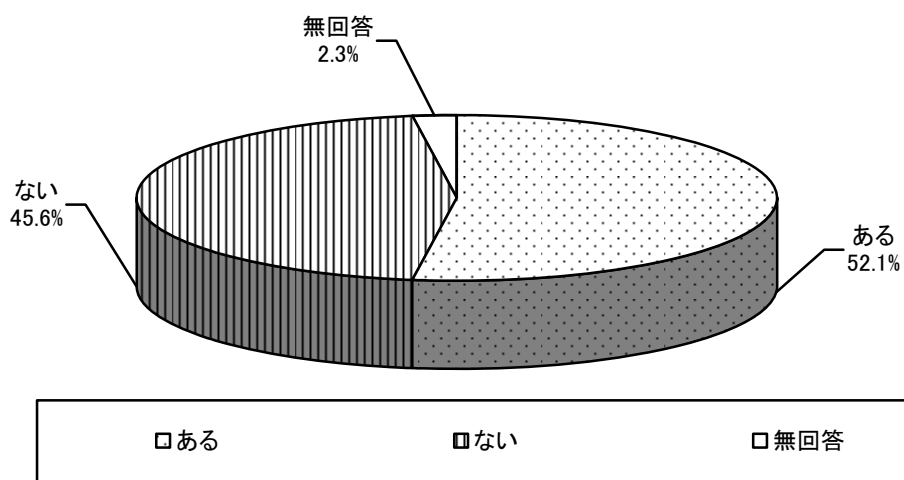
(15) 地域活動への参加経験の有無

問 16 あなたは、これまでに「地域活動」に参加したことがありますか。どちらか1つだけ選んでください。

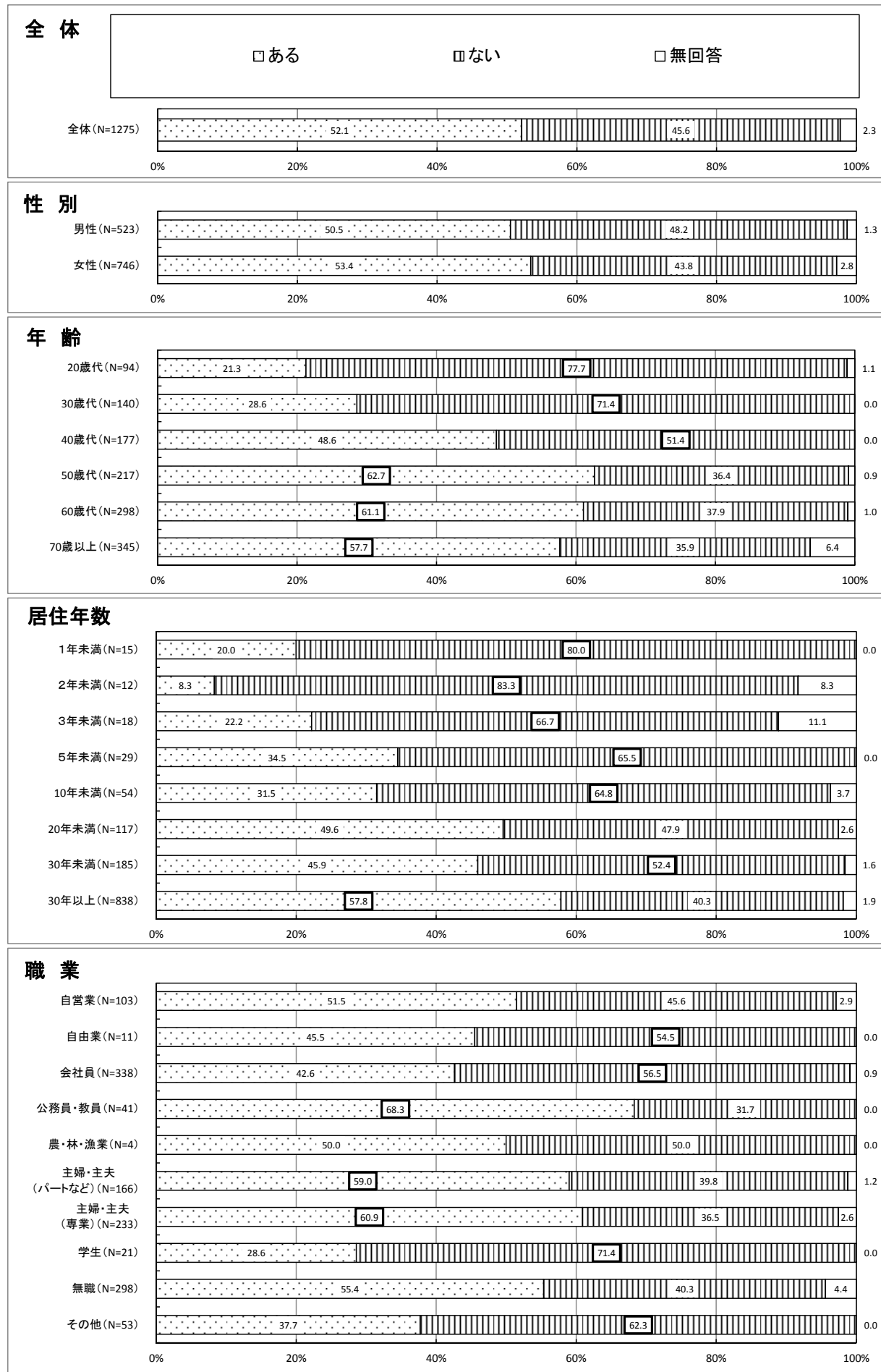
N : 1,275 人

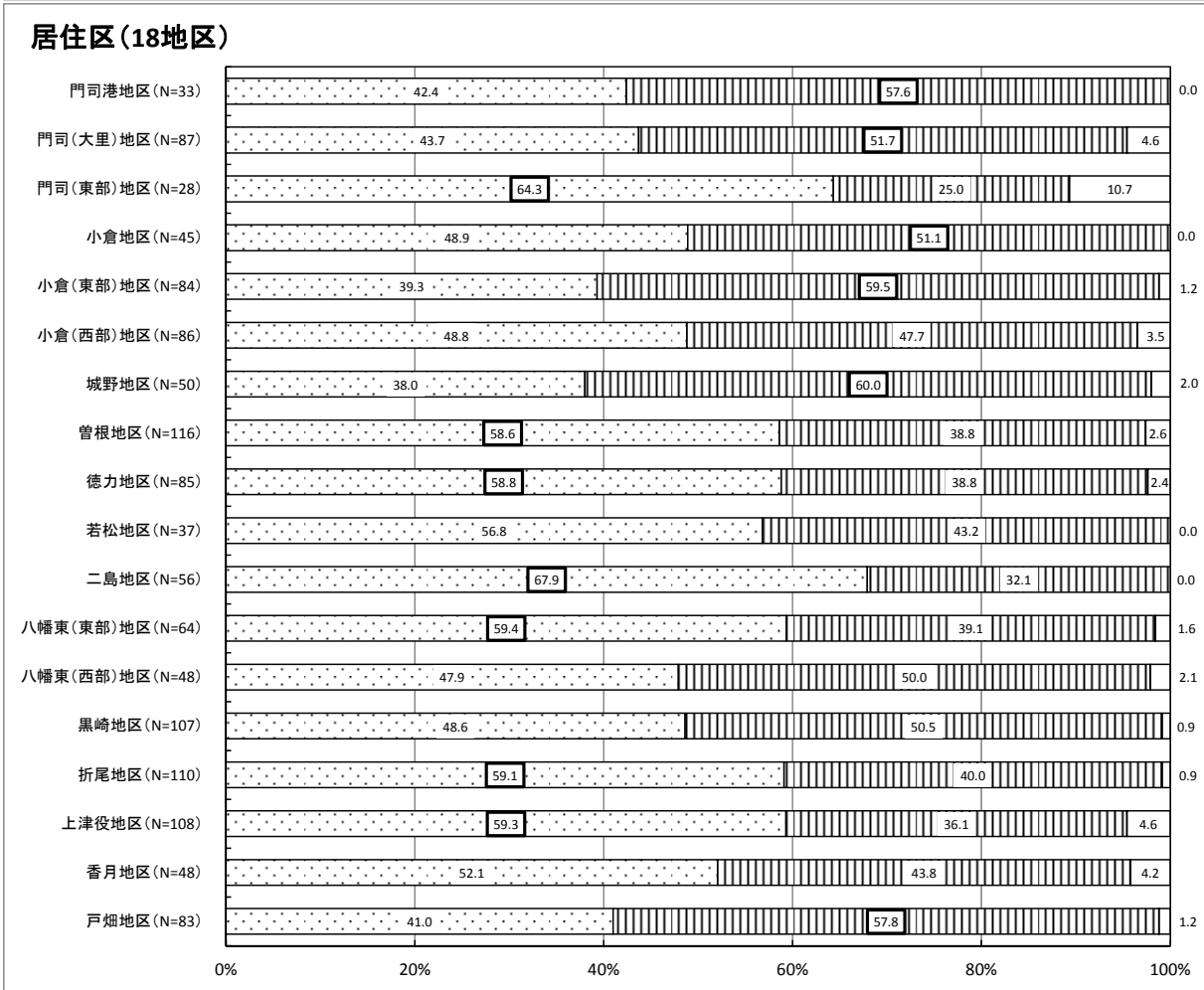
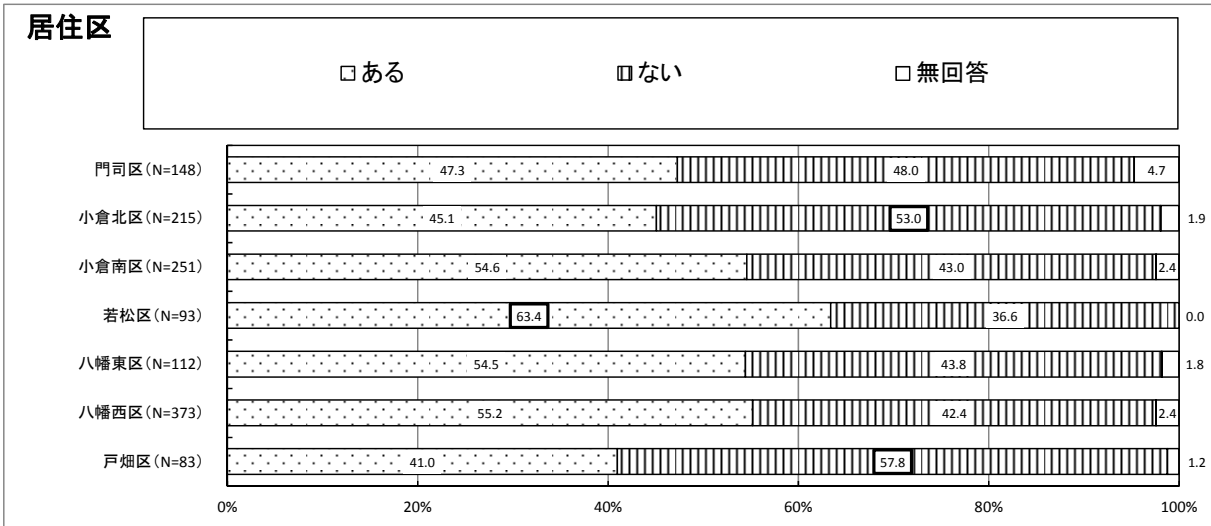
| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|------|---------|--------|
| 1 ある | 664 | 52.1 |
| 2 ない | 582 | 45.6 |
| 無回答 | 29 | 2.3 |

◇ これまでに「地域活動」に参加したことが、
1位 「ある」(52.1%)
2位 「ない」(45.6%)



問 16 地域活動への参加経験の有無





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

地域活動への参加経験の有無

【全体的傾向】

これまでに地域活動に参加したことがあるかについて尋ねた。

その結果、参加したことが「ある」(52.1%)が、参加したことが「ない」(45.6%)を上回った。

【属性別にみた傾向】

◇ 性別では、男女ともに「ある」が多く、女性(53.4%)が男性(50.5%)をわずかに上回った。

◇ 年齢別では、「ある」は20歳代(21.3%)で最も少なく、30歳代(28.6%)、40歳代(48.6%)、50歳代(62.7%)と年齢層が高くなるにつれ増加したが、60歳代(61.1%)、70歳以上(57.7%)では年齢層が高くなるにつれ逆に減少した。

◇ 居住年数別では、「ある」は1年未満(20.0%)、2年未満(8.3%)、3年未満(22.2%)までは3割を下回り、5年未満(34.5%)と10年未満(31.5%)は3割台、20年未満(49.6%)と30年未満(45.9%)は4割台、30年以上(57.8%)は5割台と、おおむね居住年数の長い層ほど増加した。

◇ 職業別では、「ある」は公務員・教員(68.3%)で最も多く、次いで主婦・主夫(専業)(60.9%)、主婦・主夫(パートなど)(59.0%)、無職(55.4%)、自営業(51.5%)と続き、これらの職業層で5割を上回った。一方、「ない」は学生(71.4%)で最も多く、次いでその他(62.3%)、会社員(56.5%)、自由業(54.5%)と続き、これらの職業層で5割を上回った。

◇ 居住区を行政区別に見ると、「ある」は若松区(63.4%)で最も多く、次いで八幡西区(55.2%)、小倉南区(54.6%)、八幡東区(54.5%)と続き、これらの区で5割を上回った。一方、「ない」は戸畑区(57.8%)で最も多く、次いで小倉北区(53.0%)と続き、これらの区で5割を上回った。門司区は「ない」(48.0%)が「ある」(47.3%)をわずかに上回った。

行政区を18地区に細分化して見ると、「ある」は二島地区(67.9%)で最も多く、次いで門司(東部)地区(64.3%)と続き、これらの地区で6割を上回った。一方、「ない」は城野地区(60.0%)で最も多く、唯一6割を占めた。

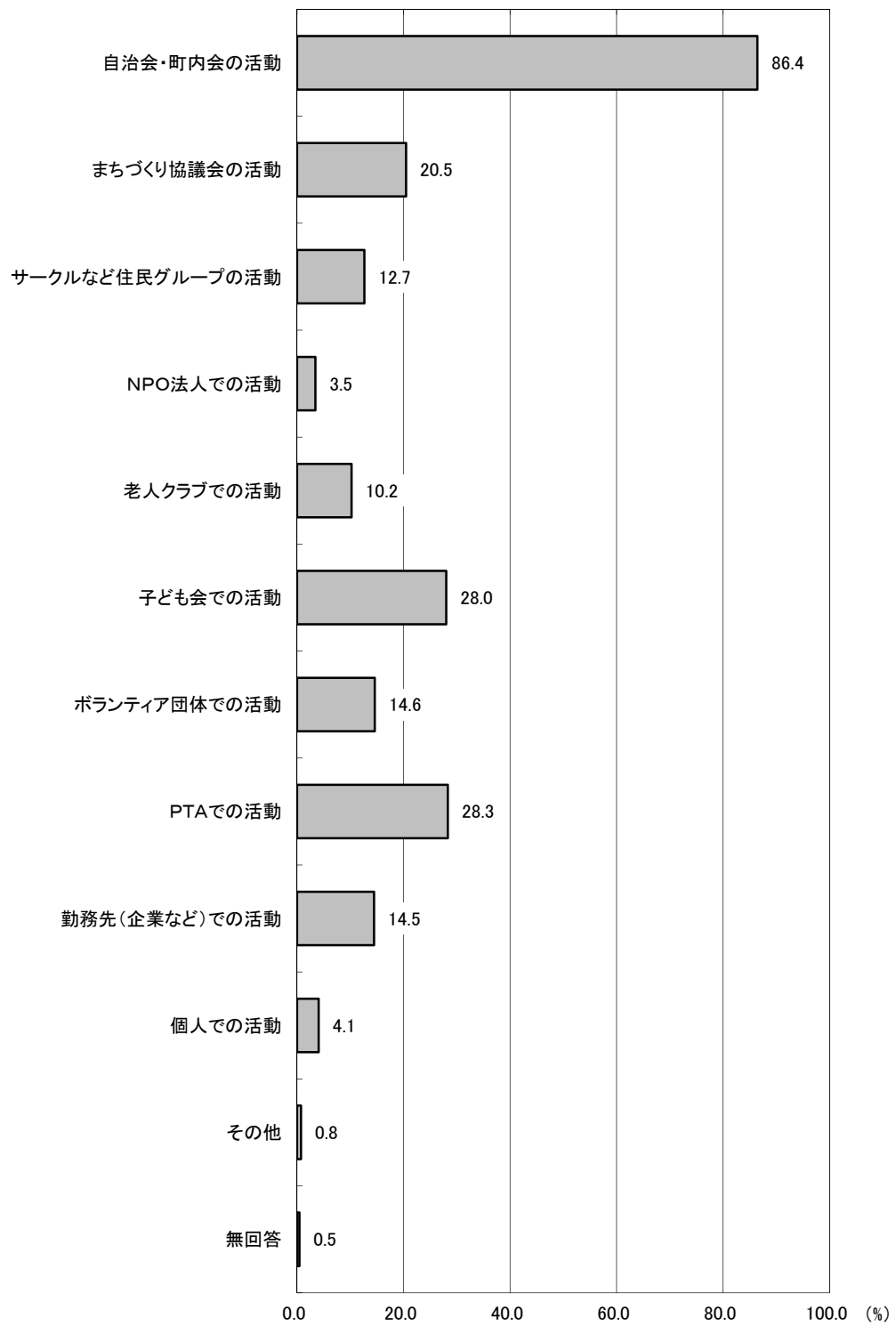
(15) -1 どのような地域活動に参加したことがあるか

副問 16-1 問 16 で 1 を選んだ方におたずねします。どのような「地域活動」に参加しましたか。活動回数の多いものを 3 つまで選んでください。

N : 664 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|-------------------|---------|--------|
| 1 自治会・町内会の活動 | 574 | 86.4 |
| 2 まちづくり協議会の活動 | 136 | 20.5 |
| 3 サークルなど住民グループの活動 | 84 | 12.7 |
| 4 NPO 法人での活動 | 23 | 3.5 |
| 5 老人クラブでの活動 | 68 | 10.2 |
| 6 子ども会での活動 | 186 | 28.0 |
| 7 ボランティア団体での活動 | 97 | 14.6 |
| 8 P T A での活動 | 188 | 28.3 |
| 9 勤務先 (企業など) での活動 | 96 | 14.5 |
| 10 個人での活動 | 27 | 4.1 |
| 11 その他 | 5 | 0.8 |
| 無回答 | 3 | 0.5 |

- ◇ 参加した「地域活動」で活動回数の多いものは、
- 1 位 「自治会・町内会の活動」(86.4%)
 - 2 位 「P T A での活動」(28.3%)
 - 3 位 「子ども会での活動」(28.0%)



副問 16-1 どういった地域活動に参加したことがあるか

| | | サンプル数 | 自治会・町内会の活動 | まちづくり協議会の活動 | サークルなど住民グループの活動 | NPO法人での活動 | 老人クラブでの活動 | 子ども会での活動 | ボランティア団体での活動 | PTAでの活動 | 勤務先（企業など）での活動 | 個人での活動 | その他 | 無回答 | |
|-------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|---------------|-------------|-----|-----|-----|
| 全体 | | 664 | 86.4 | 20.5 | 12.7 | 3.5 | 10.2 | 28.0 | 14.6 | 28.3 | 14.5 | 4.1 | 0.8 | 0.5 | |
| 性別 | 男性 | 264 | 84.5 | 24.6 | 10.2 | 4.2 | 11.0 | 22.7 | 14.4 | 15.5 | 19.7 | 6.1 | 1.5 | 0.8 | |
| | 女性 | 398 | 87.9 | 17.6 | 14.3 | 3.0 | 9.8 | 31.7 | 14.6 | 36.9 | 11.1 | 2.8 | 0.3 | 0.3 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 20 | 70.0 | 5.0 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 35.0 | 5.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 30歳代 | 40 | 67.5 | 5.0 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 30.0 | 10.0 | 32.5 | 32.5 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | |
| | 40歳代 | 86 | 74.4 | 18.6 | 4.7 | 2.3 | 1.2 | 23.3 | 5.8 | 54.7 | 26.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 50歳代 | 136 | 89.7 | 12.5 | 2.2 | 4.4 | 0.7 | 36.8 | 10.3 | 45.6 | 19.1 | 3.7 | 0.0 | 0.7 | |
| | 60歳代 | 182 | 94.5 | 26.4 | 15.4 | 1.6 | 7.1 | 32.4 | 17.0 | 24.7 | 12.1 | 4.4 | 0.5 | 0.5 | |
| | 70歳以上 | 199 | 87.9 | 25.6 | 23.1 | 5.5 | 26.6 | 17.6 | 17.6 | 10.1 | 4.0 | 6.5 | 2.0 | 0.5 | |
| | 1年未満 | 3 | 100.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 66.7 | 33.3 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 2年未満 | 1 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | |
| 3年未満 | 4 | 75.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 75.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | |
| 5年未満 | 10 | 70.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 20.0 | 10.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | |
| 10年未満 | 17 | 82.4 | 5.9 | 11.8 | 0.0 | 0.0 | 23.5 | 11.8 | 23.5 | 41.2 | 5.9 | 0.0 | 0.0 | | |
| 20年未満 | 58 | 81.0 | 15.5 | 8.6 | 3.4 | 8.6 | 17.2 | 17.2 | 32.8 | 10.3 | 5.2 | 0.0 | 0.0 | | |
| 30年未満 | 85 | 80.0 | 14.1 | 12.9 | 2.4 | 2.4 | 40.0 | 9.4 | 30.6 | 20.0 | 3.5 | 0.0 | 1.2 | | |
| 30年以上 | 484 | 88.8 | 22.9 | 13.0 | 3.7 | 12.2 | 27.7 | 14.9 | 28.5 | 12.4 | 4.1 | 1.0 | 0.4 | | |
| 職業別 | 自営業 | 53 | 90.6 | 20.8 | 9.4 | 5.7 | 7.5 | 30.2 | 7.5 | 22.6 | 7.5 | 7.5 | 0.0 | 0.0 | |
| | 自由業 | 5 | 100.0 | 40.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 会社員 | 144 | 79.2 | 16.0 | 2.1 | 4.2 | 2.1 | 27.1 | 9.0 | 29.2 | 34.7 | 2.8 | 0.0 | 0.7 | |
| | 公務員・教員 | 28 | 75.0 | 10.7 | 7.1 | 7.1 | 0.0 | 25.0 | 21.4 | 46.4 | 50.0 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | |
| | 農・林・漁業 | 2 | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 主婦・主夫(パートなど) | 98 | 85.7 | 23.5 | 9.2 | 4.1 | 3.1 | 39.8 | 14.3 | 53.1 | 2.0 | 3.1 | 0.0 | 0.0 | |
| | 主婦・主夫(専業) | 142 | 91.5 | 19.0 | 19.0 | 1.4 | 11.3 | 28.9 | 16.2 | 33.8 | 4.9 | 2.1 | 0.7 | 0.0 | |
| | 学生 | 6 | 50.0 | 0.0 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 無職 | 165 | 90.9 | 24.8 | 20.6 | 3.0 | 24.2 | 20.6 | 18.2 | 7.3 | 7.3 | 4.8 | 2.4 | 1.2 | |
| | その他 | 20 | 85.0 | 15.0 | 10.0 | 5.0 | 10.0 | 35.0 | 10.0 | 35.0 | 30.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 居住区別 | 行政区分 | 門司区 | 70 | 84.3 | 8.6 | 14.3 | 1.4 | 14.3 | 31.4 | 14.3 | 35.7 | 15.7 | 1.4 | 0.0 | 1.4 |
| | | 小倉北区 | 97 | 87.6 | 20.6 | 5.2 | 3.1 | 10.3 | 34.0 | 17.5 | 33.0 | 17.5 | 5.2 | 0.0 | 0.0 |
| | | 小倉南区 | 137 | 86.1 | 23.4 | 10.9 | 5.8 | 15.3 | 29.2 | 13.1 | 24.1 | 15.3 | 5.1 | 2.2 | 0.0 |
| | | 若松区 | 59 | 94.9 | 18.6 | 23.7 | 0.0 | 13.6 | 23.7 | 8.5 | 22.0 | 18.6 | 1.7 | 0.0 | 0.0 |
| | | 八幡東区 | 61 | 83.6 | 27.9 | 8.2 | 3.3 | 4.9 | 26.2 | 26.2 | 18.0 | 11.5 | 4.9 | 1.6 | 0.0 |
| | | 八幡西区 | 206 | 87.9 | 20.4 | 14.6 | 3.9 | 7.3 | 25.2 | 13.1 | 29.6 | 10.7 | 3.4 | 0.5 | 1.0 |
| | | 戸畑区 | 34 | 70.6 | 23.5 | 14.7 | 2.9 | 2.9 | 26.5 | 11.8 | 38.2 | 20.6 | 8.8 | 0.0 | 0.0 |
| | | 門司港地区 | 14 | 85.7 | 14.3 | 21.4 | 0.0 | 21.4 | 7.1 | 14.3 | 21.4 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 7.1 |
| 門司区 | 門司(大里)地区 | 38 | 86.8 | 5.3 | 10.5 | 2.6 | 13.2 | 42.1 | 7.9 | 47.4 | 15.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 門司(東部)地区 | 18 | 77.8 | 11.1 | 16.7 | 0.0 | 11.1 | 27.8 | 27.8 | 22.2 | 22.2 | 5.6 | 0.0 | 0.0 | |
| 小倉北区 | 小倉地区 | 22 | 81.8 | 27.3 | 0.0 | 0.0 | 4.5 | 22.7 | 13.6 | 36.4 | 27.3 | 9.1 | 0.0 | 0.0 | |
| | 小倉(東部)地区 | 33 | 87.9 | 24.2 | 3.0 | 6.1 | 12.1 | 39.4 | 18.2 | 18.2 | 18.2 | 6.1 | 0.0 | 0.0 | |
| | 小倉(西部)地区 | 42 | 90.5 | 14.3 | 9.5 | 2.4 | 11.9 | 35.7 | 19.0 | 42.9 | 11.9 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | |
| 小倉南区 | 城野地区 | 19 | 94.7 | 10.5 | 10.5 | 0.0 | 5.3 | 57.9 | 10.5 | 42.1 | 15.8 | 0.0 | 5.3 | 0.0 | |
| | 曾根地区 | 68 | 89.7 | 29.4 | 13.2 | 7.4 | 14.7 | 19.1 | 16.2 | 25.0 | 14.7 | 5.9 | 1.5 | 0.0 | |
| | 徳力地区 | 50 | 78.0 | 20.0 | 8.0 | 6.0 | 20.0 | 32.0 | 10.0 | 16.0 | 16.0 | 6.0 | 2.0 | 0.0 | |
| 若松区 | 若松地区 | 21 | 95.2 | 23.8 | 23.8 | 0.0 | 19.0 | 28.6 | 4.8 | 19.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 二島地区 | 38 | 94.7 | 15.8 | 23.7 | 0.0 | 10.5 | 21.1 | 10.5 | 23.7 | 21.1 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | |
| 八幡東区 | 八幡東(東部)地区 | 38 | 84.2 | 31.6 | 5.3 | 2.6 | 5.3 | 31.6 | 21.1 | 15.8 | 7.9 | 5.3 | 0.0 | 0.0 | |
| | 八幡東(西部)地区 | 23 | 82.6 | 21.7 | 13.0 | 4.3 | 4.3 | 17.4 | 34.8 | 21.7 | 17.4 | 4.3 | 4.3 | 0.0 | |
| 八幡西区 | 黒崎地区 | 52 | 80.8 | 11.5 | 13.5 | 3.8 | 9.6 | 25.0 | 15.4 | 28.8 | 13.5 | 3.8 | 0.0 | 1.9 | |
| | 折尾地区 | 65 | 92.3 | 23.1 | 15.4 | 1.5 | 6.2 | 33.8 | 10.8 | 26.2 | 10.8 | 3.1 | 1.5 | 0.0 | |
| | 上津役地区 | 64 | 89.1 | 21.9 | 12.5 | 1.6 | 6.3 | 25.0 | 14.1 | 34.4 | 9.4 | 3.1 | 0.0 | 0.0 | |
| 香月地区 | 25 | 88.0 | 28.0 | 20.0 | 16.0 | 8.0 | 4.0 | 12.0 | 28.0 | 8.0 | 4.0 | 0.0 | 4.0 | | |
| 戸畑区 | 戸畑地区 | 34 | 70.6 | 23.5 | 14.7 | 2.9 | 2.9 | 26.5 | 11.8 | 38.2 | 20.6 | 8.8 | 0.0 | 0.0 | |

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

どういった地域活動に参加したことがあるか

【全体的傾向】

これまでに地域活動に参加したことがあるかについて、「ある」と回答した人に、どのような地域活動に参加したかを尋ねた。

その結果、「自治会・町内会の活動」(86.4%)が最も多く、次の「PTAでの活動」(28.3%)との差は58.1ポイントと突出していた。以降、「子ども会での活動」(28.0%)、「まちづくり協議会の活動」(20.5%)と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「自治会・町内会の活動」が最も多く、女性(87.9%)が男性(84.5%)を上回った。総合2位の「PTAでの活動」は女性(36.9%)が男性(15.5%)を大きく上回った。総合3位の「子ども会での活動」も女性(31.7%)が男性(22.7%)を上回った。一方、「まちづくり協議会の活動」は男性(24.6%)が女性(17.6%)を上回り、「勤務先(企業など)での活動」も男性(19.7%)が女性(11.1%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、全ての年齢層で総合1位の「自治会・町内会の活動」が最も多かった。中でも60歳代(94.5%)で最も多く、50歳代(89.7%)、70歳以上(87.9%)と続き、50歳以上の年齢層で8割を上回った。総合2位の「PTAでの活動」は40歳代(54.7%)で最も多く、次いで50歳代(45.6%)、30歳代(32.5%)と続き、これらの年齢層で3割を上回った。総合3位の「子ども会での活動」は20歳代(50.0%)で最も多く、次いで50歳代(36.8%)、60歳代(32.4%)、30歳代(30.0%)と続き、幅広い年齢層で3割以上を占めた。総合4位の「まちづくり協議会の活動」は60歳代(26.4%)で最も多く、次いで70歳以上(25.6%)と続き、高年齢層で2割を上回った。一方、「勤務先(企業など)での活動」は30歳代(32.5%)で最も多く、次いで40歳代(26.7%)、20歳代(20.0%)と続き、40歳代以下の年齢層で2割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、サンプル数が10人未満であった1年未満(3)、2年未満(1)、3年未満(4)については、コメントでは触れないこととする。全ての居住年数層で総合1位の「自治会・町内会の活動」が最も多かった。中でも30年以上(88.8%)で最も多く、次いで10年未満(82.4%)、20年未満(81.0%)、30年未満(80.0%)と続き、これらの居住年数層で8割以上を占めた。総合2位の「PTAでの活動」は20年未満(32.8%)で最も多く、最も少ない5年未満(10.0%)以外の全ての居住年数層で2割を上回った。総合3位の「子ども会での活動」は30年未満(40.0%)で最も多く、唯一4割を占めた。
- ◇ 職業別では、サンプル数が10人未満であった自由業(5)、学生(6)については、コメントでは触れないこととする。全ての職業層で総合1位の「自治会・町内会の活動」が最も多かった。中でも主婦・主夫(専業)(91.5%)で最も多く、次いで無職(90.9%)、自営業(90.6%)と続き、これらの職業層で9割を上回った。総合2位の「PTAでの活動」は主婦・主夫(パートなど)(53.1%)で最も多く、次いで公務員・教員(46.4%)と続いた。同様に総合3位の「子ども会での活動」も主婦・主夫(パートなど)(39.8%)で最も多く、次いでその他(35.0%)と続いた。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で総合1位の「自治会・町内会の活動」は最も多かった。中でも若松区(94.9%)で最も多く、最も低い戸畑区(70.6%)以外の全ての区で8割を上回った。総合2位の「PTAでの活動」は戸畑区(38.2%)で最も多く、次いで門司区(35.7%)、

小倉北区（33.0％）と続き、これらの区で3割を上回った。総合3位の「子ども会での活動」は小倉北区（34.0％）で最も多く、次いで門司区（31.4％）と続き、これらの区で3割を上回った。

行政区を18地区に細分化して見ると、全ての地区で総合1位の「自治会・町内会の活動」は最も多かった。中でも若松地区（95.2％）で最も多く、次いで城野地区及び二島地区（各94.7％）、折尾地区（92.3％）と続いた。総合2位の「PTAでの活動」は門司（大里）地区（47.4％）で最も多く、次いで小倉（西部）地区（42.9％）、城野地区（42.1％）と続き、これらの地区で4割を上回った。総合3位の「子ども会での活動」は城野地区（57.9％）で最も多く、唯一5割を上回った。

(15) -2 地域活動に参加している理由

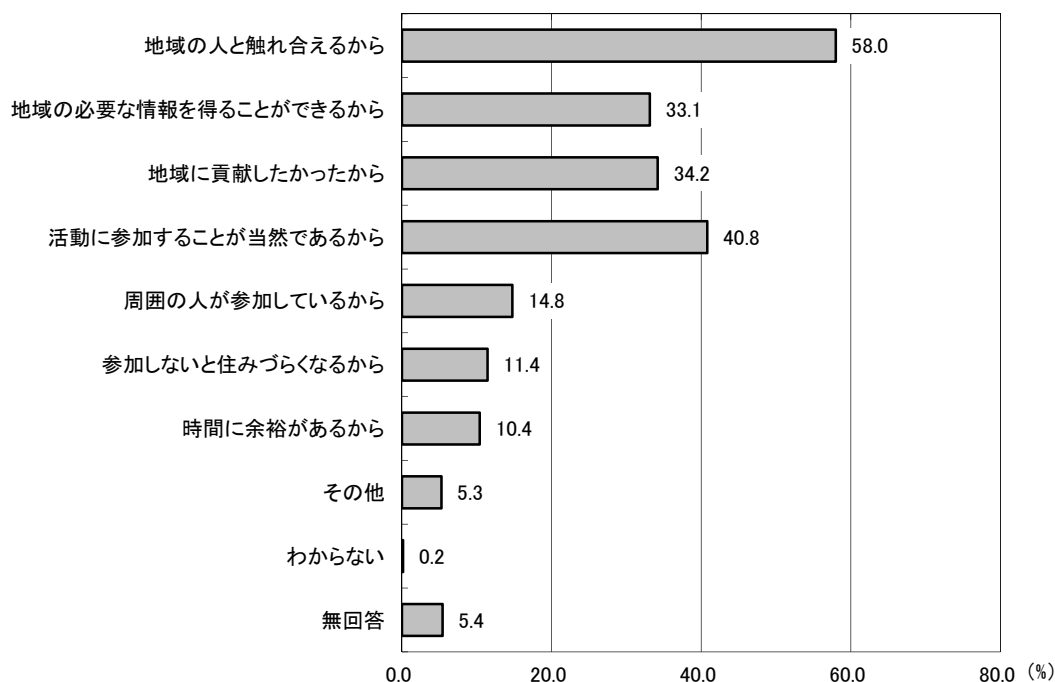
副問 16-2 問 16 で 1 を選んだ方におたずねします。あなたが「地域活動」に参加している理由は何ですか。次の中から 3 つまで選んでください。

N : 664 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|-----------------------|---------|--------|
| 1 地域の人と触れ合えるから | 385 | 58.0 |
| 2 地域の必要な情報を得ることができるから | 220 | 33.1 |
| 3 地域に貢献したかったから | 227 | 34.2 |
| 4 活動に参加することが当然であるから | 271 | 40.8 |
| 5 周囲の人が参加しているから | 98 | 14.8 |
| 6 参加しないと住みづらくなるから | 76 | 11.4 |
| 7 時間に余裕があるから | 69 | 10.4 |
| 8 その他 | 35 | 5.3 |
| 9 わからない | 1 | 0.2 |
| 無回答 | 36 | 5.4 |

◇ 「地域活動」に参加している理由は、

- 1 位 「地域の人と触れ合えるから」 (58.0%)
- 2 位 「活動に参加することが当然であるから」 (40.8%)
- 3 位 「地域に貢献したかったから」 (34.2%)



副問 16-2 地域活動に参加している理由

| | | サンプル数 | 地域の人と触れ合えるから | 地域の必要な情報を得ることが出来るから | 地域に貢献したかったから | 活動に参加することが当然であるから | 周囲の人が参加しているから | 参加しないと住みづらくなるから | 時間に余裕があるから | その他 | わからない | 無回答 | |
|-------------|--------------|-----------|--------------|---------------------|--------------|-------------------|---------------|-----------------|-------------|-------------|-------|------|------|
| 全体 | | 664 | 58.0 | 33.1 | 34.2 | 40.8 | 14.8 | 11.4 | 10.4 | 5.3 | 0.2 | 5.4 | |
| 性別 | 男性 | 264 | 56.8 | 28.4 | 42.8 | 37.9 | 15.2 | 10.6 | 14.0 | 3.8 | 0.0 | 4.9 | |
| | 女性 | 398 | 59.0 | 36.4 | 28.1 | 43.0 | 14.6 | 11.8 | 8.0 | 6.3 | 0.3 | 5.8 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 20 | 40.0 | 10.0 | 35.0 | 25.0 | 20.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 5.0 | 5.0 | |
| | 30歳代 | 40 | 52.5 | 20.0 | 25.0 | 25.0 | 22.5 | 7.5 | 2.5 | 7.5 | 0.0 | 10.0 | |
| | 40歳代 | 86 | 41.9 | 26.7 | 34.9 | 31.4 | 16.3 | 11.6 | 5.8 | 8.1 | 0.0 | 7.0 | |
| | 50歳代 | 136 | 48.5 | 27.9 | 34.6 | 49.3 | 19.1 | 19.1 | 2.2 | 4.4 | 0.0 | 1.5 | |
| | 60歳代 | 182 | 64.3 | 40.7 | 32.4 | 39.0 | 14.3 | 12.1 | 15.4 | 4.9 | 0.0 | 4.9 | |
| | 70歳以上 | 199 | 68.8 | 37.7 | 36.7 | 45.7 | 9.5 | 7.5 | 14.1 | 5.0 | 0.0 | 7.0 | |
| 居住年数別 | 1年未満 | 3 | 100.0 | 33.3 | 33.3 | 66.7 | 33.3 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 2年未満 | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 3年未満 | 4 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 5年未満 | 10 | 70.0 | 10.0 | 30.0 | 30.0 | 30.0 | 30.0 | 20.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 10年未満 | 17 | 52.9 | 11.8 | 47.1 | 23.5 | 5.9 | 5.9 | 5.9 | 17.6 | 0.0 | 11.8 | |
| | 20年未満 | 58 | 41.4 | 22.4 | 29.3 | 36.2 | 20.7 | 6.9 | 1.7 | 8.6 | 0.0 | 8.6 | |
| | 30年未満 | 85 | 58.8 | 31.8 | 28.2 | 43.5 | 15.3 | 7.1 | 9.4 | 2.4 | 1.2 | 4.7 | |
| | 30年以上 | 484 | 60.1 | 36.0 | 35.5 | 41.5 | 13.8 | 12.6 | 11.6 | 5.0 | 0.0 | 5.2 | |
| 職業別 | 自営業 | 53 | 62.3 | 26.4 | 34.0 | 43.4 | 7.5 | 11.3 | 7.5 | 7.5 | 0.0 | 1.9 | |
| | 自由業 | 5 | 40.0 | 40.0 | 40.0 | 60.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 会社員 | 144 | 48.6 | 21.5 | 32.6 | 36.8 | 20.1 | 11.8 | 2.8 | 5.6 | 0.7 | 4.9 | |
| | 公務員・教員 | 28 | 50.0 | 14.3 | 39.3 | 42.9 | 17.9 | 14.3 | 10.7 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | |
| | 農・林・漁業 | 2 | 100.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 主婦・主夫(パートなど) | 98 | 52.0 | 38.8 | 27.6 | 38.8 | 12.2 | 11.2 | 8.2 | 7.1 | 0.0 | 6.1 | |
| | 主婦・主夫(専業) | 142 | 64.8 | 46.5 | 29.6 | 45.1 | 18.3 | 13.4 | 9.2 | 4.2 | 0.0 | 4.9 | |
| | 学生 | 6 | 66.7 | 0.0 | 50.0 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 無職 | 165 | 63.6 | 32.7 | 41.8 | 40.6 | 9.7 | 9.1 | 18.8 | 4.2 | 0.0 | 9.1 | |
| | その他 | 20 | 60.0 | 50.0 | 35.0 | 40.0 | 20.0 | 15.0 | 0.0 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 居住区別 | 行政区分 | 門司区 | 70 | 55.7 | 30.0 | 34.3 | 44.3 | 17.1 | 7.1 | 17.1 | 2.9 | 0.0 | 4.3 |
| | | 小倉北区 | 97 | 51.5 | 28.9 | 36.1 | 38.1 | 19.6 | 10.3 | 9.3 | 7.2 | 1.0 | 2.1 |
| | | 小倉南区 | 137 | 59.1 | 32.8 | 42.3 | 43.8 | 8.8 | 15.3 | 14.6 | 5.1 | 0.0 | 4.4 |
| | | 若松区 | 59 | 67.8 | 35.6 | 30.5 | 42.4 | 13.6 | 13.6 | 8.5 | 3.4 | 0.0 | 5.1 |
| | | 八幡東区 | 61 | 54.1 | 34.4 | 41.0 | 41.0 | 14.8 | 14.8 | 11.5 | 6.6 | 0.0 | 6.6 |
| | | 八幡西区 | 206 | 60.7 | 35.0 | 28.2 | 38.8 | 16.5 | 9.7 | 6.8 | 5.3 | 0.0 | 8.3 |
| | | 戸畑区 | 34 | 50.0 | 35.3 | 26.5 | 38.2 | 11.8 | 8.8 | 5.9 | 5.9 | 0.0 | 2.9 |
| 居住区別(18地区別) | 門司区 | 門司港地区 | 14 | 78.6 | 50.0 | 42.9 | 21.4 | 7.1 | 0.0 | 35.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | | 門司(大里)地区 | 38 | 50.0 | 23.7 | 23.7 | 52.6 | 15.8 | 10.5 | 15.8 | 5.3 | 0.0 | 5.3 |
| | | 門司(東部)地区 | 18 | 50.0 | 27.8 | 50.0 | 44.4 | 27.8 | 5.6 | 5.6 | 0.0 | 0.0 | 5.6 |
| | 小倉北区 | 小倉地区 | 22 | 50.0 | 22.7 | 36.4 | 45.5 | 13.6 | 0.0 | 4.5 | 4.5 | 0.0 | 0.0 |
| | | 小倉(東部)地区 | 33 | 63.6 | 36.4 | 33.3 | 42.4 | 21.2 | 3.0 | 18.2 | 3.0 | 3.0 | 0.0 |
| | | 小倉(西部)地区 | 42 | 42.9 | 26.2 | 38.1 | 31.0 | 21.4 | 21.4 | 4.8 | 11.9 | 0.0 | 4.8 |
| | 小倉南区 | 城野地区 | 19 | 52.6 | 36.8 | 31.6 | 31.6 | 21.1 | 26.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.3 |
| | | 曾根地区 | 68 | 61.8 | 38.2 | 47.1 | 41.2 | 5.9 | 14.7 | 14.7 | 5.9 | 0.0 | 4.4 |
| | | 徳力地区 | 50 | 58.0 | 24.0 | 40.0 | 52.0 | 8.0 | 12.0 | 20.0 | 6.0 | 0.0 | 4.0 |
| | 若松区 | 若松地区 | 21 | 76.2 | 38.1 | 33.3 | 42.9 | 4.8 | 14.3 | 4.8 | 4.8 | 0.0 | 9.5 |
| | | 二島地区 | 38 | 63.2 | 34.2 | 28.9 | 42.1 | 18.4 | 13.2 | 10.5 | 2.6 | 0.0 | 2.6 |
| | 八幡東区 | 八幡東(東部)地区 | 38 | 55.3 | 28.9 | 44.7 | 42.1 | 10.5 | 15.8 | 10.5 | 7.9 | 0.0 | 7.9 |
| | | 八幡東(西部)地区 | 23 | 52.2 | 43.5 | 34.8 | 39.1 | 21.7 | 13.0 | 13.0 | 4.3 | 0.0 | 4.3 |
| | 八幡西区 | 黒崎地区 | 52 | 50.0 | 30.8 | 32.7 | 44.2 | 11.5 | 5.8 | 5.8 | 9.6 | 0.0 | 9.6 |
| | | 折尾地区 | 65 | 63.1 | 32.3 | 32.3 | 32.3 | 23.1 | 13.8 | 4.6 | 3.1 | 0.0 | 4.6 |
| | | 上津役地区 | 64 | 62.5 | 35.9 | 17.2 | 42.2 | 17.2 | 9.4 | 10.9 | 4.7 | 0.0 | 9.4 |
| | 戸畑区 | 香月地区 | 25 | 72.0 | 48.0 | 36.0 | 36.0 | 8.0 | 8.0 | 4.0 | 4.0 | 0.0 | 12.0 |
| | | 戸畑地区 | 34 | 50.0 | 35.3 | 26.5 | 38.2 | 11.8 | 8.8 | 5.9 | 5.9 | 0.0 | 2.9 |

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

地域活動に参加している理由

【全体的傾向】

これまでに地域活動に参加したことがあるかについて、「ある」と回答した人に、地域活動に参加している理由を尋ねた。

その結果、「地域の人と触れ合えるから」(58.0%)が最も多く、次いで「活動に参加することが当然であるから」(40.8%)、「地域に貢献したかったから」(34.2%)と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「地域の人と触れ合えるから」が最も多く、女性(59.0%)が男性(56.8%)をわずかに上回った。同様に総合2位の「活動に参加することが当然であるから」も女性(43.0%)が男性(37.9%)を上回った。一方、総合3位の「地域に貢献したかったから」は男性(42.8%)が女性(28.1%)を大きく上回った。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「地域の人と触れ合えるから」は70歳以上(68.8%)で最も多く、次いで60歳代(64.3%)と続き、高年層で6割を上回った。総合2位の「活動に参加することが当然であるから」は50歳代(49.3%)で最も多く、次いで70歳以上(45.7%)、60歳代(39.0%)、40歳代(31.4%)と続き、中年層と高年層で3割を上回った。総合3位の「地域に貢献したかったから」は70歳以上(36.7%)で最も多く、最も少ない30歳代(25.0%)以外の全ての年齢層で3割を上回った。「周囲の人が参加しているから」は30歳代(22.5%)で最も多く、次いで20歳代(20.0%)と続き、若年層で2割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、サンプル数が10人未満であった1年未満(3)、2年未満(1)、3年未満(4)についてはコメントでは触れないこととする。全ての居住年数層で総合1位の「地域の人と触れ合えるから」が最も多かった。中でも5年未満(70.0%)で最も多く、20年未満(41.4%)以外の全ての居住年数層で5割を上回った。総合2位の「活動に参加することが当然であるから」は30年未満(43.5%)で最も多く、次いで30年以上(41.5%)と続き、これらの居住年数層で4割を上回った。総合3位の「地域に貢献したかったから」は10年未満(47.1%)で最も多く、唯一4割を上回った。
- ◇ 職業別では、サンプル数が10人未満であった自由業(5)、学生(6)については、コメントでは触れないこととする。全ての職業層で総合1位の「地域の人と触れ合えるから」が最も多かった。中でも主婦・主夫(専業)(64.8%)で最も多く、次いで無職(63.6%)、自営業(62.3%)、その他(60.0%)と続き、これらの職業層で6割以上を占めた。総合2位の「活動に参加することが当然であるから」は主婦・主夫(専業)(45.1%)で最も多く、次いで自営業(43.4%)、公務員・職員(42.9%)と続いた。総合3位の「地域に貢献したかったから」は無職(41.8%)で最も多く、次いで公務員・教員(39.3%)と続いた。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で総合1位の「地域の人と触れ合えるから」が最も多かった。中でも若松区(67.8%)で最も多く、最も少ない戸畑区(50.0%)を含む全ての地区で5割以上を占めた。総合2位の「活動に参加することが当然であるから」は門司区(44.3%)で最も多く、最も少ない小倉北区(38.1%)との差は6.2ポイントと、区による大きな差は見られなかった。総合3位の「地域に貢献したかったから」は小倉南区(42.3%)で最も多く、次いで八幡東区(41.0%)と続き、これらの区で4割を上回った。

行政区を18地区に細分化して見ると、総合1位の「地域の人と触れ合えるから」は門司港地区(78.6%)で最も多く、次いで若松地区(76.2%)、香月地区(72.0%)と続き、これらの地

区で7割を上回った。総合2位の「活動に参加することが当然であるから」は門司（大里）地区（52.6%）で最も多く、次いで徳力地区（52.0%）と続き、これらの地区で5割を上回った。総合3位の「地域に貢献しなかったから」は門司（東部）地区（50.0%）で最も多く、唯一5割を占めた。

(15) -3 地域活動に参加したきっかけ

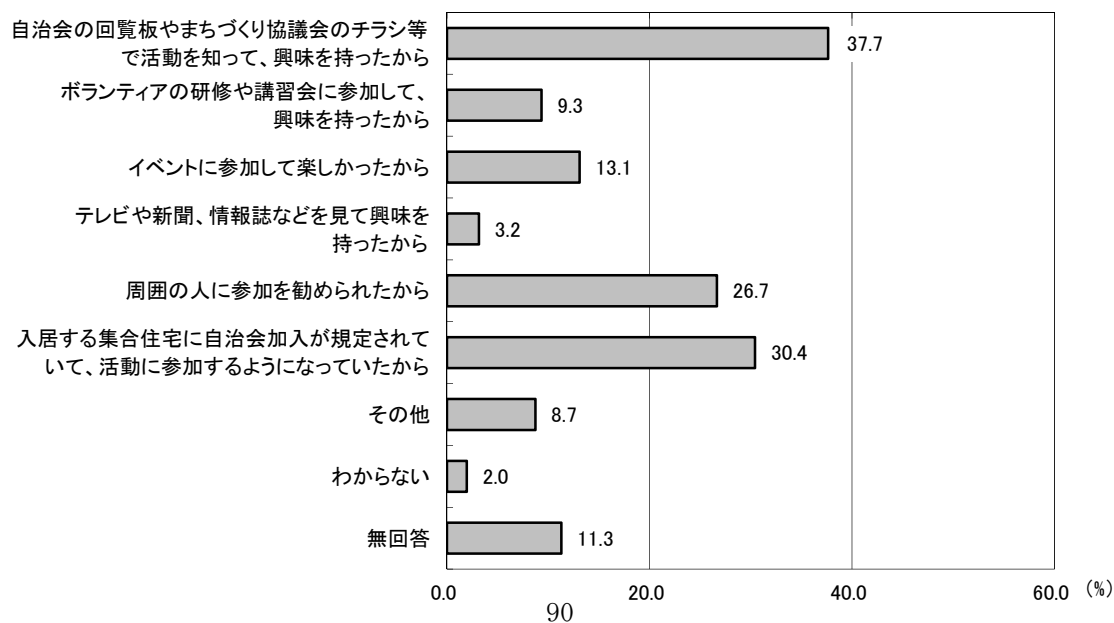
副問 16-3 問 16 で 1 を選んだ方におたずねします。あなたが「地域活動」に参加したきっかけは何ですか。次の中から 2 つまで選んでください。

N : 664 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|--|---------|--------|
| 1 自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから | 250 | 37.7 |
| 2 ボランティアの研修や講習会に参加して、興味を持ったから | 62 | 9.3 |
| 3 イベントに参加して楽しかったから | 87 | 13.1 |
| 4 テレビや新聞、情報誌などを見て興味を持ったから | 21 | 3.2 |
| 5 周囲の人に参加を勧められたから | 177 | 26.7 |
| 6 入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから | 202 | 30.4 |
| 7 その他 | 58 | 8.7 |
| 8 わからない | 13 | 2.0 |
| 無回答 | 75 | 11.3 |

◇ 「地域活動」に参加したきっかけは、

- 1 位 「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」 (37.7%)
- 2 位 「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」 (30.4%)
- 3 位 「周囲の人に参加を勧められたから」 (26.7%)



副問 16-3 地域活動に参加したきっかけ

| | | サンプル数 | 自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから | ポランテアの研修や講習会に参加して、興味を持ったから | イベントに参加して楽しかったから | テレビや新聞、情報誌などを見て興味を持ったから | 周囲の人に参加を勧められたから | 入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから | その他 | わからない | 無回答 | |
|-------|--------------|-------|---------------------------------------|----------------------------|------------------|-------------------------|-----------------|--|-------------|-------------|------|------|
| 全体 | | 664 | 37.7 | 9.3 | 13.1 | 3.2 | 26.7 | 30.4 | 8.7 | 2.0 | 11.3 | |
| 性別 | 男性 | 264 | 40.2 | 9.8 | 10.2 | 3.4 | 29.2 | 26.5 | 9.8 | 1.5 | 11.0 | |
| | 女性 | 398 | 36.2 | 9.0 | 15.1 | 3.0 | 24.9 | 32.9 | 8.0 | 2.3 | 11.6 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 20 | 20.0 | 5.0 | 15.0 | 5.0 | 40.0 | 20.0 | 5.0 | 10.0 | 15.0 | |
| | 30歳代 | 40 | 32.5 | 0.0 | 0.0 | 2.5 | 35.0 | 25.0 | 5.0 | 7.5 | 12.5 | |
| | 40歳代 | 86 | 18.6 | 4.7 | 9.3 | 0.0 | 27.9 | 30.2 | 9.3 | 2.3 | 16.3 | |
| | 50歳代 | 136 | 33.8 | 8.1 | 11.0 | 2.2 | 20.6 | 44.9 | 12.5 | 0.7 | 8.1 | |
| | 60歳代 | 182 | 43.4 | 12.6 | 15.4 | 3.3 | 29.7 | 31.3 | 7.7 | 1.6 | 6.0 | |
| | 70歳以上 | 199 | 46.2 | 11.6 | 16.6 | 5.0 | 24.1 | 22.1 | 8.0 | 1.0 | 15.6 | |
| 居住年数別 | 1年未満 | 3 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 66.7 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 2年未満 | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 3年未満 | 4 | 50.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 5年未満 | 10 | 20.0 | 10.0 | 10.0 | 0.0 | 20.0 | 50.0 | 20.0 | 0.0 | 20.0 | |
| | 10年未満 | 17 | 41.2 | 0.0 | 5.9 | 5.9 | 23.5 | 23.5 | 0.0 | 11.8 | 11.8 | |
| | 20年未満 | 58 | 31.0 | 8.6 | 6.9 | 3.4 | 17.2 | 34.5 | 15.5 | 1.7 | 10.3 | |
| | 30年未満 | 85 | 37.6 | 9.4 | 12.9 | 2.4 | 25.9 | 27.1 | 8.2 | 3.5 | 14.1 | |
| | 30年以上 | 484 | 38.4 | 9.9 | 14.0 | 3.3 | 27.9 | 30.4 | 8.3 | 1.4 | 11.0 | |
| 職業別 | 自営業 | 53 | 34.0 | 3.8 | 9.4 | 1.9 | 37.7 | 18.9 | 9.4 | 1.9 | 9.4 | |
| | 自由業 | 5 | 40.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 20.0 | |
| | 会社員 | 144 | 30.6 | 4.2 | 8.3 | 2.8 | 29.2 | 34.7 | 7.6 | 2.8 | 11.1 | |
| | 公務員・教員 | 28 | 21.4 | 10.7 | 7.1 | 7.1 | 17.9 | 32.1 | 21.4 | 3.6 | 10.7 | |
| | 農・林・漁業 | 2 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 主婦・主夫(パートなど) | 98 | 26.5 | 6.1 | 12.2 | 2.0 | 30.6 | 37.8 | 7.1 | 1.0 | 13.3 | |
| | 主婦・主夫(専業) | 142 | 45.1 | 14.8 | 16.9 | 2.1 | 21.1 | 33.1 | 7.0 | 2.8 | 9.9 | |
| | 学生 | 6 | 33.3 | 16.7 | 33.3 | 0.0 | 66.7 | 0.0 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | |
| | 無職 | 165 | 46.7 | 11.5 | 17.0 | 4.8 | 24.2 | 25.5 | 7.9 | 1.2 | 13.3 | |
| | その他 | 20 | 50.0 | 15.0 | 10.0 | 5.0 | 10.0 | 25.0 | 20.0 | 0.0 | 5.0 | |
| 居住区別 | 行政区分 | 門司区 | 70 | 28.6 | 8.6 | 14.3 | 0.0 | 34.3 | 37.1 | 5.7 | 2.9 | 11.4 |
| | | 小倉北区 | 97 | 28.9 | 6.2 | 13.4 | 4.1 | 29.9 | 33.0 | 7.2 | 2.1 | 9.3 |
| | | 小倉南区 | 137 | 40.1 | 12.4 | 13.1 | 2.9 | 24.8 | 28.5 | 15.3 | 1.5 | 10.9 |
| | | 若松区 | 59 | 35.6 | 10.2 | 10.2 | 1.7 | 25.4 | 37.3 | 6.8 | 1.7 | 11.9 |
| | | 八幡東区 | 61 | 34.4 | 16.4 | 14.8 | 3.3 | 23.0 | 31.1 | 6.6 | 1.6 | 16.4 |
| | | 八幡西区 | 206 | 45.1 | 7.3 | 14.6 | 3.4 | 23.8 | 27.7 | 6.8 | 1.9 | 11.2 |
| | | 戸畑区 | 34 | 35.3 | 5.9 | 2.9 | 8.8 | 35.3 | 20.6 | 11.8 | 2.9 | 8.8 |
| | | 門司港地区 | 14 | 50.0 | 28.6 | 28.6 | 0.0 | 14.3 | 35.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 門司区 | 門司(大里)地区 | 38 | 23.7 | 2.6 | 10.5 | 0.0 | 36.8 | 39.5 | 5.3 | 5.3 | 13.2 | |
| | 門司(東部)地区 | 18 | 22.2 | 5.6 | 11.1 | 0.0 | 44.4 | 33.3 | 11.1 | 0.0 | 16.7 | |
| | 小倉北区 | 小倉地区 | 22 | 27.3 | 0.0 | 0.0 | 9.1 | 36.4 | 27.3 | 9.1 | 0.0 | 0.0 |
| 小倉南区 | 小倉(東部)地区 | 33 | 30.3 | 9.1 | 27.3 | 3.0 | 30.3 | 27.3 | 6.1 | 6.1 | 9.1 | |
| | 小倉(西部)地区 | 42 | 28.6 | 7.1 | 9.5 | 2.4 | 26.2 | 40.5 | 7.1 | 0.0 | 14.3 | |
| | 城野地区 | 19 | 47.4 | 10.5 | 10.5 | 5.3 | 42.1 | 31.6 | 0.0 | 0.0 | 5.3 | |
| 若松区 | 曾根地区 | 68 | 39.7 | 14.7 | 10.3 | 2.9 | 19.1 | 33.8 | 14.7 | 2.9 | 16.2 | |
| | 徳力地区 | 50 | 38.0 | 10.0 | 18.0 | 2.0 | 26.0 | 20.0 | 22.0 | 0.0 | 6.0 | |
| | 若松地区 | 21 | 38.1 | 4.8 | 14.3 | 4.8 | 28.6 | 38.1 | 4.8 | 0.0 | 14.3 | |
| 八幡東区 | 二島地区 | 38 | 34.2 | 13.2 | 7.9 | 0.0 | 23.7 | 36.8 | 7.9 | 2.6 | 10.5 | |
| | 八幡東(東部)地区 | 38 | 42.1 | 13.2 | 18.4 | 2.6 | 18.4 | 31.6 | 7.9 | 0.0 | 18.4 | |
| | 八幡東(西部)地区 | 23 | 21.7 | 21.7 | 8.7 | 4.3 | 30.4 | 30.4 | 4.3 | 4.3 | 13.0 | |
| 八幡西区 | 黒崎地区 | 52 | 44.2 | 9.6 | 13.5 | 3.8 | 26.9 | 26.9 | 3.8 | 1.9 | 19.2 | |
| | 折尾地区 | 65 | 52.3 | 1.5 | 18.5 | 4.6 | 18.5 | 32.3 | 4.6 | 0.0 | 7.7 | |
| | 上津役地区 | 64 | 39.1 | 9.4 | 12.5 | 3.1 | 26.6 | 21.9 | 10.9 | 1.6 | 9.4 | |
| | 香月地区 | 25 | 44.0 | 12.0 | 12.0 | 0.0 | 24.0 | 32.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | |
| 戸畑区 | 戸畑地区 | 34 | 35.3 | 5.9 | 2.9 | 8.8 | 35.3 | 20.6 | 11.8 | 2.9 | 8.8 | |

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

地域活動に参加したきっかけ

【全体的傾向】

これまでに地域活動に参加したことがあるかについて、「ある」と回答した人に、地域活動に参加したきっかけを尋ねた。

その結果、「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」(37.7%)が最も多く、次いで「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」(30.4%)、「周囲の人に参加を勧められたから」(26.7%)と続き、これらは2割を上回った。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」が最も多く、男性(40.2%)が女性(36.2%)を上回った。総合2位の「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」は女性(32.9%)が男性(26.5%)を上回った。総合3位の「周囲の人に参加を勧められたから」は男性(29.2%)が女性(24.9%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」は70歳以上(46.2%)で最も多く、次いで60歳代(43.4%)と続き、高年齢層で4割を上回った。総合2位の「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」は50歳代(44.9%)で最も多く、唯一4割を上回った。総合3位の「周囲の人に参加を勧められたから」は20歳代(40.0%)で最も多く、次いで30歳代(35.0%)と続き、若年齢層で3割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、サンプル数が10人未満であった1年未満(3)、2年未満(1)、3年未満(4)については、コメントでは触れないこととする。総合1位の「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」は10年未満(41.2%)で最も多く、最も少ない5年未満(20.0%)以外の全ての居住年数層で3割を上回った。総合2位の「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」は5年未満(50.0%)で最も多く、唯一5割を占めた。総合3位の「周囲の人に参加を勧められたから」は30年以上(27.9%)で最も多く、20年未満(17.2%)以外の全ての居住年数層で2割を上回った。
- ◇ 職業別では、サンプル数が10人未満であった自由業(5)、学生(6)については、コメントでは触れないこととする。総合1位の「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」はその他(50.0%)で最も多く、次いで無職(46.7%)、主婦・主夫(専業)(45.1%)と続き、これらの職業層で4割を上回った。総合2位の「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」は主婦・主夫(パートなど)(37.8%)で最も多く、次いで会社員(34.7%)、主婦・主夫(専業)(33.1%)、公務員・教員(32.1%)と続き、これらの職業層で3割を上回った。総合3位の「周囲の人に参加を勧められたから」は自営業(37.7%)で最も多く、次いで主婦・主夫(パートなど)(30.6%)と続き、これらの職業層で3割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」は八幡西区(45.1%)で最も多く、次いで小倉南区(40.1%)と続き、これらの区で4割を上回った。総合2位の「入居する集合住宅に自治会加入が規定さ

れていて、活動に参加するようになっていたから」は若松区（37.3%）で最も多く、次いで門司区（37.1%）、小倉北区（33.0%）と続いた。総合3位の「周囲の人に参加を勧められたから」は戸畑区（35.3%）で最も多く、次いで門司区（34.3%）と続き、これらの区で3割を上回った。

行政区を18地区に細分化して見ると、総合1位の「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」は折尾地区（52.3%）で最も多く、次いで門司港地区（50.0%）と続き、これらの地区で5割以上を占めた。総合2位の「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」は小倉（西部）地区（40.5%）で最も多く、唯一4割を上回った。総合3位の「周囲の人に参加を勧められたから」は門司（東部）地区（44.4%）で最も多く、次いで城野地区（42.1%）と続き、これらの地区で4割を上回った。

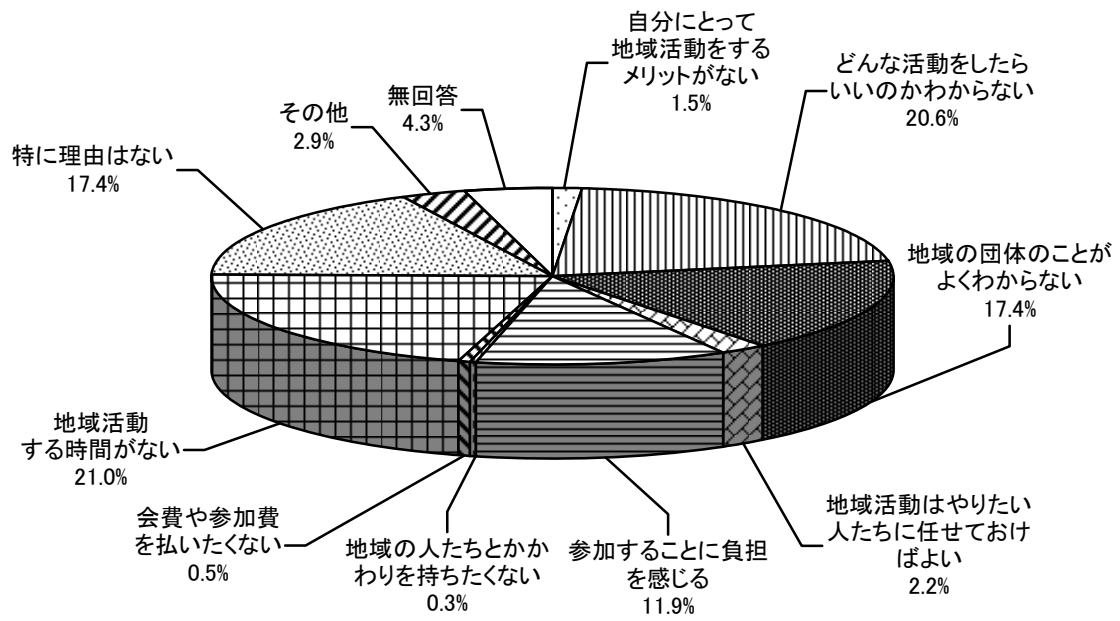
(15) -4 地域活動に参加しない理由

副問 16-4 問 16 で 2 を選んだ理由について、あなたのお考えに近いものを次の中から 1 つだけ選んでください。

N : 582 人

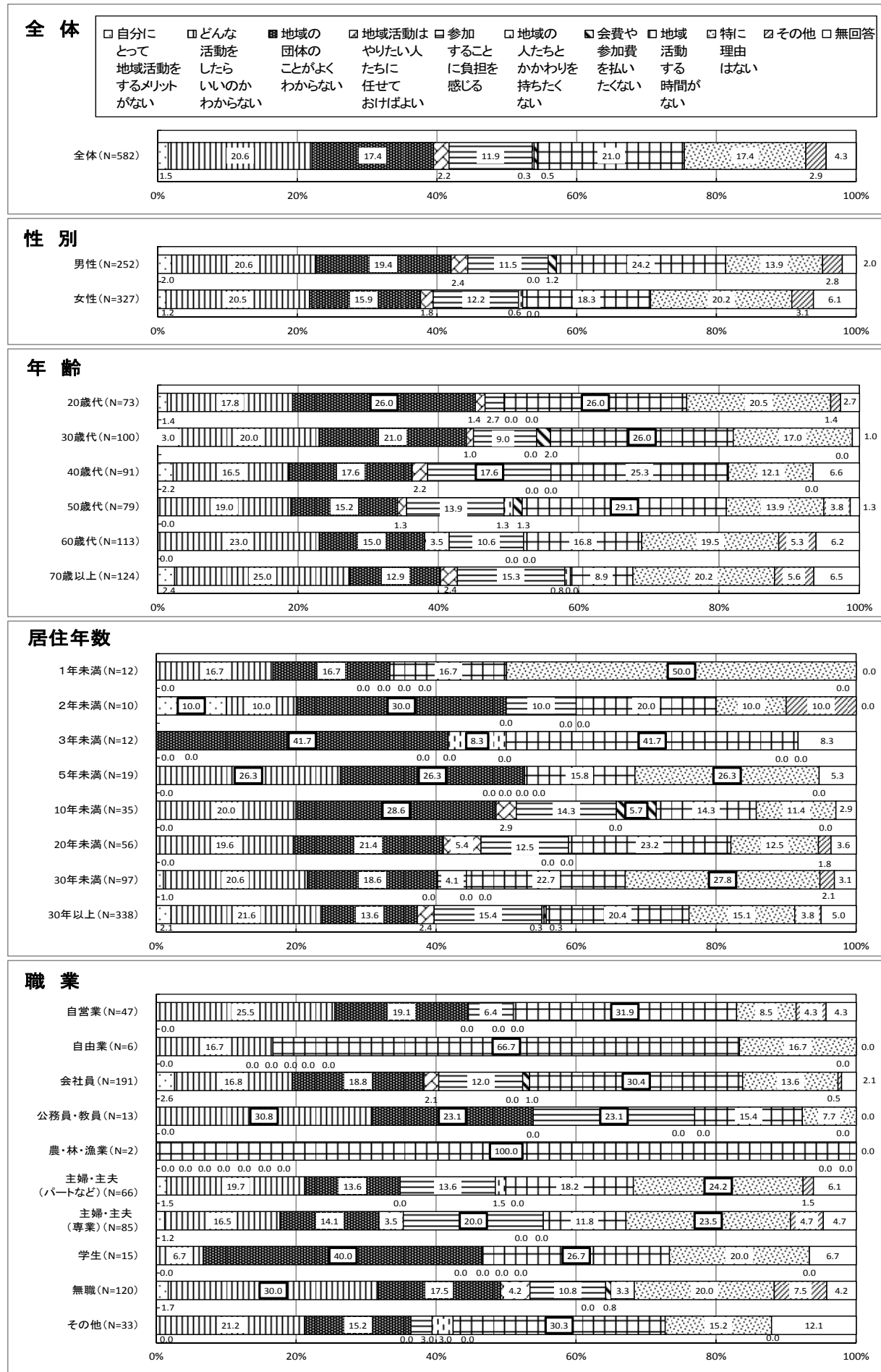
| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|-------------------------|---------|--------|
| 1 自分にとって地域活動をするメリットがない | 9 | 1.5 |
| 2 どんな活動をしたらいいのかわからない | 120 | 20.6 |
| 3 地域の団体のことがよくわからない | 101 | 17.4 |
| 4 地域活動はやりたい人たちに任せておけばよい | 13 | 2.2 |
| 5 参加することに負担を感じる | 69 | 11.9 |
| 6 地域の人たちとかかわりを持ちたくない | 2 | 0.3 |
| 7 会費や参加費を払いたくない | 3 | 0.5 |
| 8 地域活動する時間がない | 122 | 21.0 |
| 9 特に理由はない | 101 | 17.4 |
| 10 その他 | 17 | 2.9 |
| 無回答 | 25 | 4.3 |

- ◇ 「地域活動」に参加したことが「ない」理由は、
- 1 位 「地域活動する時間がない」(21.0%)
 - 2 位 「どんな活動をしたらいいのかわからない」(20.6%)
 - 3 位 「地域の団体のことがよくわからない」(17.4%・同率)
「特に理由はない」(17.4%・同率)



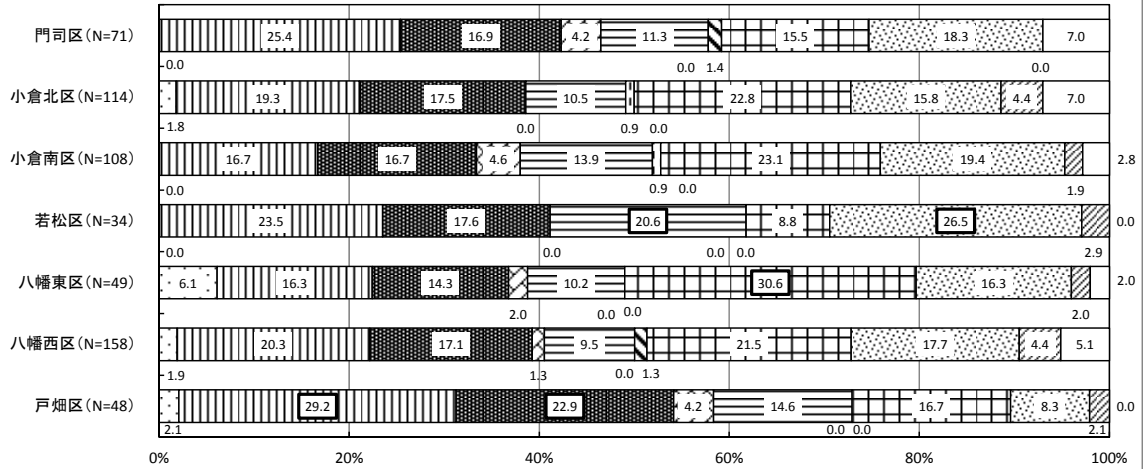
- 自分にとって地域活動をするメリットがない
- どんな活動をしたらいいかかわからない
- 地域の団体のことがよくわからない
- 地域活動はやりたい人たちに任せておけばよい
- 参加することに負担を感じる
- 地域の人たちとかかわりを持ちたくない
- 会費や参加費を払いたくない
- 地域活動する時間がない
- 特に理由はない
- その他
- 無回答

副問 16-4 地域活動に参加しない理由

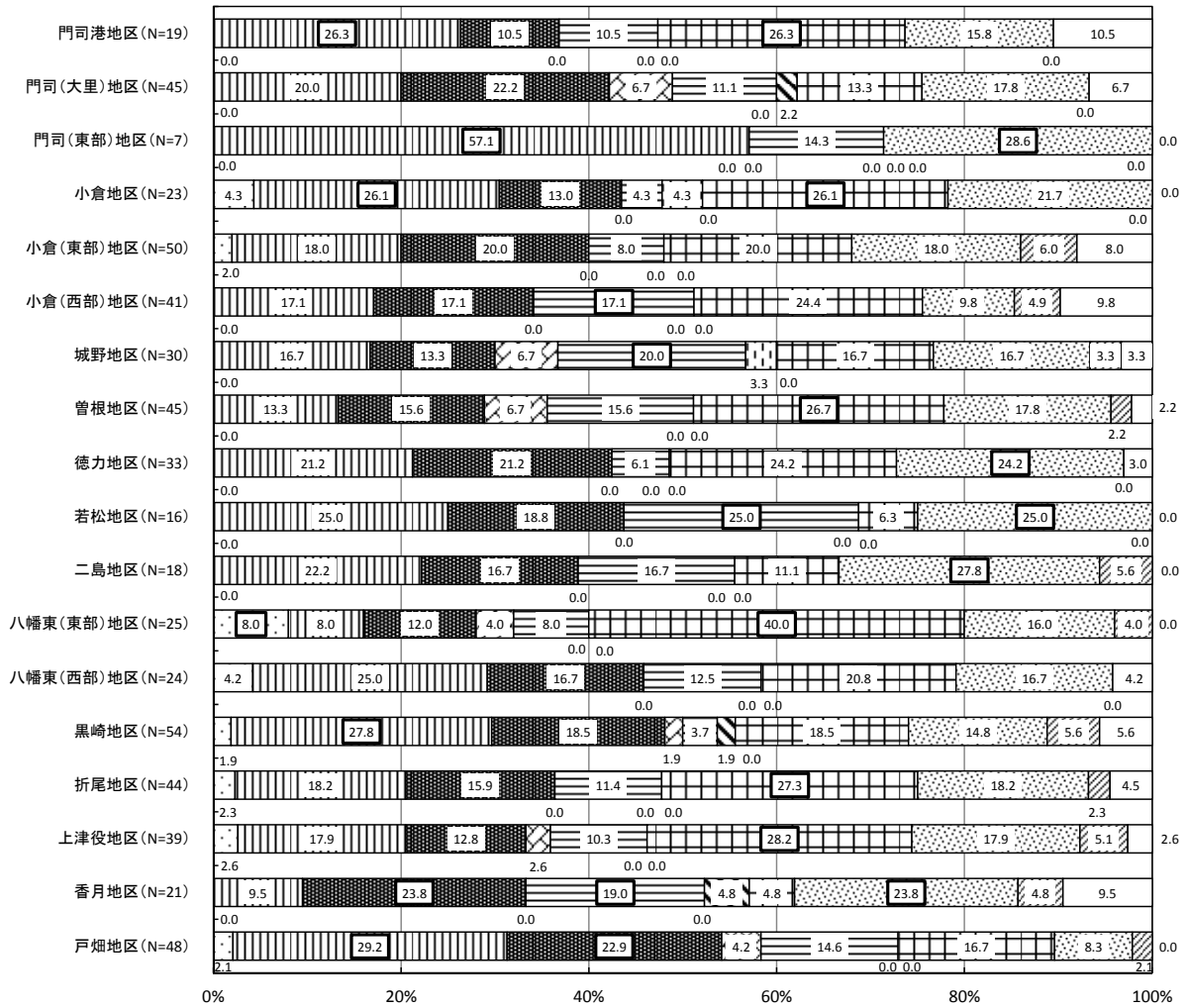


居住区

- 自分に
とって
地域活動を
するメリット
がない
- どのな
活動を
したら
いいの
かわらない
- 地域の
団体の
ことが
よく
わかない
- 地域活動は
やりたい
人に
任せて
おけば
よい
- 参加
すること
に負担を
感じる
- 地域の
人々と
かわり
を持ち
たく
ない
- 会費や
参加費
を払い
たくない
- 地域
活動
する
時間
がない
- 特に
理由
はない
- その他
- 無回答



居住区(18地区)



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

地域活動に参加しない理由

【全体的傾向】

これまでに地域活動に参加したことがあるかについて、「ない」と回答した人に、その理由を尋ねた。

その結果、「地域活動する時間がない」(21.0%)が最も多く、次いで「どんな活動をしたらいいのかわからない」(20.6%)、「地域の団体のことがよくわからない」及び「特に理由はない」(各17.4%)と続いた。

【属性別にみた傾向】

◇ 性別では、総合1位の「地域活動する時間がない」は男性(24.2%)が女性(18.3%)を上回った。一方、総合2位の「どんな活動をしたらいいのかわからない」は男性(20.6%)と女性(20.5%)で差は見られなかった。

◇ 年齢別では、総合1位の「地域活動する時間がない」は50歳代(29.1%)で最も多く、次いで20歳代及び30歳代(各26.0%)、40歳代(25.3%)と続き、若年層と中年層で2割を上回った。総合2位の「どんな活動をしたらいいのかわからない」は70歳以上(25.0%)で最も多く、最も少ない40歳代(16.5%)との差は8.5ポイントと、年齢層による大きな差は見られなかった。

◇ 居住年数別では、総合1位の「地域活動する時間がない」は3年未満(41.7%)で最も多く、これ以外の全ての居住年数層で3割を下回った。総合2位の「どんな活動をしたらいいのかわからない」は5年未満(26.3%)で最も多く、3年未満(0.0%)では回答した人がおらず、傾向に違いが見られた。

◇ 職業別では、サンプル数が10人未満であった自由業(6)については、コメントでは触れないこととする。総合1位の「地域活動する時間がない」は自営業(31.9%)で最も多く、次いで会社員(30.4%)、その他(30.3%)と続き、これらの職業層で3割を上回った。総合2位の「どんな活動をしたらいいのかわからない」は公務員・教員(30.8%)で最も多く、次いで無職(30.0%)と続き、これらの職業層で3割以上を占めた。

◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「地域活動する時間がない」は八幡東区(30.6%)で最も多く、唯一3割を上回った。総合2位の「どんな活動をしたらいいのかわからない」は戸畑区(29.2%)で最も多く、次いで門司区(25.4%)、若松区(23.5%)、八幡西区(20.3%)と続き、これらの区で2割を上回った。

行政区を18地区に細分化して見ると(サンプル数が10人未満であった門司(東部)地区(7)、については、コメントでは触れないこととする。)、総合1位の「地域活動する時間がない」は八幡東(東部)地区(40.0%)で最も多く、これ以外の全ての地区で3割を下回った。総合2位の「どんな活動をしたらいいのかわからない」は戸畑地区(29.2%)で最も多く、次いで黒崎地区(27.8%)、門司港地区(26.3%)、小倉地区(26.1%)と続いた。

(16) 地域活動を支える大切な団体は何か

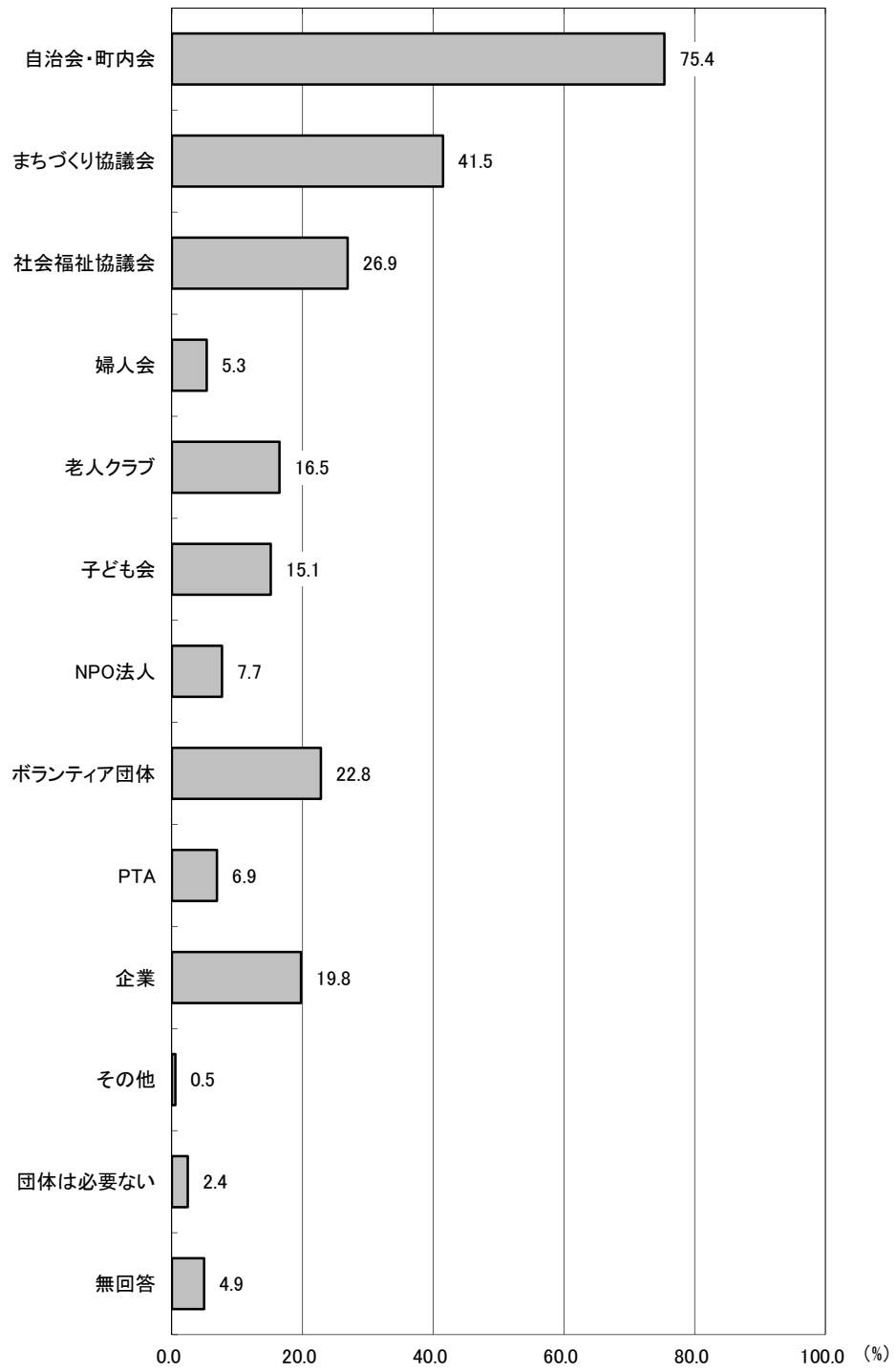
問 17 これからの地域活動を支える大切な団体は何とご思いますか。次の中から3つまで選んでください。

N : 1,275 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|------------|---------|--------|
| 1 自治会・町内会 | 961 | 75.4 |
| 2 まちづくり協議会 | 529 | 41.5 |
| 3 社会福祉協議会 | 343 | 26.9 |
| 4 婦人会 | 68 | 5.3 |
| 5 老人クラブ | 210 | 16.5 |
| 6 子ども会 | 193 | 15.1 |
| 7 NPO法人 | 98 | 7.7 |
| 8 ボランティア団体 | 291 | 22.8 |
| 9 PTA | 88 | 6.9 |
| 10 企業 | 252 | 19.8 |
| 11 その他 | 7 | 0.5 |
| 12 団体は必要ない | 31 | 2.4 |
| 無回答 | 63 | 4.9 |

◇ これからの地域活動を支える大切な団体は、

- 1位 「自治会・町内会」(75.4%)
- 2位 「まちづくり協議会」(41.5%)
- 3位 「社会福祉協議会」(26.9%)



問 17 地域活動を支える大切な団体は何か

| | | サンプル数 | 自治会・町内会 | まちづくり協議会 | 社会福祉協議会 | 婦人会 | 老人クラブ | 子ども会 | NPO法人 | ボランティア団体 | PTA | 企業 | その他 | 団体は必要ない | 無回答 | |
|----------|--------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------|------|
| 全体 | | 1275 | 75.4 | 41.5 | 26.9 | 5.3 | 16.5 | 15.1 | 7.7 | 22.8 | 6.9 | 19.8 | 0.5 | 2.4 | 4.9 | |
| 性別 | 男性 | 523 | 76.5 | 42.6 | 24.5 | 4.6 | 17.6 | 16.3 | 9.0 | 23.7 | 7.3 | 23.5 | 0.8 | 2.7 | 3.1 | |
| | 女性 | 746 | 74.7 | 40.8 | 28.6 | 5.9 | 15.7 | 14.2 | 6.8 | 22.4 | 6.7 | 17.2 | 0.4 | 2.3 | 6.0 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 94 | 64.9 | 33.0 | 26.6 | 1.1 | 12.8 | 25.5 | 11.7 | 27.7 | 9.6 | 31.9 | 2.1 | 3.2 | 2.1 | |
| | 30歳代 | 140 | 70.0 | 39.3 | 17.9 | 0.0 | 10.7 | 30.7 | 11.4 | 30.0 | 6.4 | 23.6 | 0.7 | 5.0 | 2.1 | |
| | 40歳代 | 177 | 66.7 | 44.6 | 22.6 | 5.1 | 11.3 | 15.3 | 6.8 | 18.6 | 10.2 | 28.8 | 0.0 | 4.5 | 2.3 | |
| | 50歳代 | 217 | 78.8 | 44.2 | 28.6 | 5.5 | 14.7 | 12.0 | 6.9 | 22.6 | 9.7 | 24.9 | 0.5 | 3.2 | 3.2 | |
| | 60歳代 | 298 | 77.2 | 40.6 | 27.5 | 5.7 | 16.8 | 15.1 | 7.7 | 23.8 | 6.7 | 17.8 | 0.3 | 1.3 | 4.7 | |
| | 70歳以上 | 345 | 81.2 | 42.0 | 31.0 | 8.4 | 23.2 | 7.8 | 6.1 | 20.3 | 3.2 | 9.0 | 0.6 | 0.6 | 9.3 | |
| 居住年数別 | 1年未満 | 15 | 73.3 | 33.3 | 20.0 | 6.7 | 13.3 | 26.7 | 0.0 | 40.0 | 6.7 | 26.7 | 0.0 | 0.0 | 6.7 | |
| | 2年未満 | 12 | 91.7 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 58.3 | 8.3 | 25.0 | 8.3 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 3年未満 | 18 | 55.6 | 33.3 | 27.8 | 0.0 | 11.1 | 16.7 | 22.2 | 33.3 | 0.0 | 22.2 | 0.0 | 5.6 | 11.1 | |
| | 5年未満 | 29 | 58.6 | 37.9 | 20.7 | 0.0 | 10.3 | 17.2 | 6.9 | 24.1 | 6.9 | 24.1 | 3.4 | 10.3 | 0.0 | |
| | 10年未満 | 54 | 66.7 | 38.9 | 22.2 | 5.6 | 14.8 | 24.1 | 9.3 | 24.1 | 3.7 | 27.8 | 0.0 | 1.9 | 7.4 | |
| | 20年未満 | 117 | 68.4 | 35.0 | 30.8 | 2.6 | 8.5 | 16.2 | 16.2 | 29.9 | 9.4 | 21.4 | 0.0 | 5.1 | 5.1 | |
| | 30年未満 | 185 | 70.3 | 37.8 | 27.2 | 2.2 | 16.8 | 15.1 | 7.6 | 22.2 | 8.1 | 28.6 | 1.6 | 3.8 | 3.8 | |
| | 30年以上 | 838 | 78.9 | 43.9 | 27.8 | 6.8 | 18.0 | 13.5 | 6.3 | 21.5 | 6.7 | 16.8 | 0.4 | 1.6 | 4.9 | |
| 職業別 | 自営業 | 103 | 74.8 | 37.9 | 17.5 | 5.8 | 20.4 | 15.5 | 7.8 | 17.5 | 5.8 | 23.3 | 0.0 | 0.0 | 7.8 | |
| | 自由業 | 11 | 72.7 | 63.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 36.4 | 27.3 | 18.2 | 0.0 | 36.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 会社員 | 338 | 73.4 | 35.2 | 23.4 | 4.1 | 11.2 | 20.4 | 8.9 | 22.2 | 9.2 | 27.8 | 0.9 | 4.7 | 3.3 | |
| | 公務員・教員 | 41 | 80.5 | 43.9 | 26.8 | 2.4 | 12.2 | 19.5 | 7.3 | 26.8 | 14.6 | 22.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 農・林・漁業 | 4 | 100.0 | 50.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 主婦・主夫(パートなど) | 166 | 69.9 | 48.8 | 25.3 | 5.4 | 16.9 | 13.3 | 6.0 | 22.9 | 10.2 | 18.7 | 1.2 | 4.2 | 4.2 | |
| | 主婦・主夫(専業) | 233 | 78.5 | 46.4 | 32.6 | 7.7 | 14.6 | 12.9 | 4.7 | 21.0 | 7.3 | 11.2 | 0.0 | 1.7 | 5.6 | |
| | 学生 | 21 | 52.4 | 38.1 | 23.8 | 4.8 | 14.3 | 4.8 | 28.6 | 38.1 | 4.8 | 47.6 | 4.8 | 4.8 | 0.0 | |
| | 無職 | 298 | 80.5 | 43.3 | 31.5 | 6.0 | 23.2 | 10.4 | 7.4 | 24.2 | 2.7 | 12.1 | 0.0 | 0.7 | 6.4 | |
| | その他 | 53 | 71.7 | 30.2 | 28.3 | 1.9 | 20.8 | 18.9 | 5.7 | 32.1 | 1.9 | 30.2 | 1.9 | 1.9 | 3.8 | |
| 居住区別 | 行政区分 | 門司区 | 148 | 75.0 | 33.8 | 20.3 | 8.1 | 13.5 | 20.9 | 6.1 | 26.4 | 7.4 | 22.3 | 0.0 | 1.4 | 8.1 |
| | | 小倉北区 | 215 | 73.5 | 37.7 | 24.7 | 4.7 | 16.3 | 14.9 | 9.3 | 27.4 | 5.6 | 26.5 | 0.9 | 1.4 | 4.7 |
| | | 小倉南区 | 251 | 74.9 | 45.0 | 27.9 | 4.4 | 19.9 | 14.7 | 7.6 | 21.5 | 5.2 | 16.3 | 0.4 | 3.2 | 4.0 |
| | | 若松区 | 93 | 87.1 | 46.2 | 28.0 | 9.7 | 21.5 | 16.1 | 5.4 | 19.4 | 6.5 | 14.0 | 0.0 | 0.0 | 2.2 |
| | | 八幡東区 | 112 | 75.0 | 42.0 | 29.5 | 6.3 | 13.4 | 12.5 | 6.3 | 17.0 | 7.1 | 13.4 | 2.7 | 4.5 | 8.0 |
| | | 八幡西区 | 373 | 75.1 | 41.6 | 29.0 | 3.8 | 16.4 | 14.5 | 7.5 | 23.1 | 8.3 | 20.9 | 0.3 | 2.1 | 4.6 |
| | | 戸畑区 | 83 | 71.1 | 48.2 | 27.7 | 6.0 | 10.8 | 12.0 | 12.0 | 19.3 | 8.4 | 18.1 | 0.0 | 6.0 | 3.6 |
| | | 居住区別(18地区別) | 門司区 | 門司港地区 | 33 | 87.9 | 39.4 | 18.2 | 15.2 | 21.2 | 15.2 | 6.1 | 27.3 | 3.0 | 24.2 | 0.0 |
| 門司(大里)地区 | 87 | | | 72.4 | 29.9 | 17.2 | 6.9 | 12.6 | 29.9 | 8.0 | 24.1 | 11.5 | 18.4 | 0.0 | 1.1 | 8.0 |
| 門司(東部)地区 | 28 | | | 67.9 | 39.3 | 32.1 | 3.6 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 32.1 | 0.0 | 32.1 | 0.0 | 3.6 | 17.9 |
| 小倉北区 | 小倉地区 | | 45 | 66.7 | 40.0 | 24.4 | 2.2 | 15.6 | 17.8 | 13.3 | 22.2 | 4.4 | 33.3 | 0.0 | 4.4 | 4.4 |
| | 小倉(東部)地区 | | 84 | 75.0 | 39.3 | 25.0 | 3.6 | 19.0 | 11.9 | 6.0 | 27.4 | 3.6 | 22.6 | 2.4 | 1.2 | 6.0 |
| | 小倉(西部)地区 | | 86 | 75.6 | 34.9 | 24.4 | 7.0 | 14.0 | 16.3 | 10.5 | 30.2 | 8.1 | 26.7 | 0.0 | 0.0 | 3.5 |
| 小倉南区 | 城野地区 | | 50 | 76.0 | 34.0 | 22.0 | 8.0 | 14.0 | 14.0 | 12.0 | 22.0 | 4.0 | 24.0 | 0.0 | 2.0 | 4.0 |
| | 菅根地区 | | 116 | 73.3 | 47.4 | 29.3 | 3.4 | 24.1 | 15.5 | 7.8 | 20.7 | 3.4 | 11.2 | 0.9 | 3.4 | 4.3 |
| | 徳力地区 | | 85 | 76.5 | 48.2 | 29.4 | 3.5 | 17.6 | 14.1 | 4.7 | 22.4 | 8.2 | 18.8 | 0.0 | 3.5 | 3.5 |
| 若松区 | 若松地区 | | 37 | 86.5 | 45.9 | 32.4 | 16.2 | 18.9 | 18.9 | 5.4 | 27.0 | 8.1 | 8.1 | 0.0 | 0.0 | 2.7 |
| | 二島地区 | | 56 | 87.5 | 46.4 | 25.0 | 5.4 | 23.2 | 14.3 | 5.4 | 14.3 | 5.4 | 17.9 | 0.0 | 0.0 | 1.8 |
| 八幡東区 | 八幡東(東部)地区 | | 64 | 68.8 | 51.6 | 31.3 | 4.7 | 14.1 | 6.3 | 6.3 | 17.2 | 4.7 | 12.5 | 3.1 | 4.7 | 9.4 |
| | 八幡東(西部)地区 | | 48 | 83.3 | 29.2 | 27.1 | 8.3 | 12.5 | 20.8 | 6.3 | 16.7 | 10.4 | 14.6 | 2.1 | 4.2 | 6.3 |
| 八幡西区 | 黒崎地区 | | 107 | 69.2 | 39.3 | 31.8 | 5.6 | 12.1 | 16.8 | 9.3 | 24.3 | 7.5 | 27.1 | 0.9 | 1.9 | 3.7 |
| | 折尾地区 | | 110 | 76.4 | 42.7 | 25.5 | 5.5 | 17.3 | 14.5 | 4.5 | 22.7 | 9.1 | 21.8 | 0.0 | 1.8 | 5.5 |
| | 上津役地区 | | 108 | 81.5 | 42.6 | 27.8 | 1.9 | 17.6 | 16.7 | 3.7 | 21.3 | 11.1 | 13.0 | 0.0 | 0.9 | 4.6 |
| | 香月地区 | | 48 | 70.8 | 41.7 | 33.3 | 0.0 | 20.8 | 4.2 | 18.8 | 25.0 | 2.1 | 22.9 | 0.0 | 6.3 | 4.2 |
| 戸畑区 | 戸畑地区 | | 83 | 71.1 | 48.2 | 27.7 | 6.0 | 10.8 | 12.0 | 12.0 | 19.3 | 8.4 | 18.1 | 0.0 | 6.0 | 3.6 |

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

地域活動を支える大切な団体は何か

【全体的傾向】

これからの地域活動を支える大切な団体は何と思うかについて尋ねた。

その結果、「自治会・町内会」(75.4%)が最も多く、次いで「まちづくり協議会」(41.5%)、「社会福祉協議会」(26.9%)、「ボランティア団体」(22.8%)と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「自治会・町内会」が最も多く、男性(76.5%)が女性(74.7%)をわずかに上回った。同様に総合2位の「まちづくり協議会」も男性(42.6%)が女性(40.8%)をわずかに上回った。一方、総合3位の「社会福祉協議会」は女性(28.6%)が男性(24.5%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、全ての年齢層で総合1位の「自治会・町内会」が最も多かった。中でも70歳以上(81.2%)で最も多く、最も少ない20歳代(64.9%)を含む全ての年齢層で6割を上回った。総合2位の「まちづくり協議会」は40歳代(44.6%)で最も多く、次いで50歳代(44.2%)、70歳以上(42.0%)、60歳代(40.6%)と続き、中年層と高年層で4割を上回った。総合3位の「社会福祉協議会」は70歳以上(31.0%)で最も多く、唯一3割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、全ての居住年数層で総合1位の「自治会・町内会」が最も多かった。中でも2年未満(91.7%)で最も多く、これ以外の全ての居住年数層で8割を下回った。総合2位の「まちづくり協議会」は30年以上(43.9%)で最も多く、唯一4割を上回った。総合3位の「社会福祉協議会」は2年未満(33.3%)で最も多く、次いで20年未満(30.8%)と続き、これらの居住年数層で3割を上回った。
- ◇ 職業別では、全ての職業層で総合1位の「自治会・町内会」が最も多かった。中でも公務員・教員及び無職(各80.5%)で最も多く、これらの職業層で8割を上回った。総合2位の「まちづくり協議会」は自由業(63.6%)で最も多く、これ以外の全ての職業層で5割を下回った。総合3位の「社会福祉協議会」は主婦・主夫(専業)(32.6%)で最も多く、次いで無職(31.5%)と続き、これらの職業層で3割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で総合1位の「自治会・町内会」が多かった。中でも若松区(87.1%)で最も多く、最も少ない戸畑区(71.1%)を含む全ての区で7割を上回った。総合2位の「まちづくり協議会」は戸畑区(48.2%)で最も多く、最も少ない門司区(33.8%)を含む全ての区で3割を上回った。総合3位の「社会福祉協議会」は八幡東区(29.5%)で最も多く、最も少ない門司区(20.3%)との差は9.2ポイントと、区による大きな差は見られなかった。

行政区を18地区に細分化して見ると、全ての地区で総合1位の「自治会・町内会」が多かった。中でも門司港地区(87.9%)で最も多く、次いで二島地区(87.5%)、若松地区(86.5%)と続いた。総合2位の「まちづくり協議会」は八幡東(東部)地区(51.6%)で最も多く、唯一5割を上回った。総合3位の「社会福祉協議会」は香月地区(33.3%)で最も多く、最も少ない門司(大里)地区(17.2%)と、続く門司港地区(18.2%)以外の全ての地区で2割を上回った。

(17) 自治会・町内会の活動内容の認知度

問 18 あなたの住んでいる地域の自治会・町内会がどのような活動を行っているか知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

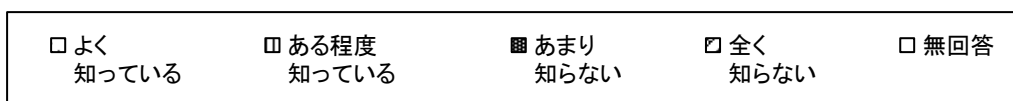
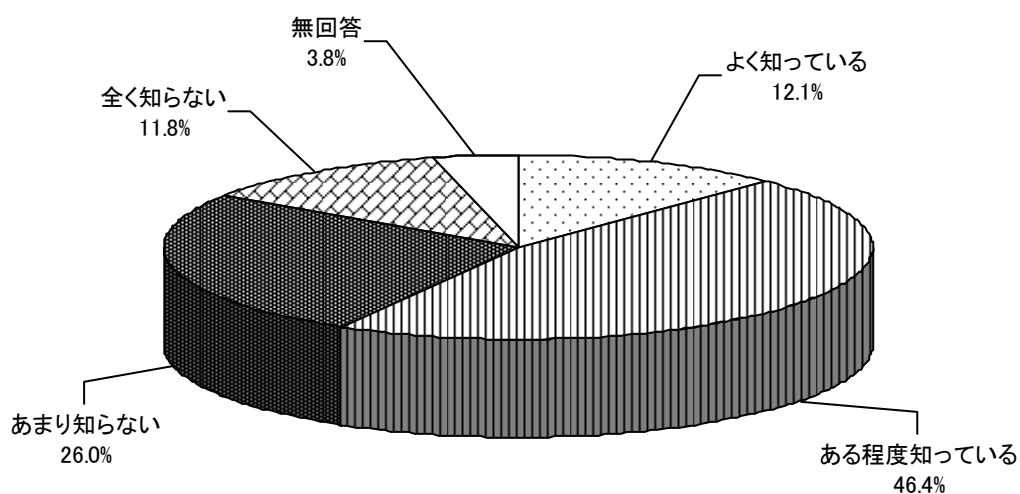
| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|-------------|---------|--------|
| 1 よく知っている | 154 | 12.1 |
| 2 ある程度知っている | 592 | 46.4 |
| 3 あまり知らない | 331 | 26.0 |
| 4 全く知らない | 150 | 11.8 |
| 無回答 | 48 | 3.8 |

◇ 住んでいる地域の自治会・町内会がどのような活動を行っているかを、

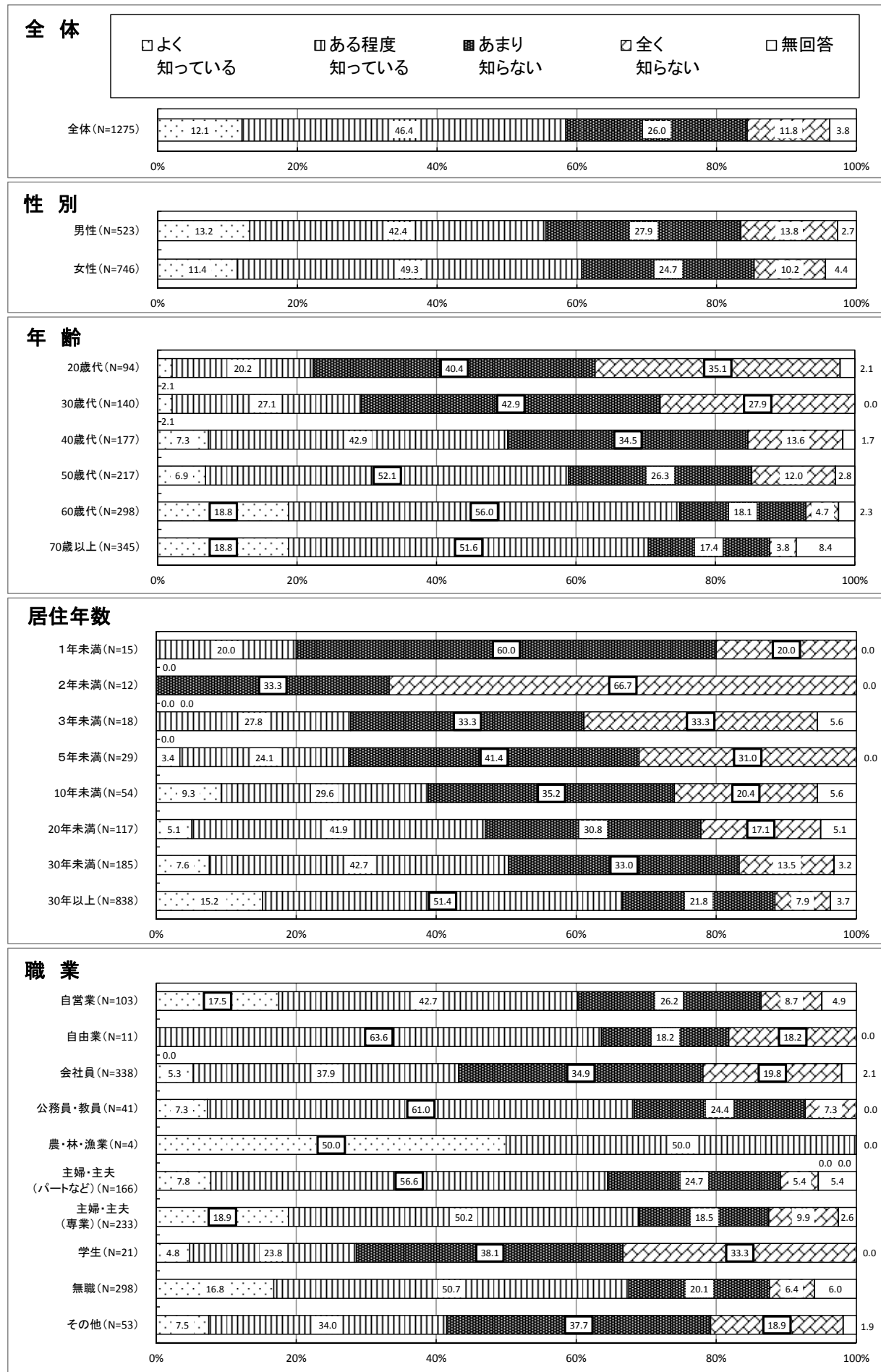
1位 「ある程度知っている」(46.4%)

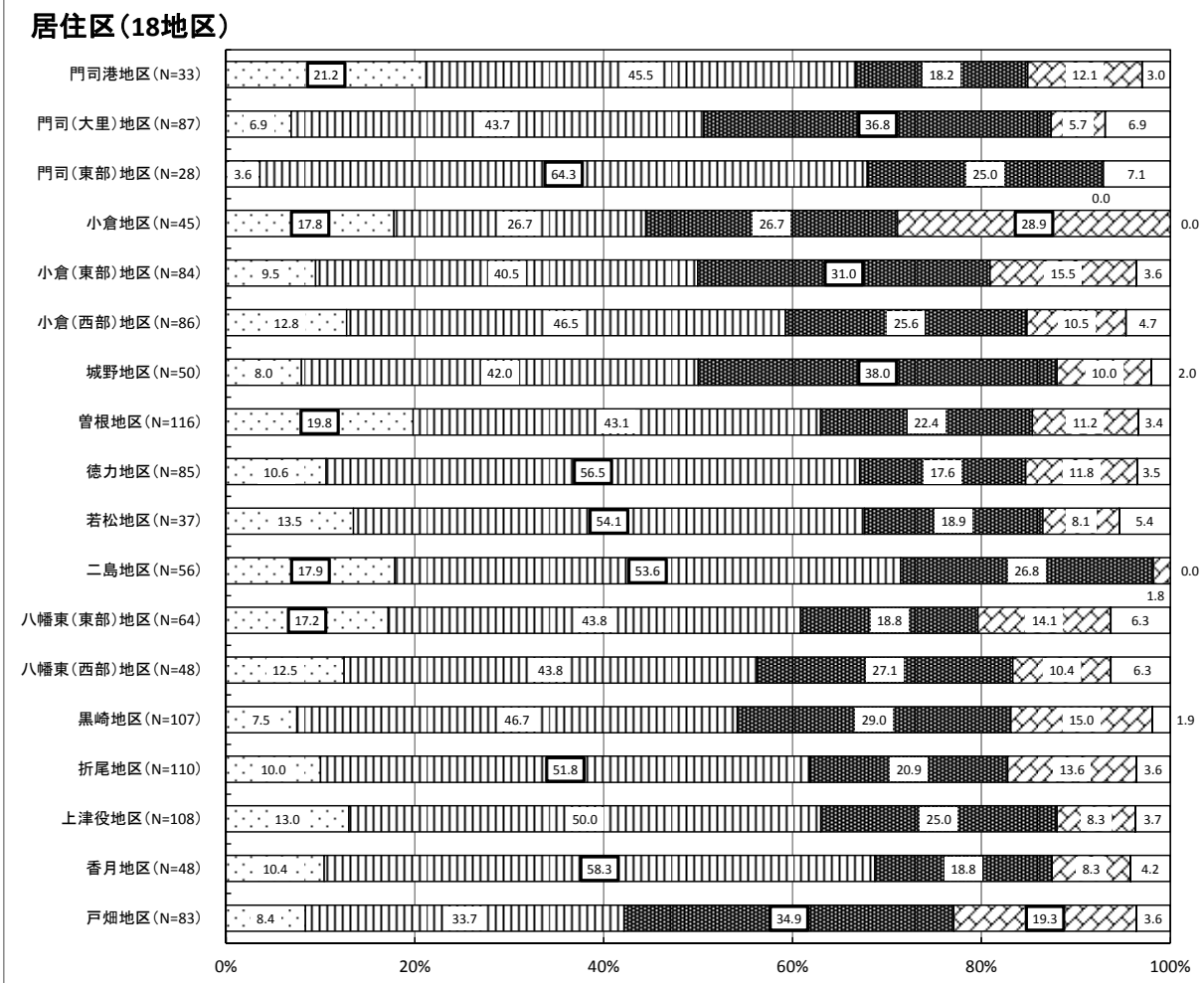
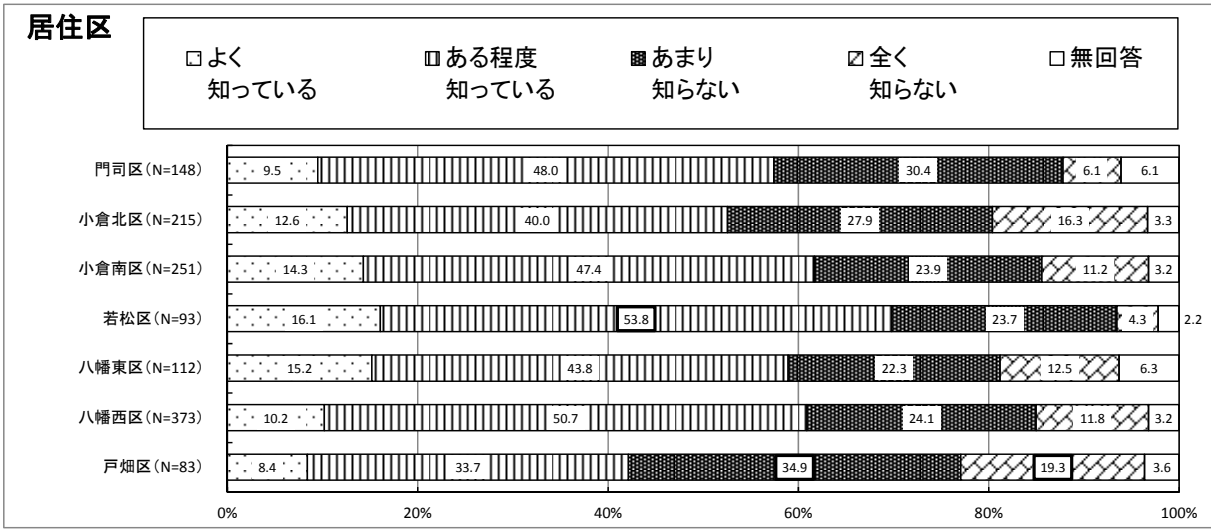
2位 「あまり知らない」(26.0%)

3位 「よく知っている」(12.1%)



問 18 自治会・町内会の活動内容の認知度





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

自治会・町内会の活動内容の認知度

【全体的傾向】

住んでいる地域の自治会・町内会が行っている活動について知っているかを尋ねた。

その結果、「ある程度知っている」(46.4%)が最も多く、次いで「あまり知らない」(26.0%)、「よく知っている」(12.1%)と続いた。「よく知っている」(12.1%)と「ある程度知っている」(46.4%)を合わせた『知っている』は58.5%で、6割弱を占めた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「ある程度知っている」が最も多く、女性(49.3%)が男性(42.4%)を上回った。同様に『知っている』も女性(60.7%)が男性(55.6%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、「ある程度知っている」は60歳代(56.0%)で最も多く、次いで70歳以上(51.6%)、50歳代(52.1%)と続き、50歳代以上の年齢層で5割を上回った。『知っている』は60歳代(74.8%)で最も多く、次いで70歳以上(70.4%)と続き、高年層で7割を上回った。一方、「あまり知らない」は30歳代(42.9%)で最も多く、次いで20歳代(40.4%)と続き、若年層で4割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、「ある程度知っている」は30年以上(51.4%)で最も多く、唯一5割を上回った。『知っている』は30年以上(66.6%)で最も多く、次いで30年未満(50.3%)と続き、これらの居住年数層で5割を上回った。一方、「あまり知らない」は1年未満(60.0%)で最も多く、唯一6割を占めた。「全く知らない」は2年未満(66.7%)で最も多く、次の3年未満(33.3%)との差は33.4ポイントと突出していた。
- ◇ 職業別では、「ある程度知っている」は自由業(63.6%)で最も多く、次いで公務員・教員(61.0%)と続き、これらの職業層で6割を上回った。『知っている』は主婦・主夫(専業)(69.1%)で最も多く、最も少ない学生(28.6%)と、続くその他(41.5%)、会社員(43.2%)以外の全ての職業層で6割を上回った。一方、「あまり知らない」は学生(38.1%)で最も多く、次いでその他(37.7%)、会社員(34.9%)と続き、これらの職業層で3割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、「ある程度知っている」は若松区(53.8%)で最も多く、次いで八幡西区(50.7%)と続き、これらの区で5割を上回った。『知っている』は若松区(69.9%)で最も多く、最も少ない戸畑区(42.1%)以外の全ての区で5割を上回った。
行政区を18地区に細分化して見ると、「ある程度知っている」は門司(東部)地区(64.3%)で最も多く、唯一6割を上回った。『知っている』は二島地区(71.5%)で最も多く、唯一7割を上回った。最も少ないのは戸畑区(42.1%)で、次いで小倉地区(44.5%)と続き、これらの地区で5割を下回った。

(17) -1 知っている自治会・町内会の活動

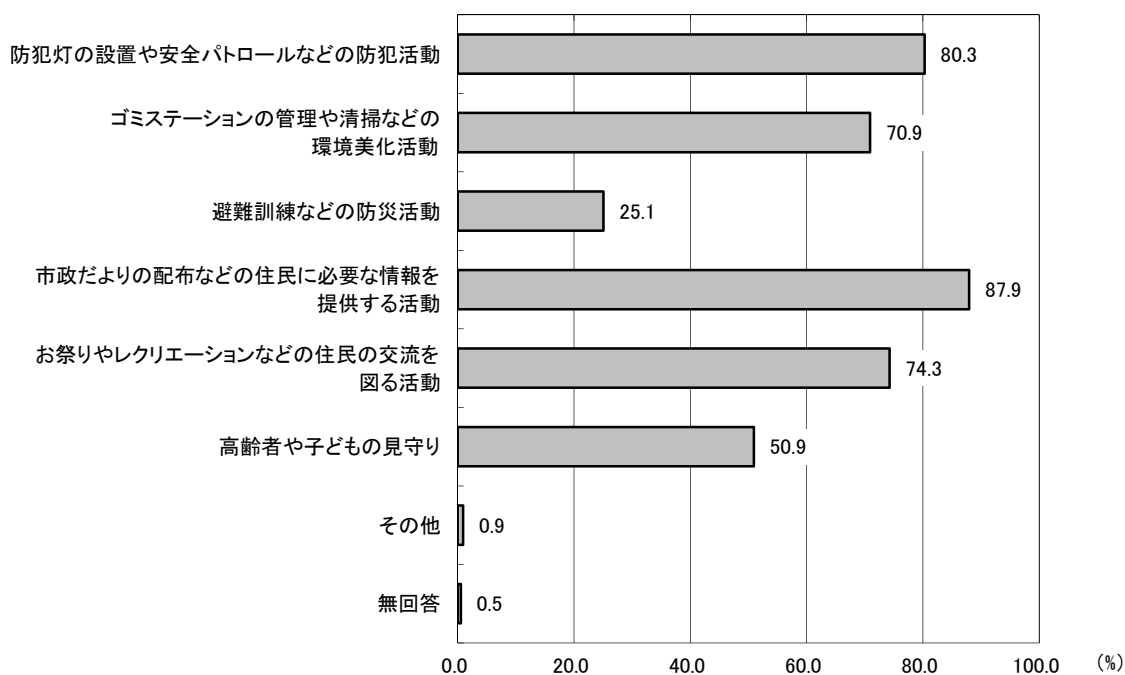
副問 18-1 問 18 で 1、2 を選んだ方におたずねします。あなたが知っている地域の自治会・町内会の活動に当てはまるものすべて選んでください。

N : 746 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|------------------------------|---------|--------|
| 1 防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動 | 599 | 80.3 |
| 2 ゴミステーションの管理や清掃などの環境美化活動 | 529 | 70.9 |
| 3 避難訓練などの防災活動 | 187 | 25.1 |
| 4 市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動 | 656 | 87.9 |
| 5 お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動 | 554 | 74.3 |
| 6 高齢者や子どもの見守り | 380 | 50.9 |
| 7 その他 | 7 | 0.9 |
| 無回答 | 4 | 0.5 |

◇ 知っている地域の自治会・町内会の活動は、

- 1位 「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」(87.9%)
- 2位 「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」(80.3%)
- 3位 「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」(74.3%)



副問 18-1 知っている自治会・町内会の活動

| | | サンプル数 | 防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動 | ゴミステーションの管理や清掃などの環境美化活動 | 避難訓練などの防災活動 | 市営だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動 | お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動 | 高齢者や子どもの見守り | その他 | 無回答 | |
|----------|--------------|-------------|-----------------------|-------------------------|-------------|----------------------------|---------------------------|-------------|-------------|------|-------------|
| 全体 | | 746 | 80.3 | 70.9 | 25.1 | 87.9 | 74.3 | 50.9 | 0.9 | 0.5 | |
| 性別 | 男性 | 291 | 79.7 | 67.4 | 24.7 | 85.9 | 72.2 | 45.4 | 0.0 | 0.3 | |
| | 女性 | 453 | 80.6 | 73.5 | 25.4 | 89.4 | 75.7 | 54.7 | 1.5 | 0.7 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 21 | 71.4 | 61.9 | 19.0 | 57.1 | 81.0 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | |
| | 30歳代 | 41 | 70.7 | 70.7 | 24.4 | 85.4 | 73.2 | 58.5 | 0.0 | 0.0 | |
| | 40歳代 | 89 | 80.9 | 66.3 | 29.2 | 91.0 | 84.3 | 56.2 | 1.1 | 0.0 | |
| | 50歳代 | 128 | 84.4 | 76.6 | 19.5 | 93.8 | 87.5 | 54.7 | 0.8 | 0.0 | |
| | 60歳代 | 223 | 83.0 | 67.3 | 27.8 | 89.2 | 76.2 | 49.8 | 0.4 | 0.9 | |
| | 70歳以上 | 243 | 77.8 | 74.1 | 24.7 | 86.0 | 61.3 | 47.7 | 1.6 | 0.8 | |
| 居住年数別 | 1年未満 | 3 | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 66.7 | 100.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | |
| | 2年未満 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 3年未満 | 5 | 60.0 | 40.0 | 40.0 | 60.0 | 60.0 | 40.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 5年未満 | 8 | 87.5 | 75.0 | 50.0 | 100.0 | 87.5 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 10年未満 | 21 | 76.2 | 71.4 | 19.0 | 81.0 | 85.7 | 52.4 | 9.5 | 0.0 | |
| | 20年未満 | 55 | 74.5 | 58.2 | 27.3 | 85.5 | 70.9 | 43.6 | 0.0 | 0.0 | |
| | 30年未満 | 93 | 79.6 | 68.8 | 26.9 | 81.7 | 81.7 | 55.9 | 0.0 | 0.0 | |
| | 30年以上 | 558 | 81.0 | 72.9 | 24.6 | 90.1 | 72.9 | 51.3 | 0.9 | 0.7 | |
| 職業別 | 自営業 | 62 | 91.9 | 69.4 | 24.2 | 82.3 | 83.9 | 61.3 | 0.0 | 0.0 | |
| | 自由業 | 7 | 85.7 | 71.4 | 14.3 | 100.0 | 85.7 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | |
| | 会社員 | 146 | 79.5 | 66.4 | 26.7 | 87.0 | 80.1 | 52.7 | 0.7 | 0.0 | |
| | 公務員・教員 | 28 | 78.6 | 71.4 | 14.3 | 92.9 | 82.1 | 60.7 | 0.0 | 0.0 | |
| | 農・林・漁業 | 4 | 75.0 | 75.0 | 0.0 | 100.0 | 75.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 主婦・主夫(パートなど) | 107 | 83.2 | 72.9 | 20.6 | 86.9 | 72.9 | 48.6 | 0.0 | 0.0 | |
| | 主婦・主夫(専業) | 161 | 79.5 | 75.8 | 29.2 | 91.9 | 77.0 | 54.7 | 3.1 | 1.2 | |
| | 学生 | 6 | 66.7 | 66.7 | 16.7 | 66.7 | 66.7 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | |
| | 無職 | 201 | 77.1 | 70.6 | 27.4 | 87.6 | 64.2 | 45.8 | 0.5 | 0.5 | |
| その他 | 22 | 77.3 | 68.2 | 13.6 | 90.9 | 77.3 | 50.0 | 0.0 | 4.5 | | |
| 居住区別 | 行政区分 | 門司区 | 85 | 72.9 | 60.0 | 14.1 | 83.5 | 60.0 | 58.8 | 1.2 | 2.4 |
| | | 小倉北区 | 113 | 73.5 | 64.6 | 21.2 | 83.2 | 76.1 | 46.0 | 0.0 | 0.9 |
| | | 小倉南区 | 155 | 83.2 | 76.8 | 21.9 | 89.0 | 78.1 | 48.4 | 1.9 | 0.0 |
| | | 若松区 | 65 | 92.3 | 81.5 | 30.8 | 95.4 | 84.6 | 69.2 | 0.0 | 0.0 |
| | | 八幡東区 | 66 | 78.8 | 71.2 | 37.9 | 84.8 | 74.2 | 42.4 | 1.5 | 0.0 |
| | | 八幡西区 | 227 | 81.5 | 75.3 | 29.1 | 89.4 | 71.8 | 48.9 | 0.4 | 0.4 |
| | | 戸畑区 | 35 | 80.0 | 42.9 | 17.1 | 91.4 | 82.9 | 54.3 | 2.9 | 0.0 |
| | | 居住区別(18地区別) | 門司区 | 門司港地区 | 22 | 77.3 | 54.5 | 13.6 | 81.8 | 54.5 | 68.2 |
| 門司(大里)地区 | 44 | | | 75.0 | 59.1 | 13.6 | 84.1 | 65.9 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| 門司(東部)地区 | 19 | | | 63.2 | 68.4 | 15.8 | 84.2 | 52.6 | 68.4 | 5.3 | 5.3 |
| 小倉北区 | 小倉地区 | | 20 | 75.0 | 65.0 | 30.0 | 85.0 | 85.0 | 30.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 小倉(東部)地区 | | 42 | 71.4 | 69.0 | 14.3 | 81.0 | 73.8 | 50.0 | 0.0 | 2.4 |
| | 小倉(西部)地区 | | 51 | 74.5 | 60.8 | 23.5 | 84.3 | 74.5 | 49.0 | 0.0 | 0.0 |
| 小倉南区 | 城野地区 | | 25 | 84.0 | 76.0 | 16.0 | 100.0 | 84.0 | 56.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 管根地区 | | 73 | 89.0 | 86.3 | 26.0 | 90.4 | 76.7 | 49.3 | 1.4 | 0.0 |
| | 徳力地区 | | 57 | 75.4 | 64.9 | 19.3 | 82.5 | 77.2 | 43.9 | 3.5 | 0.0 |
| 若松区 | 若松地区 | | 25 | 96.0 | 72.0 | 36.0 | 100.0 | 76.0 | 80.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 二島地区 | | 40 | 90.0 | 87.5 | 27.5 | 92.5 | 90.0 | 62.5 | 0.0 | 0.0 |
| 八幡東区 | 八幡東(東部)地区 | | 39 | 82.1 | 76.9 | 28.2 | 87.2 | 74.4 | 48.7 | 0.0 | 0.0 |
| | 八幡東(西部)地区 | | 27 | 74.1 | 63.0 | 51.9 | 81.5 | 74.1 | 33.3 | 3.7 | 0.0 |
| 八幡西区 | 黒崎地区 | | 58 | 69.0 | 60.3 | 31.0 | 82.8 | 77.6 | 36.2 | 1.7 | 1.7 |
| | 折尾地区 | | 68 | 88.2 | 85.3 | 30.9 | 95.6 | 69.1 | 44.1 | 0.0 | 0.0 |
| | 上津役地区 | | 68 | 86.8 | 80.9 | 32.4 | 89.7 | 67.6 | 67.6 | 0.0 | 0.0 |
| | 香月地区 | | 33 | 78.8 | 69.7 | 15.2 | 87.9 | 75.8 | 42.4 | 0.0 | 0.0 |
| 戸畑区 | 戸畑地区 | | 35 | 80.0 | 42.9 | 17.1 | 91.4 | 82.9 | 54.3 | 2.9 | 0.0 |

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

知っている自治会・町内会の活動

【全体的傾向】

住んでいる地域の自治会・町内会が行っている活動について、「よく知っている」「ある程度知っている」と回答した人に、知っている活動を尋ねた。

その結果、「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」(87.9%)が最も多く、次いで「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」(80.3%)、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」(74.3%)、「ゴミステーションの管理や清掃などの環境美化活動」(70.9%)と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」が最も多く、女性(89.4%)が男性(85.9%)を上回った。総合2位の「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」は男性(79.7%)と女性(80.6%)で差は見られなかった。総合3位の「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」は女性(75.7%)が男性(72.2%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」は50歳代(93.8%)で最も多く、次いで40歳代(91.0%)と続き、最も少ない20歳代(57.1%)以外の全ての年齢層で8割を上回った。総合2位の「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」は50歳代(84.4%)で最も多く、次いで60歳代(83.0%)、40歳代(80.9%)と続き、これらの年齢層で8割を上回った。総合3位の「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」は50歳代(87.5%)で最も多く、次いで40歳代(84.3%)、20歳代(81.0%)と続き、これらの年齢層で8割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、サンプル数が10人未満であった1年未満(3)、2年未満(0)、3年未満(5)、5年未満(8)については、コメントでは触れないこととする。総合1位の「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」は30年以上(90.1%)で最も多く、最も少ない10年未満(81.0%)を含む全ての居住年数層で8割を上回った。総合2位の「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」は30年以上(81.0%)で最も多く、最も少ない20年未満(74.5%)を含む全ての居住年数層で7割を上回った。総合3位の「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」は10年未満(85.7%)で最も多く、次いで30年未満(81.7%)と続き、これらの居住年数層で8割を上回った。
- ◇ 職業別では、サンプル数が10人未満であった自由業(7)、学生(6)については、コメントでは触れないこととする。総合1位の「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」は公務員・教員(92.9%)で最も多く、最も少ない自営業(82.3%)を含む全ての職業層で8割を上回った。総合2位の「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」は自営業(91.9%)で最も多く、次いで主婦・主夫(パートなど)(83.2%)と続き、これらの職業層で8割を上回った。総合3位の「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」は自営業(83.9%)で最も多く、次いで公務員・教員(82.1%)、会社員(80.1%)と続き、これらの職業層で8割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」は若松区(95.4%)で最も多く、次いで戸畑区(91.4%)と続き、これらの区で9割を上回った。総合2位の「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」は若松区(92.3%)

で最も多く、唯一9割を上回った。総合3位の「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」は若松区（84.6%）で最も多く、次いで戸畑区（82.9%）と続き、最も少ない門司区（60.0%）以外の全ての区で7割を上回った。

行政区を18地区に細分化して見ると、総合1位の「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」は城野地区及び若松地区（各100.0%）で最も多く、次いで折尾地区（95.6%）と続いた。総合2位の「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」は若松地区（96.0%）で最も多く、次いで二島地区（90.0%）と続き、若松区内の地区で9割以上を占めた。総合3位の「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」は二島地区（90.0%）で最も多く、次いで小倉地区（85.0%）、城野地区（84.0%）、戸畑地区（82.9%）と続き、これらの地区で8割を上回った。

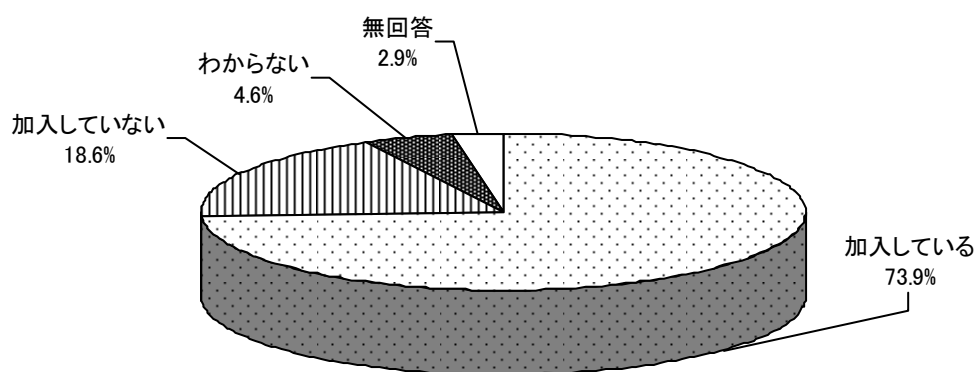
(18) 自治会・町内会への加入状況

問 19 あなた（あなたの世帯）は、自治会・町内会に、加入していますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

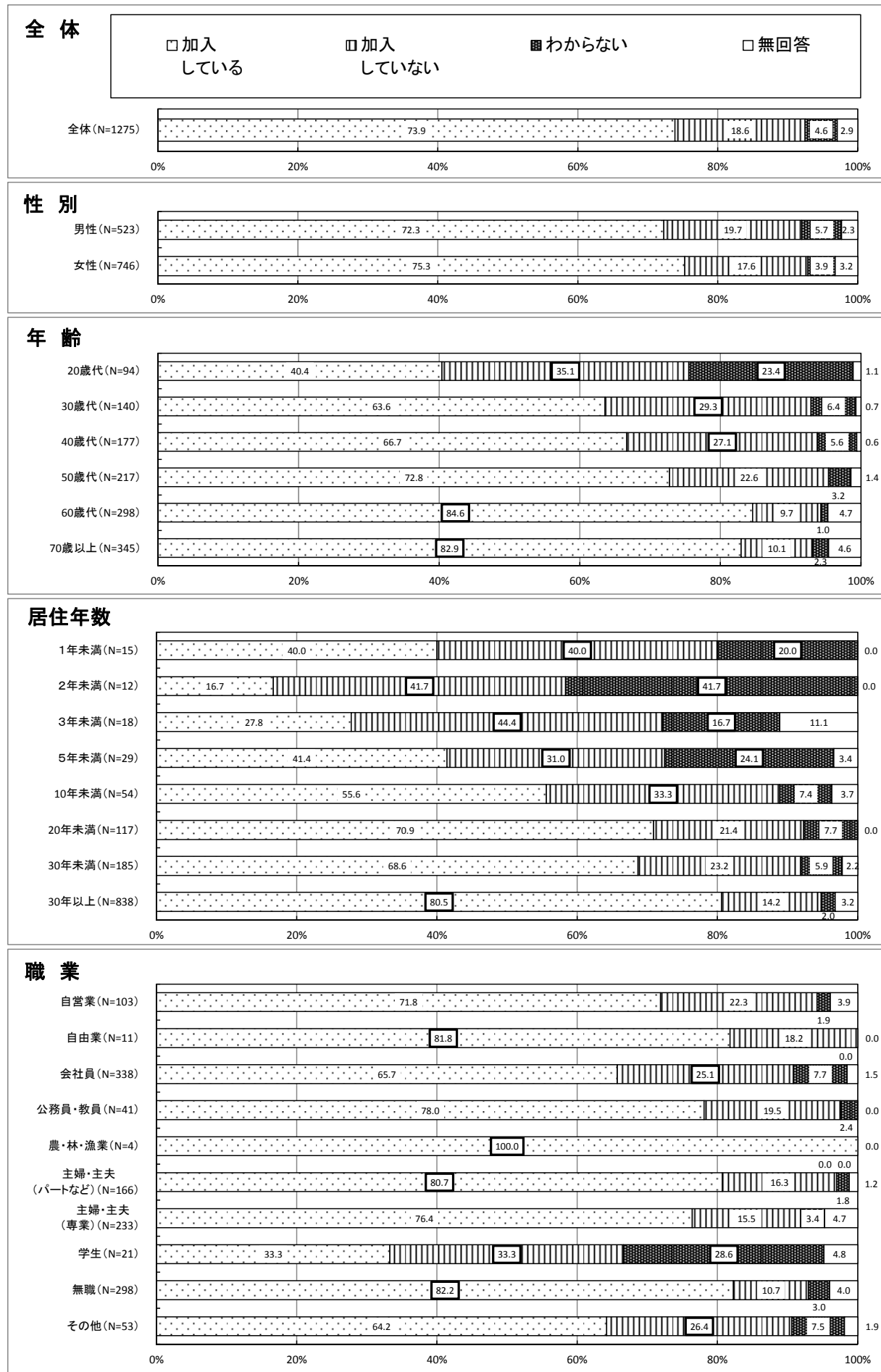
| 項目 | 回答数（人） | 割合（%） |
|-----------|--------|-------|
| 1 加入している | 942 | 73.9 |
| 2 加入していない | 237 | 18.6 |
| 3 わからない | 59 | 4.6 |
| 無回答 | 37 | 2.9 |

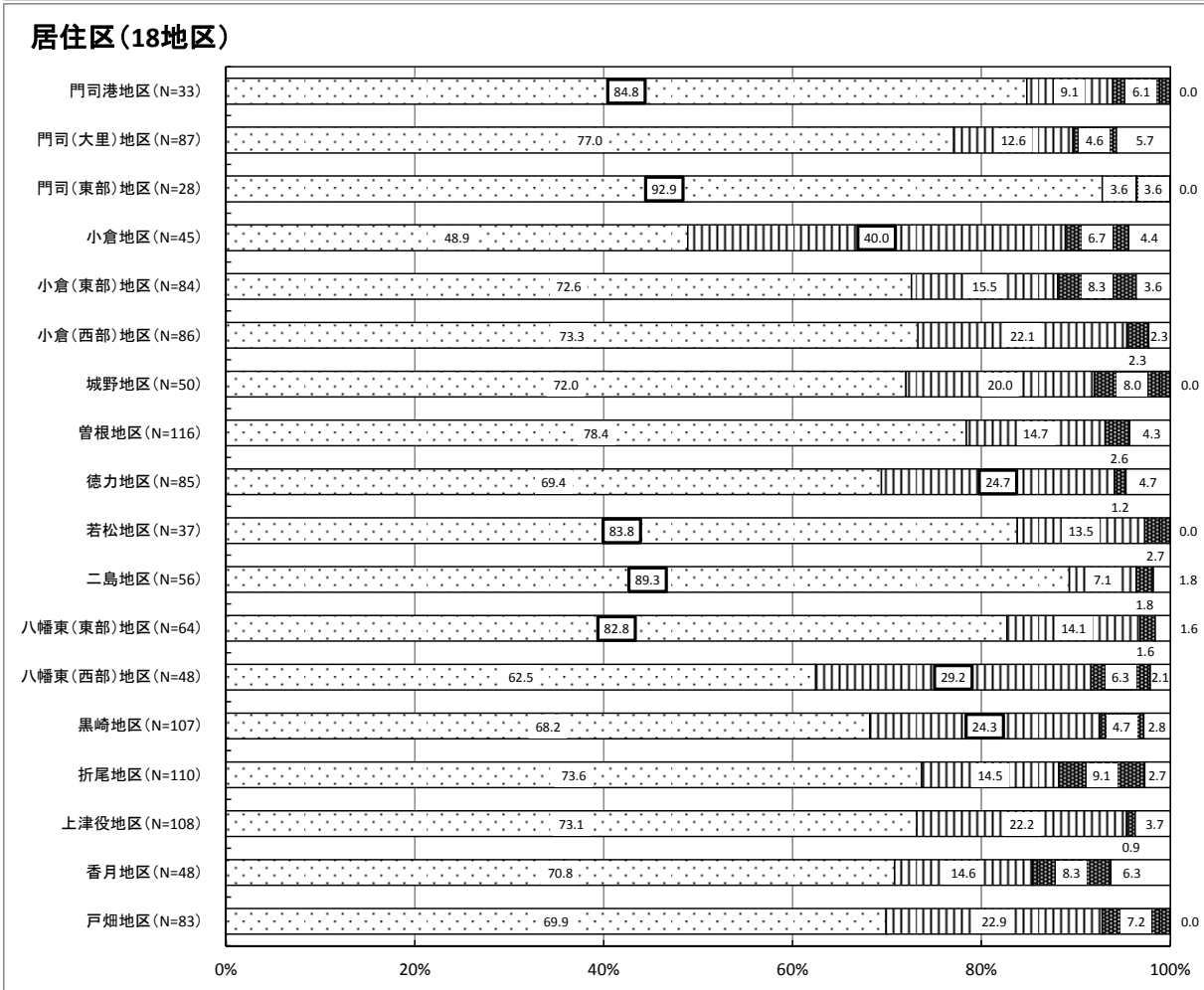
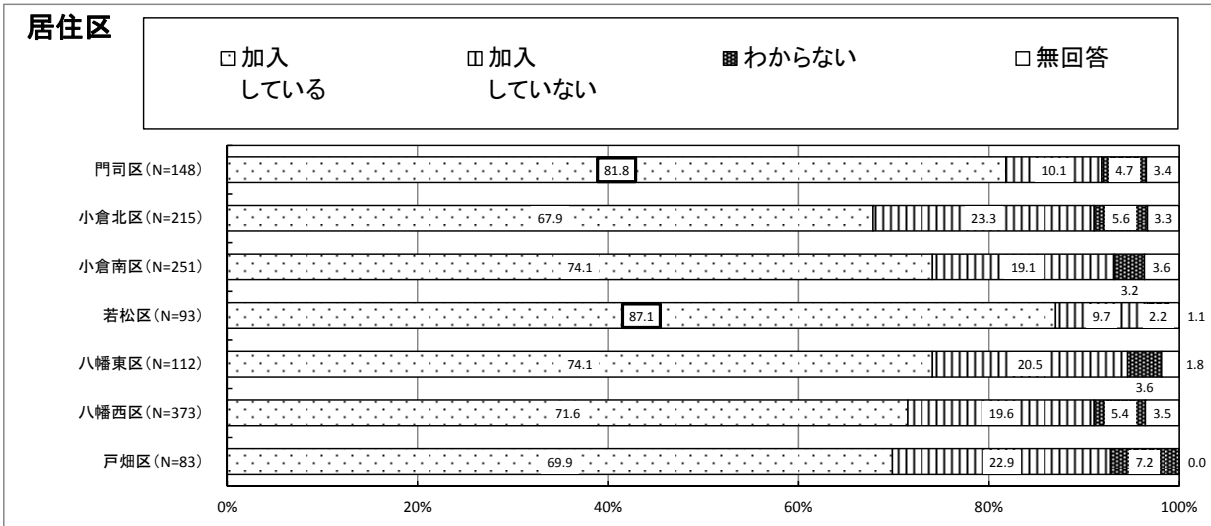
- ◇ 自治会・町内会への加入状況は、
- 1位 「加入している」(73.9%)
 - 2位 「加入していない」(18.6%)
 - 3位 「わからない」(4.6%)



□ 加入している □ 加入していない ■ わからない □ 無回答

問 19 自治会・町内会への加入状況





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

自治会・町内会への加入状況

【全体的傾向】

自治会・町内会に加入しているかについて尋ねた。

その結果、「加入している」(73.9%)が最も多く、次いで「加入していない」(18.6%)、「わからない」(4.6%)と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「加入している」が最も多く、女性(75.3%)が男性(72.3%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、「加入している」は20歳代(40.4%)で最も少なく、次いで30歳代(63.6%)、40歳代(66.7%)、50歳代(72.8%)、60歳代(84.6%)までは年齢層が高くなるにつれ増加したが、70歳以上(82.9%)では60歳代に比べ逆に減少した。一方、「加入していない」は20歳代(35.1%)で最も多く、次いで30歳代(29.3%)と続き、若年層で多い傾向が見られた。「わからない」は20歳代(23.4%)で最も多く、唯一2割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、「加入している」は30年以上(80.5%)で最も多く、唯一8割を上回った。一方、「加入していない」は3年未満(44.4%)で最も多く、次いで2年未満(41.7%)、1年未満(40.0%)と続き、これらの居住年数の短い層で4割を上回った。「わからない」は2年未満(41.7%)で最も多く、次いで5年未満(24.1%)、1年未満(20.0%)と続き、これらの居住年数層で2割以上を占めた。
- ◇ 職業別では、「加入している」は無職(82.2%)で最も多く、次いで自由業(81.8%)、主婦・主夫(パートなど)(80.7%)と続き、これらの職業層で8割を上回った。一方、「加入していない」は学生(33.3%)で最も多く、次いでその他(26.4%)、会社員(25.1%)、自営業(22.3%)と続き、これらの職業層で2割を上回った。「分からない」は学生(28.6%)で最も多く、次の会社員(7.7%)との差は20.9ポイントと突出していた。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、「加入している」は若松区(87.1%)で最も多く、次いで門司区(81.8%)と続き、これらの区で8割を上回った。一方、最も少ないのは小倉北区(67.9%)であった。
行政区を18地区に細分化して見ると、「加入している」は門司(東部)地区(92.9%)で最も多く、次いで二島地区(89.3%)、門司港地区(84.8%)、若松地区(83.8%)、八幡東(東部)地区(82.8%)と続き、これらの地区で8割を上回った。一方、「加入していない」は小倉地区(40.0%)で最も多く、次いで八幡東(西部)地区(29.2%)、徳力地区(24.7%)、黒崎地区(24.3%)と続いた。

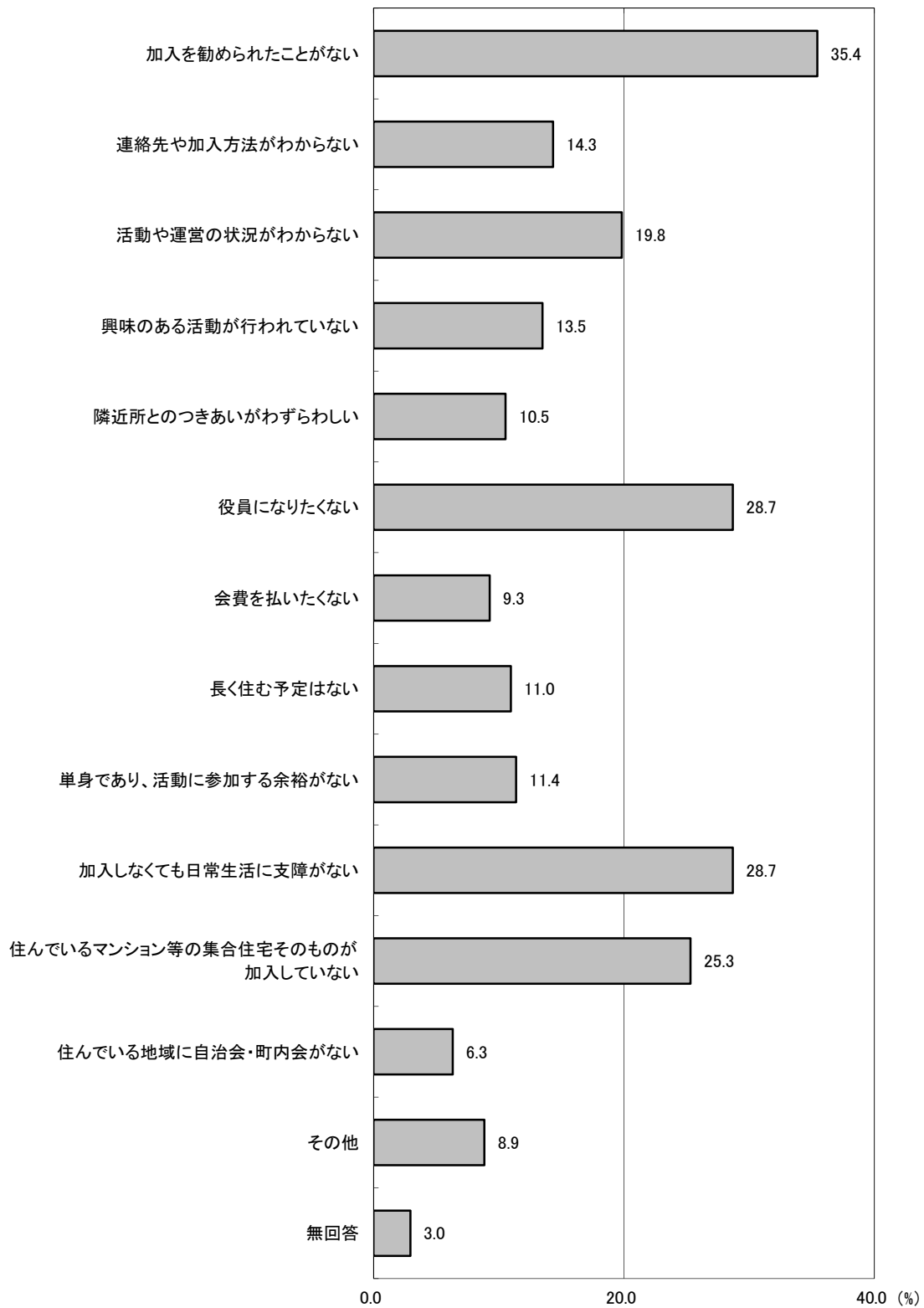
(18) -1 加入していない理由

副問 19-1 問 19 で 2 を選んだ理由について、次の中から当てはまるものすべてを選んでください。

N : 237 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|---------------------------------|---------|--------|
| 1 加入を勧められたことがない | 84 | 35.4 |
| 2 連絡先や加入方法がわからない | 34 | 14.3 |
| 3 活動や運営の状況がわからない | 47 | 19.8 |
| 4 興味のある活動が行われていない | 32 | 13.5 |
| 5 隣近所とのつきあいがわずらわしい | 25 | 10.5 |
| 6 役員になりたくない | 68 | 28.7 |
| 7 会費を払いたくない | 22 | 9.3 |
| 8 長く住む予定はない | 26 | 11.0 |
| 9 単身であり、活動に参加する余裕がない | 27 | 11.4 |
| 10 加入しなくても日常生活に支障がない | 68 | 28.7 |
| 11 住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない | 60 | 25.3 |
| 12 住んでいる地域に自治会・町内会がない | 15 | 6.3 |
| 13 その他 | 21 | 8.9 |
| 無回答 | 7 | 3.0 |

- ◇ 自治会・町内会に「加入していない」理由は、
- 1 位 「加入を勧められたことがない」 (35.4%)
 - 2 位 「役員になりたくない」 (28.7%・同率)
 - 「加入しなくても日常生活に支障がない」 (28.7%・同率)



副問 19-1 加入していない理由

| | | サンプル数 | 加入を勧められたことがない | 連絡先や加入方法がわからない | 活動や運営の状況がわからない | 興味のある活動が行われていない | 隣近所とのつきあいがわずらわしい | 役員になりたくない | 会費を払いたくない | 長く住む予定はない | 単身であり、活動に参加する余裕がない | 加入しなくても日常生活に支障がない | 住んでいる地域に自治会・町内会がない | 住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない | その他 | 無回答 | |
|-------------|--------------|-----------|---------------|----------------|----------------|-----------------|------------------|--------------|--------------|-------------|--------------------|-------------------|--------------------|------------------------------|-------------|------|------|
| 全体 | | 237 | 35.4 | 14.3 | 19.8 | 13.5 | 10.5 | 28.7 | 9.3 | 11.0 | 11.4 | 28.7 | 25.3 | 6.3 | 8.9 | 3.0 | |
| 性別 | 男性 | 103 | 42.7 | 21.4 | 20.4 | 8.7 | 11.7 | 28.2 | 8.7 | 13.6 | 15.5 | 26.2 | 25.2 | 4.9 | 8.7 | 1.0 | |
| | 女性 | 131 | 29.0 | 9.2 | 19.8 | 17.6 | 9.9 | 29.8 | 9.9 | 8.4 | 8.4 | 31.3 | 25.2 | 7.6 | 8.4 | 4.6 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 33 | 33.3 | 21.2 | 33.3 | 15.2 | 3.0 | 21.2 | 18.2 | 15.2 | 12.1 | 39.4 | 18.2 | 3.0 | 9.1 | 3.0 | |
| | 30歳代 | 41 | 53.7 | 24.4 | 29.3 | 4.9 | 9.8 | 14.6 | 7.3 | 26.8 | 12.2 | 22.0 | 36.8 | 2.4 | 7.3 | 0.0 | |
| | 40歳代 | 48 | 37.5 | 18.8 | 27.1 | 18.8 | 10.4 | 39.6 | 16.7 | 10.4 | 4.2 | 29.2 | 29.2 | 10.4 | 6.3 | 0.0 | |
| | 50歳代 | 49 | 24.5 | 6.1 | 12.2 | 18.4 | 18.4 | 30.6 | 6.1 | 6.1 | 18.4 | 34.7 | 38.8 | 6.1 | 10.2 | 2.0 | |
| | 60歳代 | 29 | 27.6 | 6.9 | 10.3 | 17.2 | 6.9 | 31.0 | 0.0 | 6.9 | 6.9 | 37.9 | 6.9 | 6.9 | 10.3 | 6.9 | |
| | 70歳以上 | 35 | 34.3 | 8.6 | 5.7 | 5.7 | 11.4 | 34.3 | 5.7 | 0.0 | 14.3 | 11.4 | 8.6 | 8.6 | 11.4 | 8.6 | |
| 居住年数別 | 1年未満 | 6 | 66.7 | 33.3 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 16.7 | 33.3 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 2年未満 | 5 | 60.0 | 40.0 | 40.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 20.0 | 40.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | |
| | 3年未満 | 8 | 62.5 | 25.0 | 25.0 | 12.5 | 12.5 | 37.5 | 25.0 | 50.0 | 12.5 | 50.0 | 12.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 5年未満 | 9 | 44.4 | 22.2 | 22.2 | 11.1 | 22.2 | 33.3 | 11.1 | 22.2 | 22.2 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 10年未満 | 18 | 55.6 | 11.1 | 27.8 | 22.2 | 11.1 | 16.7 | 5.6 | 22.2 | 11.1 | 27.8 | 16.7 | 11.1 | 5.6 | 0.0 | |
| | 20年未満 | 25 | 28.0 | 16.0 | 28.0 | 12.0 | 4.0 | 24.0 | 8.0 | 20.0 | 16.0 | 24.0 | 32.0 | 12.0 | 12.0 | 0.0 | |
| | 30年未満 | 43 | 34.9 | 9.3 | 20.9 | 9.3 | 2.3 | 18.6 | 9.3 | 7.0 | 9.3 | 32.6 | 25.6 | 2.3 | 7.0 | 4.7 | |
| | 30年以上 | 119 | 29.4 | 13.4 | 16.0 | 16.0 | 15.1 | 36.1 | 9.2 | 4.2 | 11.8 | 27.7 | 25.2 | 6.7 | 10.1 | 4.2 | |
| 職業別 | 自営業 | 23 | 52.2 | 17.4 | 17.4 | 8.7 | 17.4 | 30.4 | 13.0 | 0.0 | 13.0 | 21.7 | 21.7 | 4.3 | 8.7 | 4.3 | |
| | 自由業 | 2 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | |
| | 会社員 | 85 | 43.5 | 20.0 | 25.9 | 11.8 | 10.6 | 28.2 | 10.6 | 14.1 | 15.3 | 25.9 | 36.5 | 5.9 | 7.1 | 1.2 | |
| | 公務員・教員 | 8 | 25.0 | 37.5 | 12.5 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 12.5 | 12.5 | 0.0 | 0.0 | |
| | 農・林・漁業 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 主婦・主夫(パートなど) | 27 | 25.9 | 7.4 | 11.1 | 25.9 | 11.1 | 25.9 | 7.4 | 11.1 | 0.0 | 37.0 | 22.2 | 3.7 | 3.7 | 11.1 | |
| | 主婦・主夫(専業) | 36 | 25.0 | 8.3 | 16.7 | 11.1 | 8.3 | 33.3 | 11.1 | 16.7 | 0.0 | 38.9 | 19.4 | 8.3 | 13.9 | 0.0 | |
| | 学生 | 7 | 42.9 | 28.6 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 28.6 | 28.6 | 57.1 | 28.6 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | |
| | 無職 | 32 | 31.3 | 6.3 | 15.6 | 12.5 | 9.4 | 43.8 | 12.5 | 0.0 | 18.8 | 25.0 | 6.3 | 6.3 | 6.3 | 3.1 | |
| | その他 | 14 | 14.3 | 7.1 | 21.4 | 28.6 | 7.1 | 28.6 | 0.0 | 14.3 | 7.1 | 21.4 | 21.4 | 7.1 | 21.4 | 7.1 | |
| | 居住区別 | 行政区分 | 門司区 | 15 | 33.3 | 6.7 | 26.7 | 20.0 | 6.7 | 40.0 | 6.7 | 0.0 | 13.3 | 26.7 | 20.0 | 0.0 | 20.0 |
| 小倉北区 | | | 50 | 50.0 | 22.0 | 24.0 | 12.0 | 10.0 | 28.0 | 12.0 | 16.0 | 14.0 | 30.0 | 40.0 | 6.0 | 8.0 | 4.0 |
| 小倉南区 | | | 48 | 29.2 | 10.4 | 16.7 | 12.5 | 8.3 | 16.7 | 4.2 | 14.6 | 12.5 | 37.5 | 25.0 | 0.0 | 12.5 | 6.3 |
| 若松区 | | | 9 | 33.3 | 0.0 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 55.6 | 11.1 | 22.2 | 0.0 | 22.2 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 八幡東区 | | | 23 | 26.1 | 17.4 | 30.4 | 17.4 | 8.7 | 21.7 | 13.0 | 8.7 | 13.0 | 8.7 | 13.0 | 13.0 | 8.7 | 0.0 |
| 八幡西区 | | | 73 | 27.4 | 11.0 | 13.7 | 12.3 | 15.1 | 35.6 | 11.0 | 9.6 | 5.5 | 30.1 | 20.5 | 12.3 | 6.8 | 2.7 |
| 戸畑区 | | | 19 | 57.9 | 26.3 | 26.3 | 21.1 | 10.5 | 21.1 | 5.3 | 0.0 | 26.3 | 26.3 | 21.1 | 0.0 | 5.3 | 0.0 |
| 居住区別(18地区別) | | | 門司区 | 門司港地区 | 3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 33.3 |
| | 門司(大里)地区 | 11 | | 36.4 | 9.1 | 36.4 | 18.2 | 0.0 | 45.5 | 9.1 | 0.0 | 9.1 | 36.4 | 18.2 | 0.0 | 18.2 | 0.0 |
| | 門司(東部)地区 | 1 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 小倉北区 | 小倉地区 | 18 | 55.6 | 22.2 | 27.8 | 16.7 | 5.6 | 16.7 | 11.1 | 11.1 | 5.6 | 33.3 | 50.0 | 11.1 | 0.0 | 0.0 |
| | | 小倉(東部)地区 | 13 | 53.8 | 30.8 | 38.5 | 15.4 | 23.1 | 38.5 | 15.4 | 15.4 | 23.1 | 30.8 | 53.8 | 0.0 | 7.7 | 7.7 |
| | | 小倉(西部)地区 | 19 | 42.1 | 15.8 | 10.5 | 5.3 | 5.3 | 31.6 | 10.5 | 21.1 | 15.8 | 26.3 | 21.1 | 5.3 | 15.8 | 5.3 |
| | 小倉南区 | 城野地区 | 10 | 30.0 | 20.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 10.0 | 50.0 | 20.0 | 0.0 | 10.0 | 10.0 |
| | | 曾根地区 | 17 | 23.5 | 11.8 | 17.6 | 11.8 | 11.8 | 17.6 | 5.9 | 17.6 | 11.8 | 29.4 | 23.5 | 0.0 | 23.5 | 11.8 |
| | 若松区 | 徳力地区 | 21 | 33.3 | 4.8 | 19.0 | 14.3 | 4.8 | 23.8 | 4.8 | 9.5 | 14.3 | 38.1 | 28.6 | 0.0 | 4.8 | 0.0 |
| | | 若松地区 | 5 | 20.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 60.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 八幡東区 | 二鳥地区 | 4 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 50.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | | 八幡東(東部)地区 | 9 | 33.3 | 22.2 | 22.2 | 11.1 | 0.0 | 11.1 | 11.1 | 22.2 | 11.1 | 11.1 | 11.1 | 0.0 | 11.1 | 0.0 |
| | 八幡西区 | 八幡東(西部)地区 | 14 | 21.4 | 14.3 | 35.7 | 21.4 | 14.3 | 28.6 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 7.1 | 14.3 | 21.4 | 7.1 | 0.0 |
| | | 黒崎地区 | 26 | 30.8 | 7.7 | 19.2 | 7.7 | 23.1 | 23.1 | 7.7 | 15.4 | 30.8 | 15.4 | 19.2 | 3.8 | 0.0 | 0.0 |
| | | 折尾地区 | 16 | 18.8 | 6.3 | 0.0 | 6.3 | 12.5 | 43.8 | 18.8 | 6.3 | 0.0 | 37.5 | 31.3 | 6.3 | 0.0 | 6.3 |
| | | 上津役地区 | 24 | 33.3 | 16.7 | 20.8 | 16.7 | 4.2 | 41.7 | 12.5 | 16.7 | 0.0 | 16.7 | 25.0 | 8.3 | 16.7 | 4.2 |
| | | 香月地区 | 7 | 14.3 | 14.3 | 0.0 | 28.6 | 28.6 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 57.1 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 |
| | 戸畑区 | 戸畑地区 | 19 | 57.9 | 26.3 | 26.3 | 21.1 | 10.5 | 21.1 | 5.3 | 0.0 | 26.3 | 26.3 | 21.1 | 0.0 | 5.3 | 0.0 |

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

加入していない理由

【全体的傾向】

自治会・町内会に加入しているかについて、「加入していない」と回答した人に、その理由を尋ねた。

その結果、「加入を勧められたことがない」(35.4%)が最も多く、次いで「役員になりたくない」及び「加入しなくても日常生活に支障がない」(各28.7%)と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、総合1位の「加入を勧められたことがない」は男性(42.7%)が女性(29.0%)を大きく上回った。総合2位の「役員になりたくない」は女性(29.8%)が男性(28.2%)をわずかに上回った。同じく総合2位の「加入しなくても日常生活に支障がない」は女性(31.3%)が男性(26.2%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「加入を勧められたことがない」は30歳代(53.7%)で最も多く、唯一5割を上回った。総合2位の「役員になりたくない」は40歳代(39.6%)で最も多く、次いで70歳以上(34.3%)、60歳代(31.0%)、50歳代(30.6%)と続き、中年層と高年層で3割を上回った。同じく総合2位の「加入しなくても日常生活に支障がない」は20歳代(39.4%)で最も多かった。「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」は50歳代(38.8%)で最も多かった。
- ◇ 居住年数別では、サンプル数が10人未満であった1年未満(6)、2年未満(5)、3年未満(8)、5年未満(9)については、コメントでは触れないこととする。総合1位の「加入を勧められたことがない」は10年未満(55.6%)で最も多く、唯一5割を上回った。総合2位の「役員になりたくない」は30年以上(36.1%)で最も多く、同じく総合2位の「加入しなくても日常生活に支障がない」は30年未満(32.6%)で最も多かった。また「活動や運営の状況がわからない」は20年未満(28.0%)で最も多く、次いで10年未満(27.8%)、30年未満(20.9%)と続き、これらの居住年数層で2割を上回った。
- ◇ 職業別では、サンプル数が10人未満であった自由業(2)、公務員・教員(8)、学生(7)については、コメントでは触れないこととする。総合1位の「加入を勧められたことがない」は自営業(52.2%)で最も多く、次いで会社員(43.5%)と続き、これらの職業層で4割を上回った。総合2位の「役員になりたくない」は無職(43.8%)で最も多く、唯一4割を上回った。同じく総合2位「加入しなくても日常生活に支障がない」は主婦・主夫(専業)(38.9%)で最も多く、次いで主婦・主夫(パートなど)(37.0%)と続き、これらの職業層で3割を上回った。「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」は会社員(36.5%)で最も多く、唯一3割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると(サンプル数が10人未満であった若松区(9)については、コメントでは触れないこととする。)、総合1位の「加入を勧められたことがない」は戸畑区(57.9%)で最も多く、次いで小倉北区(50.0%)と続き、これらの区で5割以上を占めた。総合2位の「役員になりたくない」は門司区(40.0%)で最も多く、唯一4割を占めた。同じく総合2位の「加入しなくても日常生活に支障がない」は小倉南区(37.5%)で最も多く、次いで八幡西区(30.1%)、小倉北区(30.0%)と続き、これらの区で3割以上を占めた。「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」は小倉北区(40.0%)で最も多く、唯一4割を占めた。

行政区を18地区に細分化して見ると（サンプル数が10人未満であった門司港地区（3）、門司（東部）地区（1）、若松地区（5）、二島地区（4）、八幡東（東部）地区（9）、香月地区（7）については、コメントでは触れないこととする。）、総合1位の「加入を勧められたことがない」は戸畑地区（57.9%）で最も多く、次いで小倉地区（55.6%）、小倉（東部）地区（53.8%）と続いた。総合2位の「役員になりたくない」は門司（大里）地区（45.5%）で最も多く、次いで折尾地区（43.8%）、上津役地区（41.7%）と続き、これらの地区で4割を上回った。同じく総合2位の「加入しなくても日常生活に支障がない」は城野地区（50.0%）で最も多く、唯一5割を占めた。「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」は小倉（東部）地区（53.8%）で最も多く、次いで小倉地区（50.0%）と続き、これらの地区で5割以上を占めた。

(19) 住民主体のまちづくりの必要性

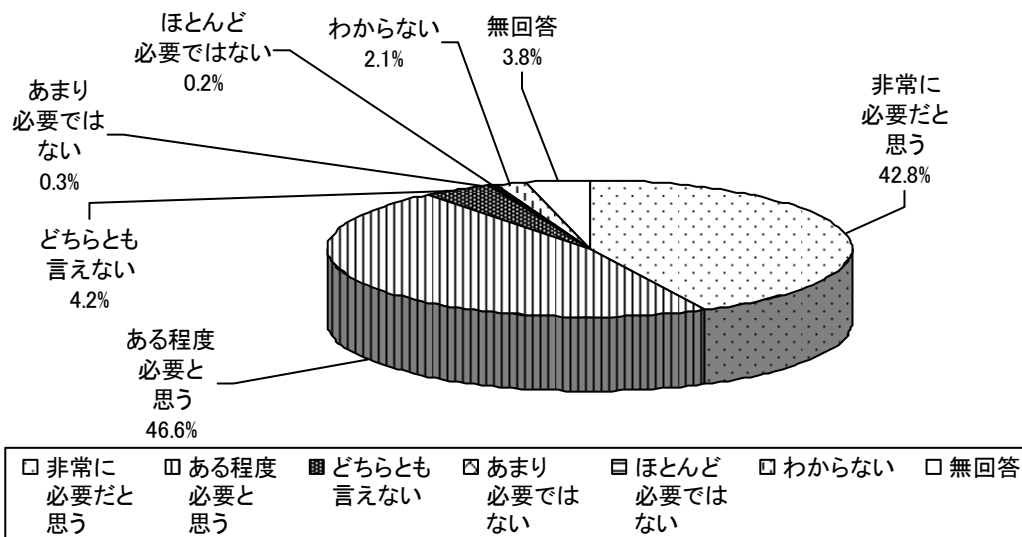
問 20 高齢者や子どもの見守り、防災・防火活動など、同じ地域に住む人たちが自分たちの手で自主的に住みやすい地域社会をつくっていかうとする活動が市内各地で行われていますが、あなたはこのような住民主体によるまちづくりは必要と思われますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

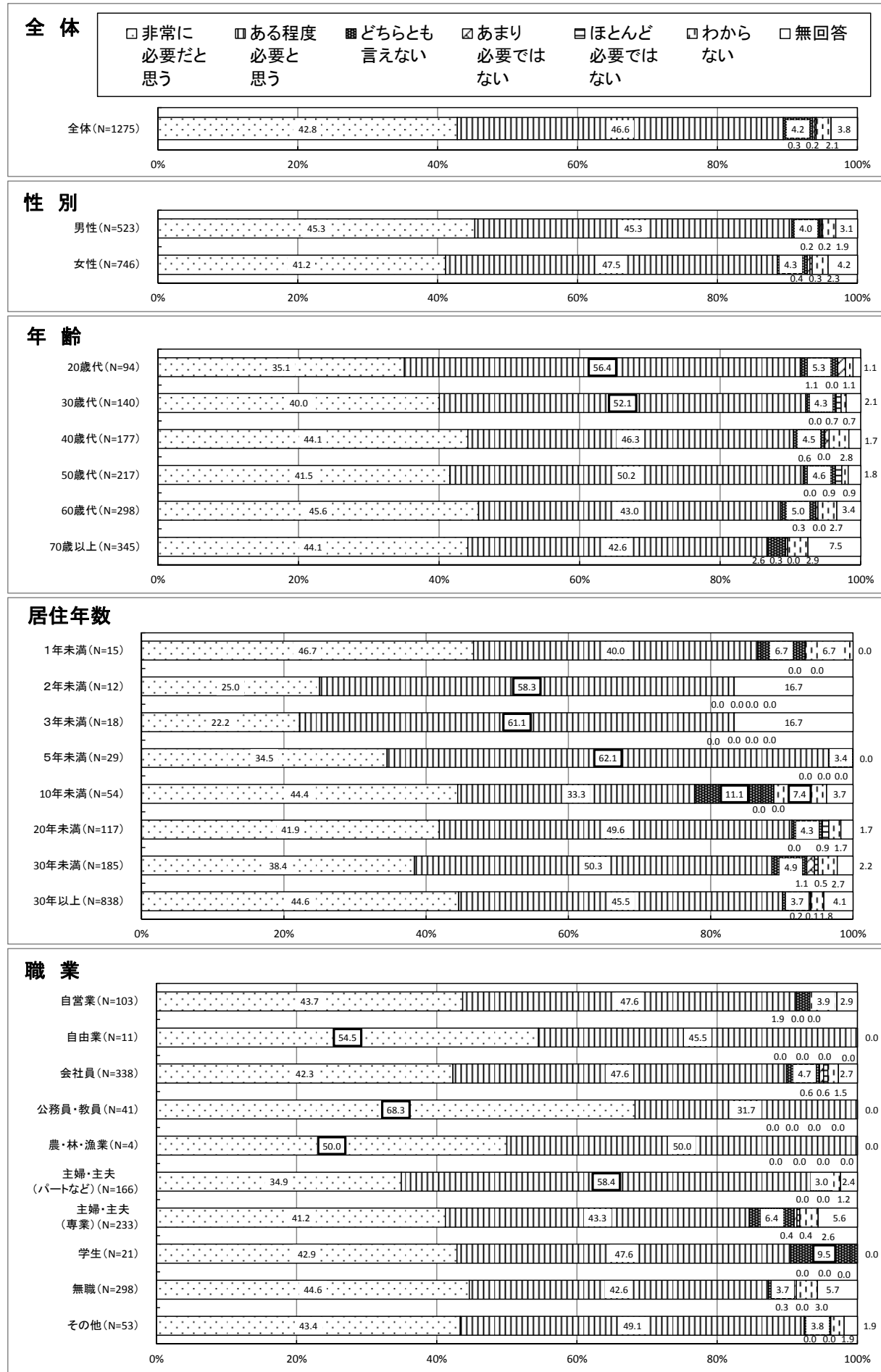
| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|--------------|---------|--------|
| 1 非常に必要だと思う | 546 | 42.8 |
| 2 ある程度必要と思う | 594 | 46.6 |
| 3 どちらとも言えない | 53 | 4.2 |
| 4 あまり必要ではない | 4 | 0.3 |
| 5 ほとんど必要ではない | 3 | 0.2 |
| 6 わからない | 27 | 2.1 |
| 無回答 | 48 | 3.8 |

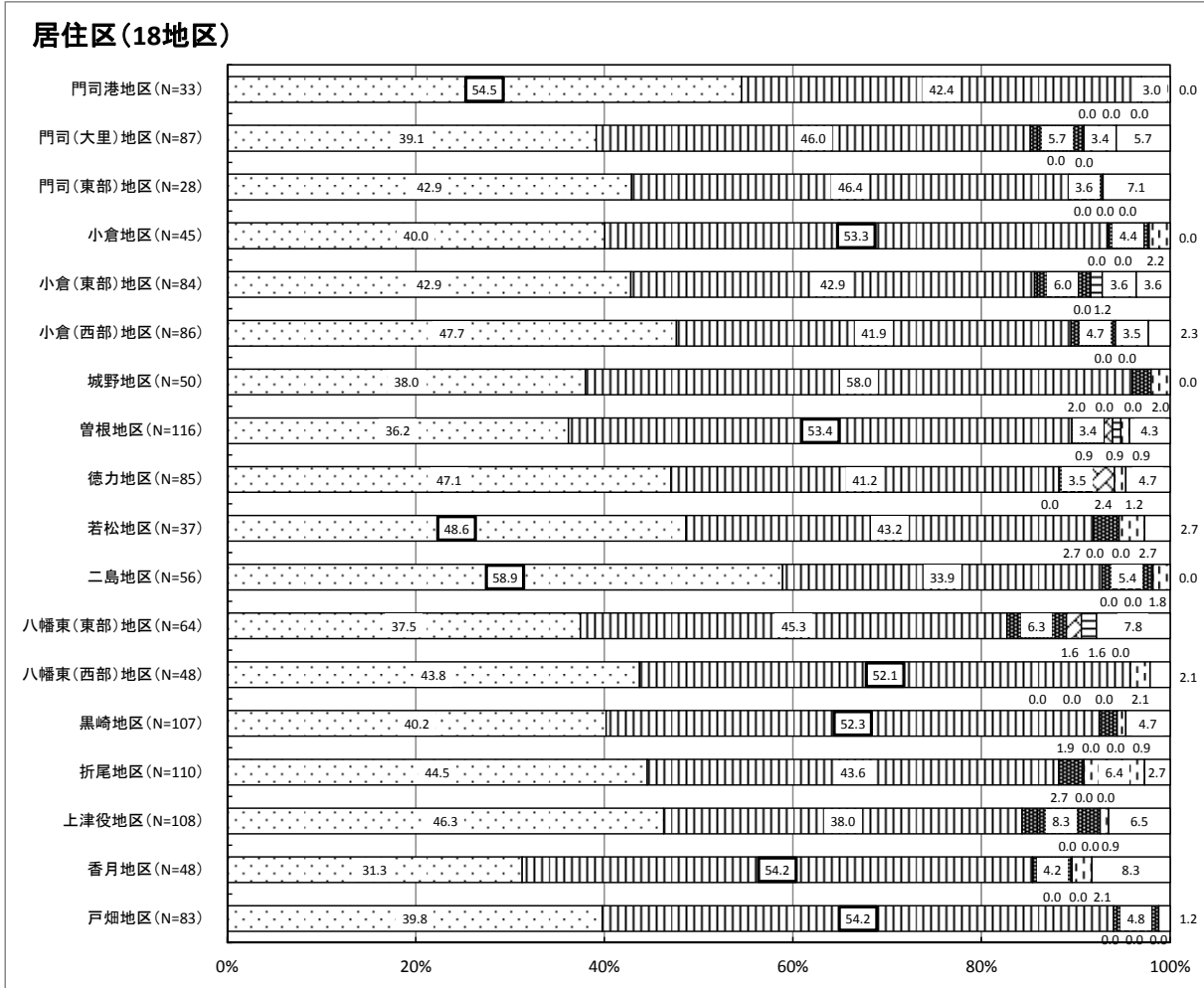
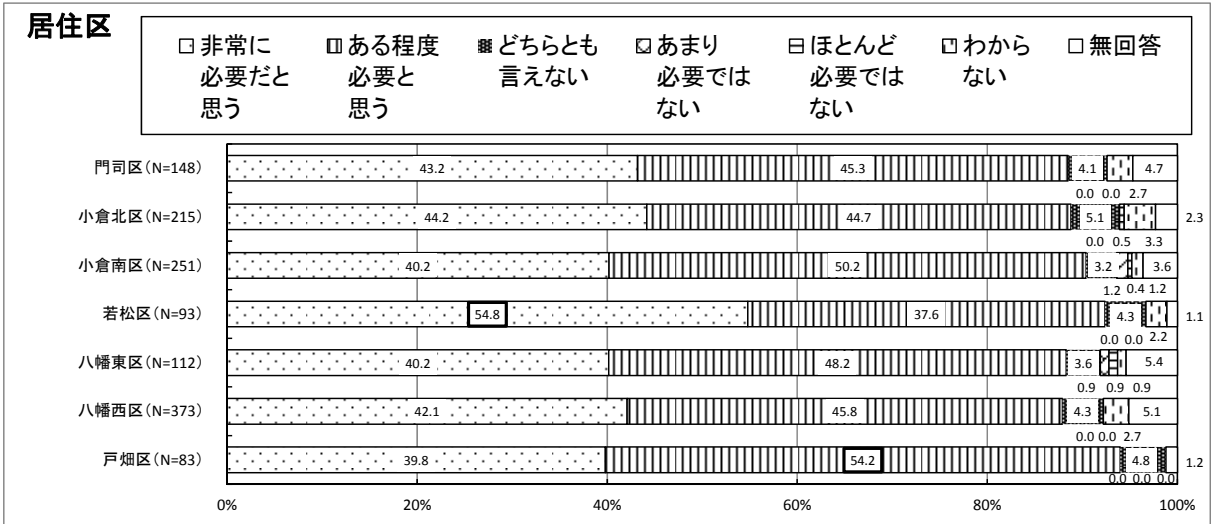
◇ 住民主体によるまちづくりが必要かは、

- 1位 「ある程度必要と思う」(46.6%)
- 2位 「非常に必要だと思う」(42.8%)
- 3位 「どちらとも言えない」(4.2%)



問 20 住民主体のまちづくりの必要性





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

住民主体のまちづくりの必要性

【全体的傾向】

同じ地域に住む人たちが自分たちの手で自主的に住みやすい地域社会をつくる、住民主体によるまちづくりが必要と思うかについて尋ねた。

その結果、「ある程度必要と思う」(46.6%)が最も多く、次いで「非常に必要だと思う」(42.8%)、「どちらとも言えない」(4.2%)と続いた。「非常に必要だと思う」(42.8%)と「ある程度必要と思う」(46.6%)を合わせた『必要だと思う』は89.4%で、約9割を占めた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男性は「非常に必要だと思う」及び「ある程度必要と思う」(各45.3%)で最も多く、女性は「ある程度必要と思う」(47.5%)で最も多かった。『必要だと思う』は男性(90.6%)が女性(88.7%)をわずかに上回った。
- ◇ 年齢別では、「ある程度必要と思う」が20歳代(56.4%)で最も多く、次いで30歳代(52.1%)、50歳代(50.2%)と続き、これらの年齢層で5割を上回った。『必要だと思う』は30歳代(92.1%)で最も多く、最も少ない70歳以上(86.7%)との差は5.4ポイントと、年齢層による大きな差は見られなかった。
- ◇ 居住年数別では、「ある程度必要と思う」は5年未満(62.1%)で最も多く、次いで3年未満(61.1%)、2年未満(58.3%)、30年未満(50.3%)と続き、これらの居住年数層で5割を上回った。『必要だと思う』は10年未満(77.7%)以外の全ての居住年数層で8割を上回った。
- ◇ 職業別では、「ある程度必要と思う」は主婦・主夫(パートなど)(58.4%)で最も多く、唯一5割を上回った。『必要だと思う』は自由業及び公務員・教員(各100.0%)で最も多く、最も少ない主婦・主夫(専業)(84.5%)を含む全ての職業層で8割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、「ある程度必要と思う」は戸畑区(54.2%)で最も多く、次いで小倉南区(50.2%)と続き、これらの区で5割を上回った。『必要だと思う』は戸畑区(94.0%)で最も多く、最も少ない八幡西区(87.9%)との差は6.1ポイントと、区による大きな差は見られなかった。

行政区を18地区に細分化して見ると、「ある程度必要と思う」は香月地区及び戸畑地区(54.2%)で最も多かった。『必要だと思う』は門司港地区(96.9%)で最も多く、最も少ない八幡東(東部)地区(82.8%)を含む全ての地区で8割を上回った。

(19) -1 住民主体のまちづくりは必要ないと考える理由

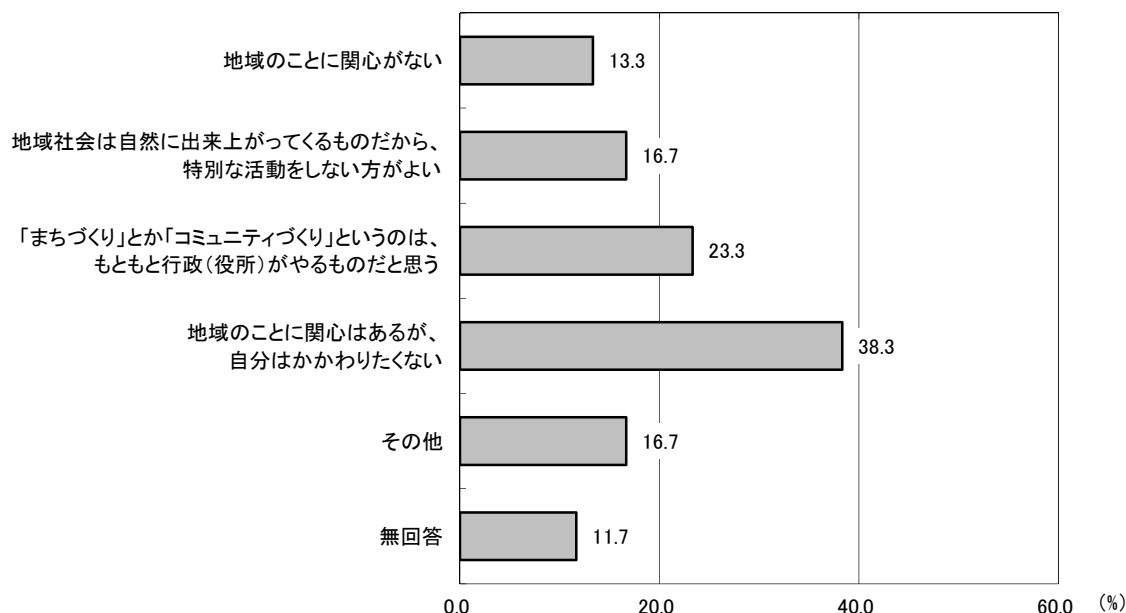
副問 20-1 問 20 で 3、4、5 を選んだ理由について、あなたのお考えに近いものを次の中から 2 つまで選んでください。

N : 60 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|---|---------|--------|
| 1 地域のことに関心がない | 8 | 13.3 |
| 2 地域社会は自然に出来上がってくるものだから、特別な活動をしない方がよい | 10 | 16.7 |
| 3 「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政（役所）がやるものだと思う | 14 | 23.3 |
| 4 地域のことに関心はあるが、自分がかかわりたくない | 23 | 38.3 |
| 5 その他 | 10 | 16.7 |
| 無回答 | 7 | 11.7 |

◇ 住民主体によるまちづくりが必要かについて、「どちらとも言えない」「あまり必要ではない」「ほとんど必要ではない」と思う理由は、

- 1 位 「地域のことに関心はあるが、自分がかかわりたくない」(38.3%)
- 2 位 『「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政（役所）がやるものだと思う』(23.3%)
- 3 位 「地域社会は自然に出来上がってくるものだから、特別な活動をしない方がよい」(16.7%・同率)
「その他」(16.7%・同率)



副問 20-1 住民主体のまちづくりは必要ないと考える理由

| | | サンプル数 | 地域のことに 関心がない | 地域社会は自然に 出来上がってくるもの だから、特別な活動 をしない方がよい | 「まちづくり」とか 「コミュニティづくり」 というのは、もともと 行政（役所）がやるも のだと思う | 地域のことに関心は あるが、自分ばかり ではない | その他 | 無回答 | |
|----------|--------------|-------------|-----------------|---|---|--------------------------------|--------------|-------|------|
| 全体 | | 60 | 13.3 | 16.7 | 23.3 | 38.3 | 16.7 | 11.7 | |
| 性別 | 男性 | 23 | 13.0 | 13.0 | 26.1 | 52.2 | 21.7 | 4.3 | |
| | 女性 | 37 | 13.5 | 18.9 | 21.6 | 29.7 | 13.5 | 16.2 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 6 | 16.7 | 0.0 | 16.7 | 16.7 | 50.0 | 16.7 | |
| | 30歳代 | 7 | 28.6 | 28.6 | 14.3 | 14.3 | 14.3 | 14.3 | |
| | 40歳代 | 9 | 22.2 | 11.1 | 11.1 | 33.3 | 22.2 | 11.1 | |
| | 50歳代 | 12 | 0.0 | 8.3 | 50.0 | 33.3 | 16.7 | 8.3 | |
| | 60歳代 | 16 | 6.3 | 37.5 | 12.5 | 43.8 | 6.3 | 18.8 | |
| | 70歳以上 | 10 | 20.0 | 0.0 | 30.0 | 70.0 | 10.0 | 0.0 | |
| 居住年数別 | 1年未満 | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |
| | 2年未満 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 3年未満 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 5年未満 | 1 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | |
| | 10年未満 | 6 | 16.7 | 16.7 | 0.0 | 33.3 | 16.7 | 16.7 | |
| | 20年未満 | 6 | 0.0 | 33.3 | 33.3 | 50.0 | 0.0 | 16.7 | |
| | 30年未満 | 12 | 16.7 | 0.0 | 8.3 | 33.3 | 33.3 | 25.0 | |
| | 30年以上 | 34 | 14.7 | 20.6 | 29.4 | 41.2 | 11.8 | 2.9 | |
| 職業別 | 自営業 | 2 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 自由業 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 会社員 | 20 | 10.0 | 10.0 | 25.0 | 35.0 | 25.0 | 10.0 | |
| | 公務員・教員 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 農・林・漁業 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 主婦・主夫(パートなど) | 5 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 60.0 | 0.0 | 20.0 | |
| | 主婦・主夫(専業) | 17 | 11.8 | 35.3 | 29.4 | 23.5 | 11.8 | 17.6 | |
| | 学生 | 2 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | |
| | 無職 | 12 | 8.3 | 0.0 | 25.0 | 66.7 | 16.7 | 8.3 | |
| その他 | 2 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | |
| 居住区別 | 行政区分 | 門司区 | 6 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 50.0 | 16.7 |
| | | 小倉北区 | 12 | 0.0 | 16.7 | 25.0 | 41.7 | 8.3 | 25.0 |
| | | 小倉南区 | 12 | 25.0 | 25.0 | 16.7 | 33.3 | 8.3 | 8.3 |
| | | 若松区 | 4 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 75.0 | 25.0 | 0.0 |
| | | 八幡東区 | 6 | 0.0 | 33.3 | 16.7 | 33.3 | 16.7 | 16.7 |
| | | 八幡西区 | 16 | 18.8 | 12.5 | 25.0 | 37.5 | 18.8 | 6.3 |
| | | 戸畑区 | 4 | 0.0 | 0.0 | 75.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| | | 居住区別(18地区別) | 門司区 | 門司港地区 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 門司(大里)地区 | 5 | | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 60.0 | 20.0 |
| 門司(東部)地区 | 1 | | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 小倉北区 | 小倉地区 | | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 小倉(東部)地区 | | 6 | 0.0 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 16.7 |
| | 小倉(西部)地区 | | 4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 25.0 | 50.0 |
| 小倉南区 | 城野地区 | | 1 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 曾根地区 | | 6 | 50.0 | 33.3 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 |
| 若松区 | 徳力地区 | | 5 | 0.0 | 20.0 | 20.0 | 40.0 | 20.0 | 20.0 |
| | 若松地区 | | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 二島地区 | | 3 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 66.7 | 33.3 | 0.0 |
| 八幡東区 | 八幡東(東部)地区 | | 6 | 0.0 | 33.3 | 16.7 | 33.3 | 16.7 | 16.7 |
| | 八幡東(西部)地区 | | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 八幡西区 | 黒崎地区 | | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 |
| | 折尾地区 | | 3 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 66.7 | 0.0 |
| | 上津役地区 | | 9 | 22.2 | 11.1 | 33.3 | 33.3 | 11.1 | 0.0 |
| | 香月地区 | | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| 戸畑区 | 戸畑地区 | | 4 | 0.0 | 0.0 | 75.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

住民主体のまちづくりは必要ないと考える理由

【全体的傾向】

同じ地域に住む人たちが自分たちの手で自主的に住みやすい地域社会をつくる、住民主体によるまちづくりが必要と思うかについて、「どちらとも言えない」「あまり必要ではない」「ほとんど必要ではない」と回答した人に、その理由を尋ねた。

その結果、「地域のことに興味はあるが、自分がかかわりたくない」(38.3%)が最も多く、次いで『「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う』(23.3%)、「地域社会は自然に出来上がってくるものだから、特別な活動をしない方がよい」及び「その他」(各16.7%)と続いた。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「地域のことに興味はあるが、自分がかかわりたくない」が最も多かった。中でも男性(52.2%)が女性(29.7%)を22.5ポイント上回り、突出して多かった。総合2位の『「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う』も男性(26.1%)が女性(21.6%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、サンプル数が10人以上であった50歳代(12)、60歳代(16)、70歳以上(10)のみ、コメントで触れることとする。総合1位の「地域のことに興味はあるが、自分がかかわりたくない」は70歳以上(70.0%)で最も多かった。総合2位の『「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う』は50歳代(50.0%)で最も多かった。
- ◇ 居住年数別では、サンプル数が10人以上であった30年未満(12)、30年以上(34)のみ、コメントで触れることとする。総合1位の「地域のことに興味はあるが、自分がかかわりたくない」は30年以上(41.2%)が30年未満(33.3%)を上回った。総合2位の『「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う』も30年以上(29.4%)が30年未満(8.3%)を上回った。
- ◇ 職業別では、サンプル数が10人以上であった会社員(20)、主婦・主夫(専業)(17)、無職(12)のみ、コメントで触れることとする。総合1位の「地域のことに興味はあるが、自分がかかわりたくない」は無職(66.7%)で最も多かった。総合2位の『「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う』は全ての職業層で2割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると(サンプル数が10人以上であった小倉北区(12)、小倉南区(12)、八幡西区(16)のみ、コメントで触れることとする)、総合1位の「地域のことに興味はあるが、自分がかかわりたくない」は小倉北区(41.7%)で最も多かった。総合2位の『「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う』は小倉北区及び八幡西区(各25.0%)が小倉南区(16.7%)を上回った。小倉南区は「地域のことに興味がない」(25.0%)や「地域社会は自然に出来上がってくるものだから、特別な活動をしない方がよい」(25.0%)が他の区に比べて多い傾向が見られた。

18地区の細分化は、全ての地区でサンプル数が10人未満であったため、コメントでは触れないこととする。

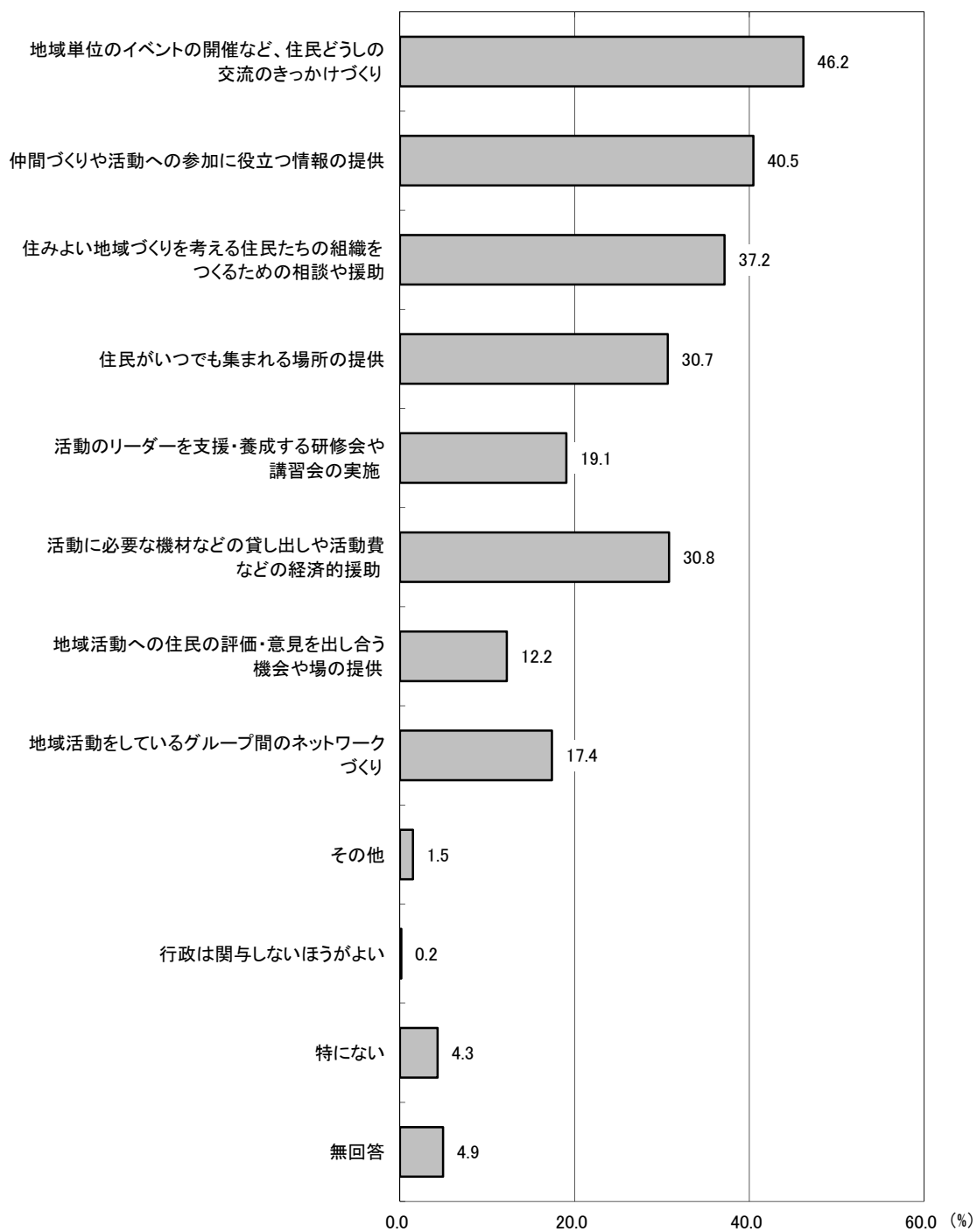
(20) 住民主体のまちづくりを進めるために行政がやること

問 21 あなたは、高齢者や子どもの見守り、防災・防火活動など、同じ地域に住む人たちが自分たちの手で自主的に住みやすい地域社会をつくっていかうとする活動を進めるために、行政は今後どのようなことに取り組むべきであると思いますか。次の中から3つまで選んでください。

N : 1,275 人

| 項目 | 回答数 (人) | 割合 (%) |
|------------------------------------|---------|--------|
| 1 地域単位のイベントの開催など、住民どうしの交流のきっかけづくり | 589 | 46.2 |
| 2 仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供 | 516 | 40.5 |
| 3 住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助 | 474 | 37.2 |
| 4 住民がいつでも集まれる場所の提供 | 391 | 30.7 |
| 5 活動のリーダーを支援・養成する研修会や講習会の実施 | 243 | 19.1 |
| 6 活動に必要な機材などの貸し出しや活動費などの経済的援助 | 393 | 30.8 |
| 7 地域活動への住民の評価・意見を出し合う機会や場の提供 | 156 | 12.2 |
| 8 地域活動をしているグループ間のネットワークづくり | 222 | 17.4 |
| 9 その他 | 19 | 1.5 |
| 10 行政は関与しないほうがよい | 2 | 0.2 |
| 11 特にない | 55 | 4.3 |
| 無回答 | 63 | 4.9 |

- ◇ 住民主体のまちづくりを進めるために、今後、行政が取り組むべきことは、
- 1位 「地域単位のイベントの開催など、住民どうしの交流のきっかけづくり」 (46.2%)
 - 2位 「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」 (40.5%)
 - 3位 「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」 (37.2%)



問 21 住民主体のまちづくりを進めるために行政がやること

| | | サンプル数 | 地域単位のイベントの開催など、住民どうしの交流のきっかけづくり | 仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供 | 住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助 | 住民がいつでも集まれる場所の提供 | 活動のリーダーを支援・養成する研修会や講習会の実施 | 活動に必要な機材などの貸し出しや活動費などの経済的援助 | 地域のリーダーを支援・養成する研修会や講習会の実施 | 地域活動への住民の評価・意見を出し合う機会や場の提供 | 地域活動をしているグループ間のネットワークづくり | その他 | 行政は関与しないほうがよい | 特になし | 無回答 |
|--------------|-----------|-------|---------------------------------|-----------------------|----------------------------------|------------------|---------------------------|-----------------------------|---------------------------|----------------------------|--------------------------|------------|---------------|------|-----|
| 全体 | | 1,275 | 46.2 | 40.5 | 37.2 | 30.7 | 19.1 | 30.8 | 12.2 | 17.4 | 1.5 | 0.2 | 4.3 | 4.9 | |
| 性別 | 男性 | 523 | 49.7 | 40.0 | 37.9 | 29.3 | 19.9 | 32.5 | 16.3 | 18.0 | 1.3 | 0.0 | 3.3 | 3.1 | |
| | 女性 | 746 | 43.8 | 40.8 | 36.9 | 31.8 | 18.4 | 29.8 | 9.5 | 17.0 | 1.5 | 0.3 | 5.0 | 6.0 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 94 | 47.9 | 36.2 | 28.7 | 35.1 | 7.4 | 42.6 | 16.0 | 24.5 | 1.1 | 1.1 | 3.2 | 2.1 | |
| | 30歳代 | 140 | 50.0 | 42.9 | 29.3 | 30.0 | 15.0 | 38.6 | 13.6 | 20.7 | 1.4 | 0.0 | 3.6 | 2.1 | |
| | 40歳代 | 177 | 42.4 | 40.1 | 40.1 | 26.0 | 19.2 | 43.5 | 8.5 | 21.5 | 1.1 | 0.0 | 2.3 | 2.3 | |
| | 50歳代 | 217 | 41.9 | 37.8 | 44.7 | 27.2 | 22.1 | 30.4 | 11.5 | 23.0 | 0.5 | 0.0 | 5.1 | 3.2 | |
| | 60歳代 | 298 | 50.0 | 40.6 | 36.6 | 34.9 | 21.1 | 29.5 | 12.4 | 15.4 | 2.0 | 0.3 | 3.4 | 4.7 | |
| | 70歳以上 | 345 | 45.8 | 42.6 | 37.1 | 31.0 | 20.0 | 19.4 | 13.0 | 10.4 | 1.7 | 0.0 | 6.1 | 9.3 | |
| 居住年数別 | 1年未満 | 15 | 46.7 | 60.0 | 26.7 | 33.3 | 6.7 | 26.7 | 13.3 | 6.7 | 0.0 | 0.0 | 13.3 | 6.7 | |
| | 2年未満 | 12 | 50.0 | 41.7 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 33.3 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | |
| | 3年未満 | 18 | 38.9 | 44.4 | 33.3 | 38.9 | 11.1 | 33.3 | 22.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.6 | 11.1 | |
| | 5年未満 | 29 | 51.7 | 37.9 | 34.5 | 27.6 | 17.2 | 34.5 | 6.9 | 13.8 | 3.4 | 0.0 | 6.9 | 0.0 | |
| | 10年未満 | 54 | 44.4 | 33.3 | 33.3 | 29.6 | 14.8 | 44.4 | 22.2 | 14.8 | 1.9 | 0.0 | 1.9 | 7.4 | |
| | 20年未満 | 117 | 43.6 | 39.3 | 40.2 | 30.8 | 19.7 | 28.2 | 7.7 | 23.1 | 1.7 | 0.0 | 4.3 | 5.1 | |
| | 30年未満 | 185 | 40.5 | 38.9 | 36.8 | 33.0 | 15.7 | 32.4 | 9.7 | 23.8 | 1.1 | 0.5 | 5.4 | 3.8 | |
| | 30年以上 | 838 | 48.1 | 41.2 | 37.7 | 30.2 | 20.4 | 30.0 | 12.9 | 16.5 | 1.4 | 0.0 | 3.9 | 4.9 | |
| | 職業別 | 自営業 | 103 | 55.3 | 32.0 | 35.0 | 29.1 | 15.5 | 35.9 | 12.6 | 15.5 | 1.0 | 0.0 | 6.8 | 7.8 |
| 自由業 | | 11 | 81.8 | 54.5 | 36.4 | 45.5 | 27.3 | 9.1 | 27.3 | 18.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 会社員 | | 338 | 46.2 | 39.9 | 34.6 | 27.5 | 17.5 | 41.4 | 10.4 | 24.9 | 0.9 | 0.0 | 3.3 | 3.3 | |
| 公務員・教員 | | 41 | 51.2 | 29.3 | 46.3 | 26.8 | 26.8 | 43.9 | 12.2 | 29.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 農・林・漁業 | | 4 | 100.0 | 0.0 | 50.0 | 25.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 主婦・主夫(パートなど) | | 166 | 38.0 | 39.8 | 41.6 | 33.7 | 19.3 | 26.5 | 10.8 | 11.4 | 1.8 | 0.0 | 6.0 | 4.2 | |
| 主婦・主夫(専業) | | 233 | 43.3 | 47.2 | 35.6 | 30.0 | 19.3 | 25.8 | 7.7 | 15.9 | 0.9 | 0.0 | 5.2 | 5.6 | |
| 学生 | | 21 | 42.9 | 23.8 | 38.1 | 42.9 | 9.5 | 38.1 | 33.3 | 19.0 | 0.0 | 0.0 | 4.8 | 0.0 | |
| 無職 | | 298 | 49.0 | 43.0 | 38.3 | 31.5 | 21.1 | 20.8 | 17.8 | 10.7 | 2.3 | 0.7 | 3.0 | 6.4 | |
| その他 | | 53 | 41.5 | 37.7 | 39.6 | 39.6 | 17.0 | 35.8 | 5.7 | 30.2 | 3.8 | 0.0 | 5.7 | 3.8 | |
| 行政区別 | 門司区 | 148 | 52.0 | 37.2 | 35.1 | 30.4 | 16.2 | 33.1 | 16.9 | 18.9 | 2.7 | 0.7 | 2.7 | 8.1 | |
| | 小倉北区 | 215 | 40.9 | 43.7 | 40.0 | 29.8 | 21.9 | 29.8 | 10.2 | 15.8 | 1.4 | 0.0 | 4.7 | 4.7 | |
| | 小倉南区 | 251 | 48.2 | 41.4 | 36.3 | 29.5 | 16.7 | 29.9 | 8.4 | 15.9 | 2.0 | 0.0 | 6.4 | 4.0 | |
| | 若松区 | 93 | 46.2 | 46.2 | 38.7 | 38.7 | 15.1 | 33.3 | 12.9 | 15.1 | 0.0 | 0.0 | 3.2 | 2.2 | |
| | 八幡東区 | 112 | 48.2 | 42.9 | 34.8 | 27.7 | 19.6 | 25.9 | 14.3 | 15.2 | 1.8 | 0.0 | 3.6 | 8.0 | |
| | 八幡西区 | 373 | 44.5 | 37.0 | 37.0 | 30.0 | 21.2 | 32.4 | 12.9 | 19.0 | 1.3 | 0.3 | 4.8 | 4.6 | |
| | 戸畑区 | 83 | 48.2 | 41.0 | 38.6 | 34.9 | 18.1 | 28.9 | 14.5 | 21.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | |
| | 門司港地区 | 33 | 54.5 | 36.4 | 45.5 | 24.2 | 12.1 | 36.4 | 21.2 | 9.1 | 6.1 | 0.0 | 6.1 | 0.0 | |
| 門司区 | 門司(大里)地区 | 87 | 50.6 | 36.8 | 28.7 | 29.9 | 18.4 | 33.3 | 16.1 | 21.8 | 2.3 | 1.1 | 1.1 | 8.0 | |
| | 門司(東部)地区 | 28 | 53.6 | 39.3 | 42.9 | 39.3 | 14.3 | 28.6 | 14.3 | 21.4 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 17.9 | |
| | 小倉地区 | 45 | 44.4 | 40.0 | 37.8 | 42.2 | 20.0 | 33.3 | 8.9 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 4.4 | 4.4 | |
| 小倉北区 | 小倉(東部)地区 | 84 | 40.5 | 51.2 | 36.9 | 26.2 | 25.0 | 23.8 | 10.7 | 15.5 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 6.0 | |
| | 小倉(西部)地区 | 86 | 39.5 | 38.4 | 44.2 | 26.7 | 19.8 | 33.7 | 10.5 | 14.0 | 3.5 | 0.0 | 5.8 | 3.5 | |
| | 城野地区 | 50 | 44.0 | 46.0 | 30.0 | 22.0 | 14.0 | 34.0 | 2.0 | 18.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 4.0 | |
| 小倉南区 | 曾根地区 | 116 | 49.1 | 40.5 | 36.2 | 26.7 | 19.0 | 29.3 | 10.3 | 20.7 | 0.9 | 0.0 | 7.8 | 4.3 | |
| | 徳力地区 | 85 | 49.4 | 40.0 | 40.0 | 37.6 | 15.3 | 28.2 | 9.4 | 8.2 | 4.7 | 0.0 | 2.4 | 3.5 | |
| | 若松地区 | 37 | 51.4 | 40.5 | 37.8 | 43.2 | 10.8 | 43.2 | 13.5 | 5.4 | 0.0 | 0.0 | 2.7 | 2.7 | |
| 若松区 | 二島地区 | 56 | 42.9 | 50.0 | 39.3 | 35.7 | 17.9 | 26.8 | 12.5 | 21.4 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 1.8 | |
| | 八幡東区 | 64 | 46.9 | 35.9 | 43.8 | 31.3 | 20.3 | 31.3 | 12.5 | 14.1 | 1.6 | 0.0 | 3.1 | 9.4 | |
| 八幡東区 | 八幡東(西部)地区 | 48 | 50.0 | 52.1 | 22.9 | 22.9 | 18.8 | 18.8 | 16.7 | 16.7 | 2.1 | 0.0 | 4.2 | 6.3 | |
| | 黒崎地区 | 107 | 43.9 | 39.3 | 45.8 | 33.6 | 18.7 | 29.0 | 20.6 | 20.6 | 2.8 | 0.9 | 2.8 | 3.7 | |
| 八幡西区 | 折尾地区 | 110 | 42.7 | 37.3 | 34.5 | 35.5 | 22.7 | 40.0 | 8.2 | 14.5 | 0.9 | 0.0 | 7.3 | 5.5 | |
| | 上津役地区 | 108 | 50.0 | 34.3 | 32.4 | 22.2 | 22.2 | 29.6 | 11.1 | 20.4 | 0.9 | 0.0 | 3.7 | 4.6 | |
| | 香月地区 | 48 | 37.5 | 37.5 | 33.3 | 27.1 | 20.8 | 29.2 | 10.4 | 22.9 | 0.0 | 0.0 | 6.3 | 4.2 | |
| 戸畑区 | 戸畑地区 | 83 | 48.2 | 41.0 | 38.6 | 34.9 | 18.1 | 28.9 | 14.5 | 21.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | |

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

住民主体のまちづくりを進めるために行政がやること

【全体的傾向】

同じ地域に住む人たちが自分たちの手で自主的に住みやすい地域社会をつくっていかうとする活動を進めるために、行政は今後どのようなことに取り組むべきであると思うかについて尋ねた。

その結果、「地域単位のイベントの開催など、住民どうしの交流のきっかけづくり」(46.2%)が最も多く、次いで「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」(40.5%)、「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」(37.2%)、「活動に必要な機材などの貸し出しや活動費などの経済的援助」(30.8%)、「住民がいつでも集まれる場所の提供」(30.7%)と続き、これらは3割を上回った。

【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「地域単位のイベントの開催など、住民どうしの交流のきっかけづくり」が最も多く、男性(49.7%)が女性(43.8%)を上回った。総合2位の「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」は男性(40.0%)と女性(40.8%)で差が見られなかった。総合3位の「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」は男性(37.9%)が女性(36.9%)をわずかに上回った。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「地域単位のイベントの開催など、住民どうしの交流のきっかけづくり」は30歳代及び60歳代(各50.0%)で最も多く、最も少ない50歳代(41.9%)との差は8.1ポイントと、年齢層による大きな差は見られなかった。総合2位の「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」は30歳代(42.9%)で最も多く、最も少ない20歳代(36.2%)との差は6.7ポイントと、年齢層による大きな差は見られなかった。総合3位の「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」は50歳代(44.7%)で最も多く、次いで40歳代(40.1%)と続き、中年層で4割を上回った。総合4位の「活動に必要な機材などの貸し出しや活動費などの経済的援助」は40歳代(43.5%)で最も多く、次いで20歳代(42.6%)、30歳代(38.6%)と続き、若年層を中心に多く見られた。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「地域単位のイベントの開催など、住民どうしの交流のきっかけづくり」は5年未満(51.7%)で最も多く、次いで2年未満(50.0%)と続いた。総合2位の「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」は1年未満(60.0%)で最も多く、唯一6割を占めた。総合3位の「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」は20年未満(40.2%)で最も多く、唯一4割を上回った。
- ◇ 職業別では、総合1位の「地域単位のイベントの開催など、住民どうしの交流のきっかけづくり」は自由業(81.8%)で最も多く、次いで自営業(55.3%)、公務員・教員(51.2%)と続き、これらの職業層で5割を上回った。総合2位の「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」は自由業(54.5%)で最も多かった。総合3位の「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」は公務員・教員(46.3%)で最も多く、次いで主婦・主夫(パートなど)(41.6%)と続き、これらの職業層で4割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「地域単位のイベントの開催など、住民どうしの交流のきっかけづくり」は門司区(52.0%)で最も多く、唯一5割を上回った。総合2位の「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」は若松区(46.2%)で最も多く、最も少ない八幡西区(37.0%)との差は9.2ポイントと、区による差は見られなかった。総合3位の「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」は小倉北区(40.0%)で

最も多く、最も少ない八幡東区（34.8%）との差は5.2ポイントと、区による大きな差は見られなかった。

行政区を18地区に細分化して見ると、総合1位の「地域単位のイベントの開催など、住民どうしの交流のきっかけづくり」は門司港地区（54.5%）で最も多く、次いで門司（東部）地区（53.6%）、若松地区（51.4%）、八幡東（西部）地区（50.0%）と続き、これらの地区で5割以上を占めた。総合2位の「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」は八幡東（西部）地区（52.1%）で最も多く、次いで小倉（東部）地区（51.2%）、二島地区（50.0%）と続き、これらの地区で5割以上を占めた。総合3位の「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」は黒崎地区（45.8%）で最も多く、次いで門司港地区（45.5%）、小倉（西部）地区（44.2%）と続いた。

3 まとめ

本調査報告書の冒頭部分「調査の目的」で触れているが、本市では、「市民主体のまちづくり」を進めていくための基本ルールとなる「北九州市自治基本条例」を定め、平成 22 年 10 月に施行した。同条例において、市は、「市民主体のまちづくり」を実現するため、「情報共有」「市民参画」「コミュニティの活動」等を積極的に推進することとしている。

そこで、平成 26 年度の市民意識調査では「市民主体のまちづくりについて」をテーマとし、市民が市政やまちづくりに関心を持つために必要な情報発信の方法や内容、市政に対する市民の意見や提案を市政に反映させる仕組み、また、市民が地域のまちづくりに参加しやすくなる環境等について、市民の意見を把握し、今後の施策検討の資料とするために本調査を実施した。

調査結果の具体的な内容、詳細についてはすでに指摘したとおりであるが、最後にここで調査結果の簡単な要約を行い本調査の報告を終わることとする。

1. 「北九州市自治基本条例」と「自治」について

- 北九州市自治基本条例を知っているかについて尋ねた結果、「知らない」(61.3%)が最も多く、次いで「名称は知っている」(23.4%)、「どのようなものなのか、ある程度知っている」(12.4%)と続いた。「内容をよく知っている」(0.5%)、「どのようなものなのか、ある程度知っている」(12.4%)、「名称は知っている」(23.4%)を合わせた『知っている』は36.3%で4割弱となった。
- 「自治」のあり方をどう考えているかについて尋ねた結果、「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」(66.9%)が最も多く、7割弱を占めた。次いで「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」(24.5%)、「地域の課題解決は、すべて行政が行う」(3.8%)と続いた。
- 「自治」を進めるためには、どのようなことが大切だと考えているかについて尋ねた結果、「市民と市が協力して、まちづくりを進める」(59.0%)が最も多く、約6割を占めた。次いで「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」(18.4%)、「市民相互の連携・尊重に努める」(12.9%)と続いた。

2. 「情報共有」について

- 北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報を、普段どこから入手しているかについて尋ねた結果、「市政だより」(86.8%)が最も多く、次の「回覧板」(44.2%)との差は42.6ポイントと突出していた。以降、「テレビ・ラジオのニュース」(36.9%)、「新聞記事」(36.7%)と続いた。
- 北九州市が発信する情報の中で、興味のある事項について尋ねた結果、「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」(59.8%)が最も多く、次いで「健康(保険・医療)に関すること」(58.2%)と続き、これらは5割を上回った。以降、「防災に関すること」(32.9%)、「安全・安心に関すること」(32.2%)、「子育てに関すること」(29.1%)と続いた。
- 北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報が分かりやすいと思うかについて尋ねた結果、「どちらかと言えば、分かりやすい」(42.8%)が最も多く、次いで

「どちらとも言えない」(27.1%)、「分かりやすい」(13.9%)と続いた。「分かりやすい」(13.9%)と「どちらかと言えば、分かりやすい」(42.8%)を合わせた『分かりやすい』は56.7%で6割弱であった。

- 市政やまちづくりに関する情報の量について尋ねた結果、「適切」(55.6%)が最も多く、次いで「やや少ない」(25.0%)、「やや多い」(7.1%)と続いた。「多い」(2.4%)と「やや多い」(7.1%)を合わせた『多い』は9.5%で、「やや少ない」(25.0%)と「少ない」(6.4%)を合わせた『少ない』は31.4%であった。
- 北九州市からの情報発信の方法にどのような改善が必要だと思うかについて尋ねた結果、「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」(42.6%)が最も多く、次いで「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」(36.5%)、「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」(20.4%)、「より早く情報を発信して欲しい」(19.2%)と続いた。

3. 「市民参画」について

- 北九州市の市政に関心があるかについて尋ねた結果、「まあまあ関心がある」(57.7%)が最も多く、次いで「あまり関心がない」(22.9%)、「大変関心がある」(15.6%)と続いた。「大変関心がある」(15.6%)と「まあまあ関心がある」(57.7%)を合わせた『関心がある』は73.3%で、「あまり関心がない」(22.9%)と「全く関心がない」(1.7%)を合わせた『関心がない』は24.6%であった。
- 北九州市は市民参画の機会が多いと思うかについて尋ねた結果、「分からない」(41.7%)が最も多く、次いで「どちらかと言えば少ないと思う」(25.6%)、「どちらかと言えば多いと思う」(14.7%)と続いた。「多いと思う」(2.0%)と「どちらかと言えば多いと思う」(14.7%)を合わせた『多いと思う』は16.7%で、「どちらかと言えば少ないと思う」(25.6%)と「少ないと思う」(13.8%)を合わせた『少ないと思う』は39.4%であった。
- これまでに市政に対して意見や提案をした経験があるかを尋ね、参加経験がある人に、その参加方法について尋ねた結果、「参加した経験はない」(86.5%)が9割弱を占めた。一方、「参加した経験はない」と「無回答」(2.4%)以外の『参加した経験がある』は11.1%で、その参加方法は、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」(6.4%)が最も多く、次いで「電話やFAX、電子メールでの意見提出」(2.7%)、「委員会や審議会などの公募委員としての参加」(1.7%)と続いた。
- あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると感じているかについて尋ねた結果、「どちらとも言えない」(30.4%)が最も多く、次いで「あまり感じていない」及び「ほとんど感じていない」(各24.5%)と続いた。「大いに感じている」(0.4%)と「ある程度感じている」(8.0%)を合わせた『感じている』は8.4%で1割弱となり、「あまり感じていない」と「ほとんど感じていない」(各24.5%)を合わせた『感じていない』が49.0%で5割弱となった。
- あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると、「あまり感じていない」「ほとんど感じていない」と思う理由について尋ねた結果、「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」(55.5%)が最も多く、次いで「自分の意見が市に届いているという実感が無い」(34.4%)、「市政に関する情報発信が不十分」(18.2%)と続いた。

- 今後（または今後も）市政に対して意見や提案をしたいと思うかについて尋ねた結果、「興味のある分野で参加したい」（38.8%）が最も多く、次いで「参加したくない」（24.4%）、「時間があれば参加したい」（15.4%）と続いた。「参加したい」（3.5%）と「時間があれば参加したい」（15.4%）、「興味のある分野で参加したい」（38.8%）を合わせた『参加したい』は57.7%で、「参加したくない」（24.4%）を33.3ポイント上回った。
- 市政に対する意見や提案について、今後（または今後も）、「参加したい」「時間があれば参加したい」「興味のある分野で参加したい」と回答した人に、どのような方法で参加したいと思うかを尋ねた結果、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」（47.1%）が最も多く、僅差で「電話やFAX、電子メールでの意見提出」（45.4%）と続いた。以降、「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」（24.5%）、「委員会や審議会などの公募委員としての参加」（11.2%）の順となった。
- 市政に対する意見や提案について、今後（または今後も）、「参加したくない」と回答した人に、その理由を尋ねた結果、「参加する時間がない」（28.3%）が最も多く、次いで「特に市政に対する意見がない」（20.6%）、「参加することに興味がない」（19.6%）と続いた。
- 市政への市民参画を進めるためには、何が必要だと思うかについて尋ねた結果、「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」（29.6%）が最も多く、次いで「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」（22.4%）、「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」（14.3%）と続いた。

4. 「住民主体のまちづくり」について

- これまでに地域活動に参加したことがあるかについて尋ねた結果、参加したことが「ある」（52.1%）が、参加したことが「ない」（45.6%）を上回った。
- これまでに地域活動に参加したことがあるかについて、「ある」と回答した人に、どのような地域活動に参加したかを尋ねた結果、「自治会・町内会の活動」（86.4%）が最も多く、次の「PTAでの活動」（28.3%）との差は58.1ポイントと突出していた。以降、「子ども会での活動」（28.0%）、「まちづくり協議会の活動」（20.5%）と続いた。
- これまでに地域活動に参加したことがあるかについて、「ある」と回答した人に、地域活動に参加している理由を尋ねた結果、「地域の人と触れ合えるから」（58.0%）が最も多く、次いで「活動に参加することが当然であるから」（40.8%）、「地域に貢献したかったから」（34.2%）と続いた。
- これまでに地域活動に参加したことがあるかについて、「ある」と回答した人に、地域活動に参加したきっかけを尋ねた結果、「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」（37.7%）が最も多く、次いで「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」（30.4%）、「周囲の人に参加を勧められたから」（26.7%）と続き、これらは2割を上回った。
- これまでに地域活動に参加したことがあるかについて、「ない」と回答した人に、その理由を尋ねた結果、「地域活動する時間がない」（21.0%）が最も多く、次いで「どん

な活動をしたらいいのかわからない」(20.6%)、「地域の団体のことがよくわからない」及び「特に理由はない」(各17.4%)と続いた。

- これからの地域活動を支える大切な団体は何と思うかについて尋ねた結果、「自治会・町内会」(75.4%)が最も多く、次いで「まちづくり協議会」(41.5%)、「社会福祉協議会」(26.9%)、「ボランティア団体」(22.8%)と続いた。
- 住んでいる地域の自治会・町内会が行っている活動について知っているかを尋ねた結果、「ある程度知っている」(46.4%)が最も多く、次いで「あまり知らない」(26.0%)、「よく知っている」(12.1%)と続いた。「よく知っている」(12.1%)と「ある程度知っている」(46.4%)を合わせた『知っている』は58.5%で、6割弱を占めた。
- 住んでいる地域の自治会・町内会が行っている活動について、「よく知っている」「ある程度知っている」と回答した人に、知っている活動を尋ねた結果、「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」(87.9%)が最も多く、次いで「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」(80.3%)、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」(74.3%)、「ゴミステーションの管理や清掃などの環境美化活動」(70.9%)と続いた。
- 自治会・町内会に加入しているかについて尋ねた結果、「加入している」(73.9%)が最も多く、次いで「加入していない」(18.6%)、「わからない」(4.6%)と続いた。
- 自治会・町内会に加入しているかについて、「加入していない」と回答した人に、その理由を尋ねた結果、「加入を勧められたことがない」(35.4%)が最も多く、次いで「役員になりたくない」及び「加入しなくても日常生活に支障がない」(各28.7%)と続いた。
- 同じ地域に住む人たちが自分たちの手で自主的に住みやすい地域社会をつくる、住民主体によるまちづくりが必要と思うかについて尋ねた結果、「ある程度必要と思う」(46.6%)が最も多く、次いで「非常に必要だと思う」(42.8%)、「どちらとも言えない」(4.2%)と続いた。「非常に必要だと思う」(42.8%)と「ある程度必要と思う」(46.6%)を合わせた『必要だと思う』は89.4%で、約9割を占めた。
- 同じ地域に住む人たちが自分たちの手で自主的に住みやすい地域社会をつくる、住民主体によるまちづくりが必要と思うかについて、「どちらとも言えない」「あまり必要ではない」「ほとんど必要ではない」と回答した人に、その理由を尋ねた結果、「地域のことに興味はあるが、自分がかかわりたくない」(38.3%)が最も多く、次いで『「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う』(23.3%)、「地域社会は自然に出来上がってくるものだから、特別な活動をしないう方がよい」及び「その他」(各16.7%)と続いた。
- 同じ地域に住む人たちが自分たちの手で自主的に住みやすい地域社会をつくっていかうとする活動を進めるために、行政は今後どのようなことに取り組むべきであると思うかについて尋ねた結果、「地域単位のイベントの開催など、住民どうしの交流のきっかけづくり」(46.2%)が最も多く、次いで「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」(40.5%)、「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」(37.2%)、「活動に必要な機材などの貸し出しや活動費などの経済的援助」(30.8%)、「住民がいつでも集まれる場所の提供」(30.7%)と続き、これらは3割を上回った。

以上、今回調査の要約としてエッセンスをまとめてみた。

今回の調査では、アンケートを通して、「北九州市自治基本条例の認知度」や「自治のあり方」、「市が行っている情報発信の方法や内容（情報共有）」、「市政に対する市民の意見や提案を市政に反映させる仕組み（市民参画）」、「市民主体のまちづくり」に関する市民の見解を知ることができた。

今回の調査結果も踏まえ、「市民主体のまちづくり」の更なる促進に努めてまいりたい。